

公第7巻 (通算第18巻)

公益財団法人 日本生命済生会

日本生命病院年報



公益財団法人日本生命済生会
日本生命病院年報
2018年4月～2019年3月

vol. 7

公第七巻 (通算第十八巻)
(2018年4月～2019年3月)

2018年度

日本生命病院年報の発刊にあたって



院長 笠山 宗正

日本生命病院年報(公第7巻：2018年4月～2019年3月)をお届けします。

当院は、2018年4月30日に元大阪府庁跡地である大阪市西区江之子島に移転し、新しい一歩を踏み出しました。新病院の移転・開設に向けては、2017年1月に「**移転・開設準備本部**」を設置し、全職員が一丸となりその準備を進めてきました。各部署での複数回にわたるリハーサルおよび2回の総合リハーサルを経て、当日には102名の入院患者を無事移送し翌日から外来診療を開始しました。

病院名称も「**日本生命病院**」に改め27診療科と8診療センターより構成される新病院の基本コンセプトは「**済生利民(人の生活といのちを救い、人のお役に立つこと)**」の精神を実践することであり、「最優の医療サービスの提供」「地域との共生」「安全・安心の提供」「患者・職員満足度の向上」「アートと医療の融合」「医療健康情報の発信」「健全な経営」をサブコンセプトに掲げています。

新病院では、これまでの診療機能に加えて、①地域医療、②救急医療、③女性医療、④超高齢社会を支える診療機能(認知症やロコモティブシンドロームなど)、⑤健康長寿社会の実現を目的とした高度予防医療(先制医療)などをいっそう推し進めるための診療体制を充実しています。

病院施設については、患者の快適な療養環境とプライバシー保護の観点から個室を全体の約5割に増室したほか、4人用の総室はパーティションや空調・排気に留意した設計にしました。また、産婦人科のLDR室(3床)にはバーチャルウィンドウを設置するなどの心地よい入院環境を提供しています。さらに、手術室(7室)、集中治療室(8床)、血液浄化センターの透析ベッド(20床)、内視鏡室(7室)を増室・増床したほか、救急診療センター(約4倍)、リハビリテーション室(約2倍)を拡張しました。

医療機器についても、手術支援ロボット「**ダヴィンチ**」を用いた前立腺がん、子宮体がん、子宮筋腫の手術を開始したほか、CTは320列CTの2台体制とし、新たに導入した3.0テスラMRI、PET/CT、心臓血管専用アンギオ装置などの医療機器の有効活用に努めました。

多くの医療機関と地域住民の皆さまのご支援を頂戴したおかげで、新病院に移転後、紹介患者数、新入院患者数、入院患者数、外来患者数、救急搬送件数、手術件数、全身麻酔手術件数、透析件数、消化器内視鏡検査件数、人間ドック受診者数、定期検診受診者数、訪問看護ステーション利用者数、同訪問件数は前年度を上回ることができました。

1924年(大正13年)に設立された日本生命済生会の基本理念である「**済生利民**」の精神は、いつの時代にも継続していかねばなりません。新病院移転の年に承認された「**地域医療支援病院**」として、わたしたちは「**心ふれあう、あったかサポート**」を合言葉に、予防から治療・在宅まで一貫した最優の医療サービスを提供し、地域と社会から愛され信頼されるよう努力していきます。皆さまには、これからも当院に対しましていっそうのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

2018年度日本生命病院年報の発刊にあたって 院長 笠山 宗正

第Ⅰ章 軌跡

1. 日本生命病院理念と基本方針	4
2. 患者さんの権利と義務について	4
3. 施設概要	6
4. 学会認定状況	8
5. 主要医療機器	9
6. 日本生命済生会 組織図	10
7. 会議・委員会	11
8. 2018年度 業績概要	12
9. 日本生命済生会（日本生命病院）の沿革	13
10. 日本生命済生会歴代会長、歴代理事長、日本生命病院歴代院長	16

第Ⅱ章 病院統計

1. 全体統計	17
1) 一日平均外来患者数	17
2) 一日平均入院患者数	18
3) 患者年齢・診療圏構成	19
4) 病床稼働率	21
5) 救急患者数	22
6) 退院患者医療評価指標	23
①退院患者統計	23
②診療科別・月別・患者数	24
③診療科別・在院期間別・患者数	25
④疾病統計	26
⑤悪性新生物統計	28
⑥診療科別・月別・死亡（剖検）患者数	29
7) 手術件数	30
①診療科別・月別手術件数（手術室実施）.....	30
②診療科別・年間手術件数（総件数の内、上位のみ）.....	31
2. 医事統計	34
1) 診療科別医療収入	34
2) 医療行為別医療収入	36
①外来	36
②入院	37
3. その他統計	38
1) 病院従業員数	38
2) セカンドオピニオン外来件数	38

第Ⅲ章 部門別概要〈診療科・センター・部(室)〉

循環器内科	39
消化器内科	41
総合内科	43
血液・化学療法内科	46
神経内科（脳神経内科）.....	47
腎臓内科	48
消化器外科	50
呼吸器外科	52

乳腺外科	53
心臓血管外科	54
産婦人科	55
小児科	57
神経科・精神科	58
脳神経外科	61
整形外科	62
皮膚科	63
泌尿器科	65
眼科	67
耳鼻咽喉・頭頸部外科	68
形成再建外科	70
放射線診断・IVR科	71
放射線治療科	72
麻酔・緩和医療科	73
リハビリテーション科	75
病理診断科	77
救急診療センター／救急診療科	78
がん治療センター	79
女性骨盤底センター	80
糖尿病・内分泌センター	81
消化器内視鏡センター	83
血液浄化センター	84
脳機能センター	85
臨床研修部	87
輸血管理室	88
化学療法室	89
リハビリテーション室	90
中央手術管理部	92
中央臨床検査部／検査診断科	93
中央放射線部	95
栄養管理室	96
薬剤部	99
臨床工学室	101
臨床研究管理室	102
医療安全対策室	103
感染対策室	104
あったかサポートセンター	106
ニッセイ訪問看護ステーション	114
ニッセイケアプランセンター	116
看護部	117
ニッセイ予防医学センター	124

第IV章 諸活動

1. 日本医師会生涯教育講座カリキュラム	126
2. 日本生命病院医学セミナーUpdate	126
3. 1年目研修医オリエンテーション	127
4. 実習生等受け入れ	128
5. 講演会・研修会	129
6. 日本生命病院医学賞・医学奨励賞	135
7. 地域活動	135
8. ボランティアについて	136
9. 広報関係（新聞、雑誌等）	137
10. 院内行事	138

1. 日本生命病院理念と基本方針

理念

日本生命病院は公益財団法人日本生命済生会の基本理念である「済生利民」の精神にもとづき、地域に対し、予防・治療・在宅まで一貫した総合的な医療サービスを提供します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った最良の医療サービスを提供します。
2. 常に安全な医療とまごころの看護を実践します。
3. 人権の尊重、プライバシーの保護、並びに法令等の遵守に努めます。
4. 日々研鑽に努め、より信頼される医療人を目指します。
5. 地域・社会のニーズに対応した変革を進め、地域医療と地域社会の健全な発展に貢献します。
6. 地域から愛され信頼される、安全・安心な病院を目指します。
7. 上記6項目を継続して実現するため、健全な経営を行います。

2. 患者さんの権利と義務について

《患者さんの権利》

医療は患者さんと医療関係者とが相互の信頼関係に基づき、協力し合ってつくり上げていくものです。日本生命病院では、患者さん中心の医療サービスの実践を常に心がけ、以下の患者さんの権利を大切にします。

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受けることができます。
2. 患者さんは、自分が受ける治療や検査に関して、効果や危険性、他の治療方法の有無などにつき、わかりやすく説明を受けることができます。
3. 患者さんは、十分な説明と情報提供を受けたうえで治療方針など自らの意思で選択することができます。また希望しない医療を拒むことや自分で医療機関を選択し、転院することもできます。
4. 患者さんは、自分が受けている医療について知ることができます。
5. 患者さんは、個人として常にその人格を尊重され、また個人情報も自分の承諾なくして第三者に開示されることはありません。

《患者さんの義務》

日本生命病院では、ご来院・ご入院されるすべての患者さんに対し、安全・安心な環境において、良質な医療サービスを提供します。患者さんにおかれましても、病院の規則を守り、職員や他の人々に迷惑をかけない責務や自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

1. 患者さんには、自らの過去の病歴を含む健康に関する詳細な情報、診療中の変化を正確に伝える義務があります。
2. 患者さんには、治療や検査などの治療方針について、医療者から説明があった場合は、できるだけ明確な意思表示をする義務があります。
3. 患者さんには、医療が安全かつ効果的に実施されるよう、患者さんのご本人確認を含めた診療行為に積極的に参加し、協力する義務があります。
4. 患者さんには、病院内では、当院の規則および公共の場のルールを守って他の方の迷惑にならないように行動する義務があります。
5. 患者さんには、医療費を支払う義務があります。
6. 患者さんには、医療は医学、社会、経済、倫理等の様々な要因により限界があることを認識する義務があります。

2019年4月 制定

3. 施設概要

1. 名 称 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院
2. 所 在 地 大阪府大阪市西区江之子島2丁目1番54号
3. 竣工年月日 2018年1月5日
工事期間 2015年10月～2017年12月
4. 開設年月日 2018年4月30日
5. 構 造 鉄骨造（免震構造）
6. 延床面積 38,185.66㎡
7. 階 数 地下1階、地上14階、塔屋2階
8. 高 さ 67.99m
9. 設備概要 受 変 電：22kV特高スポットネットワーク受電（TR1.250kVA×3台）
発 電 機：非常用発電機（ガスタービン）高圧 1,500kVA
常用発電機（マイクロCGS）低圧 31kVA×10台
無停電電源：医療用100kVA、情報用100kVA
通信・信号：ナースコール、インターホン、テレビ共同受信、監視カメラ、入退室管理、
電話、LAN
熱 源 方 式：ジェネリンク機、モジュールチラー、マイクロコージェネ
空 調 方 式：空調機、ファンコイル、空冷パッケージエアコン、（放射空調）
給 湯 設 備：ガス給湯ヒーター、ガス連結式瞬間型給湯器、貯湯式電気温水器
消 火 設 備：スプリンクラー、連結送水管、泡消火、窒素ガス消火、フード消火
医 療 ガ ス：酸素、笑気、窒素、炭酸ガス、圧縮空気、吸引
エレベータ：一般乗用5台、寝台用1台、人荷用2台、非常用2台、小荷物専用3台
エスカレータ：6台
10. 許可病床数 350床

一般病棟		14階 (1,604㎡)
		13階 (1,604㎡)
		12階 (1,604㎡)
		11階 (1,604㎡)
		10階 (1,604㎡)
		9階 (1,611㎡)
		8階 (1,601㎡)
女性病棟 (LDR室、新生児室)		7階 (1,859㎡)
リハビリ 庭園	リハビリテーション室／機械室／栄養管理室／厨房	6階 (2,419㎡)
管理部門／医局／研修医スペース／看護部管理室／福祉事業局／ 診療情報管理室／情報システム室／技術トレーニング室／会議室／応接室		5階 (3,577㎡)
手術室／集中治療室／化学療法室／血液浄化センター／ 中央臨床検査部 (検体・病理・微生物検査)／薬剤部／臨床工学室		4階 (3,577㎡)
予防医学センター (人間ドック・健診)／消化器内視鏡センター／ 中央放射線部／臨床研究管理室		3階 (3,577㎡)
外来／生理検査室／採血室／栄養指導室／医事サービス部／ あったかサポートセンター／糖尿病・内分泌センター／がん治療センター		2階 (3,769㎡)
ニッセイ 四季彩 ガーデン	救急診療センター／放射線治療／訪問看護ステーション／ケアプランセンター／ あったかふれあいホール／工房／コリドー／レストラン・カフェ／コンビニ	1階 (3,534㎡)
駐車場		B1階 (3,811㎡)



ニッセイ四季彩ガーデン



病院外観



コリドー

4. 学会認定状況

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本内分泌学会認定教育施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本血液学会血液研修施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本呼吸器外科学会認定修練施設
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による
実施施設
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会
腹部ステントグラフト実施施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・婦人科領域のロボット支援下腹腔鏡手術に関する
委員会 ロボット支援下婦人科良性疾患手術実施施設
- ・日本精神神経学会専門医制度研修施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本形成外科学会専門医制度認定施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
インプラント実施施設
- ・日本医学放射線学会専門医修練機関
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本病理学会登録施設
- ・日本循環器学会専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連
施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本脾臓学会認定指導施設
- ・日本胆道学会指導施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- ・日本アレルギー学会専門医教育施設
- ・日本神経学会専門医制度准教育施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本乳癌学会認定施設
- ・四学会構成浅大腿動脈ステントグラフト実施基準
管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本小児科学会専門医研修施設
- ・日本総合病院精神医学会
一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
- ・日本皮膚科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
エキスパンダー実施施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本IVR学会専門医修練施設
- ・日本ペインクリニック学会指定研修施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設

(2019年3月31日現在)

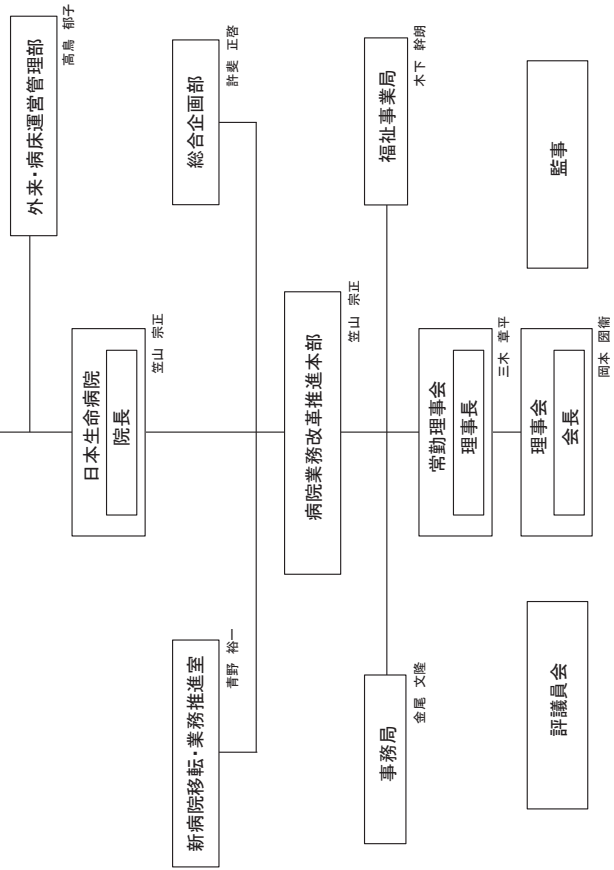
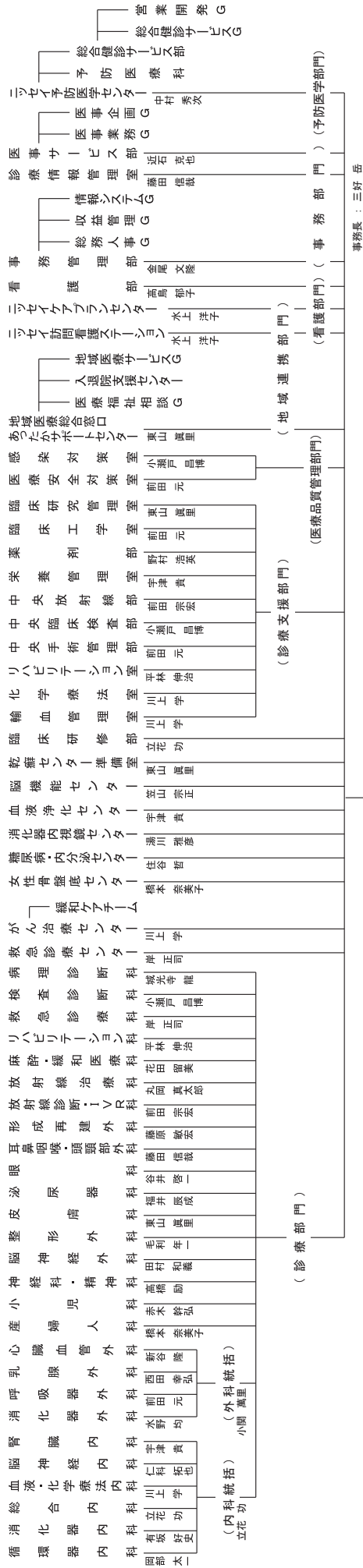
5. 主要医療機器（取得金額1,000万円以上）

品名	設置部署	数量	品名	設置部署	数量
超音波内視鏡	消化器内視鏡センター	1	汎用アンギオグラフィ装置 Allura Clarity FD20	中央放射線部	1
超音波内視鏡観測装置	消化器内視鏡センター	1	マンモグラフィシステム AMULET	中央放射線部	2
超音波診断装置 Aplio i600	予防医学センター	4	自動注射払出機 YS-APF	薬剤部	1
内視鏡本体・スコープ EVIS LUCERA ELITE	消化器内視鏡センター	1	超音波診断装置 VIVID E9 BASIC	中央臨床検査部	1
内視鏡本体・スコープ VP-7000	消化器内視鏡センター	1	超音波診断装置 Aplio i600	中央臨床検査部	1
ステレオ定位乳腺バイオプシーシステム	乳腺外科	1	血液検査分析器 HSトランスポートーション	中央臨床検査部	1
体外衝撃波結石破碎装置 Integra	泌尿器科	1	血液分析装置 XN-3000/XN-1000	中央臨床検査部	1
マルチカラーレーザー光凝固装置	眼科	1	生化学分析装置 LABOSPECT008 a	中央臨床検査部	2
走査型超広角眼底撮影装置 CLARUS	眼科	1	微生物分類同定分析装置 バイテックMS	中央臨床検査部	1
光干渉断層計 (OCT) シラスhd-oct prus	眼科	2	遠心型血液成分分離装置 スペクトラオプティア	中央臨床検査部	1
キャビン型紫外線治療器 UV7002K-TL01	皮膚科	1	自動染色装置 ベンチマークULTRA	中央臨床検査部	1
X線一般撮影装置	中央放射線部・予防医学センター	4	自動検体搬送装置 IDS-CLAS+X-1	中央臨床検査部	1
デジタルX線TVシステム	予防医学センター	5	採血管準備装置 BC・ROBO8001RFID/P62T	中央臨床検査部	1
ポータブル撮影装置	中央放射線部	2	眼科用手術顕微鏡	手術室	1
16列治療計画用CT Aquilion LB	中央放射線部	1	白内障手術装置 センチュリオンビジョンシステム	手術室	1
320列全身用X線CT診断装置 Aquilion ONE	中央放射線部	1	高圧蒸気滅菌器	手術室	2
320列全身用X線CT診断装置 Aquilion ONE/Genesis	中央放射線部	1	過酸化水素ガス滅菌装置	手術室	1
放射線治療システム True Beam	中央放射線部	1	耳鼻咽喉・頭頸部外科用手術顕微鏡 M525 F40	手術室	1
心臓カテーテル検査装置 MCS-9000	中央放射線部	1	手術顕微鏡 OPMI LUMERA	手術室	1
大動脈内バルーンポンプ IABP	中央放射線部	1	手術室用FD搭載Cアーム Cios Alpha iV	手術室	1
X線テレビジョンシステム ZEXIRA	中央放射線部	1	透視下内視鏡用Cアーム VersiFlex VISTA	手術室	1
経皮的心肺補助装置 PCPS	中央放射線部	1	ライカ脳神経外科手術顕微鏡 M530-OHX	手術室	1
1.5テスラ全身用磁気共鳴装置 (MRI) MAGNETOM SYMPHONY	中央放射線部	1	超音波手術装置 CUSA C37-1005	手術室	1
3.0テスラ磁気共鳴断層装置 (MRI) MAGNETOM Skyra	中央放射線部	1	超音波診断装置 Aplio i300	手術室	1
デジタルガンマカメラ	中央放射線部	1	ロボット手術システム da Vinci Xi	手術室	1
PET/CT装置 Discovery IQ.e	中央放射線部	1	腹腔鏡装置 VISERA ELITE II	手術室	5
心臓用アンギオグラフィ装置 Allura Clarity FD10/10	中央放射線部	1			

6. 日本生命済生会 組織図

(2019.3現在)

患者・利用者・家族の皆さん、地域の皆さん、連携医療機関



7. 会議・委員会

会 議

・常勤理事会

理事長所管の下、常勤の理事以上がメンバーとなり、原則として毎週開催し、済生会3部門（病院、予防医学センター、訪問看護ステーション・ケアプランセンター）の基本的運営方針を協議決定する。

この他、会長や外部の理事、監事を交えた定時理事会がある。

・予算理事会 → 3月

・決算理事会 → 事業年度終了後3ヵ月以内に開催される

また評議員会が6月に開催される。

・病院運営会議

理事長の委嘱により院長が主宰し、病院幹部をメンバーとして毎週開催され、日常的な病院運営のテーマについて討議・決定する。

ただし、予算・人員・規則の問題などに関しては、常勤理事会に付議する。

・病院管理診療会議

院長を中心に、病院各科・各部の部長・担当部長、病棟師長以上等をメンバーとし、診療や病院運営に関する事項について協議、意見交換、連絡を行う。

（運営会議、病院管理診療会議ともそれぞれが独立して存在するのではなく、所定の内規の下に、課題を共有し改善を分担してより良く病院機能が発揮されることを基本的精神としている。）

委員会

各種委員会は、理事長または理事長の委嘱を受けた院長の諮問機関として、検討結果を理事会・病院運営会議に答申している。

当年度の設置委員会は次の通り。

委員会名	委員長	開催回数	委員会名	委員長	開催回数
ACLS委員会	中川 厚	11	治験審査委員会	水野 均	11
安全衛生委員会	藤田 信哉	12	TQM推進委員会	毛利 年一	0
医療安全管理委員会	前田 元	12	DPC・質向上委員会	田村 和義	4
医療ガス安全管理委員会	住谷 哲	1	当直・救急・集中治療室検討委員会	岸 正司	6
医療機器・ディスポ検討委員会	笠山 宗正	8	透析機器安全管理委員会	宇津 貴	1
医療従事者業務検討委員会	笠山 宗正	1	7:1看護体制発展推進委員会	高鳥 郁子	1
院内感染対策委員会	小瀬戸昌博	12	日生医学賞顕彰委員会	岡部 太一	1
栄養・給食委員会	宇津 貴	5	年報作成委員会	花田 留美	1
化学療法運営委員会	西田 幸弘	2	病院機能向上委員会	東山 真里	2
教育委員会	立花 功	1	防災管理委員会	有坂 好史	4
クリティカルパス委員会	福井 辰成	1	放射線安全委員会	前田 宗宏	1
研修推進委員会	立花 功	3	訪問看護運営委員会	高鳥 郁子	1
研修管理委員会	笠山 宗正	1	薬事管理委員会	笠山 宗正	4
サービス・広報委員会	三好 岳	12	輸血療法委員会	川上 学	6
情報管理委員会	平林 伸治	1	臨床検査適正化委員会	内藤 博昭	4
褥瘡対策委員会	藤原 敏宏	2	臨床工学室運営委員会	前田 元	6
診療情報提供委員会	高橋 励	0	倫理委員会	中村 秀次	12
診療録管理委員会	橋本奈美子	14			

8. 2018年度 業績概要

総 収 入	10,811百万円 (9,535百万円)*		
新 入 院 患 者 数	8,746人	平 均 在 院 日 数	11.2日
入 院 患 者 数 (1日平均)	291人	入 院 単 価	58,951円
病 床 稼 働 率	83.1%		
外 来 延 患 者 数	240,519人	外 来 単 価	14,266円
外来患者数(1日平均)	978人		
紹 介 率	73.1%	逆 紹 介 率	92.0%

* () 内は病院単独

9. 日本生命済生会（日本生命病院）の沿革

1924年7月	財団法人「日本生命済生会」設立	1972	4	臨床研修指定病院の認定受ける	
1925	4	健康相談所（無料診療所）を開設 大地震に救護班派遣	1973	2	「日生病院医学雑誌」第1巻第1号を刊行
1930	6	緒方病院の土地、建物を譲り受け （大阪市西区新町）	1973	3	紀要「地域福祉研究」第1集刊
1931	6	日生病院（内科、外科、理学的診療科） 開院	1973	4	放射線学会「専門医修練機関」認定
1932	4	看護婦養成所を設立	1973	9	病歴図書部を新設
1932	7	産婦人科、小児科を新設	1973	10	超音波検査部「超音波カラー診断装置」 開発で機械振興会賞を受賞
1942	1	耳鼻咽喉科を新設	1974	7	創立50周年記念式典、50年史の編纂 （1979年発刊）
1947	1	眼科新設（その後皮膚泌尿器科、歯科、 整形外科新設）	1976	1	RI検査室を新設
1947	4	インターン制度の開始 （第1期生9名受入れ）	1978	3	「（新）病院建築基本構想委員会」設置
1948	9	健康保険、労災保険病院の指定受ける	1978	4	学校、高等看護学院から看護専門学校へ 昇格
1949	7	結核病棟を設置（1973年8月、閉鎖）	1979	4	医療事務をコンピュータ化
1955	12	第二種社会福祉事業（無料低額診療）を 開始	1982	4	新病院（現在地）の竣工、開院
1956	1	日生病院、本館、別館につづき新館竣工 （350床へ）	1983	3	日本生命と第一回特別委員会 （5ヵ年計画策定）
1956	6	健康精密検査室（人間ドック）を開設	1984	3	全科で午後外来診療を開始
1957	8	総合病院の認可受ける	1984	4	社会事業局を福祉事業部に改組
1958	4	済生会組織、三部門体制へ （現行体制スタート）	1985	4	病理部を再設置
1958	10	甲表採用、三基準認可	1987	12	HBS社（医療経営コンサルト）の診断を 受ける
1959	10	神経科新設	1988	10	横井先生、第5回世界超音波医学学術連合 会議からパイオニア賞を受賞
1960	4	学校、准看護学院から高等看護学院 （正看護婦養成）へ	1989	2	夕食を午後6時配膳
1961	6	日本生命済生会労働組合の結成	1989	10	専門外来（10科）開始
1965	8	各診療科に部長制採用	1989	11	自動再診受付機を設置
1967	10	中央検査室を「臨床検査センター」へ 拡大、充実	1990	10	学校、創立30周年記念式典
1968	8	第1回「社会福祉カウンセリング講座」 開講	1991	4	4週6休制試行開始
1969	4	沖中重雄氏（虎の門病院長）を顧問委嘱	1991	10	地域の「健康講座」に講師派遣
1970	9	第1回「篤志解剖者慰霊祭」執行	1992	6	外科、世界内視鏡外科学会で受賞
1971	4	給与体系、退職金規定改正、 60歳定年制施行	1993	2	「病院運営会議」を再開
			1993	4	MRIの稼働開始
			1993	6	全病棟「特Ⅲ類基準看護」の資格獲得
			1993	10	内科、産婦人科、人間ドックの外来領域 リフォーム工事完成

1994	3	内科外来等で予約診療開始	2005	3	電子カルテシステム稼動
1994	7	創立70周年記念式典、諸行事実施 (7～11月)、70年史の編纂開始	2006	4	血液・化学療法内科新設
1994	10	脳ドック検診開始	2006	7	DPC導入(入院医療費)
1994	10	新看護体系「2:1(A)」の承認	2007	2	土曜日閉院 4週8休制開始
1994	11	無菌治療室設置、使用開始	2007	3	7対1入院基本料算定開始
1995	2	保温保冷配膳車導入	2007	3	日生看護専門学校閉校
1995	8	日生医学賞・医学奨励賞創設、 第1回表彰式実施	2007	11	がん治療センター、低侵襲医療センター 開設
1995	8	山本前院長、和漢医薬学会から学会賞受賞	2008	4	ニッセイ総合健診クリニックオープン
1996	5	総合案内・看護相談の試行実施	2008	7	生活習慣病センター開設
1996	10	「歯科口腔外科」標榜	2008	10	乳腺外科新設
1997	2	経営改善推進本部・部会の発足	2009	3	第1回日生病院市民公開講座開催
1997	3	歯科臨床教育病院の新規指定	2009	4	大阪府がん診療拠点病院に指定
1997	3	疾病分類包括支払研究プロジェクト (医療経済研究機構)に選ばれ、参加 (全国17モデル病院)	2010	8	無料乳がん検診開始
1998	2	「日生病院だより」創刊号発行	2011	4	消化器内視鏡センター開設
1998	5	総合診療科機能発足	2012	1	厚生労働省より先進医療「腹腔鏡下子宮体 がん根治手術」(産婦人科)が承認される
1998	7・8	DRG/PPS分析結果報告会開催	2012	4	公益財団法人へ移行
1998	11	院外処方箋発行開始	2012	4	地域医療総合窓口 あったかサポートセンター創設
1998	11	薬剤管理指導料全科算定認可	2012	4	生活習慣病センターから糖尿病センターへ 組織名称変更
1999	3	医療材料院外SPD(物品管理システム) 始動	2012	4	厚生労働省より先進医療「前眼部三次元画 像解析」(眼科)が承認される
1999	7	インフラ工事開始 (2000年4月:3階新病棟オープン)	2012	8	320列マルチスライスCT導入
2000	3	日生訪問看護ステーションを開設	2013	4	新病院新設準備室の新設
2000	4	日生ケアプランセンター設置	2013	4	予防医学センターで「統合健診システム」 の稼働
2001	4	病院機能評価認定証取得	2013	5	厚生労働省より先進医療「腹腔鏡下仙骨膣 固定術」(産婦人科)が承認される
2001	4	「日生病院の理念」制定、「患者様の権利」 院内掲示	2013	12	ニッセイ緑の財団との共催イベント「自然 に学ぶ!自然に遊ぶ!健康キッズ」開催
2001	6	公開学術講演会開催 (講師:北村国立循環器病センター総長)	2014	1	広報誌「日生病院あったかサポート通信 『Saisei Rimin(済生利民)』」を発刊
2001	7	第1回日生病院病診連携フォーラム開催	2014	1	「金融コンシェルジュ」相談窓口開設
2002	1	開放型病院資格取得	2014	4	「変革4ヵ年計画」がスタート
2003	4	医療安全対策室設置	2014	4	病院業務改革推進本部、外来・病床運営管 理部、女性骨盤底センター、救急診療セン ター、中央放射線部、事務管理部の新設
2003	4	予防医学センター設置	2014	4	日本産科婦人科内視鏡学会 施設認定
2004	2	内科二次救急指定病院取得			

2014	5	新電子カルテシステムが全面稼働	2016	4	耳鼻咽喉科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に改組
2014	7	日本生命済生会 創立90周年「90年小史」作成	2016	4	内科統括・外科統括職制の新設
2014	9	「ウィークエンド糖尿病精査入院」開始	2016	6	日本総合病院精神医学会 施設認定
2015	1	日本呼吸器内視鏡学会 施設認定	2016	7	腎臓・透析センター、腎臓内科を新設
2015	4	中央手術管理部の新設	2016	7	「入退院支援センター」をあったかサポートセンター内に設置
2015	6	胃がんのESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を再開	2016	10	日本大腸肛門病学会 施設認定
2015	7	新病院開設許可受ける	2016	11	日本消化管学会 施設認定
2015	9	休日診療の試験実施（9月23日、11月23日）	2016	12	新病院上棟式
2015	10	新病院着工	2017	3	日本胆道学会 施設認定
2015	11	食道がんのESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を再開	2017	4	形成再建外科、リハビリテーション科、心臓血管外科、放射線治療科を新設
2016	1	呼吸器外科新設	2017	4	日本腎臓学会 施設認定
2016	3	日本産科婦人科学会の倫理委員会で承認された、不妊治療の臨床研究に係る卵巣ミトコンドリア採取手術を開始	2017	5	日本婦人科腫瘍学会 施設認定
			2018	1	日本呼吸器外科学会 施設認定
			2018	2	「地域医療支援病院」として大阪府より承認

（2018年度沿革）

2018年4月1日	日本ペインクリニック学会 施設認定
2018年4月7日	新病院内覧記念式典、内覧会（4月7～8日）
2018年4月30日	「日本生命病院」に改称し、江之子島へ移転・開院
2018年5月1日	外来診療開始
2018年6月20日	ダヴィンチによる手術開始
2018年10月31日	みどりのまちづくり賞 大阪府知事賞受賞
2018年11月1日	神経内科を脳神経内科に改組
2018年12月1日	「スマートフォン診察呼出アプリ」の運用開始
2019年1月1日	日本脾臓学会 施設認定

10. 日本生命済生会歴代会長、歴代理事長、日本生命病院歴代院長

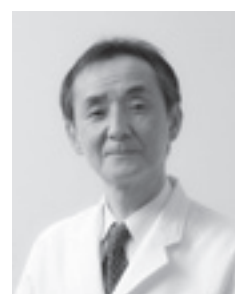
設立時の常任理事	小河 滋次郎	1924年～1925年
日本生命済生会 会 長	弘世 現	1960年～1991年
	川瀬 源太郎	1991年～2000年
	小林 幹司	2000年～2005年
	宇野 郁夫	2005年～2016年
	岡本 罔衛	2016年～
日本生命済生会 理 事 長	手塚 太郎	1925年～1932年
	弘世 助太郎	1932年～1936年
	成瀬 達	1936年～1951年
	弘世 現	1951年～1960年
	若林 源蔵	1960年～1968年
	浜田 勝巳	1968年～1980年
	浅井 啓三	1980年～1986年
	鳥井 静夫	1986年～1992年
	弟子丸 兆生	1992年～1994年
	平島 一	1994年～1996年
	沼田 輝夫	1996年～2002年
	小林 三紘	2002年～2008年
	野崎 篤彦	2008年～2018年
	三木 章平	2018年～
日本生命病院 院 長	長雄 勝馬	1931年～1937年
	清水 寛一	1937年～1946年
	勝部 育郎	1946年～1948年
	新海 輝一	1948年～1971年
	諏訪 信吾	1971年～1974年
	上野 元男	1974年、1976年～1977年
	乾 久朗	1974年～1976年
	中井 俊夫	1977年～1990年
	山本 昌弘	1990年～2000年
	佐藤 文三	2000年～2004年
	宗田 滋夫	2004年～2008年
	寺川 直樹	2008年～2013年
	笠山 宗正	2013年～



会長 岡本 罔衛



理事長 三木 章平



院長 笠山 宗正

1. 全体統計

1 一日平均外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計平均
循環器内科	64 (59)	53 (54)	54 (57)	56 (60)	56 (56)	55 (58)	58 (63)	56 (61)	64 (65)	58 (59)	57 (62)	60 (63)	57 (60)
消化器内科	71 (65)	64 (66)	67 (65)	78 (70)	73 (67)	78 (71)	78 (73)	76 (73)	83 (70)	75 (70)	85 (75)	83 (71)	76 (70)
総合内科	178 (161)	170 (164)	172 (165)	174 (177)	164 (168)	174 (171)	179 (174)	183 (186)	196 (177)	189 (182)	185 (181)	183 (177)	179 (173)
血液・化学療法内科	28 (26)	28 (30)	27 (27)	29 (28)	26 (29)	30 (26)	29 (29)	29 (29)	30 (26)	30 (27)	29 (26)	30 (29)	29 (28)
神経内科 (脳神経内科)	27 (25)	26 (25)	24 (23)	28 (27)	24 (25)	28 (25)	27 (28)	28 (26)	27 (25)	28 (28)	26 (23)	27 (28)	27 (26)
腎臓内科	14 (6)	15 (7)	13 (7)	18 (9)	16 (10)	18 (11)	18 (12)	19 (12)	19 (13)	19 (14)	20 (13)	19 (15)	17 (11)
内 科 (計)	382 (342)	355 (348)	357 (343)	383 (371)	360 (355)	382 (362)	389 (379)	391 (386)	419 (376)	400 (382)	401 (380)	402 (383)	384 (367)
消化器外科	14 (16)	16 (17)	17 (15)	15 (16)	16 (14)	17 (16)	19 (17)	20 (15)	21 (14)	20 (15)	20 (14)	20 (16)	18 (15)
呼吸器外科	2 (2)	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (2)	2 (2)	3 (2)	3 (2)	2 (1)	2 (3)	2 (2)
乳腺外科	18 (17)	17 (17)	17 (18)	18 (17)	16 (18)	18 (20)	19 (18)	18 (19)	19 (17)	18 (18)	19 (17)	20 (17)	18 (18)
心臓血管外科	1 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	4 (0)	4 (1)	3 (0)	4 (0)	4 (0)	3 (0)	4 (1)	3 (0)
外 科 (計)	35 (35)	38 (35)	38 (35)	40 (35)	37 (34)	41 (38)	45 (37)	43 (36)	47 (33)	45 (35)	44 (33)	46 (36)	41 (35)
産婦人科	93 (82)	90 (87)	98 (81)	98 (84)	96 (82)	101 (81)	96 (88)	90 (91)	101 (89)	86 (86)	88 (90)	89 (94)	94 (86)
小児科	34 (27)	34 (31)	34 (32)	37 (32)	32 (29)	35 (30)	36 (29)	38 (35)	41 (38)	36 (33)	36 (34)	42 (36)	36 (32)
神経科・精神科	60 (58)	55 (59)	54 (54)	58 (63)	53 (58)	57 (57)	55 (61)	61 (61)	62 (57)	60 (63)	57 (59)	63 (59)	58 (59)
脳神経外科	1 —	2 —	3 —	3 —	4 —	3 —	3 —	3 —	3 —	3 —	3 —	4 —	3 —
整形外科	56 (56)	55 (58)	54 (53)	60 (55)	51 (57)	58 (55)	58 (57)	56 (53)	55 (55)	55 (56)	52 (54)	55 (56)	55 (55)
皮膚科	93 (94)	91 (101)	89 (94)	96 (99)	88 (99)	90 (96)	89 (94)	87 (102)	90 (91)	84 (95)	82 (96)	90 (99)	89 (96)
泌尿器科	46 (94)	42 (101)	41 (94)	46 (99)	44 (99)	48 (96)	46 (94)	47 (102)	50 (91)	47 (95)	47 (96)	50 (99)	46 (96)
眼 科	40 (30)	41 (31)	44 (29)	41 (29)	40 (29)	44 (31)	43 (32)	42 (36)	44 (36)	43 (35)	44 (40)	45 (42)	42 (33)
耳鼻咽喉・頭頸部外科	45 (45)	41 (47)	45 (45)	45 (39)	40 (41)	45 (40)	44 (42)	45 (41)	51 (44)	44 (40)	47 (43)	54 (46)	45 (43)
形成再建外科	13 (6)	10 (9)	9 (9)	12 (12)	10 (12)	11 (13)	12 (11)	12 (12)	15 (14)	12 (12)	10 (13)	15 (12)	12 (11)
放射線診断科	4 (10)	5 (5)	5 (6)	7 (5)	5 (5)	6 (5)	5 (5)	5 (4)	4 (4)	5 (4)	5 (4)	6 (5)	5 (5)
放射線治療科	3 (10)	5 (7)	8 (13)	6 (11)	5 (4)	6 (9)	7 (13)	11 (12)	12 (9)	9 (6)	11 (9)	13 (5)	(8) (9)
麻酔・緩和医療科	19 (21)	16 (25)	17 (22)	19 (21)	17 (22)	16 (21)	20 (22)	19 (21)	18 (21)	16 (19)	18 (20)	20 (21)	18 (21)
リハビリテーション科	13 (4)	10 (13)	13 (15)	18 (18)	13 (17)	13 (15)	11 (14)	13 (13)	16 (16)	20 (15)	13 (13)	15 (14)	14 (14)
救急診療科	9 (23)	6 (24)	6 (17)	6 (13)	6 (10)	6 (9)	6 (9)	5 (10)	7 (12)	6 (13)	6 (11)	7 (11)	6 (14)
糖尿病・ 内分泌センター	5 (5)	12 (5)	13 (5)	17 (6)	15 (5)	17 (5)	19 (6)	16 (6)	15 (5)	17 (6)	16 (5)	15 (5)	16 (5)
血液浄化センター	1 (1)	3 (1)	4 (1)	3 (1)	3 (1)	4 (1)	5 (1)	4 (1)	6 (1)	7 (1)	7 (1)	8 (0)	5 (1)
その他	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	954 (901)	911 (926)	932 (865)	994 (890)	919 (821)	985 (913)	990 (951)	987 (964)	1,057 (951)	992 (824)	988 (949)	1,039 (971)	978 (934)

(注) 1. 数値は小数第1位四捨五入

2. () 内は前年同月

3. 脳神経外科 2018.4.1～

[医事サービス部]

2 一日平均入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計平均
循環器内科	20 (28)	18 (29)	23 (30)	23 (31)	25 (28)	23 (36)	22 (27)	26 (26)	24 (29)	26 (32)	27 (32)	21 (25)	23 (29)
消化器内科	19 (30)	20 (27)	21 (22)	24 (24)	34 (30)	24 (25)	23 (28)	21 (34)	24 (23)	26 (27)	26 (25)	26 (24)	24 (27)
総合内科	39 (56)	31 (45)	48 (38)	56 (41)	49 (49)	46 (46)	44 (42)	48 (44)	42 (43)	48 (45)	62 (55)	54 (49)	47 (46)
血液・化学療法内科	28 (27)	26 (23)	25 (25)	23 (25)	29 (21)	24 (22)	23 (22)	21 (22)	20 (24)	26 (21)	25 (25)	20 (21)	24 (23)
神経内科 (脳神経内科)	14 (15)	8 (13)	15 (13)	16 (16)	15 (15)	15 (16)	11 (14)	13 (19)	11 (13)	10 (10)	12 (14)	11 (14)	12 (15)
腎臓内科	8 (6)	11 (8)	10 (8)	10 (10)	10 (8)	11 (8)	10 (9)	10 (16)	7 (12)	8 (14)	8 (11)	9 (10)	9 (10)
内科(計)	137 (157)	115 (147)	142 (137)	166 (166)	161 (149)	144 (155)	133 (143)	138 (152)	129 (144)	143 (150)	160 (163)	165 (157)	140 (150)
消化器外科	18 (13)	17 (13)	18 (13)	19 (16)	13 (16)	18 (17)	20 (13)	19 (15)	20 (19)	18 (19)	22 (22)	23 (19)	19 (16)
呼吸器外科	1 (2)	1 (2)	1 (1)	1 (2)	1 (2)	2 (3)	2 (2)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (2)	2 (1)	1 (2)
乳腺外科	4 (4)	3 (3)	3 (4)	4 (4)	4 (5)	4 (4)	5 (6)	5 (5)	2 (3)	2 (4)	6 (5)	6 (4)	4 (4)
心臓血管外科	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)
外科(計)	24 (18)	22 (19)	23 (19)	27 (23)	21 (19)	26 (19)	28 (18)	28 (19)	28 (22)	23 (25)	30 (26)	33 (25)	26 (22)
産婦人科	33 (34)	24 (30)	37 (34)	32 (38)	33 (37)	37 (31)	36 (32)	35 (32)	39 (37)	36 (28)	40 (31)	6 (35)	35 (33)
小児科	8 (11)	5 (9)	8 (9)	7 (11)	7 (8)	10 (8)	8 (6)	7 (8)	8 (6)	6 (4)	7 (8)	33 (8)	7 (8)
神経科・精神科	9 (7)	10 (10)	9 (13)	8 (12)	9 (10)	6 (13)	6 (9)	8 (5)	8 (9)	7 (9)	7 (12)	9 (10)	8 (10)
脳神経外科	0 (-)	1 (-)	2 (-)	3 (-)	2 (-)	3 (-)	2 (-)	4 (-)	5 (-)	6 (-)	7 (-)	3 (-)	3 (-)
整形外科	25 (24)	24 (27)	33 (32)	33 (29)	26 (25)	23 (26)	26 (24)	30 (28)	30 (26)	29 (26)	31 (32)	27 (32)	28 (28)
皮膚科	7 (11)	10 (10)	9 (10)	6 (9)	10 (11)	10 (15)	12 (9)	10 (9)	8 (8)	5 (11)	7 (10)	11 (11)	9 (10)
泌尿器科	12 (14)	12 (12)	10 (11)	11 (10)	12 (9)	11 (8)	8 (9)	10 (7)	7 (7)	6 (8)	8 (8)	7 (12)	9 (10)
眼科	1 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	3 (1)
耳鼻咽喉・頭頸部外科	5 (10)	3 (6)	5 (8)	6 (8)	6 (6)	5 (5)	5 (8)	5 (6)	4 (5)	5 (4)	6 (4)	6 (5)	5 (6)
形成再建外科	2 (1)	2 (2)	4 (2)	4 (4)	4 (3)	2 (2)	2 (4)	2 (5)	3 (5)	3 (2)	4 (3)	4 (3)	3 (3)
放射線診断・IVR科	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
放射線治療科	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
麻酔・緩和医療科	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
リハビリテーション科	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(1) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)	(0) (0)
救急診療科	9 (6)	7 (8)	10 (11)	14 (10)	18 (11)	15 (10)	12 (16)	15 (13)	20 (17)	23 (18)	25 (17)	24 (14)	16 (13)
合計	263 (299)	234 (278)	295 (285)	303 (298)	310 (293)	292 (296)	279 (282)	295 (297)	290 (289)	295 (284)	335 (316)	305 (298)	291 (293)

(注) 1. 数値は小数第1位四捨五入

2. () 内は前年同月

3. 脳神経外科 2018.4.1～

[医事サービス部]

3 患者年齢・診療圏構成

外来 年齢階級	年度	総数	大阪市内訳（主要区）										
			他府県	大阪府下	大阪市	西区	港区	大正区	住之江区	浪速区	中央区	福島区	その他の区
0～9	2013	2,255	85	47	2,123	1,456	310	58	68	63	23	43	102
	2014	2,161	61	51	2,049	1,397	278	62	62	72	22	46	110
	2015	2,092	75	48	1,969	1,293	293	52	82	76	30	42	101
	2016	1,894	56	47	1,791	1,190	271	44	103	59	30	29	65
	2017	1,771	55	44	1,672	1,144	216	37	118	50	28	21	58
	2018	1,909	68	42	1,799	1,147	234	38	155	69	30	37	89
10～19	2013	601	27	29	545	307	93	44	28	23	5	8	37
	2014	587	32	30	525	301	80	42	24	26	9	7	36
	2015	635	33	35	567	324	73	42	42	23	9	4	50
	2016	604	31	32	541	289	97	48	35	20	8	6	38
	2017	600	39	43	518	271	91	44	29	22	9	9	46
	2018	647	30	56	561	299	92	33	37	24	17	6	53
20～29	2013	2,280	264	302	1,714	838	207	91	65	113	82	58	260
	2014	2,235	270	303	1,662	818	207	89	61	108	85	47	247
	2015	2,254	255	303	1,696	791	222	88	61	112	105	44	273
	2016	2,444	317	365	1,762	792	235	88	67	115	106	49	310
	2017	2,293	284	334	1,675	809	181	73	77	139	89	38	269
	2018	2,246	281	334	1,631	788	182	88	60	108	73	55	277
30～39	2013	4,259	381	588	3,290	1,645	377	173	125	167	142	115	546
	2014	4,137	403	578	3,156	1,562	362	157	133	171	146	127	498
	2015	4,221	420	604	3,197	1,528	369	155	148	168	171	121	537
	2016	4,363	436	638	3,289	1,573	360	184	168	199	199	110	496
	2017	4,289	454	640	3,195	1,522	352	156	125	193	183	120	544
	2018	4,122	421	605	3,096	1,404	324	159	143	222	173	124	547
40～49	2013	4,997	612	1,020	3,365	1,233	544	276	155	135	126	126	770
	2014	5,077	653	1,000	3,424	1,229	549	269	134	133	139	137	834
	2015	5,541	718	1,152	3,671	1,340	561	328	153	162	161	123	843
	2016	5,806	722	1,245	3,839	1,385	607	341	169	162	156	140	879
	2017	5,870	689	1,283	3,898	1,417	568	288	181	180	197	149	918
	2018	5,695	671	1,147	3,877	1,427	575	296	183	171	192	150	883
50～59	2013	4,218	646	881	2,691	949	431	277	148	119	104	72	591
	2014	4,555	719	980	2,856	990	453	279	164	122	114	71	663
	2015	4,722	748	985	2,989	988	504	309	175	127	104	92	690
	2016	4,978	782	1,014	3,182	1,063	522	288	202	131	120	110	746
	2017	5,103	772	1,068	3,263	1,025	559	301	196	135	127	107	813
	2018	5,377	817	1,120	3,440	1,134	597	309	185	140	144	117	814
60～69	2013	5,769	816	1,090	3,863	1,482	556	500	263	201	102	75	684
	2014	5,725	798	1,068	3,859	1,451	589	495	278	207	105	69	665
	2015	5,789	784	1,061	3,944	1,441	600	511	308	196	113	71	704
	2016	5,883	771	1,072	4,040	1,423	654	524	330	200	116	79	714
	2017	5,633	761	1,046	3,826	1,333	618	475	330	194	129	70	677
	2018	5,512	747	986	3,779	1,300	646	435	327	177	121	76	697
70～79	2013	5,085	472	832	3,781	1,416	700	515	180	215	77	70	608
	2014	4,990	464	794	3,732	1,376	713	511	200	193	86	65	588
	2015	4,891	446	721	3,724	1,322	717	533	233	203	87	66	563
	2016	5,143	473	736	3,934	1,371	796	554	276	199	87	64	587
	2017	5,466	553	788	4,125	1,398	826	572	292	207	119	81	630
	2018	5,947	560	862	4,525	1,525	915	598	354	253	128	93	659
80～89	2013	2,539	171	309	2,059	801	356	265	82	121	74	32	328
	2014	2,574	179	280	2,115	798	388	276	86	120	66	43	338
	2015	2,718	184	275	2,259	852	414	275	96	130	73	50	369
	2016	2,834	186	294	2,354	901	450	296	117	125	73	47	345
	2017	2,887	194	328	2,365	891	482	285	109	117	56	56	369
	2018	3,094	213	308	2,573	950	573	295	138	114	81	59	363
90以上	2013	328	16	24	288	143	46	30	3	16	8	7	35
	2014	377	19	25	333	138	58	45	10	18	16	8	40
	2015	432	19	25	388	153	69	47	10	33	18	9	49
	2016	485	20	31	434	176	87	43	21	32	22	12	41
	2017	473	25	35	413	184	70	40	13	28	24	13	41
	2018	519	31	35	453	195	79	48	18	25	23	13	52
総計	2013	32,331	3,490	5,122	23,719	10,270	3,620	2,229	1,117	1,173	743	606	3,961
	2014	32,418	3,598	5,109	23,711	10,060	3,677	2,225	1,152	1,170	788	620	4,019
	2015	33,295	3,682	5,209	24,404	10,032	3,822	2,340	1,308	1,230	871	622	4,179
	2016	34,434	3,794	5,474	25,166	10,163	4,079	2,410	1,488	1,242	917	646	4,221
	2017	34,385	3,826	5,609	24,905	9,994	3,963	2,271	1,470	1,265	958	664	4,365
	2018	35,068	3,839	5,495	25,734	10,169	4,217	2,299	1,600	1,303	982	730	4,434

[診療情報管理室]

入院 年齢階級	年度	総数	大阪市内訳（主要区）										
			他府県	大阪府下	大阪市	西区	港区	大正区	住之江区	浪速区	中央区	福島区	その他の区
0～9	2013	168	9	1	158	101	27	27	4	10	3	5	4
	2014	319	16	9	294	165	70	70	12	10	9	5	17
	2015	481	21	17	443	285	84	9	16	14	7	7	21
	2016	433	16	11	406	228	100	7	27	12	7	13	12
	2017	374	19	5	350	199	87	1	39	4	6	2	12
	2018	374	19	8	347	196	61	9	36	13	4	8	20
10～19	2013	52	3	2	47	19	12	12	7	2	2	2	2
	2014	56	1	3	52	22	7	7	8	5	2	1	7
	2015	74	4	4	66	25	11	12	3	5	1	0	9
	2016	74	6	6	62	26	14	5	4	5	4	1	3
	2017	65	9	4	52	21	13	7	3	2	1	0	5
	2018	64	4	6	54	28	6	4	3	1	1	2	9
20～29	2013	367	38	39	290	114	51	51	22	14	15	16	42
	2014	433	48	50	335	135	50	50	23	18	28	13	52
	2015	410	49	44	317	109	54	23	10	30	20	11	60
	2016	466	61	75	330	107	54	17	21	22	22	15	72
	2017	454	78	87	289	100	37	16	19	27	18	11	61
	2018	465	56	67	342	140	35	23	23	27	18	16	60
30～39	2013	867	84	99	684	290	115	115	39	36	33	36	99
	2014	840	68	111	661	324	87	87	28	29	27	36	97
	2015	925	91	120	714	303	105	38	27	44	31	34	132
	2016	869	83	134	652	265	84	35	42	52	42	32	100
	2017	802	87	135	580	257	65	23	22	38	37	37	101
	2018	914	85	122	707	295	86	24	40	46	41	35	140
40～49	2013	785	78	162	545	164	96	96	52	23	23	23	136
	2014	903	113	180	610	195	92	92	63	27	24	25	161
	2015	907	104	191	612	191	87	77	28	29	38	27	135
	2016	823	91	196	536	167	85	45	21	29	26	27	136
	2017	870	99	189	582	172	82	54	38	32	47	22	135
	2018	828	85	185	558	180	90	41	30	24	35	17	141
50～59	2013	584	78	128	378	129	55	55	41	22	16	18	85
	2014	655	86	130	439	146	67	68	47	30	19	20	100
	2015	618	77	109	432	151	78	45	25	19	15	15	84
	2016	534	63	95	376	110	71	43	25	17	14	10	86
	2017	567	59	97	411	111	93	46	27	25	21	9	79
	2018	620	72	117	431	141	84	44	27	20	15	19	81
60～69	2013	1,050	118	223	709	229	104	104	106	60	18	40	141
	2014	1,037	139	167	731	257	129	125	87	49	46	25	131
	2015	967	97	152	718	223	127	110	62	41	19	10	126
	2016	857	89	109	659	217	124	86	63	36	15	11	107
	2017	874	73	132	669	221	121	86	66	31	16	12	116
	2018	866	83	127	656	212	130	74	57	36	17	11	119
70～79	2013	1,271	105	234	932	318	191	191	121	41	13	60	169
	2014	1,275	79	187	1,009	350	194	196	147	62	54	27	158
	2015	1,191	82	145	964	299	201	131	74	69	19	20	151
	2016	1,042	73	110	859	277	191	123	68	52	12	10	126
	2017	1,221	73	139	1,009	304	218	161	61	71	28	17	149
	2018	1,335	90	155	1,090	336	264	146	82	58	29	21	154
80～89	2013	790	47	103	640	230	106	106	84	34	24	42	111
	2014	845	38	84	723	243	125	126	102	36	52	22	126
	2015	857	41	79	737	255	129	110	31	55	24	14	119
	2016	810	33	72	705	260	133	97	41	44	21	11	98
	2017	897	47	75	775	279	161	92	43	48	25	15	112
	2018	973	45	77	851	314	192	96	60	34	29	19	107
90以上	2013	128	5	10	113	53	14	14	12	3	6	8	14
	2014	177	12	12	153	61	27	27	20	6	12	6	20
	2015	188	6	9	173	57	32	24	8	20	6	1	25
	2016	200	8	7	185	72	33	19	13	18	11	2	17
	2017	217	11	11	195	89	32	19	10	12	9	1	23
	2018	216	14	8	194	83	29	18	8	13	12	1	30
総計	2013	6,062	565	1,001	4,496	1,647	771	771	488	245	153	250	803
	2014	6,540	600	933	5,007	1,898	719	848	537	272	273	180	869
	2015	6,618	572	870	5,176	1,898	908	579	284	326	180	139	862
	2016	6,108	523	815	4,770	1,729	889	477	325	287	174	132	757
	2017	6,341	555	874	4,912	1,753	909	505	328	290	208	126	793
	2018	6,655	553	872	5,230	1,925	977	479	366	272	201	149	861

[診療情報管理室]

4 病床稼働率

		定床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 平均	前年度 累計平均
7階	1日平均患者数(人)	41	-	29人	38人	35人	38人	38人	37人	37人	40人	36人	40人	35人	34人	-
	稼働率(%)		-	70.2%	92.7%	86.5%	91.9%	93.3%	90.8%	90.2%	96.7%	86.9%	97.0%	85.6%	81.8%	-
8階	1日平均患者数(人)	44	-	27	36	37	40	35	34	35	34	37	42	38	33	-
	稼働率(%)		-	61.7	82.9	85.1	90.2	80.0	76.8	79.5	78.4	83.0	96.0	86.0	75.0	-
9階	1日平均患者数(人)	43	-	34	36	35	39	35	34	35	33	37	42	37	33	-
	稼働率(%)		-	78.4	83.3	82.0	89.7	81.5	79.8	80.3	77.7	85.8	97.0	85.4	76.8	-
10階	1日平均患者数(人)	42	-	33	36	38	36	36	34	37	36	35	41	39	33	-
	稼働率(%)		-	79.6	85.3	91.6	86.1	85.2	81.4	88.1	86.1	82.7	96.9	92.0	79.6	-
11階	1日平均患者数(人)	43	-	20	36	38	41	36	36	40	37	38	43	39	34	-
	稼働率(%)		-	46.7	84.8	87.5	94.7	84.0	82.8	93.6	86.3	87.3	100.5	91.8	78.3	-
12階	1日平均患者数(人)	44	-	33	40	41	39	37	34	37	37	39	43	39	35	-
	稼働率(%)		-	74.5	89.8	93.0	89.0	83.3	78.0	83.3	84.9	88.0	96.8	89.4	79.2	-
13階	1日平均患者数(人)	43	-	26	36	39	39	37	36	37	36	36	43	39	34	-
	稼働率(%)		-	60.2	83.5	90.5	90.0	86.4	83.3	85.7	82.7	84.2	99.3	91.7	78.1	-
14階	1日平均患者数(人)	42	-	31	34	37	38	36	32	36	34	36	41	36	32	-
	稼働率(%)		-	74.3	81.7	87.9	89.4	84.8	77.3	84.8	81.0	85.6	96.9	84.6	77.4	-
小計	1日平均患者数(人)	342	-	233	292	301	308	290	278	293	288	292	334	302	268	-
	稼働率(%)		-	68.1	85.5	88.0	90.1	84.7	81.2	85.6	84.1	85.5	97.5	88.3	78.2	-
集中治療室	1日平均患者数(人)	8	-	1	2	2	2	2	2	2	2	3	2	3	2	-
	稼働率(%)		-	16.9	29.2	29.0	23.0	24.2	21.8	30.0	31.0	34.7	23.2	37.1	25.0	-
計	1日平均患者数(人)	350	-	234	295	303	310	292	279	295	290	295	335	305	270	-
	稼働率(%)		-	67.0	84.2	86.7	88.6	83.4	79.9	84.4	82.9	84.3	95.8	87.2	77.0	-

(注) 1. 4月 移転によりデータなし

[医事サービス部]

2. 前年度累計平均 移転による病棟再編のためデータなし

5 救急患者数

	人 数													(内、入 院 数)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	入院計
循環器内科	29 (7)	33 (9)	22 (8)	43 (10)	35 (14)	25 (10)	26 (9)	25 (11)	35 (12)	35 (14)	26 (9)	19 (5)	353 (118)	11 (2)	21 (7)	14 (5)	25 (7)	27 (11)	17 (7)	23 (7)	17 (8)	21 (8)	25 (9)	17 (6)	14 (4)	232 (81)
消化器内科	42 (10)	38 (10)	37 (7)	47 (10)	41 (12)	26 (5)	39 (11)	35 (8)	43 (8)	35 (8)	40 (12)	50 (11)	473 (112)	35 (7)	35 (9)	31 (5)	40 (8)	39 (12)	21 (4)	33 (7)	32 (7)	40 (8)	29 (7)	33 (9)	43 (9)	411 (92)
総合内科	64 (10)	70 (26)	60 (15)	87 (30)	59 (22)	54 (16)	64 (22)	75 (21)	72 (25)	101 (27)	62 (12)	54 (22)	822 (248)	28 (7)	46 (23)	46 (11)	58 (21)	45 (19)	37 (11)	44 (13)	48 (14)	46 (18)	70 (19)	45 (10)	36 (14)	549 (180)
血液・化学療法内科	22 (4)	16 (4)	16 (5)	14 (6)	19 (6)	13 (3)	19 (8)	16 (3)	16 (3)	19 (1)	11 (3)	15 (2)	196 (48)	14 (3)	11 (3)	14 (4)	13 (6)	18 (6)	9 (3)	14 (8)	16 (3)	13 (3)	14 (1)	9 (3)	12 (2)	157 (45)
神経内科 (脳神経内科)	14 (3)	10 (2)	9 (2)	12 (6)	14 (6)	7 (4)	12 (4)	9 (2)	7 (3)	13 (8)	10 (5)	11 (3)	128 (48)	11 (3)	8 (2)	8 (2)	9 (6)	14 (6)	2 (2)	9 (2)	8 (2)	6 (3)	10 (6)	8 (3)	10 (3)	103 (40)
腎臓内科	4 (0)	7 (3)	5 (3)	12 (2)	12 (3)	20 (2)	22 (1)	10 (1)	5 (1)	12 (3)	7 (3)	17 (3)	133 (25)	3 (0)	6 (2)	5 (3)	7 (1)	8 (2)	4 (2)	7 (1)	8 (1)	3 (1)	10 (2)	6 (2)	13 (3)	80 (9)
内科(計)	175 (34)	174 (54)	149 (40)	215 (64)	180 (63)	145 (40)	182 (55)	170 (46)	178 (52)	215 (61)	156 (44)	166 (46)	2,105 (599)	102 (22)	127 (46)	118 (30)	152 (49)	151 (56)	90 (29)	130 (38)	129 (35)	129 (41)	158 (44)	118 (33)	128 (35)	1,532 (458)
消化器外科	7 (1)	8 (4)	18 (6)	16 (1)	9 (3)	11 (2)	12 (3)	8 (1)	15 (3)	13 (6)	8 (1)	15 (4)	140 (35)	5 (1)	6 (3)	13 (4)	10 (0)	9 (3)	10 (2)	4 (1)	5 (0)	11 (2)	8 (5)	7 (1)	13 (4)	101 (26)
呼吸器外科	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	10 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
乳腺外科	7 (2)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	25 (7)	3 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (3)
心臓血管外科	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (2)	3 (2)	2 (0)	2 (1)	3 (1)	5 (2)	1 (0)	1 (0)	22 (9)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	2 (2)	2 (1)	2 (0)	2 (1)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	17 (7)
外科(計)	14 (3)	10 (5)	20 (7)	22 (2)	15 (6)	16 (4)	17 (3)	14 (3)	21 (4)	18 (8)	11 (1)	19 (5)	197 (51)	8 (2)	7 (4)	15 (5)	15 (0)	12 (5)	14 (3)	9 (1)	9 (2)	15 (3)	11 (6)	8 (1)	14 (4)	137 (36)
産婦人科	151 (2)	109 (2)	125 (2)	102 (2)	123 (5)	115 (2)	100 (3)	76 (3)	105 (3)	88 (1)	86 (1)	88 (8)	1,268 (34)	46 (2)	31 (1)	43 (2)	44 (1)	49 (2)	43 (1)	46 (1)	45 (2)	61 (2)	61 (1)	49 (1)	46 (7)	564 (23)
小児科	27 (0)	25 (1)	28 (1)	24 (2)	27 (0)	25 (1)	25 (0)	17 (0)	19 (0)	26 (1)	21 (0)	23 (1)	287 (7)	26 (0)	24 (0)	27 (0)	21 (1)	27 (0)	24 (1)	23 (0)	17 (0)	18 (0)	26 (1)	21 (0)	23 (1)	277 (4)
神経科・精神科	5 (0)	7 (0)	1 (0)	4 (0)	6 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	36 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	19 (0)
脳神経外科	0 (0)	3 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	14 (4)	0 (0)	3 (0)	1 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	14 (4)
整形外科	7 (6)	27 (8)	21 (9)	18 (9)	12 (9)	18 (11)	17 (6)	14 (9)	23 (8)	9 (4)	8 (5)	9 (6)	183 (90)	4 (4)	9 (4)	14 (7)	10 (4)	4 (2)	10 (7)	10 (2)	7 (6)	12 (6)	7 (4)	4 (3)	2 (1)	93 (50)
皮膚科	17 (1)	26 (2)	25 (2)	21 (1)	27 (0)	20 (0)	19 (2)	15 (0)	17 (0)	14 (0)	13 (1)	21 (2)	235 (11)	13 (0)	23 (2)	15 (1)	14 (1)	20 (0)	16 (1)	18 (0)	15 (0)	16 (0)	12 (0)	12 (1)	20 (2)	194 (8)
泌尿器科	18 (2)	13 (0)	13 (1)	17 (1)	14 (7)	11 (1)	7 (1)	5 (3)	13 (4)	10 (2)	9 (1)	6 (1)	136 (24)	5 (2)	4 (0)	6 (1)	7 (1)	9 (5)	6 (0)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	5 (0)	3 (1)	2 (1)	53 (15)
眼 科	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
耳鼻咽喉・頭頸部外科	7 (1)	9 (2)	6 (1)	1 (0)	9 (2)	15 (3)	25 (2)	6 (1)	2 (0)	7 (0)	8 (1)	16 (3)	111 (16)	5 (0)	8 (2)	3 (1)	1 (0)	9 (2)	7 (2)	10 (1)	4 (1)	1 (0)	3 (0)	5 (0)	9 (0)	65 (9)
形成再建外科	1 (0)	2 (0)	4 (0)	5 (0)	8 (0)	5 (0)	3 (0)	7 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	40 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	11 (3)
放射線診断・IVR科	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
放射線治療科	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
麻酔・緩和医療科	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (0)
救急診療科	155 (124)	185 (131)	237 (173)	350 (279)	270 (195)	228 (148)	218 (161)	254 (180)	272 (189)	345 (225)	213 (148)	273 (194)	3,000 (2,147)	45 (40)	36 (30)	51 (40)	83 (71)	67 (56)	46 (37)	62 (55)	65 (52)	60 (53)	76 (71)	58 (49)	80 (71)	729 (625)
合 計	577 (173)	590 (205)	634 (238)	782 (360)	693 (287)	602 (210)	621 (234)	583 (245)	653 (261)	734 (304)	530 (204)	627 (267)	7,626 (2,988)	254 (72)	277 (89)	297 (88)	354 (128)	356 (128)	258 (80)	316 (101)	297 (99)	318 (108)	361 (129)	281 (91)	327 (122)	3,696 (1,235)

(注) 各欄下段の () の数値は救急車で搬送された患者数

[医事サービス部、救急・当直・集中治療室検討委員会]

6 退院患者医療評価指標

① 退院患者統計

注1) 疾病分類は厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病・傷害および分類提要ICD-10準拠」を使用した。
2017年退院患者から厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病・傷害および分類提要ICD-10（2013年版）準拠」を使用した。

注2) 手術分類は（一財）医療情報システム開発センター監修「手術及び処置の分類 ICD・9・CM」を使用した。
2017年退院患者から日本病院会版2003「手術及び処置の分類 ICD・9・CM」を使用した。

注3) データは診療録管理システムから集計をした。

注4) 実退院患者1入院、1主病名、1主手術で集計をした。

	算定式	2012年度 (2012.4 -2013.3)	2013年度 (2013.4 -2014.3)	2014年度 (2014.4 -2015.3)	2015年度 (2015.4 -2016.3)	2016年度 (2016.4 -2017.3)	2017年度 (2017.4 -2018.3)	2018年度 (2018.4 -2019.3)
病床数(床)		350	350	350	350	350	350	350
一日平均在院 患者数(人)	$\frac{\text{年間延入院患者数}}{365\text{日}}$	273	277	291	284	281	293	291
病床稼働率(%)	$\frac{\text{1日平均在院患者数}}{350\text{床}}$	78.0	79.1	83.1	81.1	80.3	83.7	83.1
平均在院日数(日)	$\frac{\text{年間延入院患者数}-\text{退院患者数}}{(\text{入院}+\text{退院患者数})\div 2}$	12.3	12.6	12.1	12.8	12.6	12.5	11.2
実退院患者数(人)		7,490	7,435	8,119	8,244	7,573	7,963	8,736
転科数		208	192	241	278	870	791	396
総退院患者数		7,698	7,627	8,360	8,522	8,443	8,754	9,132
実退院患者平均 在院日数(日)	$\frac{\text{実退院患者入院延日数}}{\text{実退院患者数}}$	13.2	13.5	13.2	12.3	13.6	13.6	12.2
院内粗死亡率(%)	$\frac{\text{死亡退院患者数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	2.3	2.8	2.8	2.4	2.8	3.2	2.2
院内精死亡率(%)	$\frac{\text{入院48時間超死亡数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	2.1	2.4	2.5	2.3	2.4	2.8	2.0
剖検率(%)	$\frac{\text{剖検患者数}}{\text{死亡患者数}} \times 100$	8.1	9.3	6.2	7.5	5.7	5.5	2.6
術後死亡率(%)	$\frac{\text{術後10日以内死亡患者数}}{\text{総手術数}} \times 100$	-	-	0.05	0.02	-	-	-
帝王切開率(%)	$\frac{\text{帝王切開数}}{\text{分娩数}} \times 100$	14.2	16.6	15.7	16.8	19.4	19.1	21.2
分娩死亡率(%)	$\frac{\text{分娩による妊娠婦死亡数}}{\text{分娩数}} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-
新生児死亡率(%)	$\frac{\text{新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 100$	-	-	-	-	-	-	-
紹介入院率(%)	$\frac{\text{紹介入院患者数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	39.3	41.5	39.8	40.1	41.6	37.9	38.4
対診率(%)	$\frac{\text{対診数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	45.2	47.3	40.6	43.0	49.1	49.8	51.9

[診療情報管理室]

② 診療科別・月別・患者数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総数	計	8,736	702	537	758	760	811	720	720	768	784	669	718	789	194	5
	男	3,789	282	231	330	342	353	300	299	332	335	290	312	383	116	3
	女	4,947	420	306	428	418	458	420	421	436	449	379	406	406	78	2
循環器内科	計	756	50	49	79	69	74	55	58	77	65	63	63	54	11	-
	男	499	33	28	56	47	48	39	36	48	45	40	44	35	6	-
	女	257	17	21	23	22	26	16	22	29	20	23	19	19	5	-
消化器内科	計	759	61	45	73	53	76	66	64	66	67	54	51	83	28	-
	男	437	41	27	43	31	48	37	33	34	31	32	32	48	17	-
	女	322	20	18	30	22	28	29	31	32	36	22	19	35	11	-
総合内科	計	1,100	80	58	91	110	100	88	88	93	86	101	94	111	60	2
	男	567	36	26	47	66	43	40	40	55	45	46	53	70	35	1
	女	533	44	32	44	44	57	48	48	38	41	55	41	41	25	1
血液・化学療法内科	計	343	44	23	34	29	27	27	31	24	26	25	23	30	38	1
	男	206	26	15	15	17	17	14	18	14	17	19	14	20	26	1
	女	137	18	8	19	12	10	13	13	10	9	6	9	10	12	-
神経内科 (脳神経内科)	計	149	23	4	11	16	13	9	18	12	13	6	14	10	3	1
	男	68	8	1	6	6	7	3	10	4	7	1	9	6	1	-
	女	81	15	3	5	10	6	6	8	8	6	5	5	4	2	1
腎臓内科	計	212	12	18	21	15	20	16	15	19	14	19	15	28	2	-
	男	143	8	15	14	9	15	10	9	10	10	14	12	17	1	-
	女	69	4	3	7	6	5	6	6	9	4	5	3	11	1	-
消化器外科	計	441	28	27	41	36	34	36	36	41	50	28	40	44	13	-
	男	263	16	16	24	24	25	20	23	22	35	14	19	25	9	-
	女	178	12	11	17	12	9	16	13	19	15	14	21	19	4	-
呼吸器外科	計	47	2	2	4	5	2	3	7	6	7	2	3	4	-	-
	男	27	-	1	2	4	-	1	5	5	2	1	2	4	-	-
	女	20	2	1	2	1	2	2	2	1	5	1	1	-	-	-
乳腺外科	計	140	14	9	7	11	16	8	13	17	11	5	14	15	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	140	14	9	7	11	16	8	13	17	11	5	14	15	1	-
心臓血管外科	計	83	-	-	7	3	11	11	6	7	13	9	9	7	3	-
	男	40	-	-	2	1	6	8	5	3	7	2	3	3	1	-
	女	43	-	-	5	2	5	3	1	4	6	7	6	4	2	-
産婦人科	計	1,783	167	100	141	148	146	157	159	159	172	146	146	142	4	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	1,783	167	100	141	148	146	157	159	159	172	146	146	142	4	-
小児科	計	413	43	24	37	41	36	41	36	30	37	30	31	27	-	-
	男	216	20	10	20	18	18	24	15	18	18	18	20	17	-	-
	女	197	23	14	17	23	18	17	21	12	19	12	11	10	-	-
神経科・精神科	計	87	12	1	7	10	12	5	3	7	7	7	5	11	-	-
	男	19	1	-	1	1	1	1	-	2	2	3	1	6	-	-
	女	68	11	1	6	9	11	4	3	5	5	4	4	5	-	-
脳神経外科	計	40	-	-	1	5	4	5	3	1	3	2	8	8	-	-
	男	21	-	-	-	3	1	2	2	1	1	-	5	6	-	-
	女	19	-	-	1	2	3	3	1	-	2	2	3	2	-	-
整形外科	計	380	33	23	31	41	38	33	29	31	39	22	32	28	-	-
	男	148	16	9	10	17	11	16	15	9	14	10	10	11	-	-
	女	232	17	14	21	24	27	17	14	22	25	12	22	17	-	-
皮膚科	計	255	21	23	21	14	27	23	22	24	23	12	18	27	-	-
	男	132	10	16	10	6	12	13	12	11	10	8	7	17	-	-
	女	123	11	7	11	8	15	10	10	13	13	4	11	10	-	-
泌尿器科	計	405	31	33	31	36	44	35	27	40	40	26	24	38	6	-
	男	324	26	24	24	31	35	30	23	35	26	22	18	30	3	-
	女	81	5	9	7	5	9	5	4	5	14	4	6	8	3	-
眼科	計	363	17	40	38	29	34	18	29	34	30	36	35	23	-	-
	男	173	8	17	12	11	20	9	17	19	18	16	16	10	-	-
	女	190	9	23	26	18	14	9	12	15	12	20	19	13	-	-
耳鼻咽喉・頭頸部外科	計	271	17	17	27	24	26	28	21	20	21	20	20	30	3	-
	男	137	9	7	13	17	14	9	9	10	13	10	9	17	3	-
	女	134	8	10	14	7	12	19	12	10	8	10	11	13	-	-
形成再建外科	計	145	10	12	17	9	18	6	13	12	10	11	14	13	-	-
	男	73	7	5	13	2	6	1	5	8	7	5	7	7	-	-
	女	72	3	7	4	7	12	5	8	4	3	6	7	6	-	-
麻酔・緩和医療科	計	9	1	1	2	-	-	-	1	1	2	-	1	-	-	-
	男	3	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	6	1	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-
救急診療科	計	541	36	28	37	55	52	50	40	45	48	43	55	52	22	1
	男	283	17	13	17	30	25	23	22	23	26	27	29	31	14	1
	女	258	19	15	20	25	27	27	18	22	22	16	26	21	8	-

[診療情報管理室]

③ 診療科別・在院期間別・患者数

診療科	総数	1～ 8日	9～ 15日	16～ 22日	23～ 31日	32～ 61日	62～ 91日	3～ 6月	6月～ 1年	1～ 2年	2年～	平均 在院日数
総数	計 8,736 男 3,789 女 4,947	5,358 2,158 3,200	1,537 739 798	665 339 326	459 222 237	538 245 293	117 56 61	59 28 31	2 2 -	1 - 1	- - -	12.2 12.6 11.9
循環器内科	計 756 男 499 女 257	482 342 140	96 54 42	79 50 29	47 32 15	41 13 28	8 5 3	3 3 -	- - -	- - -	- - -	11.1 9.9 13.3
消化器内科	計 759 男 437 女 322	412 240 172	190 117 73	61 36 25	51 24 27	40 19 21	4 1 3	1 - 1	- - -	- - -	- - -	10.9 10.0 12.2
総合内科	計 1,100 男 567 女 533	445 216 229	291 159 132	158 86 72	72 35 37	104 56 48	20 10 10	10 5 5	- - -	- - -	- - -	15.7 15.9 15.6
血液・化学療法内科	計 343 男 206 女 137	84 43 41	72 51 21	46 26 20	50 28 22	63 40 23	16 11 5	11 6 5	1 1 -	- - -	- - -	25.9 27.1 24.1
神経内科 (脳神経内科)	計 149 男 68 女 81	11 5 6	27 13 14	30 17 13	26 11 15	44 17 27	7 4 3	4 1 3	- - -	- - -	- - -	30.9 28.4 33.0
腎臓内科	計 212 男 143 女 69	90 63 27	52 28 24	28 25 3	16 10 6	16 11 5	5 3 2	5 3 2	- - -	- - -	- - -	16.8 16.2 18.1
消化器外科	計 441 男 263 女 178	225 138 87	109 59 50	35 21 14	20 13 7	33 18 15	11 7 4	8 7 1	- - -	- - -	- - -	15.7 16.6 14.4
呼吸器外科	計 47 男 27 女 20	24 12 12	19 12 7	1 - 1	1 1 -	2 2 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	10.4 12.0 8.2
乳腺外科	計 140 男 - 女 140	81 - 81	35 - 35	17 - 17	4 - 4	2 - 2	- - -	1 - 1	- - -	- - -	- - -	10.1 - 10.1
心臓血管外科	計 83 男 40 女 43	61 26 35	12 7 5	5 5 -	2 1 1	2 1 1	1 - 1	- - -	- - -	- - -	- - -	7.1 7.8 6.5
産婦人科	計 1,783 男 - 女 1,783	1,512 - 1,512	232 - 232	18 - 18	7 - 7	11 - 11	2 - 2	- - -	- - -	1 - 1	- - -	7.4 - 7.4
小児科	計 413 男 216 女 197	354 180 174	51 30 21	3 2 1	2 2 -	3 2 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	6.4 6.6 6.2
神経科・精神科	計 87 男 19 女 68	6 2 4	12 4 8	12 2 10	27 6 21	19 5 14	4 - 4	7 - 7	- - -	- - -	- - -	36.3 27.4 38.8
脳神経外科	計 40 男 21 女 19	13 7 6	8 4 4	3 1 2	5 1 4	7 6 1	3 2 1	1 - 1	- - -	- - -	- - -	25.6 26.5 24.7
整形外科	計 380 男 148 女 232	91 46 45	33 20 13	65 24 41	78 33 45	82 19 63	24 3 21	7 3 4	- - -	- - -	- - -	26.8 21.6 30.1
皮膚科	計 255 男 132 女 123	101 58 43	100 50 50	29 10 19	13 6 7	12 8 4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	12.7 12.8 12.7
泌尿器科	計 405 男 324 女 81	278 219 59	78 67 11	21 17 4	11 9 2	12 8 4	4 4 -	1 - 1	- - -	- - -	- - -	8.8 8.5 10.2
眼科	計 363 男 173 女 190	363 173 190	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2.1 2.1 2.1
耳鼻咽喉・頭頸部外科	計 271 男 137 女 134	230 118 112	26 10 16	5 1 4	4 2 2	3 3 -	2 2 -	- 1 -	1 1 -	- - -	- - -	8.0 9.7 6.2
形成再建外科	計 145 男 73 女 72	114 54 60	20 14 6	2 1 1	2 - 2	5 3 2	2 1 1	- - -	- - -	- - -	- - -	7.5 7.7 7.3
麻酔・緩和医療科	計 9 男 3 女 6	8 3 5	1 - 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4.9 3.7 5.5
救急診療科	計 541 男 283 女 258	359 203 156	73 40 33	47 15 32	21 8 13	37 14 23	4 3 1	- - -	- - -	- - -	- - -	9.3 8.1 10.5

[診療情報管理室]

④ 疾病統計

疾病別・診療科別・患者数

コード	国際分類大項目分類	総数	循 内	消 内	総 内	血液内	神 内	腎 内	外 科	呼 外	乳腺外	心外	産婦科	小児科
	不明	計 978 男 435 女 543	43 28 15	188 98 90	125 51 74	39 26 13	22 7 15	20 11 9	144 94 50	2 - 2	10 - 10	- - -	142 - 142	49 20 29
	総数	計 7,758 男 3,354 女 4,404	713 471 242	571 339 232	975 516 459	304 180 124	127 61 66	192 132 60	297 169 128	45 27 18	130 - 130	83 40 43	1641 - 1641	364 196 168
I	感染症及び寄生虫症	計 284 男 147 女 137	3 2 1	35 21 14	36 17 19	7 2 5	9 5 4	5 3 2	1 - 1	- - -	- - -	- - -	1 - 1	63 30 33
II	新生物〈腫瘍〉 (悪性新生物〈腫瘍〉)	計 2,085 男 844 女 1,241	2 1 1	290 193 97	281 176 105	214 132 82	1 - 1	5 2 3	164 97 67	25 12 13	115 - 115	1 1 -	663 - 663	- - -
III	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	計 75 男 32 女 43	2 2 -	3 2 1	16 5 11	37 16 21	- - -	1 - 1	1 1 -	- - -	1 - 1	- - -	4 - 4	4 3 1
IV	内分泌、栄養及び 代謝疾患	計 196 男 103 女 93	1 - 1	5 2 3	165 88 77	- - -	4 1 3	12 8 4	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 1 1
V	精神及び行動の障害	計 234 男 115 女 119	- - -	3 1 2	4 1 3	- - -	2 1 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - 1	- - -
VI	神経系の疾患	計 138 男 71 女 67	11 8 3	2 - 2	13 3 10	- - -	35 22 13	1 1 -	2 - 2	- - -	- - -	1 1 -	- - -	- - -
VII	眼及び付属器の疾患	計 365 男 177 女 188	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計 75 男 28 女 47	- - -	1 1 -	6 2 4	- - -	3 1 2	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
IX	循環器系の疾患	計 794 男 483 女 311	573 369 204	11 6 5	19 12 7	- - -	46 23 23	12 10 2	1 - 1	- - -	- - -	77 35 42	1 - 1	- - -
X	呼吸器系の疾患	計 675 男 387 女 288	17 12 5	4 1 3	279 150 129	21 17 4	5 2 3	7 6 1	5 5 -	20 15 5	- - -	- - -	1 - 1	126 65 61
XI	消化器系の疾患	計 312 男 164 女 148	6 4 2	178 90 88	8 7 1	1 1 -	- - -	2 2 -	101 54 47	- - -	- - -	- - -	3 - 3	1 1 -
XII	皮膚及び 皮下組織の疾患	計 148 男 73 女 75	- - -	1 - 1	3 1 2	1 - 1	- - -	2 - 2	- - -	- - -	1 - 1	1 - 1	- - -	2 1 1
XIII	筋骨格系及び 結合組織の疾患	計 272 男 109 女 163	2 2 -	4 2 2	44 16 28	2 2 -	2 1 1	3 3 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	7 2 5
XIV	腎尿路生殖系系の疾患	計 758 男 219 女 539	3 2 1	6 5 1	38 8 30	6 3 3	4 2 2	117 75 42	5 3 2	- - -	4 - 4	2 2 -	379 - 379	6 5 1
XV	妊娠、分娩及び 産じょく	計 578 男 - 女 578	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	578 - 578	- - -
XVI	周産期に発生した病態	計 131 男 72 女 59	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	131 72 59
XVII	先天奇形、変形及び 染色体異常	計 17 男 11 女 6	1 1 -	1 - 1	1 - 1	- - -	- - -	4 4 -	1 - 1	- - -	1 - 1	- - -	1 - 1	1 1 -
XVIII	症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他 に分類されないもの	計 156 男 77 女 79	13 11 2	15 7 8	45 24 21	5 2 3	8 1 7	3 1 2	- - -	- - -	8 - 8	- - -	4 - 4	16 12 4
XIX	損傷、中毒及び その他の外因の影響	計 284 男 114 女 170	3 1 2	- - -	13 3 10	4 3 1	7 2 5	18 17 1	6 3 3	- - -	- - -	1 1 -	4 - 4	5 3 2
XX	健康状態に影響を 及ぼす要因及び 保健サービスの利用	計 181 男 128 女 53	76 56 20	12 8 4	4 3 1	6 2 4	1 - 1	- - -	10 6 4	- - -	- - -	- - -	1 - 1	- - -

神 経	整 形	皮膚科	泌尿器	眼 科	耳鼻科	形成	放射診	放射治	麻酔科	リハ	救 急	健管科	予防	脳 外	歯 科
6	24	18	28	17	24	9	-	-	1	-	67	-	-	-	-
1	11	8	22	8	14	7	-	-	-	-	29	-	-	-	-
5	13	10	6	9	10	2	-	-	1	-	38	-	-	-	-
81	356	237	377	346	247	136	-	-	8	-	474	-	14	40	-
18	137	124	302	165	123	66	-	-	3	-	254	-	10	21	-
63	219	113	75	181	124	70	-	-	5	-	220	-	4	19	-
-	-	105	2	-	1	1	-	-	-	-	15	-	-	-	-
-	-	52	2	-	1	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-
-	-	53	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-
-	1	5	189	-	52	70	-	-	2	-	4	-	-	1	-
-	-	3	164	-	28	32	-	-	2	-	1	-	-	-	-
-	1	2	25	-	24	38	-	-	-	-	3	-	-	1	-
-	-	2	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
71	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	151	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99	-	-	-	-
58	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	52	-	-	-	-
8	3	2	-	-	21	1	-	-	1	-	13	-	-	24	-
5	1	2	-	-	11	-	-	-	-	-	6	-	-	11	-
3	2	-	-	-	10	1	-	-	1	-	7	-	-	13	-
-	-	-	-	346	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	165	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	181	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	53	1	-	-	-	-	11	-	-	-	-
-	-	-	-	-	19	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-
-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
1	-	5	-	-	4	4	-	-	-	-	28	-	-	12	-
-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	15	-	-	8	-
1	-	2	-	-	4	2	-	-	-	-	13	-	-	4	-
-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	90	-	-	-	-
-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-
-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
-	-	107	1	-	5	17	-	-	-	-	7	-	-	-	-
-	-	59	1	-	1	6	-	-	-	-	4	-	-	-	-
-	-	48	-	-	4	11	-	-	-	-	3	-	-	-	-
-	176	6	-	-	-	3	-	-	-	-	23	-	-	-	-
-	68	3	-	-	-	1	-	-	-	-	9	-	-	-	-
-	108	3	-	-	-	2	-	-	-	-	14	-	-	-	-
-	-	-	153	-	1	1	-	-	-	-	33	-	-	-	-
-	-	-	103	-	-	1	-	-	-	-	10	-	-	-	-
-	-	-	50	-	1	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	-	2	-	2	2	-	-	5	-	27	-	-	-	-
-	1	-	2	-	1	1	-	-	1	-	13	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	1	-	-	4	-	14	-	-	-	-
1	142	5	3	-	-	15	-	-	-	-	54	-	-	3	-
-	48	1	3	-	-	8	-	-	-	-	19	-	-	2	-
1	94	4	-	-	-	7	-	-	-	-	35	-	-	1	-
-	33	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
-	19	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-

[診療情報管理室]

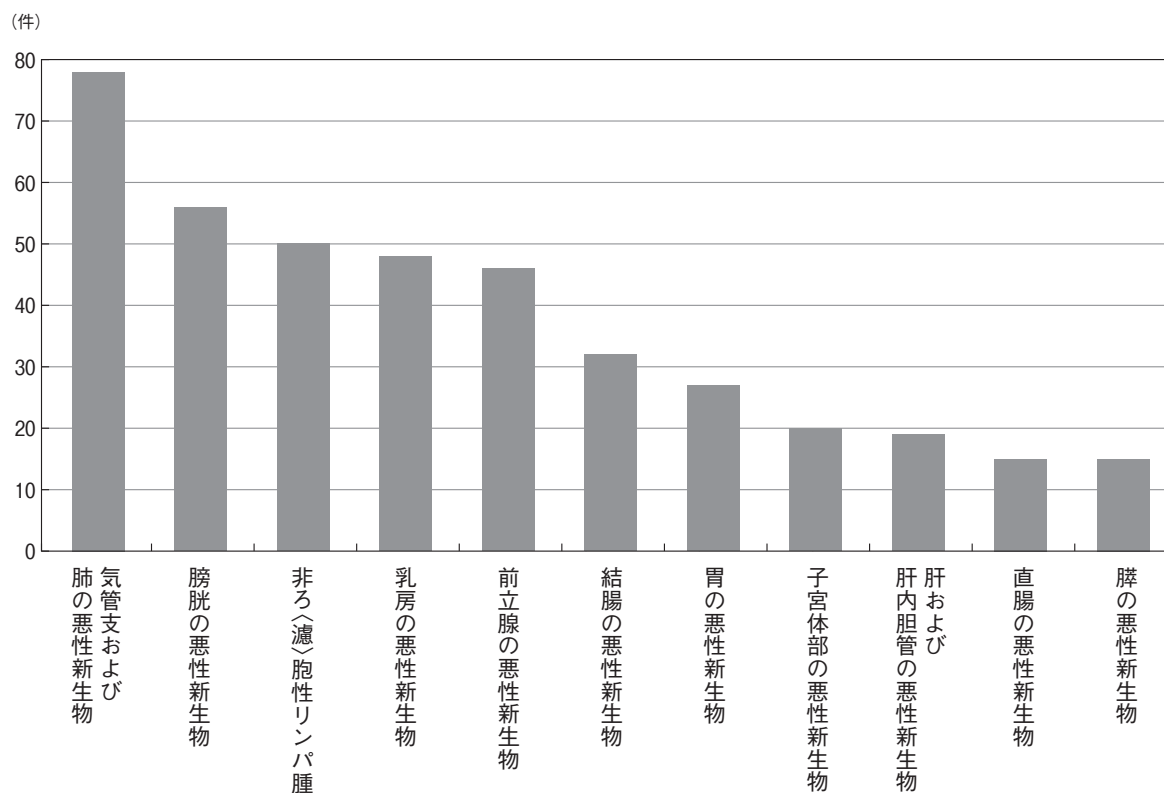
⑤ 悪性新生物統計

	算定式	2012年度 (2012.4 -2013.3)	2013年度 (2013.4 -2014.3)	2014年度 (2014.4 -2015.3)	2015年度 (2015.4 -2016.3)	2016年度 (2016.4 -2017.3)	2017年度 (2017.4 -2018.3)	2018年度 (2018.4 -2019.3)
悪性新生物：比率（％）	$\frac{\text{悪性新生物患者数}}{\text{実退院患者数}} \times 100$	14.7	16.0	14.5	14.6	16.2	16.4	16.2
悪性新生物：新発患者数		445	423	403	447	519	547	593

○ 2018.4～2019.3ー初発がん統計トップ10（件数・平均在院日数）

ICD-10	疾患名	件数	在院日数計	平均在院日数
C34	気管支および肺の悪性新生物	78	2,117	27
C50	乳房の悪性新生物	56	631	11
C61	前立腺の悪性新生物	50	359	7
C18	結腸の悪性新生物	48	617	13
C16	胃の悪性新生物	46	1,231	27
C67	膀胱の悪性新生物	32	295	9
C54	子宮体部の悪性新生物	27	330	12
C83	非ろ（濾）胞性リンパ腫	20	860	43
C22	肝および肝内胆管の悪性新生物	19	360	19
C20	直腸の悪性新生物	15	287	19
C25	膵の悪性新生物	15	585	41

[診療情報管理室]



⑥ 診療科別・月別・死亡（剖検）患者数

診療科	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	兼科 患者数	退院 患者数	粗死亡率 (%)	精死亡率 (%)	剖検率 (%)
総数	死亡 剖検	194 (5)	17 (1)	14 (-)	17 (-)	20 (3)	16 (-)	17 (-)	14 (-)	11 (-)	18 (-)	17 (1)	16 (-)	23 (-)	8,736 -	194 2.2	179 2.0	5 2.6
循環器内科	死亡 剖検	11 (-)	1 (-)	3 (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	3 (-)	- (-)	2 (-)	756 -	11 1.5	9 1.2	- -
消化器内科	死亡 剖検	28 (-)	3 (-)	1 (-)	2 (-)	2 (-)	5 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	2 (-)	3 (-)	3 (-)	2 (-)	759 -	28 3.7	26 3.4	- -
総合内科	死亡 剖検	60 (2)	6 (-)	4 (-)	3 (-)	9 (2)	5 (-)	8 (-)	4 (-)	3 (-)	7 (-)	5 (-)	3 (-)	4 (-)	1,100 -	60 5.5	56 5.1	2 3.3
血液・ 化学療法内科	死亡 剖検	38 (1)	4 (-)	4 (-)	4 (-)	3 (1)	1 (-)	2 (-)	4 (-)	2 (-)	6 (-)	4 (-)	- (-)	4 (-)	343 -	38 11.1	36 10.5	1 2.6
神経内科 (脳神経内科)	死亡 剖検	3 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	149 -	3 2.0	3 2.0	1 33.3
腎臓内科	死亡 剖検	2 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	212 -	2 0.9	1 0.5	- -
消化器外科	死亡 剖検	13 (-)	1 (-)	- (-)	2 (-)	3 (-)	1 (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	1 (-)	- (-)	3 (-)	3 (-)	441 -	13 2.9	13 2.9	- -
呼吸器外科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	47 -	- -	- -	- -
乳腺外科	死亡 剖検	1 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	140 -	1 0.7	1 0.7	- -
心臓血管外科	死亡 剖検	3 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (-)	83 -	3 3.6	3 3.6	- -
産婦人科	死亡 剖検	4 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	1,783 -	4 0.2	3 0.2	- -
小児科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	413 -	- -	- -	- -
神経科・ 精神科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	87 -	- -	- -	- -
脳神経外科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	40 -	- -	- -	- -
整形外科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	380 -	- -	- -	- -
皮膚科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	255 -	- -	- -	- -
泌尿器科	死亡 剖検	6 (-)	- (-)	- (-)	3 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	405 -	6 1.5	6 1.5	- -
眼科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	363 -	- -	- -	- -
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	死亡 剖検	3 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)	271 -	3 1.1	3 1.1	- -
形成再建外科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	145 -	- -	- -	- -
麻酔・ 緩和医療科	死亡 剖検	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	9 -	- -	- -	- -
救急診療科	死亡 剖検	22 (1)	- (-)	- (-)	2 (-)	2 (-)	- (-)	4 (-)	1 (-)	- (-)	2 (-)	4 (1)	3 (-)	4 (-)	541 -	22 4.1	19 3.5	1 4.5

(注) 1. 粗死亡率 = $\frac{\text{死亡患者数}}{\text{退院患者総数}} \times 100$

[診療情報管理室]

2. 精死亡率 = $\frac{\text{入院48時間以後死亡数}}{\text{退院患者総数}} \times 100$

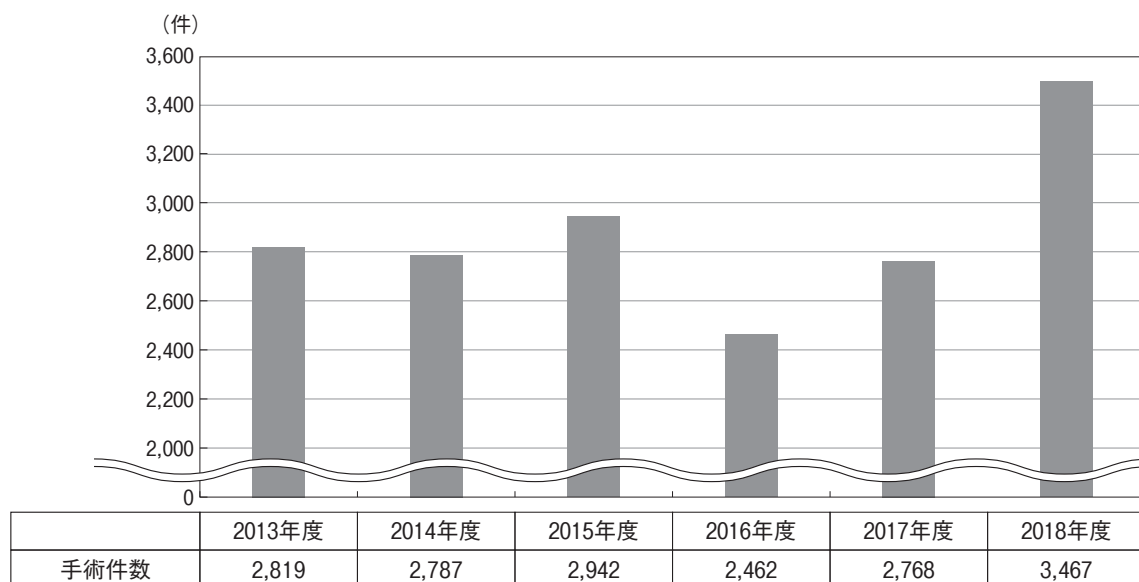
7 手術件数

① 診療科別・月別手術件数（手術室実施）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2018年度 合計	2017年度 合計
循環器内科 全麻	0 0	1 0	4 0	1 0	2 0	2 0	2 0	2 0	0 0	0 0	1 0	3 0	18 0	4 0
消化器外科 全麻	20 15	30 22	32 29	29 29	28 22	30 27	33 30	31 29	36 29	36 27	31 26	35 33	371 318	292 258
呼吸器外科 全麻	3 3	2 2	3 3	3 3	4 4	5 5	4 4	7 7	6 6	3 3	2 2	4 4	46 46	43 43
乳腺外科 全麻	9 6	4 3	5 5	5 5	10 10	6 6	6 6	7 6	6 4	4 4	6 6	8 8	76 69	62 46
心臓血管外科 全麻	0 0	4 0	8 0	8 3	12 1	12 0	7 0	13 1	17 4	13 0	11 1	16 1	121 11	- -
産婦人科 全麻	87 63	74 58	98 77	90 69	95 73	86 63	107 75	117 83	97 70	87 64	93 65	92 64	1,123 824	1,044 827
脳神経外科 全麻	0 0	2 0	1 0	1 0	3 2	2 2	3 2	2 2	2 0	4 2	4 2	4 3	28 15	- -
整形外科 全麻	27 23	30 22	38 26	33 27	28 24	27 21	37 31	28 23	30 21	22 16	31 26	25 21	356 281	370 283
皮膚科 全麻	13 0	13 0	14 0	14 0	18 0	14 0	16 0	9 0	5 0	12 0	10 0	12 0	150 0	163 0
泌尿器科 全麻	23 10	22 9	26 9	27 10	32 12	21 7	23 9	29 9	28 10	19 7	23 9	27 9	300 110	256 75
眼科 全麻	17 0	40 0	38 0	31 0	32 0	18 0	31 0	30 0	30 0	37 0	35 0	23 0	362 0	114 0
耳鼻咽喉・頭頸部外科 全麻	10 6	8 5	23 16	25 22	19 18	15 11	17 11	14 11	13 10	22 14	16 11	14 11	196 146	151 111
形成再建外科 全麻	17 1	18 1	26 2	24 2	22 3	13 0	25 3	26 2	25 1	29 4	24 5	33 1	282 25	269 34
麻酔・緩和医療科 全麻	1 0	5 0	3 0	5 0	3 0	1 0	6 1	2 0	2 0	3 0	3 0	4 0	38 1	0 0
合計 全麻	227 127	253 122	319 167	296 170	308 169	252 142	317 172	317 173	297 155	291 141	290 153	300 155	3,467 1,846	2,768 1,677

手術室以外での手術、麻酔は含まれない。

[手術室]



② 診療科別・年間手術件数（総件数の内、上位のみ）

循環器内科

総件数	180
経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	110
経皮的冠動脈形成術（その他）	28
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	15
体外ペースメーカーキグ術	8
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	7
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	4
四肢の血管拡張術・血栓除去術	3
経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）	2

消化器内科

総件数	302
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	132
内視鏡的消化管止血術	39
内視鏡的胆道ステント留置術	30
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	18
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層）	18
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）	8
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	6
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	6
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみ）	6
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	5
内視鏡的胆道結石除去術（その他）	5

総合内科

総件数	2
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	2

血液・化学療法内科

総件数	10
造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	4
造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（同種移植）	3
造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	2
造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1

腎臓内科

総件数	8
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	6
経尿道的尿管ステント留置術	1
連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	1

消化器外科

総件数	335
腹腔鏡下胆嚢摘出術	81
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	39
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	19
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	16
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	12
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	11
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）	9
食道狭窄拡張術（内視鏡）	8
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	6
痔核手術（脱肛を含む）（根治手術（硬化療法）を伴わない）	6
鼠径ヘルニア手術	6
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	6
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	5
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	5
臍ヘルニア手術	5

呼吸器外科

総件数	38
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	12
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）	11
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	5
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	3
胸腔鏡下膿胸膜又は胸膜肺癒着切除術	2
胸腔鏡下肺切除術（その他）	2

乳腺外科

総件数	75
乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わない))	13
乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない))	13
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 (マンモグラフィー又は超音波装置)	11
乳腺腫瘍摘出術(長径5cm未満)	11
乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない))	9
乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術・胸筋切除を併施しない)	7

心臓血管外科

総件数	86
下肢静脈瘤血管内焼灼術	48
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	10
四肢の血管拡張術・血栓除去術	7
下肢静脈瘤手術(抜去切除術)	6
血管結紮術(その他)	2
四肢の血管吻合術	2
動脈血栓内膜摘出術(その他)	2
動脈血栓除去術(その他)(観血的)	2
内シャント血栓除去術	2

産婦人科

総件数	1,137
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	233
子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)	204
腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	152
子宮頸部(腔部)切除術	70
帝王切開術(選択帝王切開)	54
帝王切開術(緊急帝王切開)	47
子宮鏡下子宮筋腫摘出術	46
子宮内膜ポリープ切除術	46
流産手術(妊娠11週まで)(その他)	40
膀胱脱手術(メッシュ使用)	31
子宮悪性腫瘍手術	23
子宮内膜掻爬術	21

小児科

総件数	5
新生児仮死蘇生術(仮死第2度)	4
新生児仮死蘇生術(仮死第1度)	1

脳神経外科

総件数	19
水頭症手術(シャント手術)	8
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	6
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超える)	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(部分切除)	1
胸腔鏡下肺切除術 (肺嚢胞手術(楔状部分切除))	1
髄液シャント抜去術	1
頭蓋内腫瘍摘出術(その他)	1

整形外科

総件数	330
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (後方椎体固定)	54
人工関節置換術(膝)	31
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓切除)	27
超音波骨折治療法	21
人工関節置換術(股)	20
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓形成)	18
骨折観血の手術(大腿)	15
骨折観血の手術(鎖骨)	14
人工骨頭挿入術(股)	12
骨折観血の手術(下腿)	11
椎間板摘出術(後方摘出術)	11

皮膚科

総件数	8
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	6
骨搔爬術(足その他)	1
麦粒腫切開術	1

泌尿器科

総件数	233
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道の手術) (電解質溶液利用)	53
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	32
経尿道の尿路結石除去術(レーザー)	26
経尿道の前立腺手術(電解質溶液利用)	14
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	12
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる)	11
経尿道の尿管ステント留置術	10
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道の手術)(その他)	8
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	7
膀胱腫瘍摘出術	7
前立腺被膜下摘出術	6

眼科

総件数	360
水晶体再建術(眼内レンズを挿入)(その他)	352
水晶体再建術(眼内レンズを挿入)(縫着レンズ挿入)	4
水晶体再建術(眼内レンズを挿入しない)	3
網膜光凝固術(その他特殊)	1

耳鼻咽喉・頭頸部外科

総件数	238
口蓋扁桃手術(摘出)	108
内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型(汎副鼻腔手術)	14
内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型 (選択的(複数洞)副鼻腔手術)	12
鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	11
声帯ポリープ切除術(直達喉頭鏡)	9
鼓室形成手術(耳小骨温存術)	7
経鼻腔の翼突管神経切除術	6
甲状腺悪性腫瘍手術(切除)	6
鼓膜形成手術	5
甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術(片葉のみ)	5
内リンパ嚢開放術	5
扁桃周囲膿瘍切開術	5

形成再建外科

総件数	82
眼瞼下垂症手術(眼瞼挙筋前転法)	16
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	15
眼瞼下垂症手術(その他)	13
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)	3
皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 (25cm ² 未満)	3
鼻骨骨折徒手整復術	3
先天性耳瘻管摘出術	2
全層植皮術(25cm ² 以上100cm ² 未満)	2
眼瞼内反症手術(皮膚切開法)	2
骨腫瘍切除術(その他)	2
乳房切除術	2
鼻骨骨折整復固定術	2
腋臭症手術(皮弁法)	2

麻酔・緩和医療科

総件数	7
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	7

救急診療科

総件数	1
血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(止血術)	1

[診療情報管理室]

2. 医事統計

1 診療科別医療収入

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計
循環器内科	14,672	29,601	44,273	12,480	34,210	46,691	13,315	46,344	59,659	13,680	48,740	62,420	15,059	46,621	61,680	12,083	42,352	54,435	15,229	41,623	56,853
消化器内科	35,270	24,420	59,691	36,950	28,801	65,752	37,989	28,336	66,325	34,673	35,549	70,222	25,241	46,105	71,346	27,373	31,438	58,811	32,566	32,884	65,450
総合内科	52,379	41,072	93,451	52,686	37,543	90,229	52,787	61,143	113,929	54,103	72,939	127,042	59,557	65,144	124,701	50,827	57,760	108,587	61,200	56,150	117,350
血液・ 化学療法内科	25,042	49,742	74,784	31,382	54,209	85,591	29,145	52,345	81,490	30,546	49,321	79,867	32,864	61,657	94,520	32,099	52,300	84,399	34,519	47,216	81,735
神経内科 (脳神経内科)	3,905	13,948	17,854	3,909	8,339	12,248	3,497	15,031	18,527	4,392	16,283	20,675	4,341	16,248	20,590	3,975	12,534	16,509	4,197	12,189	16,386
腎臓内科	3,609	10,444	14,052	3,599	13,296	16,895	3,226	13,902	17,127	4,412	12,835	17,247	4,172	12,183	16,355	3,824	14,077	17,901	4,505	12,987	17,492
内科(計)	134,878	169,227	304,105	141,007	176,399	317,406	139,959	217,099	357,058	141,804	235,668	377,472	141,234	247,958	389,192	130,182	210,461	340,643	152,217	203,049	355,266
消化器外科	5,960	26,505	32,465	9,884	30,858	40,742	7,797	38,815	46,611	8,249	39,060	47,309	9,620	28,493	38,112	7,472	40,313	47,785	9,845	41,533	51,378
呼吸器外科	516	4,957	5,473	582	3,667	4,249	375	4,043	4,418	400	4,171	4,571	570	5,342	5,912	448	8,096	8,544	712	5,539	6,252
乳腺外科	13,228	8,261	21,489	13,372	5,929	19,300	12,614	5,238	17,852	13,188	9,126	22,314	13,429	8,732	22,160	12,975	7,470	20,445	15,317	8,960	24,277
心臓血管外科	70	-	70	129	768	897	323	2,400	2,723	351	5,813	6,164	373	5,659	6,032	379	5,474	5,853	439	3,101	3,540
外科(計)	19,775	39,722	59,497	23,967	41,221	65,188	21,109	50,496	71,605	22,188	58,170	80,359	23,991	48,225	72,216	21,274	61,353	82,627	26,313	59,134	85,447
産婦人科	23,340	83,459	106,799	24,613	72,786	97,399	26,973	97,099	124,073	25,350	88,863	114,213	27,789	102,229	130,018	24,109	95,743	119,852	25,962	103,917	129,879
小児科	7,400	11,793	19,192	6,866	7,863	14,729	6,930	13,102	20,032	7,944	10,157	18,101	7,545	10,634	18,179	5,961	14,010	19,971	7,382	11,203	18,586
神経科・ 精神科	5,767	7,394	13,160	5,945	8,000	13,945	6,249	6,591	12,839	6,867	6,495	13,363	6,485	8,486	14,971	6,263	4,521	10,784	6,969	5,452	12,422
脳神経外科	136	5	141	512	1,144	1,656	547	1,873	2,420	730	3,769	4,499	1,073	2,875	3,948	859	4,510	5,369	990	4,254	5,243
整形外科	7,994	42,418	50,412	8,661	51,857	60,518	8,536	63,413	71,950	9,994	56,937	66,931	9,504	47,220	56,724	8,054	45,425	53,479	9,733	55,571	65,304
皮膚科	30,870	7,343	38,212	33,150	12,255	45,405	27,797	11,608	39,404	33,380	7,491	40,871	35,627	11,184	46,811	27,209	11,544	38,753	32,554	13,067	45,621
泌尿器科	13,946	19,471	33,417	15,015	18,143	33,158	13,524	17,317	30,840	15,382	20,050	35,432	17,198	23,860	41,058	14,663	19,256	33,919	15,798	19,402	35,200
眼科	5,450	3,624	9,074	5,506	8,280	13,786	5,468	7,942	13,410	6,551	6,145	12,695	6,153	6,596	12,749	6,655	3,800	10,455	5,550	6,176	11,726
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	6,039	6,801	12,840	6,788	5,237	12,025	7,000	11,393	18,393	7,070	14,294	21,364	6,698	11,630	18,329	5,745	9,563	15,308	7,088	10,137	17,225
形成再建外科	1,197	2,366	3,563	1,093	3,833	4,926	1,320	5,717	7,037	1,520	5,853	7,374	1,070	6,443	7,513	1,179	2,201	3,380	1,731	4,326	6,056
放射線診断・ IVR科	2,383	-	2,383	3,077	-	3,077	3,090	-	3,090	3,960	2	3,962	3,458	2	3,459	3,105	-	3,105	3,441	-	3,442
放射線治療科	835	814	1,649	3,006	1,116	4,122	3,485	2,438	5,923	2,712	2,251	4,963	1,910	2,285	4,196	2,058	1,544	3,602	3,035	4,086	7,120
麻酔・ 緩和医療科	302	1,836	2,138	399	1,816	2,215	409	2,877	3,287	421	1,825	2,246	413	1,581	1,994	306	1,244	1,550	430	2,152	2,582
リハビリ テーション科	403	8,653	9,056	405	8,417	8,822	461	9,805	10,267	506	9,835	10,341	521	-	521	943	-	943	847	-	847
救急診療科	2,223	12,498	14,721	3,159	8,874	12,033	4,286	16,104	20,390	5,939	21,120	27,059	4,807	24,126	28,933	3,901	20,297	24,198	3,603	16,883	20,487
糖尿病・ 内分泌センター	303	-	303	367	-	367	368	-	368	381	-	381	404	10,245	10,649	333	7,656	7,989	420	9,023	9,443
血液浄化 センター	709	-	709	1,665	-	1,665	2,013	-	2,013	1,715	-	1,715	1,720	-	1,720	2,206	-	2,206	2,506	527,833	530,339
その他	26	-	26	16	-	16	19	-	19	26	-	26	26	160	186	27	-	27	23	-	23
計	263,973	417,424	681,398	285,217	427,241	712,458	279,543	534,875	814,418	294,443	548,925	843,368	297,627	565,579	863,206	265,033	513,128	778,161	306,591	527,833	834,424
百分率	39%	61%	100%	40%	60%	100%	34%	66%	100%	35%	65%	100%	34%	66%	100%	34%	66%	100%	37%	63%	100%

[単位：千円]

11月			12月			1月			2月			3月			累計			前年度 累 計	対前年 差 額
外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計	外来	入院	計		
14,114	47,365	61,479	13,619	45,725	59,344	13,858	48,079	61,937	14,106	45,438	59,543	13,392	40,818	54,211	165,607	516,916	682,524	739,632	▲ 57,108
26,819	27,998	54,817	20,791	32,570	53,360	23,177	36,498	59,675	24,333	32,633	56,966	29,415	35,669	65,083	354,598	392,901	747,499	771,099	▲ 23,600
62,509	59,152	121,661	61,187	53,362	114,549	60,065	66,726	126,791	60,029	81,094	141,123	63,524	73,494	137,018	690,853	725,579	1,416,431	1,237,582	178,850
32,678	40,920	73,598	29,563	42,232	71,795	29,030	58,706	87,736	33,941	53,712	87,653	36,093	47,998	84,091	376,901	610,358	987,259	789,803	197,455
3,966	13,586	17,552	3,299	12,242	15,541	3,790	11,283	15,073	3,388	12,102	15,489	4,253	11,248	15,501	46,914	155,033	201,946	205,096	▲ 3,150
5,245	12,594	17,840	3,881	9,057	12,938	4,307	10,884	15,191	4,298	10,920	15,218	4,634	13,363	17,997	49,713	146,541	196,254	184,349	11,905
145,331	201,615	346,947	132,340	195,188	327,527	134,227	232,176	366,403	140,095	235,898	375,993	151,312	222,589	373,901	1,684,586	2,547,327	4,231,913	3,927,562	304,352
9,426	39,058	48,484	8,746	38,122	46,868	9,987	38,660	48,647	8,155	43,092	51,247	9,169	55,803	64,971	104,309	460,310	564,618	480,981	83,637
579	8,320	8,899	622	8,389	9,011	582	3,861	4,443	456	3,029	3,485	460	6,196	6,656	6,303	65,609	71,911	76,265	▲ 4,354
13,357	9,336	22,693	12,202	5,291	17,494	13,916	5,567	19,483	13,107	11,911	25,018	17,205	14,066	31,272	163,911	99,887	263,798	266,700	▲ 2,902
415	5,388	5,802	394	8,240	8,634	512	6,212	6,724	472	4,587	5,059	561	6,432	6,993	4,418	54,074	58,491	733	57,758
23,776	62,101	85,877	21,964	60,042	82,006	24,997	54,299	79,297	22,191	62,618	84,809	27,395	82,497	109,892	274,522	625,806	900,328	823,947	76,381
25,547	103,948	129,495	23,181	105,660	128,841	23,964	100,586	124,549	22,726	100,177	122,903	23,863	90,595	114,457	297,415	1,145,064	1,442,479	1,263,206	179,273
6,861	10,377	17,239	6,714	11,921	18,635	6,774	10,460	17,234	7,030	8,980	16,010	7,925	8,887	16,812	85,331	129,389	214,720	207,171	7,548
7,918	8,130	16,049	7,248	8,283	15,531	6,854	6,492	13,346	5,932	7,142	13,074	7,699	9,193	16,892	80,198	86,178	166,376	165,361	1,015
759	5,644	6,403	976	5,106	6,082	979	6,048	7,027	1,124	7,105	8,228	1,088	4,967	6,055	9,772	47,299	57,071		
9,028	52,440	61,468	7,592	53,652	61,243	8,759	48,677	57,436	7,499	50,687	58,186	7,695	48,628	56,323	103,049	616,925	719,974	702,069	17,906
32,129	10,439	42,568	30,314	9,216	39,530	34,605	6,676	41,281	32,627	7,691	40,319	28,049	13,634	41,683	378,311	122,149	500,460	494,267	6,193
15,402	20,270	35,672	13,603	13,935	27,539	12,778	15,111	27,889	11,933	16,682	28,614	12,599	15,589	28,188	171,842	219,084	390,926	349,148	41,778
5,688	6,291	11,979	5,514	6,274	11,788	6,066	7,569	13,635	6,093	7,147	13,240	6,128	4,627	10,755	70,821	74,471	145,292	71,395	73,897
6,789	10,018	16,807	7,203	8,971	16,174	7,597	10,546	18,142	6,493	11,902	18,395	7,838	11,105	18,943	82,347	121,596		190,745	▲ 190,745
1,570	4,063	5,633	1,488	4,329	5,817	1,803	6,320	8,123	1,207	6,450	7,657	1,731	6,260	7,991	16,909	58,160	75,069		
2,881	27	2,909	2,277	2	2,279	3,219	-	3,219	2,493	-	2,493	3,539	-	3,539	36,924	33		33,564	▲ 33,564
5,527	2,185	7,712	3,952	3,153	7,105	3,413	3,420	6,833	4,059	2,268	6,327	5,335	2,231	7,567	39,328	27,790	67,117		
401	1,832	2,234	349	2,177	2,526	337	1,234	1,570	337	2,105	2,441	384	2,355	2,739	4,488	23,034	27,522	20,865	6,657
558	-	558	433	-	433	346	-	346	334	-	334	351	-	351	6,108	160	6,268		
4,132	21,067	25,199	4,235	29,293	33,528	5,512	32,963	38,475	3,494	28,761	32,255	4,625	30,657	35,283	49,917	262,644	49,917	220,254	▲ 170,337
357	8,952	9,309	404	8,747	9,151	396	8,015	8,411	390	8,037	8,427	484	7,727	8,210	4,607	105,111		3,888	▲ 3,888
2,042	529,401	531,443	3,331	525,947	529,278	3,726	550,593	554,319	3,833	563,648	567,481	4,503	561,540	566,043	29,970	6,266,134	6,296,103	4,884	6,291,219
30	-	30	32	-	32	26	-	26	23	-	23	29	-	29	303	-	303	263	40
296,728	529,401	826,129	273,151	525,947	799,098	286,378	550,593	836,971	279,911	563,648	843,560	302,571	561,540	864,111	3,431,167	6,266,134	9,697,300	8,692,576	1,004,724
36%	64%	100%	34%	66%	100%	34%	66%	100%	33%	67%	100%	35%	65%	100%	35%	65%	100%	100%	

[医事サービス部]

2 医療行為別医療収入

① 外来

[単位：千円]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度 累計	対前年 差額
初診料	4,082	4,709	4,869	5,679	5,263	4,104	4,575	4,319	4,059	4,463	3,949	4,664	54,735	50,694	4,041
再診料	11,353	11,307	11,591	12,203	12,350	11,209	12,919	12,358	12,140	11,888	11,104	12,367	142,789	135,004	7,785
指導料	27,701	29,744	28,182	30,379	31,392	27,592	28,467	30,016	30,891	27,518	30,118	31,158	353,156	322,145	31,011
処方料	22,376	27,254	26,988	21,973	13,697	19,162	17,728	14,255	8,096	8,930	15,313	14,785	210,557	190,319	20,238
注射料	59,773	66,520	58,675	61,051	70,940	57,833	74,402	71,403	65,363	74,609	68,223	72,560	801,351	723,442	77,909
処置料	3,565	4,495	4,508	4,770	5,074	4,488	5,228	5,385	5,347	5,616	5,814	6,661	60,952	39,157	21,795
手術料	5,056	5,338	3,602	4,235	5,283	5,197	5,511	5,356	4,960	3,940	5,972	5,022	59,473	67,549	▲8,076
検体検査料	81,499	82,910	83,023	89,790	91,788	80,045	93,248	88,164	84,409	88,457	83,026	91,190	1,037,548	960,207	77,342
画像検査料	30,281	32,874	36,600	43,510	41,122	35,963	40,960	40,107	35,235	38,721	35,639	40,573	451,587	389,739	61,848
リハビリ その他	11,772	13,718	14,198	14,014	13,300	12,581	15,067	16,966	15,067	14,290	13,882	16,376	171,231	161,928	9,303
自費	6,514	6,347	7,308	6,838	7,419	6,858	8,485	8,399	7,585	7,945	6,873	7,215	87,787	74,381	13,406
計	263,973	285,217	279,543	294,443	297,627	265,033	306,591	296,728	273,151	286,378	279,911	302,571	3,431,167	3,114,564	316,602

[医事サービス部]

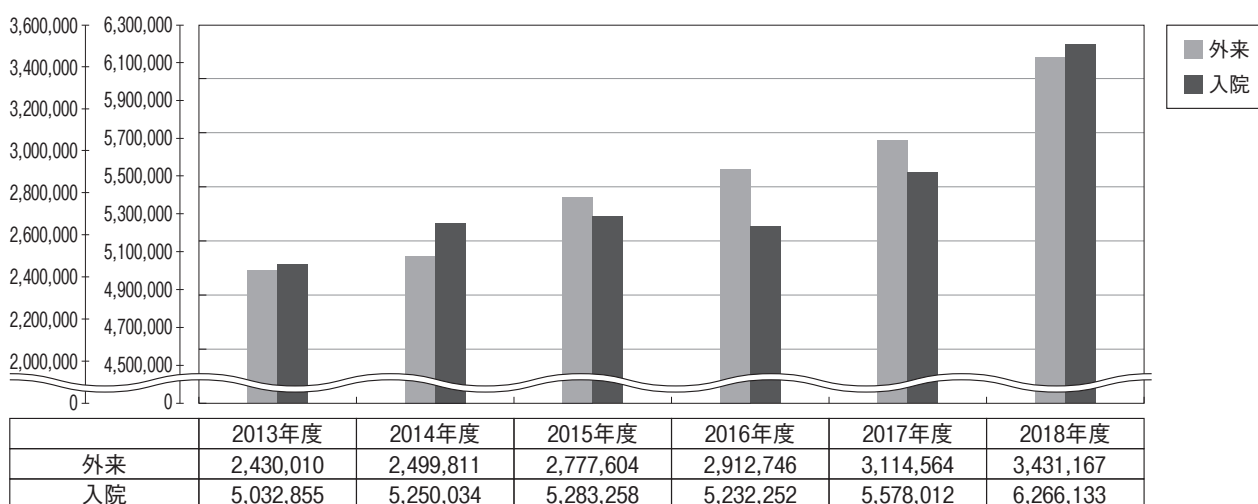
② 入院

[単位：千円]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度 累 計	対前年 差 額
診察料	382	351	399	542	531	382	441	355	403	563	329	446	5,124	5,716	▲592
指導料	4,714	4,547	6,827	6,688	6,825	5,651	6,320	6,025	6,156	5,554	6,060	6,499	71,864	64,589	7,274
処方料	5,467	2,954	6,194	7,392	5,489	5,803	4,874	3,525	5,120	4,929	5,578	6,944	64,269	55,589	8,680
注射料	2,529	2,375	5,908	6,046	2,041	3,633	3,550	2,606	7,022	6,510	18,297	12,499	73,016	64,217	8,798
処置料	2,112	2,377	3,884	2,516	1,769	3,872	3,679	2,973	3,338	2,896	2,896	3,658	35,971	32,998	2,972
手術料	103,102	117,126	138,068	136,725	138,741	126,556	143,495	139,522	124,659	131,575	138,707	140,047	1,578,323	1,335,264	243,059
検体検査料	6,571	7,181	9,062	7,992	8,982	7,789	8,810	8,681	7,991	9,482	8,898	8,839	100,277	94,062	6,215
画像検査料	675	842	943	1,051	1,167	844	1,239	961	1,108	1,211	1,577	1,338	12,954	14,934	▲1,980
リハビリ その他	9,490	9,786	12,009	11,950	12,635	9,055	12,901	10,995	10,994	11,566	10,613	10,609	132,603	119,459	13,144
入院料	34,500	30,347	42,965	43,560	44,220	46,885	46,784	43,201	47,564	52,918	50,522	52,349	535,815	540,273	▲4,458
DPC	212,646	210,167	252,593	264,570	280,601	245,786	242,645	254,478	253,684	261,297	252,427	259,418	2,990,312	2,762,421	227,891
食事療養費	12,614	12,133	14,616	15,522	15,465	14,516	14,254	14,477	14,540	14,958	15,525	15,220	173,839	172,922	918
自費	22,623	27,057	41,408	44,370	47,113	42,357	38,840	41,602	43,367	47,134	52,220	43,676	491,768	315,568	176,200
計	417,424	427,241	534,875	548,925	565,579	513,128	527,833	529,401	525,947	550,593	563,648	561,540	6,266,133	5,578,012	688,122

[医事サービス部]

外来(千円) 入院(千円)



3. その他統計

1 病院従業員数（2018年4月1日時点）

		職員	性別		専攻医	研修医	常勤嘱託	非常勤・パート	
			男	女					
医 師	2018年度	85	66	19	10	12	2	48	
	2017年度	80	64	16	8	12	3	46	
薬 剤 師	2018年度	13	5	8				3	
	2017年度	12	5	7				4	
放射線技師	2018年度	17	11	6					
	2017年度	15	9	6					
臨床検査技師	2018年度	24	12	12				2	
	2017年度	23	11	12				2	
理学療法士	2018年度	10	9	1					
	2017年度	10	9	1					
作業療法士	2018年度	1	1						
	2017年度	1	1						
管理栄養士	2018年度	1		1				2	
	2017年度	1		1				2	
ケースワーカー	2018年度	3		3				1	
	2017年度	3		3				1	
視能訓練士・眼鏡士	2018年度	2		2				1	
	2017年度	2		2			2	3	
臨床心理士	2018年度	0						2	
	2017年度	0						1	
臨床工学技士	2018年度	7	4	3				2	
	2017年度	5	2	3					
看護師	2018年度	288	6	282				23	
	2017年度	297	8	289				20	
准看護師	2018年度	0						7	
	2017年度	0						8	
看護助手	2018年度	0						10	
	2017年度	0						10	
事務員	2018年度	47	29	18				27	
	2017年度	47	29	18				23	
一般技能労務職	2018年度	1	1				1	2	
	2017年度	1	1				1	3	
小 計		2018年度	499	144	355	10	12	3	130
		2017年度	497	139	358	8	12	4	125
ニッセイ予防医学センター	医 師	2018年度	5	3	2			2	1
		2017年度	5	4	1			1	1
	放射線技師	2018年度	4	2	2				14
		2017年度	4	2	2				14
	臨床検査技師	2018年度	5		5				14
		2017年度	5		5				12
	臨床心理士	2018年度	0						2
		2017年度	0						2
	看 護 師	2018年度	6		6				8
		2017年度	6		6				7
	事 務 員	2018年度	13	5	8				20
		2017年度	11	5	6				22
	一般技能労務職	2018年度	1	1					
		2017年度	1	1					
小 計		2018年度	34	11	23			2	59
		2017年度	32	12	20	0	0	1	58
訪問看護	看護師	2018年度	7	1	6				7
		2017年度	7	1	6				6
小 計		2018年度	7	1	6				7
		2017年度	7	1	6				6
総 計		2018年度	540	156	384	10	12	5	196
		2017年度	537	153	384	8	12	5	189

[総務人事G]

2 セカンドオピニオン外来件数（年間計）

総合内科 1件、血液・化学療法内科 1件、呼吸器外科 1件、乳腺外科 2件、産婦人科 8件、眼科 1件

[あったかサポートセンター]

循環器内科

スタッフ 部 長：岡部太一
 担当部長：中川 厚
 副 部 長：徳岡孝仁
 副 医 長：吉川秀人
 専 攻 医：長谷川仁美、新宮昂史（～6月）、佐藤 恵（8～9月）

1. 診療内容

循環器内科では虚血性心疾患、心不全、各種弁膜症、高血圧症、脂質異常症、各種不整脈、閉塞性動脈硬化症、静脈血栓症等の診断・カテーテル治療を含めた内科的治療を行っている。

冠動脈造影検査についても近年は年間450件前後、経皮的冠動脈形成術（PCI）も150～200件前後で推移（うち急性冠症候群症例13例）、大きな合併症なく良好な成績を上げている。また急性心筋梗塞などの緊急カテーテル検査などの救急疾患についても積極的に対応している。

近年保険診療においてPCI実施については可能な限り虚血所見の証明を必要とされており、当院ではシンチ検査や運動負荷シンチ検査にて虚血評価を実施の上、カテーテル治療を実施している。

また糖尿病患者や高齢患者の増加に伴い閉塞性動脈硬化症も増加、新たに常勤医として赴任された心臓血管外科 新谷医師と協力のもと実施している。

不整脈治療について、頻脈性不整脈に対するカテーテル心筋症焼灼術については心房粗動や上室性頻拍症など心房細動以外の不整脈に対しては大阪医科大学循環器内出身の不整脈専門医の協力のもと当院にてアブレーション治療を可能な体制を構築しているが、本年度は待機的な症例に対してであるが4例実施、今後適時臨時で対応していく予定である。

徐脈性不整脈（洞不全症候群、房室ブロック）に対するペースメーカー（新規植込み・電池交換）植込み手術を実施している。

また2016年9月より心臓リハビリテーションを当院でも開始、主に入院患者を対象に急性心筋梗塞後のみならず心不全や閉塞性動脈硬化症などに対して実施、可能な症例に対しては入院から外来へと継続実施している。心臓リハビリテーション実施に際して安全かつ有効に実施するため心肺運動負荷試験（CPX）実施、嫌気性代謝閾値を相定、評価実施、運動処方を行っている。

虚血性心疾患・心不全を中心に診療を行っているが、常勤の循環器専門医3名の指導のもと循環器一般診療・内科一般疾患に対しても幅広く診療を行っている。

循環器疾患以外にもそれに付随した関連疾患の診療も他科と協力しながら行っている。

2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 病棟体制（表2）
- 3) 検査スケジュール（表3）
 - ・心臓カテーテル検査・冠動脈形成術：放射線部（火曜日全日、水曜・木曜・金曜 午前、尚、緊急時には適時対応）
 - ・薬剤負荷心筋シンチ（金曜 午前）
 - ・トレッドミル負荷心電図検査（月・金 午後）
 - ・経胸壁心臓超音波検査 頸動脈超音波検査（月～金曜 全日）
 - ・経食道心臓超音波検査（月・水・金午後適時）
 - ・下肢静脈超音波検査（月～金曜 午後）
 - ・ホルター心電図検査（月～木曜、午前）
 - ・CPX：心肺運動負荷試験（月・水・金午後適時）

3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表4）
- 2) 入院診療実績（表4、5）
- 3) 検査実績
 - 心臓カテーテル検査件数：558件
 - PCI（冠動脈インターベンション治療）：175件（内、緊急13件）
 - PTA（経皮的動脈形成術）：4件
 - ペースメーカー治療（新規/交換）：15/1件
 - ABL（カテーテル電気焼灼術）/EPS：4件
 - 冠動脈CT：391件
 - 心臓超音波検査：3,834件
 - 経食道心臓超音波検査：13件
 - トレッドミル負荷心電図：137件
 - 負荷心筋シンチ：124件
 - 安静心筋シンチ：5件
 - ホルター心電図検査：270件

4. 認定医・専門医など

- 日本内科学会認定内科医
 4名（岡部、中川、徳岡、長谷川）
- 日本内科学会総合内科専門医 1名（岡部）
- 循環器専門医 3名（岡部、中川、徳岡）
- 日本心血管インターベンション治療学会
 専門医・指導医 1名（中川）

5. 業績

学会発表

1. 長谷川仁美, 中川 厚, 岡部太一:健康診断で見つかった肺動脈拡張, 第66回心臓病学会学術集会, 2018年9月, 大阪.
2. 中川 厚:虚血性心疾患治療:リスク因子としての糖尿病・高血圧症・脂質異常症, 第369回住之江区医師会学術講演, 2018年9月, 大阪.

研究会発表

1. 新宮昂史, 中川 厚:急性期インターベンションは成功したが意識障害が残った心筋梗塞の1例, JMN循環器懇話会, 2018年5月, 大阪.
2. 新宮昂史, 中川 厚:急性期インターベンションは成功したが意識障害が残った心筋梗塞の1例, 第8回心血管糖尿病合同カンファレンス, 2018年7月, 大阪.
3. 新宮昂史, 岡部太一:異なった転帰をとった胸部大動脈瘤の2例, 第51回北摂循環器セミナー, 2018年7月, 大阪.
4. 岡部太一:動脈硬化予防を意識した糖尿病治療, 江之子島マルチ医療フォーラム, 2018年7月, 大阪.
5. 吉川秀人:冠動脈疾患における脂質異常症について, 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 2018年11月, 大阪.
6. 中川 厚:RCA CTO不成功例の検討, Monthly CTO Forum, 2018年11月, 宝塚.
7. 佐藤 恵, 中川 厚:多機能心電図(Multifunction Cardiogram:MCG)の使用経験, JMN循環器懇話会, 2018年11月, 大阪.
8. 吉川秀人, 岡部太一:FHを基礎とした冠動脈疾患における脂質管理について, 大阪西部hyperlipidemia Symposium, 2019年2月, 大阪.

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
吉川	岡部	岡部		中川	吉川	岡部	岡部	岡部	中川 (予約)
中川	徳岡			岡部/ 長谷川 (浩) (予約)*	徳岡 (予約)		長谷川 (仁)	徳岡	長谷川 (仁)
									交代

※岡部は1・4・5週の予約再診、長谷川は2・3週の初診のみ

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	カンファレンス	カンファレンス 心臓カテーテル	カンファレンス	カンファレンス 心臓カテーテル	カンファレンス
午後			部長回診	カンファレンス	

表3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
心エコー	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予
頸動脈エコー	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予
ホルター心電図		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		
末梢血管エコー		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予
トレッドミル		○ 診								○ 診
心臓カテーテル検査			○ 診	○ 診			○ 診	○ 診		
負荷心筋シンチ									○ 診	

●: 紹介状・予約が必要 ○: 当院診察が必要

表4 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	13,433	13,744	13,827	14,750	14,144
入院	11,420	12,924	12,044	10,706	8,470

※2013.4～循環器内科・神経内科から神経内科を分離新設

表5 2018.4～2019.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
狭心症および慢性虚血性心疾患	368	6
心不全	104	26
心臓および血管の挿入物および移植片の存在	77	4
急性心筋梗塞	25	21
心房細動および粗動	21	12
アテローム〈じゅく〈粥〉状〉硬化（症）	15	4
肺炎（誤嚥性肺炎を含む）	14	21
睡眠障害	11	3

スタッフ 部 長：有坂好史

担当部長：湯川雅彦(消化器内視鏡センター長)

副 部 長：村本 理、田中敏雄

医 長：河田奈都子、荻巣恭平

副 医 長：北田隆起

専 攻 医：飛田哲志(～8月)、山本久留実(9～10月)、加藤更紗(10～11月)、新宮昂史(2～3月)

兼 務：中村秀次(ニッセイ予防医学センター長)、眞弓周子

1. 診療内容

全人的な医療をモットーとして、消化器疾患全般に対する診療を行っている。外科合同カンファレンス、放射線科合同カンファレンスを継続して行い、外科・放射線科の連携のもと集学的診断治療に努めている。上部・下部消化管内視鏡検査では、NBI拡大内視鏡、色素内視鏡を用いて、食道癌、胃癌、大腸癌の早期診断など高い診断精度を目指す。胆膵疾患および消化管粘膜下腫瘍に対しては超音波内視鏡検査を駆使し、超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)も導入し、診断能の向上を図っている。治療的手技としては、内視鏡的粘膜切除術、ポリペクトミー、内視鏡的食道静脈瘤結紮術に加えて、胃・食道の早期癌に対して粘膜下層剥離術(ESD)も積極的に実施しており、早期大腸癌のESDも行なっている。膵・胆管領域では、総胆管結石や閉塞性黄疸に対して内視鏡的逆行性胆道造影・内視鏡的乳頭切開術、胆管ステント留置術等を行っている。食道や胃の進行癌だけでなく膵癌、胆管癌に対しても、化学療法、放射線療法など集学的治療を行っている。肝疾患では、B型慢性肝炎に対するエンテカビル、テノホビル、TAF投与、C型慢性肝炎に対するIFN-free DAA経口療法を積極的に実施している。肝硬変に対しては肝癌の早期発見さらに発癌抑制も踏まえたきめ細かな診療を心がけ、分枝鎖アミノ酸製剤等の栄養療法、難治性腹水に対するCART療法など、QOLおよび生存率の向上を目指した治療を行なっている。肝細胞癌に対しては、外科、放射線科との緊密な連携の元、外科切除、ラジオ波焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法(TACE)等の局所治療を実施するとともに、局所コントロール不能例には分子標的治療薬も積極的に導入し、集学的治療を行っている。

2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール(表1)
- 2) 病棟体制(表2)
- 3) 検査スケジュール(表3)

3. 診療実績

- 1) 外来診療実績(表4)
- 2) 入院診療実績(表4、5)

4. 認定医・専門医など

日本内科学会認定医	4名(有坂、河田、北田、中村)
日本内科学会総合内科専門医	3名(湯川、村本、荻巣)
日本内科学会認定指導医	3名(湯川、村本、中村)
日本消化器病学会認定専門医	7名(有坂、湯川、村本、河田、荻巣、北田、中村)
日本消化器病学会認定指導医	3名(有坂、湯川、中村)
日本消化器内視鏡学会認定専門医	7名(有坂、湯川、村本、河田、荻巣、北田、中村)
日本消化器内視鏡学会認定指導医	3名(有坂、湯川、中村)
日本肝臓学会認定肝臓専門医	5名(村本、河田、荻巣、北田、中村)
日本肝臓学会認定指導医	1名(中村)
日本胆道学会認定指導医	1名(有坂)
日本膵臓学会認定指導医	1名(有坂)
日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1名(中村)
日本超音波医学会専門医	1名(河田)
日本がん治療認定医	1名(河田)

5. 業績

論文・著書

1. Ikegawa T, Masuda A, Sakai A, Toyama H, Zen Y, Sofue K, Nakagawa T, Shiomi H, Takenaka M, Kobayashi T, Yoshida M, Arisaka Y, Okabe Y, Kutsumi H, Fukumoto T, Azuma T: Multifocal cysts and incidence of pancreatic cancer concomitant with intraductal papillary mucinous neoplasm, *Pancreatology*, 18(4):399-406, 2018.
2. Takenaka M, Arisaka Y, Sakai A, Kobayashi T, Shiomi H, Masuda A, Kudo M: A novel biliary cannulation method for difficult cannulation vases using a unique, uneven, double-lumen cannula(uneven method), *Endoscopy*, 50(8):DOI: 10.1055/a-0624-9317, 2018.
3. Mochizuki N, Fujita T, Kobayashi M, Yamazaki Y, Terao S, Sanuki T, Okada A, Adachi M, Murakami M, Arisaka Y, Uno K, Masuda A, Yoshida M, Umegaki E, Kutsumi H, Azuma T: Factors associated with the presentation of erosive esophagitis symptoms in health checkup subjects: A prospective, multicenter cohort study, *Plos one*, 13(5):e0196848, 2018.
4. Sakai A, Tsujimae M, Masuda A, Iemoto T, Ashina S, Yamakawa K, Tanaka T, Tanaka S, Yamada Y, Nakao R, Sato Y, Kurosawa M, Ikegawa T, Fujigaki S, Kobayashi T, Shiomi H, Arisaka Y, Itoh T, Kodama Y: Clinical outcomes of ampullary neoplasms in resected margin positive or uncertain cases after endoscopic papullectomy, *World Journal of Gastroenterology*, 25(11):1387-1397, 2019.
5. 有坂好史, 荻巣恭平, 河田奈都子:胆膵疾患内視鏡アトラ

ス, III. 胆嚢 1.ポリープ-2cmくらいまで, コレステロールポリープ, 消化器内視鏡, 30 増刊号, 178-181, 2018, 東京医学社, 東京.

- 有坂好史, 萩原恭平:エキスパートへの道-胆膵, 膵管造影-難渋したときの技-, 消化器内視鏡, 31(3):342-374, 2019.
- 八木洋輔, 有坂好史, 田中敏雄, 北田隆起, 河田奈都子, 村本理, 湯川雅彦, 中村秀次, 田村慶朗, 立花 功, 城光寺 龍, 増田充弘:EUS-FNAが有用であった結核性リンパ節炎の1例, 日生病院医学雑誌, 46(1):21-25, 2018.
- 竹中 完, 吉川智恵, 石川 嶺, 岡本彩那, 山崎友祐, 中居敦史, 大本俊介, 三長孝輔, 鎌田 研, 山雄健太郎, 有坂好史, 工藤正俊:Biliary access大辞典, III. 経乳頭のBiliary access～salvage technique～, Uneven Double Lumen Cannulaを用いた胆管カニューレシオンテクニック (Uneven method), 胆と膵, 39 臨時増刊特号:1013-1020, 2018.
- 北田隆起, 中村秀次, 萩原恭平, 河田奈都子, 村本 理, 有坂好史:当院にて入院加療を要した肝硬変患者における成因別実態, 肝硬変の成因別実態2018, 日本肝臓学会, 西口修平, 編集:上野義之, 日浅陽一, 榎本平之, 98-99, 2019, 医学図書株式会社出版.

学会発表

- 萩原恭平, 藤田 剛, 増田充弘, 山崎幸直, 小林正夫, 寺尾秀一, 岡田明彦, 佐貫 毅, 安達正恭, 船津英司, 梅垣英次, 久津見弘, 東 健:健診受診者における上腹部症状と安特性との関連, 第104回消化器病学会総会, 2018年4月, 東京.
- 有坂好史:胆嚢ポリープの取扱い-10mm以上をどう扱うか? 特別プログラムパネルディスカッション消化器4「胆嚢癌を見直す」, 日本超音波医学会第91回学術集会, 2018年6月, 神戸.
- 北田隆起, 中村秀次, 有坂好史, 八木洋輔, 河田奈都子, 村本理:当院にて入院加療を要した肝硬変患者における成因別実態の解析」, 第54回日本肝臓学会総会, 2018年6月, 大阪.
- 北田隆起, 村本 理, 八木洋輔, 有坂好史, 中村秀次:C型肝硬変患者におけるDAA治療後の肝発癌とGlycated albumin/HbA1c ratioの関連性, 第54回日本肝臓学会総会, 2018年6月, 大阪.
- 飛田哲志, 北田隆起, 萩原恭平, 河田奈都子, 田中敏雄, 村本理, 湯川雅彦, 中村秀次, 有坂好史:Mirizzi症候群様の病態を呈し著明なIgG4陽性形質細胞浸潤を伴う胆嚢壁肥厚と胆嚢粘膜内癌の合併を認めた1例, 日本消化器病学会近畿支部第109回例会, 2018年9月, 大阪.
- 北田隆起, 有坂好史, 飛田哲志, 萩原恭平, 河田奈都子, 田中敏雄, 村本 理, 湯川雅彦, 中村秀次, 小関萬里:胆管内にポリープ状の発育をした下部胆管癌の1例, 日本消化器病学会近畿支部第109回例会, 2018年9月, 大阪.
- 田中敏雄, 北田隆起, 萩原恭平, 河田奈都子, 村本 理, 湯川雅彦, 中村秀次, 有坂好史:Calcifying fibrous tumor of the stomachの一例, 日本消化器病学会近畿支部第109回例会, 2018年9月, 大阪.
- 小林 隆, 有坂好史, 児玉裕三:切除企図肝門部領域胆道癌に対する術前胆道ドレナージの検討-inside stentの使用経験 パネルディスカッション2「肝門部領域胆道癌に対する適切な術前ドレナージ方法と術式決定」, 第54回日本胆道学会学術集会, 2018年9月, 千葉.
- 北田隆起, 中村秀次, 萩原恭平, 河田奈都子, 村本 理, 有坂好史:ウルソデオキシコール酸にて改善を認めた肝サルコイドーシスの1例, 第42回日本肝臓学会東部会, 2018年12月, 東京.
- 有坂好史:かかりつけ医が知っておきたい膵癌高危険群の知識とマネージメント, 大阪府内科医会定例学術講演会, 2019年3月, 大阪.

研究会発表

- 萩原恭平, 北田隆起, 河田奈都子, 田中敏雄, 村本 理, 湯川雅彦, 有坂好史, 中村秀次:EUS-FNAについて, 内科合同カンファ救急症例検討会, 2018年5月, 大阪.
- 村本 理:当院におけるC型肝炎DAA治療の状況と残された課題, 第15回西部大阪肝疾患地域連携会, 2018年9月, 大阪.
- 村本 理:変わりゆくC型肝炎肝疾患治療, 第5回あわぎ肝疾患地域連携懇話会, 2018年10月, 大阪.
- 中村秀次:B型慢性肝炎治療の現況と今後-病診連携をふまえて-, 第5回あわぎ肝疾患地域連携懇話会, 2018年10月, 大阪.
- 有坂好史:ERCPライブデモンストレーター, 会津中央病院消化器内視鏡ライブ, 2018年10月, 会津若松.
- 萩原恭平, 北田隆起, 河田奈都子, 田中敏雄, 村本 理, 湯川

雅彦, 有坂好史, 中村秀次:EUSの現況, 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 2018年11月, 大阪.

- 村本 理:C型肝炎治療:最近の進歩, 市民公開講座～肝臓病を知る～, 2018年12月, 大阪.
- 北田隆起:TACE不応のためLenvatinib投与にて加療を行った肝細胞癌の1例, TN消化器ミーティング, 2019年1月, 大阪.
- 中村秀次:肝がん治療のこれまでとこれから～治療戦略の変革～, TN消化器ミーティング, 2019年1月, 大阪.
- 中村秀次:C型肝炎治療の最新情報-透析患者の予後改善をふまえて-, 透析患者のC型ウイルス肝炎対策を考える会, 2019年2月, 大阪.

表 1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
有坂	萩原	村本	北田	中村	村本	中村	中村	有坂	眞弓
北田		田中(敏)		萩原		湯川	河田	村本	
								田中(敏)	

表 2 病棟体制

月		火		水		木		金	
午前	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡
午後	肝生検 大腸内視鏡	大腸内視鏡 内視鏡カンファ	肝生検 造影超音波検査 大腸内視鏡	ERCP RFA 16:30 放射線科 合同カンファレンス 病棟患者 カンファレンス				大腸内視鏡 13:30 回診	

表 3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内視鏡 胃	● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予		● 紹・予	
内視鏡 大腸		○ 診		○ 診		○ 診				○ 診
EUS									○ 診	
ERCP			○ 診					○ 診		
膵精密エコー						● 紹・予				

●: 紹介状・予約が必要 ○: 当院診察が必要

表 4 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	14,044	14,908	15,255	17,192	18,594
入院	10,098	6,268	8,423	9,712	8,741

表 5 2018.4～2019.3ー入院患者の疾患 (上位のみ)

疾患名	件 数	平均在院日数
結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	99	2
胆石症	49	12
肝および肝内胆管の悪性新生物	42	14
胃の悪性新生物	41	12
腸の憩室性疾患	38	6
胆道のその他の疾患	34	12
膵の悪性新生物	30	19
結腸の悪性新生物	29	7
消化器系のその他の疾患	23	7
麻痺性イレウスおよび腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	22	11
肝線維症および肝硬変	21	17
胃潰瘍	20	16

スタッフ 部長：立花 功（副院長、内科統括）

担当部長：小瀬戸昌博（中央臨床検査部長）

住谷 哲（糖尿病・内分泌センター長代行、ニッセイ予防医学センター担当部長）

三木俊治

医 長：宇都佳彦、甲原雄平

副 医 長：二宮隆介

専 攻 医：魚田晃史、村上輝明、新宮昂史（7～9月）、加藤更紗（12～1月）、山本久留実（1～3月）

兼 任：佐藤文三（名誉院長）、笠山宗正（院長）

非 常 勤：宮武明彦

1. 診療内容

総合内科は内分泌・糖尿病、膠原病・リウマチ疾患・呼吸器疾患を対象に診療を行なっている。その内容は糖尿病の患者教育、経口薬やインスリンを初めとする注射薬による血糖コントロール、ケトosisや糖尿病合併症治療、クッシング症候群や甲状腺機能異常など内分泌疾患の診断・治療、SLE、強皮症、皮膚筋炎など膠原病の診断・治療、（生物学的製剤の使用を含む）慢性関節リウマチ治療、そして肺がんの診断・（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬を含む）薬物療法・放射線治療・緩和治療、間質性肺炎、気管支喘息、COPDなどの診断・治療である。

2017年4月より、宮武明彦医師による気管支喘息専門外来を開始し、外来を含めた喘息患者は大阪府内でも屈指の数となっている。

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

内科外来1、7、10～13診察室で外来診療を行った。

2) 病棟体制（表2）

病床数は48、病棟担当医は研修医1～2名、専攻医3名、常勤医3名で、研修医または専攻医が担当医、専攻医または常勤医が主治医となって診療を行った。

3) 検査スケジュール（表3）

X線透視下気管支鏡検査：放射線部（水曜日午後）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表4）

外来延べ患者数は2012年度以降増加を続けており、2018年度は43,945人であった。

2) 入院診療実績（表4、5）

入院延べ患者数は2017年度は前年度比べやや減少したが、2018年度は17,201人と2016年度と比べても185人増加した。

3) 検査実績

気管支鏡検査は全例検査入院で施行している。検査数は2018年度136件と2017年度103件から大きく

増加した。免疫チェックポイント阻害薬の登場により、積極的な検査・治療の対象となる肺がん患者数が増加してきたことが一因として考えられる。

4. 認定医・専門医など

日本内科学会認定内科医 11名（立花、小瀬戸、住谷、三木、宇都、甲原、二宮、佐藤、笠山、宮武）

日本内科学会認定指導医 7名（立花、小瀬戸、住谷、三木、宇都、佐藤、笠山）

日本内科学会総合内科専門医 5名（小瀬戸、住谷、三木、宇都、甲原）

日本内分泌学会専門医・指導医 4名（住谷、佐藤、笠山、宮武）

日本糖尿病学会専門医・指導医 2名（住谷、笠山）

日本リウマチ学会専門医 1名（小瀬戸）

日本アレルギー学会専門医 2名（小瀬戸、宮武）

日本アレルギー学会指導医 1名（小瀬戸）

日本呼吸器学会専門医 2名（立花、甲原）

日本呼吸器学会指導医 1名（立花）

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 1名（立花）

日本高血圧学会指導医 1名（笠山）

日本人間ドック学会専門医・指導医 2名（住谷、佐藤）

5. 業績

論文・著書

1. Matsumoto R, Koga M, Kasayama S, Fukuoka H, Iguchi G, Odake Y, Yoshida K, Bando H, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Ogawa W, Takahashi Y: Factors correlated with serum insulin-like growth factor-I levels in health check-up subjects. Growth Hormone & IGF Research, 40: 55-60, 2018.
2. Kuramoto N, Wakahara T, Tamagawa Y, Uchino T, Koseto M, Kawakami M, Otsuki M, Aoki Y, Ishibashi M, Kasayama S, Sumitani S, Koga M: A case of monoclonal gammopathy of undetermined significance with abnormal low levels of plasma glycosylated albumin by M protein. Clin Chim Acta, 487: 337-340, 2018.
3. 笠山宗正: ステロイド補充療法. 内分泌代謝専門医ガイドブック, 日本内分泌学会編, 419-421, 2018, 診断と治療社, 東京.
4. 大畔健太, 宇都佳彦, 石川那智, 魚田晃史, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲: 後期高齢2型糖尿病患者におけるメトホルミ

ンの使用実態. 日生病院医学雑誌, 46:26-29, 2018.

5. 加藤更紗, 大畔健太, 魚田晃史, 宇都佳彦, 立花 功, 佐藤文三, 笠山宗正, 川上 学, 福井辰成, 住谷 哲: 副腎皮質機能低下症に加えてアドレナリン分泌低下を認めた副腎原発悪性リンパ腫の1例. 日生病院医学雑誌, 46:36-40, 2018.

学会発表

1. 魚田晃史, 大畔健太, 宇都佳彦, 生田武蔵, 立花 功, 住谷 哲, 笠山宗正: ACTH単独欠損症患者の血清コルチゾール値と臨床症状の関連について. 第91回日本内分泌学会学術総会, 2018年4月, 宮崎.
2. 大畔健太, 宇都佳彦, 石川那智, 魚田晃史, 佐藤文三, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲, 中村秀次: 家族性副甲状腺機能亢進症の診療経過中にガストリノーマの存在が判明し多発性内分泌腫瘍症1型と診断した母子2症例. 第91回日本内分泌学会学術総会, 2018年4月, 宮崎.
3. 大畔健太, 宇都佳彦, 石川那智, 魚田晃史, 生田武蔵, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲: Ketosis-prone type2 diabetesの臨床的特徴についての検討. 第61回日本糖尿病学会年次学術集会, 2018年5月, 東京.
4. 玉川雄一, 倉本訓子, 福田志穂美, 若原達哉, 内野高裕, 天野精子, 水口洋一, 小瀬戸昌博, 角南ちえ子, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲: FGMにおける血糖変動指標に関連する因子の検討. 第61回日本糖尿病学会年次学術集会, 2018年5月, 東京.
5. 魚田晃史, 大畔健太, 宇都佳彦, 生田武蔵, 立花 功, 住谷 哲, 笠山宗正: SGLT2阻害薬の血糖降下作用および体重減少作用に関連する因子の検討. 第61回日本糖尿病学会年次学術集会, 2018年5月, 東京.
6. 魚田晃史, 宇都佳彦, 生田武蔵, 加藤更紗, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲: 知人の看護師の指摘により受診するまで見逃されていた先端巨大症の1例. 第19回日本内分泌学会近畿支部学術集会, 2018年5月, 東京.
7. 笠山宗正: 内分泌代謝診療・研究の醍醐味. 和歌山県立医科大学第12回糖尿病と高血圧を考える会, 2018年9月, 和歌山.
8. 加藤更紗, 魚田晃史, 宇都佳彦, 生田武蔵, 立花 功, 住谷 哲, 笠山宗正: 糖尿病性多発神経障害 (DPN) 重症度と血清脂質値との関連について. 2018年度糖尿病性神経障害を考える会学術講演会, 2018年9月, 東京.
9. 城野美里, 甲原雄平, 宇都佳彦, 田村慶朗, 村上輝明, 魚田晃史, 二宮隆介, 河面 聡, 住谷 哲, 小瀬戸昌博, 立花 功: ベムプロリズマブによって発症した SLE に伴う神経精神症状の1例. 第92回日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年12月, 奈良.
10. 石田哲朗, 二宮隆介, 村上輝明, 魚田晃史, 甲原雄平, 宇都佳彦, 小瀬戸昌博, 佐藤文三, 笠山宗正, 立花 功: アミオダロンによって発症したと考えられた薬剤性肺炎、肝障害の1例. 第222回日本内科学会近畿地方会, 2018年12月, 大阪.
11. 魚田晃史, 宇都佳彦, 生田武蔵, 加藤更紗, 甲原雄平, 二宮隆介, 村上輝明, 小瀬戸昌博, 住谷 哲, 立花 功: ステロイド投与によりSIADHが寛解したと考えられるラトケ嚢胞の1例. 第222回日本内科学会近畿地方会, 2018年12月, 大阪.
12. 佐藤文三: 先人に学ぶ医のこころ. 花乃井中学校特別授業, 2019年2月, 大阪.
13. 立花 功: 知っておきたい移植医療～肺移植の適応について～. ニッセイ医学セミナーUpdate, 2019年2月, 大阪.
14. 魚田晃史, 宇都佳彦, 生田武蔵, 加藤更紗, 立花 功, 住谷 哲, 萩原恭平, 有坂好史, 笠山宗正: 巨大嚢胞性病変を合併した先端巨大症の一例. 第29回日本間脳下垂体腫瘍学会, 2019年2月, 大阪.
15. 加藤更紗, 魚田晃史, 宇都佳彦, 生田武蔵, 立花 功, 住谷 哲, 笠山宗正: 複数の診療科を受診していたにもかかわらず長期間診断に至らなかった先端巨大症の1例. 第29回日本間脳下垂体腫瘍学会, 2019年2月, 大阪.
16. 宇都佳彦, 魚田晃史, 生田武蔵, 加藤更紗, 住谷 哲, 笠山宗正, 藤澤一朗: 下垂体前葉機能低下症と仮面尿崩症を呈した

垂体茎内を上方に伸展するラトケのう胞と考えられた1例. 第29回日本間脳下垂体腫瘍学会, 2019年2月, 大阪.

17. 笠山宗正: 市民公開講座: 下垂体患者のための健康長寿学. 糖尿病、高血圧、心臓病、骨粗鬆症～下垂体疾患の関わり. 第29回日本間脳下垂体腫瘍学会, 2019年2月, 大阪.
18. 角南ちえ子, 住谷 哲, 麦田盛穂, 古久保有希子, 出口暁子, 倉本訓子, 笠山宗正: 週末3日間の糖尿病教育/精査入院の試み. 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.
19. 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治, 角南ちえ子, 古久保有希子, 出口暁子, 倉本訓子, 住谷 哲, 笠山宗正: 2型糖尿病患者に対する週末3日間教育入院における個別運動指導とその意義について. 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.
20. 小瀬戸昌博, 大野典子, 津田侑子, 中村寛海, 小西美香, 平田貴宏, 池田久雄, 木下幹朗, 村上輝明, 佐藤智彦, 赤木幹弘, 浅野彰彦, 笠山宗正: アウトブレイクを思わせるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) の院内検出を経験して. 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.

研究会発表

1. 笠山宗正: 糖尿病と「がん」の気になる関係. 2018年度第1回ニッセイ市民健康セミナー, 2018年6月, 大阪.
2. 佐藤文三: 癌と向き合う一予防から最新治療まで. 日本医療の現状講演会, 2018年6月, 上海, 中国.
3. 高森啓成, 大畔健太, 魚田晃史, 加藤更紗, 生田武蔵, 宇都佳彦, 佐藤文三, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲: Ketosis-prone type 2 diabetesの臨床的特徴についての検討. 第12回大阪内分泌・代謝クリニカルカンファレンス (OEMCC), 2018年6月, 大阪.
4. 立花 功: コントロール困難な喘息症状への対応～新病院の紹介を含めて～. あわぎ呼吸器病診療連携セミナー, 2018年6月, 大阪.
5. 佐藤文三: 癌と向き合う一予防から最新治療まで. 日本医療の現状講演会, 2018年7月, 杭州, 中国.
6. 甲原雄平: 気管支喘息のアップデート. 大阪西部喘息アレルギーフォーラム, 2018年7月, 大阪.
7. 佐藤文三: 最新癌医療と高額医療費問題. 日本生命本社研修会, 2018年9月, 浦安.
8. 生田武蔵: SGLT2阻害薬とGLP-1受容体作動薬の併用を試みた糖尿病腎症の一例. 第23回つなごる会, 2018年9月, 大阪.
9. 宇都佳彦: 臨床症状の欠落した高プロラクチン血症の1例. 第23回つなごる会, 2018年9月, 大阪.
10. 石田哲朗: アミオダロンによって発症したと考えられた薬剤性肺炎、肝障害の1例. 肺覧会, 2018年9月, 大阪.
11. 佐藤文三: 癌の克服を目指して. 大和田高校特別授業, 2018年10月, 大阪.
12. 笠山宗正: 日本生命病院の概要説明. 大阪府医師会「現地セミナー」, 2018年10月, 大阪.
13. 立花 功: COPDと糖尿病. 第10回老年病フォーラム, 2018年10月, 大阪.
14. 住谷 哲: 糖尿病におけるDPP4阻害薬の位置づけ. 江之子島糖尿病病診療連携セミナー, 2018年10月, 大阪.
15. 魚田晃史: 意識障害と低ナトリウム血症を伴った下垂体腫瘍の症例について. 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 2018年11月, 大阪.
16. 佐藤文三: 癌と向き合う一予防・診断から分子標的薬まで. 大阪医専特別授業, 2019年1月, 大阪.
17. 宇都佳彦: その症状、実は薬の副作用です～総合内科に紹介頂いた症例を通じて. 江之子島マルチ医療フォーラム, 2019年2月, 大阪.

表 1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
立花	立花	佐藤 (文)	佐藤 (文)	佐藤 (文)	佐藤 (文)	笠山	笠山	佐藤 (文) (予約)	佐藤 (文) (予約)
小瀬戸	小瀬戸	宮武	宮武	小瀬戸	小瀬戸	住谷	住谷	小瀬戸	二宮
住谷	住谷	三木	生田	宮武	宮武 (予約)	立花	甲原	宮武	宮武
宇都	村上	甲原	二宮	笠山	河面	三木	魚田	住谷	
			小中	立花		宇都	宮武		

表 2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス	早朝カンファレンス
午後		抄読会	気管支鏡検査	症例検討会	病棟回診

表 3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
気管支鏡						○ 診				

○：当院診察が必要

表 4 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	30,388	32,268	33,616	42,845	43,945
入院	15,224	15,679	17,016	16,802	17,201

表 5 2018.4～2019.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
気管支および肺の悪性新生物	253	18
2 型糖尿病	145	12
肺炎（誤嚥性肺炎を含む）	112	16
その他の慢性閉塞性肺疾患	41	23
その他の間質性肺疾患	41	24
下垂体疾患（下垂体機能低下症、クッシング病、先端巨大症など）	22	6
喘息	21	10
アルドステロン症	19	4
尿路系のその他の障害	19	16
全身性結合組織疾患	18	22
喘息発作重積状態	15	9
肺の画像診断における異常所見	13	5
気道からの出血	12	7
その他の副腎障害	11	3
気胸	11	13
不明熱	10	12

血液・化学療法内科

スタッフ 部長：川上 学（がん治療センター長）
副 部長：加藤るり、中江吉希
専 攻 医：高木康宏（6～7月）

1. 診療内容

急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの血液悪性疾患と、溶血性貧血、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの良性疾患まで、血液疾患を全般的に診療している。白血球減少が高度な場合には無菌室での管理を行い、再発・難治性悪性リンパ腫や多発性骨髄腫に対する自己末梢血幹細胞移植を行っている。2018年度から、同種造血幹細胞移植を開始し、2件の移植を行った。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

主として外来13診で外来診療を行った。そのほか適宜必要に応じ、外来化学療法や骨髄穿刺・生検・輸血などの診療も外来化学療法室や中央処置室において行われた。

2) 病棟体制（表2）

部長含め3名の常勤医にて診療を行った。当科が開催および参加したカンファレンスのスケジュールを表2に示す。

3) 検査スケジュール

骨髄穿刺・骨髄生検は、中央処置室および入院病床で行われ、主治医が検鏡診断するとともに必要時検討会にて判定された。

4) 外来化学療法

多くの化学療法レジメンは、入院治療に引き続き外来通院でも継続され、外来化学療法室スタッフや薬剤師との協力のもと施行された。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

外来患者数はのべ7,066名（昨年度比+204）であった。

外来化学療法数は、852件（昨年度比+227）であった。

2) 入院診療実績（表3、4）

入院延べ数8,868（昨年比+433）であった。疾患の内訳を表4に示す。

同種末梢血幹細胞移植を2件行った。

自家末梢血幹細胞移植を4件行った。

4. 認定医・専門医など

日本内科学会総合内科専門医 3名（川上、加藤、中江）
日本血液学会専門医 3名（川上、加藤、中江）

5. 業績

学会発表

- 中江吉希, 竹本雅子, 加藤るり, 川上 学: POEMS症候群加療中にBKウイルス脳脊髄炎を発症し、シドフォビル2.5mg/kgを4日おきに投与した一例, 第80回日本血液学会学術集会, 2018年, 10月.
- 川上 学, 竹本雅子, 中江吉希, 加藤るり, 加藤るり: 再発未分化大細胞リンパ腫に対する28回のブレンツキシマブ・ベドチン長期投与, 第80回日本血液学会学術集会, 2018年, 10月.

研究会発表

- 川上 学: ALCLに対するブレンツキシマブ・ベドチンの再投与, 悪性リンパ腫に対するよりよい治療を考える会, 2018年, 9月.
- 中江吉希: Plasma cell dyscrasiaの治療中に意識障害を発生した一例, 第58回北摂血液懇話会, 2018年, 11月.
- 中江吉希: 治療関連悪性リンパ腫について, 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 2018年, 11月.

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
加藤(る)	加藤(る)	川上(予約)	川上(予約)	川上	川上	加藤(る)		中江	川上

表2 カンファレンススケジュール

・症例検討会	(週1回)
・抄読会	(月2回)
・血液標本検討会	(適宜)
・内科合同カンファレンス	(月1回)
・内科・地域合同症例検討会	(年1回)

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	6,830	7,239	6,622	6,862	7,066
入院	9,791	9,931	8,328	8,435	8,868

表4 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
悪性リンパ腫	96	25
骨髄異形成症候群	38	23
骨髄性白血病	35	41
リンパ性白血病	22	23
多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物	18	29
紫斑病およびその他の出血性病態	15	25
肺炎（誤嚥性肺炎を含む）	14	11
その他の無形成性貧血	11	18

神 経 内 科 （ 脳 神 経 内 科 ）

※2018年11月より神経内科から脳神経内科へ名称変更

スタッフ 部長代行：仁科拓也

浅野彰彦

副 部 長：佐藤智彦

専 攻 医：高木康宏（8～10月）

兼 任：森 悦朗（顧問）

1. 診療内容

神経内科部門は2013年4月より循環器・神経内科から分離独立し医師二名で発足したが、同年6月より佐藤智彦が加わり3名体制で運営している。また2017年より前東北大学神経内科教授の森悦郎先生に特任顧問に就任いただき認知症分野の充実も図っている。

めまいや痺れといった身近な症状の相談から、脳梗塞をはじめとする脳血管障害やパーキンソン病等の変性疾患に至るまで、様々な疾患の診断と治療に対応してきたが、入院対象となったのは脳梗塞が最も多く、次にパーキンソン病関連疾患となっている。

脳梗塞後遺症や難病疾患（パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症など）の在宅療養においては、地域の先生による往診での訪問診療や訪問看護スタッフと連携を密にして、病状の変化に柔軟に対応してきたが、今後ともより一層努力していく所存である。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

日勤帯のどの時間帯も神経内科医師が対応できるように分担している。当科の佐藤医師は救急診療センターも兼務となっており、救急要請に対しても柔軟に対応している。

2) 病棟体制

特に曜日・時間帯による担当医は決めていないが、三名の医師が互いをカバーする仕組みと、治療方針などについては三名の合議によってチームとして対応している。

3) 検査スケジュール

神経内科医師が単独で担当する予約検査は特に定めていないが、神経伝導検査・針筋電図など必要な検査は中央臨床検査部と各病棟などと連携して、適宜施行している。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表2）

循環器・神経内科の一部門として計算した時期が長く、神経内科単独のデータはまだ四年目であるが、延べ外来患者数は順調に増加している。また診療内容も一般内科疾患の割合が減少し、より神経内科疾患に特化した状況に変化している。

2) 入院診療実績（表2、3）

順調に新規入院患者数は増加し、平均在院日数ほぼ横ばいで延べ入院患者数も増加している。

3) 検査実績

CT・MRA・RIなど各種検査は部門別の統計となっており、当科単独の実績としては計算していない。

4. 認定医・専門医など

日本神経学会の教育機関としての認定を受けている。

日本内科学会指導医	1名（仁科）
日本内科学会総合内科専門医	1名（仁科）
日本神経学会専門医	2名（仁科、森）
日本循環器学会専門医	1名（仁科）
日本認知症学会専門医	1名（森）
日本脳卒中学会専門医	1名（森）

5. 業績

論文・著書

- 仁科拓也, 上森麻美, 佐藤智彦, 浅野彰彦:Lissauer型進行麻痺を示した再発性神経梅毒の1例. 臨床神経, 58:395-398, 2018.

学会発表

- 田中久仁子, 西本知子, 高田洋子, 東山眞理, 川上 学, 佐藤智彦:ジアフェニルスルホン(DDS)による溶血性貧血にて脳梗塞を来した1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2018年10月, 大阪.

研究会発表

- 仁科拓也:認知症の診断, 第109回ニッセイ医学セミナー Update, 2018年11月, 大阪.

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
佐藤 (智)	仁科	浅野	仁科	仁科	佐藤 (智)	浅野	森 (脳機能 障害外来 予約)	浅野	浅野
							佐藤 (智)		

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	6,053	6,641	6,313	6,342	6,553
入院	5,879	5,055	5,353	5,294	4,547

表3 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
脳梗塞	45	33
パーキンソン〈Parkinson〉病	11	32
神経系のその他の変性疾患、他に分類されないもの	5	46
てんかん	5	13
ディスベブシア（症）	5	34

スタッフ 部 長：宇津 貴

医 長：光本憲祐

専攻医：加藤更紗（～6月）、山本久留実（7～8月）、飛田哲志（9～1月）、佐藤 恵（12～3月）

1. 診療内容

急性腎不全などの急性腎疾患、慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群などの慢性腎疾患から末期腎不全に至るまで、腎疾患全てを対象にしている。特に、糖尿病性腎臓病に関しては、早期腎症から末期腎不全まで、インスリン導入などの血糖管理を含めた総合的な治療を行っている。

末期腎不全に対しては適切な時期に透析療法（血液透析、腹膜透析療法など）への導入を行うとともに、慢性透析療法による血管合併症の検査・治療を行い予後の改善に努めている。

2. 診療体制

- 1) 外来診察スケジュール（表1）
- 2) 検査スケジュール（表2）

3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表3）
- 2) 入院診療実績（表3、4）

4. 専門医・指導医など

日本内科学会認定医	2名（宇津、光本）
日本内科学会総合内科専門医	1名（宇津）
日本腎臓学会専門医・指導医	1名（宇津）
日本糖尿病学会専門医	1名（宇津）
日本高血圧学会専門医・指導医	1名（宇津）
日本透析医学会専門医・指導医	1名（宇津）

5. 業績

論文・著書

1. Uzu T, Takamori K, Fujino Y, Fukui T.: A Case of Idiopathic Chyluria with Nephrotic-range Proteinuria and Hypothyroidism. Internal Medicine, 2036-18, 2018.
2. Fujino Y, Kawada N, Ito K, Katsura K, Maeda M, Mitsumoto K, Uzu T.: Recurrent pleuro-peritoneal leak caused by diaphragm blebs in a peritoneal dialysis patient: a case report with literature review. Renal Replacement Therapy, s41100-018-0181-8, 2018.
3. Fujino Y, Takahashi C, Mitsumoto K, Uzu T.: Rivaroxaban-related acute kidney injury in a patient with IgA vasculitis. BMJ Case Rep. 12:, 2019.
4. Kawarada O, Kume T, Zen K, Nakamura S, Hozawa K, Akimitsu T, Asano H, Ando H, Yamamoto Y, Yamashita T, Shinozaki S, Odashiro K, Sato T, Yuba K, Sakanoue Y, Uzu T, Okada K, Fitzgerald P, Honda Y, Yasuda S.: Difference in Cardiac Function Response to Stenting

Between Atherosclerotic Renal Artery Disease with and without Heart Failure, ESC Heart Failure, in press.

5. 宇津 貴:慢性腎臓病 病気と薬, 薬局 増刊号, 69:592-592, 2018.
6. 宇津 貴:糖尿病性腎症を抑制するために, 西宮市医師会雑誌, 23:14-17, 2018.
7. 宇津 貴:糖尿病の検査値20 早わかりポイントノート 尿中アルブミン, 糖尿病ケア, 15:34-35, 2018.
8. 宇津 貴:糖尿病を有する慢性腎臓病患者の血圧管理, 日生病院医学雑誌, 46:8-14, 2018.
9. 荒木信一, 宇津 貴:高齢糖尿病患者の降圧治療の進め方と注意点(Q&A), 日本医事新報, 4901:54, 2018.
10. 宇津 貴, 前田士郎:糖尿病関連の遺伝子とオーダーメイド医療の可能性(Q&A), 日本医事新報, 4907:54-55, 2018.

学会発表

1. 宇津 貴:糖尿病における血圧管理の課題と展望, 第61回日本糖尿病学会年次学術集会, 2018年5月, 東京.
2. 宇津 貴:糖尿病患者の健康寿命を延ばすために, 健康寿命について学ぶ会, 2018年6月, 大阪.
3. 藤野佳彦, 川田典孝, 桂 浩, 前田 元, 綿島史子, 伊藤勝清, 宇津 貴:嚢胞による横隔膜交通症と考えられた腹膜透析患者の治療経験, 第63回日本透析医学会総会, 2018年6月, 神戸.
4. 藤野佳彦, 光本憲祐, 木村優香, 山川明希子, 宇津 貴:IgA血管炎発症後に直接作用型経口抗凝固薬に関連した急性腎障害を来した1例, 日本腎臓学会西部部会, 2018年9月, 徳島.
5. 宇津 貴:食塩感受性の病態生理を応用した高血圧診療, 日本高血圧学会総会, 2018年9月, 旭川.
6. 山本久留実, 光本憲祐, 宇津 貴:肺出血で発症し、血栓性微小血管症(TMA)を呈した悪性高血圧の1例, 第222回日本内科学会近畿地方会, 2018年12月, 大阪.
7. 高橋知里, 光本憲祐, 藤野佳彦, 宇津 貴:抗凝固療法中に急性腎障害(AKI)を示した2例, 第222回日本内科学会近畿地方会, 2018年12月, 大阪.

研究会発表

1. 宇津 貴:糖尿病診療における地域格差と病診連携の実際, 琵琶湖カンファレンスin Osaka, 2018年6月, 大阪.
2. 宇津 貴:超高齢化社会における腎臓内科の役割, 大阪西部透析医療連携講演会, 2018年7月, 大阪.
3. 宇津 貴:糖尿病性腎臓病と甲状腺機能の関係, あわぎ内分泌糖尿病病診連携セミナー, 2018年7月, 大阪.
4. 宇津 貴:CKD連携診療の実際, 大阪西部腎臓病病診連携セミナー, 2018年9月, 大阪.
5. 宇津 貴:糖尿病性腎臓病の診かた, 最新の糖尿病治療戦略を考える会, 2018年10月, 姫路.
6. 宇津 貴:糖尿病患者の健康寿命を延ばすために, 各務原糖尿病連携の会, 2018年10月, 各務原.
7. 光本憲祐, 宇津 貴:呼吸困難・尿所見異常を呈した若年女性の治療経験について, 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 2018年11月, 大阪.
8. 宇津 貴:糖尿病合併常染色体優性多発性嚢胞腎患者に対するトルバプタンの効果, 西大阪心腎肝関連研究会, 2018年11月, 大阪.

- 9. 宇津 貴:糖尿病性腎臓病の血圧管理, 日本糖尿病性腎症研究会, 2018年12月, 東京.
- 10. 宇津 貴:透析患者の血圧管理, 大阪透析研究会, 2019年3月, 大阪.
- 11. 光本憲祐, 宇津 貴:肺出血で発症し、血栓性微小血管症(TMA)を呈した悪性高血圧の1例, 大阪透析研究会, 2019年3月, 大阪.
- 12. 光本憲祐:糖尿病と腎臓の深い関係, よくわかる日本生命病院健康講座 腎臓をまもるためにこれだけは気をつけよう, 2019年3月, 大阪.
- 13. 宇津 貴:糖尿病から透析にならないために, よくわかる日本生命病院健康講座 腎臓をまもるためにこれだけは気をつけよう, 2019年3月, 大阪.

表 1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
宇津		宇津		光本	光本	光本	宇津		宇津

表 2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
腎生検			○ 診				○ 診			

○：当院診察が必要

表 3 年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度
外来	675	2,681	4,268
入院	1,072	3,620	3,392

※2016.7～腎臓内科を新設

表 4 2018.4～2019.3—入院患者の疾患

疾患名	件数	平均在院日数
腎生検目的	40	-
透析導入	20	-
慢性腎不全	58	23
糖尿病性腎症	21	13
心臓および血管のプロステシス、挿入物および移植片の合併症	18	5
慢性腎炎症候群	14	5
2 型糖尿病	9	10
反復性および持続性血尿	8	10
心不全	7	14
肺炎（誤嚥性肺炎を含む）	7	24
急性腎盂腎炎	5	17
のう〈嚢〉胞性腎疾患	5	2

スタッフ 主任部長：水野 均

副 部 長：生島裕文、山下晋也、永井健一

兼 任：小関萬里（特任顧問、外科統括）

1. 診療内容

当科は、消化器外科ならびに一般外科の手術治療を中心に診療を行っている。上部消化管（生島、永井）、下部消化管（水野、山下）、肝胆膵（小関）の消化器外科のすべての領域の疾患に対応している。頻度の多い疾患としては、食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌などの悪性疾患、胆石症や単径ヘルニア、虫垂炎などの良性疾患などである。手術は腹腔鏡手術を積極的に導入しており、虫垂炎や胆石症のみならず、食道癌、胃癌、大腸癌等の悪性疾患や鼠径ヘルニアに対しても腹腔鏡手術を第一選択として行っている。

手術以外には、緩和治療、消化器癌化学療法にも積極的に取り組んでおり、皮下埋め込み型中心静脈リザーバーを用いた外来化学療法や終末期の栄養療法を行っている。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

外科外来1～3診で、表のような予定で外来診療を行っている。院内／院外からの時間内の緊急診療の依頼には原則、断らない対応をしている。

2) 病棟体制（表2）

表2の通りである。

研修医1名と常勤医5名が病棟診療を担当している。緊急の業務は、外来診察、検査、手術などの担当でない者が病棟代理として対応している。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

外来患者数は表3の通りである。

2) 入院診療実績（表4）

入院患者数は表4の通りである。

手術症例（重複例、他科協力症例を含む）は381例で、そのうち全身麻酔が338例であった。鏡視下手術は238例であり、全身麻酔症例の70.4%が鏡視下手術であった。

主な悪性腫瘍切除手術は、食道癌3例（全例鏡視下手術）、胃癌、GIST14例（内6例が腹腔鏡手術）、結腸、直腸癌37例（内36例が腹腔鏡手術）、肝癌、肝転移14例、乳頭部癌、膵腫瘍8例、であった。

主な良性疾患手術は胆嚢摘出術が79例（内69例が腹腔鏡手術）、ヘルニア手術（単径、大腿、腹壁癭痕、閉鎖孔）66例（内50例が腹腔鏡手術）、虫垂切

除38例（全例腹腔鏡手術）であった。良性疾患の手術では、患者さんの希望などにより細径鉗子を用いた手術や、単孔式手術を取り入れ、より低侵襲の手術を行っている。

3) 検査実績

上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を行っている。

4. 専門医・指導医など

日本外科学会専門医 5名（小関、水野、生島、永井、山下）

日本外科学会指導医 2名（小関、山下）

日本消化器外科学会専門医 2名（小関、山下）

日本消化器外科学会指導医 2名（小関、山下）

日本消化器病学会専門医 3名（小関、水野、山下）

日本大腸肛門病学会専門医 1名（山下）

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

4名（小関、水野、永井、山下）

日本内視鏡外科学会技術認定医 1名（水野）

5. 業績

論文・著書

1. 守口怜那, 水野 均, 原 穰次, 山下晋也, 生島博文, 小関萬里: 単孔式腹腔鏡手術で摘出した脳室腹腔シャントカテーテル腹腔内迷入の1例, 日生病院医学雑誌, 46:46-49, 2018.
2. 藤田繁雄, 井上善文, 水野 均: 経皮内視鏡的胃瘻造設術後に発生した壊死性筋膜炎の1例, Medical Nutritionist of PEN Leaders, 2:187-192, 2018.

学会発表

1. 原 穰次, 山下晋也, 生島博文, 水野 均, 小関萬里: 胃癌術後患者における小野寺らのPrognostic Nutritional Index (PNI) と術後化学療法忍容性との相関について, 第118回日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京.
2. Yamashita S Masahiro Tanemura, Yousuke Shimizu, Toshio Kuwai, Yasuo Urata, Kiyomi Taniyama: Endoscopic stent insertion for obstructive colorectal cancer may induce tumor cell dissemination into the peripheral circulation, resulting f viable circulating tumor cell detection, AACR Annual Meeting 2018, 2018年4月, シカゴ, 米国.
3. Yamashita S, Hara J, Ikusima H, Mizuno H, Koseki M: Laparoscopic surgery for appendiceal diverticulitis, 第73回日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島.
4. 山下晋也, 小関萬里, 北田隆起, 萩原恭平, 河田奈都子, 田中敏雄, 永井健一, 生島裕文, 城光寺 龍, 有坂好史, 水野 均: 回盲部に発生した前腸由来重複腸管の1切除例, 第73回日本大腸肛門病学会総会, 2018年11月, 東京.
5. 山下晋也, 永井健一, 水野 均: 腹腔鏡下手術を施行した結腸膀胱瘻の1切除例, 第31回日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡.

研究会発表

1. 生島裕文, 山下晋也, 永井健一, 水野 均, 小関萬里:胃平滑筋腫に対して単孔式腹腔鏡下胃内手術を施行した症例について, 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 2018年11月, 大阪.
2. 生島裕文, 山下晋也, 永井健一, 水野 均, 小関萬里:上部消化管手術と栄養, 第23北大阪外科懇話会, 2018年11月, 大阪.
3. 水野 均:大腸癌に対する腹腔鏡手術, あわぎ消化器合同病診連携会, 2018年12月, 大阪.

表 1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
水野	水野	交代	交代	山下	山下	永井	交代	小関	小関
生島	生島								
小関※									

※11：00まで

表 2 診療体制

	月	火	水	木	金
午前	早朝 術後回診	早朝 術後回診	早朝 術後回診		早朝 術後回診
午後				部長回診、 術前術後 症例検討	消化器外科・ 消化器内科合同 カンファレンス

表 3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	4,327	3,776	3,446	3,764	4,403
入院	5,639	4,106	4,778	5,902	6,801

表 4 2018.4～2019.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
胆石症	48	8
そけい〈崬径〉ヘルニア	45	6
急性虫垂炎	43	8
結腸の悪性新生物	32	17
胃の悪性新生物	29	30
直腸の悪性新生物	28	20
食道の悪性新生物	19	31
消化器系のその他および部位不明確の 良性新生物	17	6
呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	11	12
麻痺性イレウスおよび腸閉塞、ヘルニア を伴わないもの	11	11

呼吸器外科

スタッフ 部長：前田 元（特任副院長）

副部長：桂 浩

1. 診療内容

当科は2016年1月より1名体制で診療を開始し、2017年4月より常勤医2名となった。

対象疾患としては肺癌が最も多く、総合内科で診断および病期判定を行った後に紹介されるケースがほとんどである。その他の疾患としては、自然気胸、転移性肺腫瘍、肺真菌症、縦隔腫瘍、膿胸などである。胸腔鏡下手術を主体に行っている。

病棟回診やカンファレンスは消化器外科と合同で行っている。

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

2) 病棟体制（表2）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

2) 入院診療実績（表3、4）

4. 専門医・指導医など

日本外科学会指導医・専門医 2名（前田、桂）

日本呼吸器外科学会指導医・専門医 2名（前田、桂）

日本胸部外科学会指導医 1名（前田）

日本呼吸器学会専門医 1名（桂）

5. 業績

論文・著書

- Inoue M, Maeda H, Takeuchi Y, Fukuhara K, Shintani Y, Funakoshi Y, Funaki S, Nojiri T, Kusu T, Kusumoto H, Kimura T, Okumura M: Collagen gel droplet-embedded culture drug sensitivity test for adjuvant chemotherapy after complete resection of non-small cell lung cancer. Surg Today, 48:380-7, 2018.
- 前田 元: 新型タバコ（電子タバコ・加熱式タバコ）の問題点, 日生病院医学雑誌, 46:1-7, 2018.
- 児玉貴之, 前田 元, 二宮隆介, 田村慶朗, 宇都佳彦, 枝廣龍哉, 古結敦士, 大井健太, 住谷 哲, 小瀬戸昌博, 立花 功, 笠山宗正, 佐藤文三, 城光寺 龍: 低用量ピルの休薬期に発症した月経随伴性気胸の1例, 日生病院医学雑誌, 46:30-5, 2018.

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	前田 (元)			桂		前田 (元)			

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前		手術			
午後		手術		病棟回診 カンファレンス	

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	45	303	467	524
入院	133	680	578	482

※2016.1～呼吸器外科を新設

表4 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
気胸	17	11
気管支および肺の悪性新生物	16	9
呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	6	7
中耳、呼吸器および胸腔内臓器の 性状不詳または不明の新生物	3	5

乳 腺 外 科

スタッフ 部 長：西田幸弘
副 部 長：中内千暁

1. 診療内容

乳癌検診に関しては、マンモグラフィと超音波検査を初診当日に施行し即日結果を出すことで、正常の方は1日で診察終了となります。腫瘍のある方は当日中に病理検査等を施行し1～2週間後には結果を出すシステムであります。治療に関しては、専任のがん化学療法看護認定看護師常駐の外来化学療法センターにて、初回入院の後は術前・術後ともに通院での外来化学療法を行っています。専任医師による放射線療法は、温存療法後、再発、転移すべてに対応しております。手術に関しては術前化学療法が必要かの判断後、乳房温存術、全摘術を施行し必要に応じて再建術も施行しており。再建術は当院形成再建外科にてすべての術式に対応できます。RI+色素法によるセンチネルリンパ節生検ではより確実なOSNA法を併用しておりより正確な診断を目指しております。診断部門では微細な石灰化に対する診断としてステレオガイド下マンモトーム生検も実施しています。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

2) 入院診療実績（表3、4）

4. 認定医・専門医など

日本乳癌学会専門医 1名（中内）
日本乳癌学会認定医 1名（西田）
がん治療認定医 2名（西田、中内）
日本消化器外科学会認定医 1名（西田）
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
マンモグラフィ 読影認定医 2名（西田、中内）
日本外科学会専門医 2名（西田、中内）

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
中内 (予約)	中内 (予約)	西田 (予約)	西田 (予約)	中内 (予約)	中内 (予約)	手術	手術	西田 (予約)	西田 (予約)

表2 外来・病棟体制

	月	火	水	木	金
午前				手術	
午後	回診 病棟カンファ		検査 超音波・ステレオ ガイド下吸引生検	検討会 抄読会	

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	4,222	4,737	4,978	4,371	4,441
入院	1,781	1,834	1,374	1,541	1,402

表4 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
乳房の悪性新生物	107	10
乳房の良性新生物	8	3
乳房の画像診断における異常所見	8	2
その他の部位の続発性悪性新生物	5	14
呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	4	5
乳房の詳細不明の塊〈lump〉	4	3

心 臓 血 管 外 科

スタッフ 部長代行：新谷 隆

1. 診療内容

2018年4月から「血管外科」を専門とした常勤医師による診療を開始した。下肢閉塞性動脈硬化症に対して薬物・運動療法を第一として適応に応じて血管内治療や外科的バイパス術などの血行再建術を実施している。下肢静脈瘤に対しては低侵襲である血管内焼灼術や従来のストリッピング術や硬化療法も行っている。また腎臓内科と連携し慢性腎不全患者の透析用血管アクセス治療も行っている。内シャント作製、修復と内シャント血管内治療も積極的に行っている。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

水曜日、金曜日の午前に血管外科外来を行っている。

金曜日の午後に大阪大学心臓血管外科の医師による心大血管を対象とした専門外来も行っている。

2) 病棟体制（表2）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

2) 入院診療実績（表3、4）

4. 認定医・専門医など

日本外科学会専門医 1名（新谷）
日本心臓血管外科専門医 1名（新谷）
日本脈管学会専門医 1名（新谷）

5. 業績

学会発表

- 新谷 隆：総大腿動脈、大腿深動脈閉塞性病変における血栓内膜摘除術の工夫、第46回日本血管外科学会、2018年5月、山形。
- 新谷 隆：下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術後の制吐作用を目的とした低用量ドロペリドールの使用経験、第38回日本静脈学会、2018年6月、神奈川。
- 新谷 隆：下腿動脈形成異常により重症虚血化を呈した腓骨動脈遠位部の血栓塞栓症の一例、第33回日本血管外科学会近畿地方会、2019年3月、奈良。

研究会発表

- 新谷 隆：腸骨動脈領域及び大腿動脈閉塞性病変に対するハイブリッド手術、第8回大阪血管新患談話会、2018年6月、大阪。
- 新谷 隆：糖尿病性足病変と虚血性潰瘍に対する外科的血行再建、江之子島マルチ医療フォーラム、2018年7月、大阪。

- 新谷 隆：下肢静脈瘤に対する治療方針と手術療法について、第106回ニッセイ医学セミナーUpdate、2018年8月、大阪。
- 新谷 隆：末梢動脈疾患に対するアプローチ 血管外科の立場から、第19回あわぎフォーラム、2018年9月、大阪。
- 新谷 隆：下腿動脈形成異常により重症虚血化を呈した腓骨動脈遠位部の血栓塞栓症の一例、第142回大阪血管外科同好会、2019年2月、大阪。

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
				新谷				新谷	四條

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前			カンファレンス		
午後		手術		手術	

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2017年度	2018年度
外来	81	735
入院	0	625

※2017.1～心臓血管外科を新設

表4 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
下肢の静脈瘤	45	2
アテローム〈じゅく〈粥〉状〉硬化（症）	16	8
動脈の塞栓症および血栓症	8	19
大動脈瘤および解離	2	8
その他の動脈瘤	2	12
静脈炎および血栓（性）静脈炎	2	13

スタッフ 部長：橋本奈美子（女性骨盤底センター長（7月～））
 担当部長：佐伯典厚
 副部長：尾崎公章、吉見佳奈、細井文子
 医 長：高山敬範、八田幸治、矢野悠子、尾上昌世（～7月）
 副医長：岡 藤博（8月～）、沈 嬌
 兼 任：船渡孝郎（～1月）（女性骨盤底センター長（～6月）、ニッセイ予防医学センター顧問）

1. 診療内容

婦人科は、良性腫瘍に対する内視鏡手術（腹腔鏡下手術・子宮鏡手術）を主として行っており、婦人科手術の半数以上を占めている。婦人科悪性腫瘍に対しては、傍大動脈リンパ節郭清を含む根治手術、化学療法、放射線治療を行っている。

骨盤底疾患に対しては「女性骨盤底センター」にて従来の膣壁形成術などに加え、メッシュを利用した修復術（TVM）や腹腔鏡下仙骨膣固定術（LSC）、尿失禁に対してはTOT/TVT手術を行っている。

周産期においては、自然分娩を基本とし、助産師外来・母乳育児相談・マタニティビクス・ヨガを取り入れている。また妊婦の方に安心して出産していただけるように産科医療補償制度に加入している。

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

2) 病棟体制（表2）

当科は主治医（受け持ち医）制を引いている。

3) 検査スケジュール（表3）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表4）

2) 入院診療実績（表4、5）

2018年度

- ・分娩数：436件
- ・総手術総数：1,182件

腹腔鏡下手術

- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術 245件
- 腹腔鏡下子宮附属器腫瘍摘出術 219件
- 腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術 162件
- 腹腔鏡下卵管切除術 18件
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 7件

子宮鏡下手術

- 子宮鏡下子宮筋腫摘出術 47件
- 子宮内膜ポリープ切除術 46件

開腹手術

- 帝王切開術 92件
- 子宮悪性腫瘍手術 24件
- 開腹単純子宮全摘術 14件
- 子宮附属器悪性腫瘍手術（卵巣癌） 10件

骨盤臓器脱

- 膀胱脱手術（メッシュ使用） 52件
- 膣壁形成術 16件
- 腹腔鏡下仙骨膣固定術 16件
- 子宮脱手術（膣壁形成手術及び子宮全摘術） 14件
- 膣閉鎖 5件
- 腹圧性尿失禁
- 中部尿道スリング手術（TOT手術） 17件

4. 認定医・専門医など

日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 9名
 （橋本、佐伯、尾崎、吉見、細井、高山、八田、矢野、尾上）

日本内視鏡外科学会技術認定医 3名
 （橋本、佐伯、高山）

日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 2名
 （尾崎、細井）

日本産科婦人科学会専門医 11名
 （橋本、佐伯、尾崎、吉見、細井、高山、八田、矢野、尾上、岡、沈）

日本性感染症学会専門医 1名（佐伯）
 母体保護法指定医 6名
 （橋本、佐伯、尾崎、細井、高山、尾上）

日本がん治療認定医機構 日本がん治療認定医 3名
 （橋本、尾崎、細井）

麻酔標榜医 1名（八田）

5. 業績

論文・著書

- Shen J, Hosoi A, Onoue M, Yano Y, Hatta K, Takayama T, Yoshimi K, Ozaki K, Saeki N, Funato T, Hashimoto N. :Successful treatment of interstitial pregnancy with high level of β -human chorionic gonadotropin using methotrexate injection. J Pregnancy Reprod. 2(3):1-2, 2018.
- Shen J, Saeki N, Oka F, Onoue M, Yano Y, Hatta K, Takayama T, Hosoi A, Yoshimi K, Ozaki K, Funato T, Hashimoto N. :A case of uterine corpus cancer with definitive staging after laparoscopic surgery, and preliminary diagnosis based on endometrial cytology. Clin Obstet Gynecol Repro Med. 4(5):1-2, 2018.
- 八田幸治, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 高山敬範, 吉見佳奈, 細井文子, 尾崎公章, 橋本奈美子, 佐伯典厚, 船渡孝郎:当院におけるLSCの治療成績-子宮摘出方法別(TLHとLSH)検討&TLH後のLSCの長期治療成績-, 日本女性骨盤底医学会誌, 1(15):34-38, 2018.

学会発表

1. 吉見佳奈, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 細井文子, 尾崎公章, 佐伯典厚, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 演題: 腹腔鏡下卵管切除術について当院での手術成績, 第70回日本産科婦人科学会学術講演会, 2018年5月, 仙台.
2. 八田幸治, 沈嬌, 尾上昌世, 増田公美, 矢野悠子, 高山敬範, 吉見佳奈, 細井文子, 尾崎公章, 藤田征巳, 船渡孝郎, 佐伯典厚: 腹腔鏡手術で治療しえた腹膜妊娠の1例, 第70回日本産科婦人科学会学術講演会, 2018年5月, 仙台.
3. 永井麻衣1), 八田幸治2), 沈嬌2), 尾上昌世2), 矢野悠子2), 高山敬範2), 吉見佳奈2), 細井文子2), 尾崎公章2), 佐伯典厚2), 船渡孝郎2), 藤田征巳2): 当院における異所性妊娠に対するメトトレキサート療法の検討, 第138回近畿産科婦人科学会学術集会, 2018年6月, 大阪.
4. 吉見佳奈, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 細井文子, 尾崎公章, 佐伯典厚, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 術後卵巣境界悪性腫瘍に対する腹腔鏡下妊孕性温存手術の検討, 第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2018年8月, 松江.
5. 沈嬌, 佐伯典厚, 細井文子, 尾上昌世, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 吉見佳奈, 尾崎公章, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 腹腔鏡手術後ステージアップした子宮内膜上皮内癌と疑われた一例—子宮内膜細胞診が診断の契機となった一例, 第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2018年8月, 松江.
6. 八田幸治, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 高山敬範, 吉見佳奈, 細井文子, 尾崎公章, 佐伯典厚, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 異所性妊娠の保存的療法中に腹腔鏡下手術を必要とした治療成績, 第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2018年8月, 松江.
7. 高山敬範, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 八田幸治, 細井文子, 吉見佳奈, 尾崎公章, 佐伯典厚, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 腫瘍内に充実成分を認めるチョコレート嚢胞合併妊娠に対し腹腔鏡下手術を施行した一例, 第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2018年8月, 松江.
8. 尾崎公章, 佐伯典厚, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 細井文子, 吉見佳奈, 船渡孝郎, 橋本奈美子: TLH後の陰断端離開に対して腹腔鏡下にて修復を行った1例, 第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2018年8月, 松江.
9. 吉見佳奈, 井本蓉子, 永澤裕代, 椎名昌美, 橋本奈美子, 武田卓: 女子高校生におけるPMS/PMDDと生活・睡眠・食事習慣との関連性検討, 第37回日本思春期学会総会・学術集会, 2018年8月, 東京.
10. 八田幸治, 尾上昌世, 高山敬範, 細井文子, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 稀少部位異所性妊娠を腹腔鏡下手術で治療した3症例, 第31回日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡.
11. 高山敬範, 尾上昌世, 八田幸治, 細井文子, 佐伯典厚, 橋本奈美子: 尿路奇形を伴う症例に対する腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)の手術経験, 第31回日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡.
12. 細井文子, 吉見佳奈, 尾上昌世, 沈嬌, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 尾崎公章, 佐伯典厚, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 肥満患者の巨大子宮頸部筋腫に対し腹腔鏡下单純子宮全摘出術を行った1例, 第58回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2018年, 松江.

研究会発表

1. 橋本奈美子: Minimally Invasive Surgery～婦人科腫瘍最前線～, 第104回ニッセイ医学セミナーUpdate, 2018年6月, 大阪.
2. 吉見佳奈, 沈嬌, 尾上昌世, 矢野悠子, 八田幸治, 高山敬範, 細井文子, 尾崎公章, 佐伯典厚, 船渡孝郎, 橋本奈美子: 演題: ホルモン療法中に生じた月経随伴性気胸の一例, エンドメトリオーシスフォーтраグ, 2018年12月, 大阪.

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
橋本	橋本	佐伯	佐伯	橋本	橋本	廣田	廣田	佐伯	佐伯
高山	高山	八田	八田	吉見	吉見			尾崎	尾崎
矢野		沈	沈	岡	岡			細井	細井

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前	抄読会		周産期カンファレンス		
午後			部長回診	術前カンファレンス	画像カンファ

表3 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
子宮鏡検査		○ 紹・予		○ 紹・予		○ 紹・予		○ 紹・予		○ 紹・予

○: 当院診察が必要

表4 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	21,883	23,187	21,677	21,241	23,092
入院	12,532	13,381	12,624	12,143	12,643

表5 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
子宮平滑筋腫	414	8
単胎自然分娩	365	7
卵巣の良性新生物	133	7
子宮内膜症	115	7
女性性器脱	88	9
子宮頸（部）の異形成	64	3
子宮体部の悪性新生物	59	11
女性性器のポリープ	53	3
既知の母体骨盤臓器の異常またはその疑いのための母体ケア	45	9
受胎のその他の異常生成物	39	2
卵巣の悪性新生物	34	23

小 児 科

スタッフ 部 長：赤木幹弘
副 部 長：田中篤志
医 員：藤田真祐子

1. 診療内容

当科では感染症や気管支喘息等を中心とした急性期・慢性期の一般小児科診療と院内出生児の診療を行っている。各医師の専門性から、小児神経・代謝疾患、小児内分泌疾患、アレルギー疾患を中心に診療してきた。

2018年度は赤木部長、田中副部長と藤田医員の三人体制で一般小児科診療と新生児の診療を行った。

当科は大阪大学医学部附属病院小児科専門研修プログラムの関連施設となっている。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

2018年4月以降の外来診療スケジュールを表1に示した。

2) 病棟体制

病床数はおおよそ一般病棟7床、新生児病棟4床である。本年度は4月30日の病院の新築移転にともなって設備面ではより充実したものとなった。小児科カンファレンスを週1回、産婦人科との周産期カンファレンスを週1回行っている。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表2）

外来患者数は8,920人と前年度から984人増であった。

2) 入院診療実績（表2、3、4）

入院患者数は2,657人と前年度から278人減であった。川崎病（9症例）の他に、この表にはでないIgA血管炎、非アルコール性脂肪肝、先天性血管拡張性大石様皮斑症等の診療実績がある。

4. 認定医・専門医など

日本小児科学会専門医 3名（赤木、田中、藤田）
日本小児神経学会専門医 1名（赤木）
日本感染症学会専門医 1名（赤木）
I C D 2名（赤木、田中）

5. 業績

学会発表

- 近藤秀仁，赤木幹弘，澁谷与扶子，仲岡佐智子，富永康仁，青天目 信，酒井規夫，大藪恵一：MTND3遺伝子変異（m.T10158C）を認めたMELAS/Leigh overlap症候群の1例，第60回日本先天代謝異常学会総会，2018年11月，岐阜。

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
赤木	藤田 (真) (乳幼児 健診 予約)	赤木	池原 (予防 注射 予約)	赤木		赤木	赤木 (神経内分 泌代謝 予約)	赤木	田中 (篤) (1ヵ月 健診 予約)
藤田 (真)		田中 (篤)		池原		藤田 (真)	池原 (アレルギー 予約)	田中 (篤)	

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	8,008	8,656	7,434	7,936	8,920
入院	1,787	3,261	3,553	2,935	2,657

表3 2018.4～2019.3—小児科入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
肺炎	61	6
急性気管支炎	31	6
部位不明のウイルス感染症	25	6
急性細気管支炎	20	6
ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症	12	5
不明熱	12	8
皮膚および粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	11	5
川崎病	9	13
体液量減少（症）	6	4
急性咽頭炎	6	5
喘息	6	6
その他の胃腸炎および大腸炎、感染症および詳細不明の原因によるもの	5	6
部位不明の細菌感染症	5	6
インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	5	4

表4 2018.4～2019.3—新生児入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	43	4
周産期に発生したその他の呼吸器疾患	23	7
新生児の呼吸窮〈促〉迫	17	8
周産期に特異的なその他の感染症	15	6
妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害、他に分類されないもの	7	12
出産時仮死	7	5
胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	7	7

スタッフ 部 長：高橋 励
副部長：青木保典
副部長：鈴木由貴（7月～）

1. 診療内容

まず特徴的な診療分野として掲げる「認知症」、「産業精神医学」について報告する。

「認知症」については、笠山宗正院長先生をセンター長として、脳神経外科、脳神経内科、神経科・精神科で構成する脳機能センターの外來診療が2017年度から始まり、院外からの紹介は順調に増加している。

森悦郎先生に加え、阪大精神医学教室 池田学教授も非常勤で外來診療を開始して頂いた。さらに鈴木由貴が、主に認知症および、認知症と精神疾患の境界領域を担当する常勤医師として着任し自身の外來・入院業務の傍ら、引田咲良心理士と協働して、森・池田両先生の診療・検査・予約業務に必須のサポートを行っている。

今年度新たに、月1～2回の定期的な症例検討カンファレンスを始めた。脳神経外科、脳神経内科、神経科・精神科の常勤医師、引田心理士、渡部言語聴覚士、院外からの実習医などが参加し、森先生のご指導を頂いている。これまでの呈示症例はTransient epileptic amnesia, 低Ca血症による認知機能障害、非定型パーキンソン病に対するrotigotineの効果検討、ADとDLBの区別困難症例への考証学的検討、Logopenic aphasia, 健忘失語、FTD亜型など、特徴的高次機能障害を有する症例、診断の難しい症例などである。

またiNPH（特発性正常圧水頭症）の診断加療は、脳神経外科 田村部長先生と森先生による連携診療のパスがほぼ確立しており当科もチーム診療に参加している。

次に、「産業精神医学」では、(1) 産業医、企業、院内からの紹介による精神科診療の他、高橋は(2) 予防医学センターと連携し、「企業の人事担当者/産業医/主治医/当該社員」の関係が微妙であるような事例を対象とするセカンド=オピニオン外來を開始し、現在のところ良い結果を得ている。

また、高橋と丸山心理士は(3) 予防医学センター経由で提携する特例子会社（障害者重点雇用企業）社員のワーク＝ライフ＝バランスのモデル作成を試みている。:

今年度2月に当院予防医学センターが中心となり、日本医師会産業医研修会が、ストレスチェック制度をテーマに開催された。今回は講師として、過去招聘した夏目誠先生、岡田邦夫先生に続き、栗野菊雄先生（あわの診療所所長、京都大学講師）に教育講演を頂いた。

高橋は1演題を上梓し、上記企業のストレスチェックデータにオリジナルの数理的な解析法を当てはめることで「社員の不適応要因を、療養が優先されるべき精神疾患と、むしろ人事的な対応が有用な、それ以外に分類できた」事例を示した。次5カ年の労働衛生行政では、ストレスチェックの集団分析は一つの重点である。当院発の本研究はさらに発展すべきである。

次いで、総合病院精神科としてのルーティン診療業務（外來・専門外來診療、入院診療、院内他科連携）について報告する。

有床総合病院精神科の一般的な機能である外來診療、入院診療、院内他科との連携は概ね従来通りである。:

従来当科の一般外來では、(1) うつ病・パニック障害などのうつ病圏、(2) 全般的不安障害などの神経症圏、(3) 適応障害などストレス関連疾患の、院外の診療所や院内他科からの紹介例が多かった。また専門外來は一般診療の枠内で時間を確保して行っている。(4) 「慢性疲労（症候群）」（高橋）では、市井の精神科では対応が難しい慢性疲労・一部の慢性疼痛・各種の心身症（身体表現性障害）の紹介を受けてきた（総合病院・大学病院からの紹介も多い）。

昨今は社会構造の変化を反映し、むしろ上記(1)～(4)は減少傾向にあり、(5) 高齢者の精神的な問題（老年精神医学、認知症を含む）が増加している。これについて当科は前述の脳機能センターの枠組みを用いてかなり対応できている。今後の課題は(6) 発達障害を顕在・潜在して有するケースではないかと思われる。

入院診療は一般医療法に基づき、他科との混合病棟にて行っているため、受け入れにはADLが概ね自立し行動制限の必要が無いことという制限がある。しかし、昨今は総合病院精神科の入院病床が極端に減少しているため、入院紹介の受け入れ先として機能している。入院患者の特性にも外來と同様(5)(6)の変化があり、(5)の入院や身体科からの転科の取り扱いが多い。

院内他科との連携、すなわちコンサルテーション・リエゾン＝サービス（CLS）と緩和ケアでのコンサルテーション（＝相談）、リエゾン（＝直接診療）では、(4)(5)のように心身の問題を一元的に特定できない症例の併診（高橋）、他科入院患者が従来合併する精神疾患・新たに発症したせん妄・適応障害（青木）など症例数も多い。

緩和ケア業務については、当院による緩和ケア研修会の開催は休止しているが、引き続き院外の各病院主

催研修会の精神・心理部門への協力参加（高橋）の他、心理士（丸山）が院内緩和ケア業務に定期的に参加している。

2. 診療体制

鈴木に着任により、神経科・精神科の主要メンバーは鈴木・青木・高橋（以上常勤）、木藤（非常勤）の4名体制となった。木藤は複数日の外来診療を担当しているが常勤には復帰していない。他に江川・埤本が半日の非常勤で外来診療を担当している。

1) 外来診療スケジュール（表1）

2診～3診での完全予約制で行っている。さらに治療の質向上のため、心理士（丸山）により、完全予約制でカウンセリングを行う症例もある。脳機能検査をはじめとして、脳機能センターの診療・検査・予約業務と重複する内容も多い。また随時予約外の当科対応が必要になる。このため診察室としてはDブロックの2～3診・カウンセリング室、Bブロックの1～2診が常時稼働している。このような状態なので、初診患者さんの受け入れは、あったかサポートセンター経由の紹介が前提である。

2) 検査体制（表2）

当科独自の検査として心理検査、脳波検査などがある。

心理検査は、一般的分野と認知機能分野に分かれる。一般分野では重症度（うつ状態など）の半定量的評価、性格・人格特性の定性的評価を引き続き行っている。認知機能分野では、「認知症専門」をうたいながらスクリーニングレベルの検査にとどまる多くの病院を凌駕し、高次機能障害や神経疾患を特定するに足る専門的検査バッテリーが充実している。

次に脳波検査は、従来に引き続いてんかん診療、他科連携における症候性・器質性病態の推定において有用である。青木が開発した、認知症の初期診断に有用な脳波分析手法の研究はさらに進んでおり、臨床・治験で利用されている。

認知症に対する画像検査も頻用されている。:

- ・頭部MRIの定量的計算・定性的評価法

- ・脳血流SPECT

- ・DLB/ParkinsonismへのDATscan, 心筋MIBG検査

アルツハイマー病（AD）のリスクファクターは生活習慣病のそれと大きく重なり、初期認知症や軽度認知障害（MCI）の認知機能マネジメントのため生活習慣病モニタリングは有効である。この点では大きな変化はない。

また当科では以前より認知機能低下の生理学的評価を積極的に行っていた（例：パルスオキシメトリの援用、注意機能測定ソフトウェアの独自開発）が、この点についても大きな変化進展はない。

3) 病棟体制

非常勤医を除き、外来主治医が入院加療をも受け持つ。3名の入院担当医が13床を目安に入院加療を行う。

4) CLSおよび緩和ケア業務

青木が中心になり、緩和ケア業務はCLS中に含めて行っている。丸山心理士による「無菌室化学療法カウンセリング」も続けている。

5) 心理士業務体制

認知機能検査は2名の心理士が分担している。引田は神経心理学（認知機能検査）専門で、丸山は心理カウンセリング、一般心理検査、緩和ケア業務に加えて、提携企業社員への面接など多彩な業務に従事する。

6) 教育体制の診療体制への包含

①大阪大学医学部学生の実習を続けている。これは実際の業務（外来診療・専門外来診療・入院診療・院内他科連携・心理検査・脳波検査）について、常勤医・非常勤医・心理士の6名が各自の専門分野を分担して実習・講義を行う。

②当院における精神科前期研修には、従来最終レポート作成の過程のみにかかわり手薄ともいえるが、これは研修協力病院（水間病院・藍野病院）で行われることが本来であるためである。

さらに、新専門医制度の整備に際し、学会による以下の施設認定を取得している。

③精神科を専門とする医師のための、日本精神神経学会専門医研修認定施設（大阪大学、やまと精神医療センターとの連携型）。来年度いよいよ新専門医制度の初年度研修が始まるため現在打ち合わせを続けている。

④神経精神医学（精神医学のうち身体的問題が大きく関与する分野）のサブスペシャリティを目指す、さらに上級の精神科医師のための、日本総合病院精神医学会特定研修施設。

⑤また新たに、武庫川女子大学大学院の修士学生を対象に、公認心理師資格取得のための病院実習を開始した。

その他、科内の薬物療法勉強会を月2回程度行っている。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

前述した社会構造の変化を反映した患者層の変化が生じており、質の高い高齢者診療を行うにはその導入維持に人手がかかることもあって、患者数の増加は徐々である。

2) 入院診療実績（表3、4）

入院数にも1)同様の変化が影響しており、目標値に達することが少ないが、後半に伸びて目標値に接近している。当院の有する総合病院精神科入院病床は貴重であり、近医精神科とのネットワー

キング強化により有効な病床利用を促すよう努めている。

4. 認定医・専門医など

精神神経学会専門医	2名(高橋、鈴木)
同 指導医	1名(高橋)
日本総合病院精神医学会特定指導医	1名(高橋)
精神保健指定医	2名(青木、鈴木)
日本医師会認定産業医	2名(高橋、鈴木)

5. 業績

論文・著書

1. Aoki Y, Kazui H, Pascal-Marqui RD, Ishii R, Yoshiyama K, Kanemoto H, Suzuki Y, Sato S, Hata M, Canuet L, Iwase M, Ikeda M: EEG Resting-State Networks in Dementia with Lewy Bodies Associated with Clinical Symptoms, *Neuropsychobiology*, 77(4):206-218, 2019.
2. Aoki Y, Kazui H, Pascual-Marqui RD, Ishii R, Yoshiyama K, Kanemoto H, Suzuki Y, Sato S, Azuma S, Suehiro T, Matsumoto T, Hata M, Canuet L, Iwase M, Ikeda M: EEG Resting-State Networks Responsible for Gait Disturbance Features in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus, *Clin EEG Neurosci*, 50(3):210-218, 2019.

学会発表

1. 高橋 励: ストレス=チェックの労務管理への一応用例-数量化理論を用いた検討-, 第2回大阪大学精神科産業医懇話会, 2018年7月, 大阪.

研究会発表

1. 高橋 励: よりよい睡眠のための基礎知識, ニッセイ=ニュー=クリエーション健康セミナー, 2018年10月, 大阪.
2. 高橋 励: 認知症の早期発見・早期治療, 総合司会, 西部医療圏多職種連携カンファレンス, 2018年11月, 大阪.
3. 高橋 励: 講義と演習「コミュニケーション」, 大手前病院緩和ケア研修会, 2019年1月, 大阪.
4. 高橋 励: ストレス=チェックの新しい解析法, 日本生命病院産業医セミナー, 2019年2月, 大阪.
5. 木藤友実子: 「認知症を理解する」, 西区認知症等高齢者支援地域連携事業, 2019年3月, 大阪.

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
高橋 (励)	鈴木 (由)	木藤	森 (物忘れ 外来)	高橋 (励)	木藤	江川	青木	高橋 (励)	高橋 (励)
青木			埜本	木藤	鈴木 (由)	木藤		青木	青木
池田 (物忘れ 外来)				鈴木 (由)				鈴木 (由)	

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
脳波				○ 診		○ 診		○ 診		○ 診
心理テスト	○ 診	○ 診	○ 診	○ 診			○ 診	○ 診	○ 診	○ 診

○: 当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	15,008	15,568	15,073	14,573	14,193
入院	5,267	4,072	3,749	3,600	2,904

表4 2018.4~2019.3ー入院患者の疾患(上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
うつ病エピソード	45	35
身体表現性障害	9	30
重度ストレスへの反応および適応障害	6	28
その他の不安障害	4	63
統合失調症	3	22
双極性感情障害(躁うつ病)	3	85
血管性認知症	2	31
解離性[転換性]障害	2	22
アルツハイマー(Alzheimer)病	2	22
神経系のその他の変性疾患、 他に分類されないもの	2	50
脳のその他の障害	2	13

脳 神 経 外 科

スタッフ 部長：田村和義

1. 診療内容

当科は2018年4月に新設された。体制が整い次第、慢性硬膜下血腫、水頭症、脳腫瘍、脳出血などから治療を開始していく予定である。カテーテルを用いた血管内治療も大阪大学および関連施設の応援を得て、早期に治療開始できるようセットアップし、脊髄腫瘍なども整形外科と共同して手術を行う予定としている。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表2）

2) 入院診療実績（表2、3）

4. 認定医・専門医など

日本脳神経外科学会専門医 1名（田村）
日本脳卒中学会専門医 1名（田村）
日本脊髄外科学会認定医 1名（田村）

5. 業績

論文・著書

1. Tamura K, Sasaki M, Umegaki M: Spontaneous remission of a spinal epidural abscess: A case report, The 9th Annual Meeting of ASIA SPINE 2018, Taipei.
2. 田村和義, 佐々木 学, 梅垣昌士: 自然軽快した脊髄硬膜外膿瘍の1例, 日本脊髄障害医学会誌, 31:206-209, 2018年.

学会発表

1. 田村和義, 佐々木 学, 梅垣昌士, 芝野克彦, 木谷智樹, 松橋崇寛, 寺西邦匡, 松本勝美: 腰椎外側型ヘルニアおよび椎間孔狭窄症に対する外側開窓術の治療成績, 第33回脊髄外科学会, 2018年6月, 奈良.
2. 田村和義, 佐々木 学, 梅垣昌士, 芝野克彦, 木谷智樹, 松橋崇寛, 寺西邦匡, 松本勝美, 井尾克宏: 初発症状として急性対麻痺を呈した急性骨髄性白血病の1例, 第33回脊髄外科学会, 2018年6月, 奈良.
3. 田村和義, 佐々木 学, 松橋崇寛, 寺西邦匡, 梅垣昌士, 芝野克彦, 木谷智樹, 松本勝美: 腰椎仙椎の脊柱管拡大を呈した多発性神経鞘腫と考えられる1例, 日本脳神経外科学会第77回学術総会, 2018年10月, 仙台.
4. 田村和義: 認知症の診断と治療, 第11回阿波座クリニカルカンファレンス, 2018年11月, 大阪.

研究会発表

1. 田村和義: 最近の脳神経外科学の進歩, 第105回ニッセイ医学セミナーUpdate, 2018年5月, 大阪.

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
				田村				田村	

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2018年度
外来	690
入院	1,079

※2018.4～脳神経外科を新設

表3 2018.4～2019.3—入院患者の疾患

疾患名	件数	平均在院日数
水頭症	24	22
その他の非外傷性頭蓋内出血	8	27
脳内出血	2	29
脳の悪性新生物	1	84
脳梗塞	1	21
動脈および細動脈のその他の障害	1	2
頭蓋内損傷	1	26
頭部のその他および詳細不明の損傷	1	7
頭部損傷の続発・後遺症	1	36

整 形 外 科

スタッフ 部 長：毛利年一
副部長：行方雅人
医 長：高橋和孝
専攻医：佐原啓太

1. 診療内容

当科は、関節外科、脊椎外科、骨折外傷を3本柱として診療を行ってきた。

関節外科では膝および股関節の関節症や関節リウマチに対して人工関節手術や外来での保存療法を行ってきた。特に人工関節の進歩はめざましく、耐用性に優れたセラミックやクロスリンクポリエチレンなどを使用して患者さんの負担を減らすよう最小侵襲手術を行っている。

脊椎外科では下肢痛で歩行が困難になっている腰部脊柱管狭窄症患者に対する開窓術や椎体間固定術を主に行っている。

外傷では高齢者の骨折が増加しており、骨粗鬆症治療とともにできるだけ早期の手術を心がけている。また、ロコモティブシンドロームが世間に認知されつつあり、この領域の診療は今後も必要不可欠で力を入れていくべき分野だと考えられる。

また、当科はリハビリテーション室と密接に連携し、早期退院・早期社会復帰を目標に治療に当たっている。手術患者に対しては手術前からリハビリテーションを行うだけでなく、術後早期から集中して運動療法を行ってきた。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

整形外科1、2診で外来診療を行った。

2) 病棟体制（表2）

病床数は28、常勤医4名が担当し診療を行った。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表4）

外来患者数はほぼ前年度並みであった。

2) 入院診療実績（表4、5）

入院患者数は微増した。

4. 専門医・指導医など

日本整形外科学会認定リウマチ医 1名（毛利）
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 1名（行方）
日本整形外科学会認定整形外科専門医 3名
（毛利、行方、高橋）

5. 業績

学会発表

1. 佐原啓太, 毛利年一, 平井幸雄, 行方雅人, 高橋和孝, 平林伸治, 渡辺温子, 山添直子: 両側にペーカー嚢腫を有していた症例で1例が破裂後の経過, 日本超音波医学会第45回関西地方会, 2018年10月, 神戸.
2. 佐原啓太, 平林伸治, 山添直子: 手関節部に生じたガングリオンが破裂した1例, 日本超音波医学会第45回関西地方会, 2018年10月, 神戸.
3. 佐原啓太, 衣笠和孝, 濱田雅之, 天野大, 橘優太, 田中美成: 距骨側に生じた小児のATFL付着部裂離骨折の3例, 第131回中部日本整形外科学会災害外科学会, 2018年10月, 倉敷.
4. 佐原啓太, 毛利年一, 平林伸治: 疼痛を主訴にした脊髄転移性腫瘍の3例, 第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会, 2019年3月, 大阪.

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
行方		毛利		交代 (初めの 方のみ)		行方 (予約)		毛利 (予約)	
高橋 (和) (予約)	手術	佐原 (予約)			手術	高橋 (和)	行方 (特診・ 特診・ 外来 (予約))	佐原	毛利 (特診・ 特診・ 外来 (予約))
		辻(成) (乾癬関節 外来 (予約))							

表2 病棟体制

	月	火	水	木	金
午前		術前カンファ			
午後				部長回診	

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	12,257	12,548	13,965	13,696	13,609
入院	10,255	9,379	8,533	10,070	10,207

表4 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件 数	平均在院日数
脊椎障害	67	28
大腿骨骨折	44	47
膝関節症 [膝の関節症]	39	31
整形外科的経過観察ケア	34	4
肩および上腕の骨折	29	17
変形性脊柱障害	27	28
椎間板障害	22	16
前腕の骨折	21	14
下腿の骨折、足首を含む	21	23
股関節症 [股関節部の関節症]	20	33
腰椎および骨盤の骨折	13	32

スタッフ 部長：東山眞里（副院長、あったかサポートセンター長、臨床研究管理室長）
副医長：西本知子
医 員：田中久仁子
専攻医：高田洋子

西区では数少ない重症皮膚疾患の入院治療が可能な施設である。乾癬やアトピー性皮膚炎、結節性痒疹、円形脱毛症、尋常性白斑、強皮症などの難治性疾患、皮膚外科、小児皮膚疾患、高齢者皮膚疾患、分子標的抗ガン剤による皮膚障害及び皮膚疾患全般について質の高い医療の提供を目指す。大阪大学皮膚科学教室や、その関連病院と密な連携をとり病院間及び病診連携を重視している。皮膚疾患患者のQOLを尊重し病気の悪化や再発の防止を目標にきめ細かい生活指導に力を入れている。11月12日に「皮膚の日の催し」として患者対象の学習会を皮膚科医師/形成外科医師と看護師で開催。薬疹の診断・治療、傷の対処法などにつき講演した。

医療設備：薬浴室（外来、病棟とも）、全身型紫外線照射装置（UVA、UVB、ナローバンドUVB）、手足用ナローUVB/UVA照射装置、エキシマライト、凍結療法（スプレー式）、表在超音波装置

1. 診療内容

専門外来：【乾癬外来】月平均新患数は17名で再診は延べ700名余り。(1) 1. 外用療法 2. 光線療法（入浴PUVA療法またはナローバンドUVB照射-全身型、エキシマライト、手足用ナローUVB/UVA照射 3. 内服療法（レチノイド、シクロスポリン、アプレミラストA） 4. 生物学的製剤も導入。これらより個々の患者に最適な治療を選択 (2) 扁桃炎・高脂血症・糖尿病など乾癬を悪化要因や心血管系イベントを含む併存症につき精査。(3) 重症、難治例にはアダリムマブ、インフリキシマブ、ウスチキヌマブ、セクキヌマブ、プロダルマブ、イキセキズマブ、グセルクマブなどの生物学的製剤を積極的に導入し特に乾癬性関節炎にも奏効。入院、外来とも可能。乾癬に関する臨床治験や臨床研究も実施。(4) 乾癬性関節炎は整形外科医と診断・治療につき連携。2013年より関節エコーを用い早期診断の向上をはかっている。(5) 療養を支援する場として大阪大学皮膚科学教室と協力して大阪乾癬患者友の会の事務局も務める。定期的に学習会も開催。【アトピー外来】重症例では光線療法やシクロスポリン療法、生物学的製剤も併用。悪化原因の精査、スキンケア指導、関連科との連絡を密に総合的に診療を行う。QOLを尊重し病気の悪化や再発の防止を目標にきめ細かい生活指導に力を入れている。【エキシマ治療】308nmのエキシマ

ライトを用いて難治な爪乾癬・尋常性乾癬・アトピー性皮膚炎・尋常性白斑・環状肉芽腫などの治療を行い良好な結果を得ている。

【皮膚外科手術】良性悪性腫瘍、ケロイド、褥瘡、糖尿病性壊疽などは形成外科医と協力し治療。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

外来診療 主治医制で再診は予約制。

原則3診体制で診療。初診外来あり（月、水曜は東山担当）。再診外来は月～金（午前）。

専門外来：乾癬外来は火（午前・午後）、木（午前・午後）、全予約制（初診：あったかサポート経由のみ予約可）。アトピー外来は金（午前）。

外来患者数 91名/日

手術：水曜午前は局所麻酔

2) 病棟体制（表3、4）

病棟担当医は常勤医3名で、主治医となって診療を行った。新入院患者数は22名/月、入院のべ患者数は3,202名、1日平均9名で、帯状疱疹、重症乾癬、アトピー性皮膚炎、水痘、じんま疹、蜂窩織炎、薬疹、多型紅斑、丹毒、皮膚良性腫瘍/悪性腫瘍、下腿潰瘍、自己免疫性水疱症など形成外科と協力して褥瘡回診を行っている。

3) 検査スケジュール（表2）

月曜・水曜の午後にパッチテスト・光線テスト・皮膚生検などを行っている。

表在エコー検査は随時。

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

2018年度の外来延べ患者数21,976名、1日平均91名。
紹介患者数 53名/月。

年間手術件数 180件

2) 入院診療実績（表3、4）

3) 検査実績

皮膚生検数 300件/年

4. 専門医など

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 2名（東山、西本）

5. 業績

論文・著書

1. 生長久仁子, 安藤純実, 坂井浩志:湿疹様の臨床経過を示したQueyrat紅色肥厚症, 皮膚病診療, 40(10), 1043-1046, 2018.
2. 伊賀佐紀, 横井一範, 西本知子, 平野亜由子, 東山眞里:頸部、体幹に多発する嚢腫性病変, 皮膚病診療, 40(3):305-308, 2018.
3. 伊賀佐紀, 横井一範, 西本知子, 大川たをり, 東山眞里, 川上 学:多発性骨髄腫に合併した全身性アミロイドーシス, 皮膚病診療, 40(11):1115-1118, 2018.

学会発表

1. 高田洋子, 東山眞里, 横井一範, 西本知子:抗TIF-1 γ 抗体陽性皮膚筋炎に栄養障害性紅斑症を合併したと考えた1例, 第117回日本皮膚科学会総会, 2018年5月, 広島.
2. 東山眞里:あんなこともあったね。こんなこともあったね。そして未来へ, 大阪大学皮膚科学教室女医会, 2018年7月.
3. 東山眞里:QOL向上のための乾癬治療選択と患者会の役割, 愛媛乾癬治療学術講演会, 2018年7月, 松山.
4. 東山眞里:QOLの向上のための乾癬治療—外用から生物学的製剤まで, 三島乾癬治療学術講演会, 2018年8月, 高槻.
5. 高田洋子, 東山眞里, 田中久仁子, 横井一範, 西本知子:当院の乾癬患者の爪病変にステロイドとビタミンD3配合剤の外用とエキシマ(VTRAC)を併用した治療効果の検討, 第33回日本乾癬学会学術大会, 2018年9月, 松山.
6. 田中久仁子, 西本知子, 高田洋子, 東山眞里, 川上 学, 佐藤智彦:ジアフェニルスルホン(DDS)による溶血性貧血にて脳梗塞を来した1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2018年10月, 大阪.
7. 山下千佳紗, 田中 文, 白井洋彦, 浜田 禪:Symmetrical drug-related intertriginous and flexural exanthema (SDRIFE)の1例, 第70回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2018年11月, 松江.
8. 高田洋子, 東山眞里, 田中久仁子, 西本知子:塩酸テルピナフィンによる薬剤誘発性の膿疱性乾癬の再燃と考えられた症例, 第48回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会, 2018年11月, 奈良.
9. 山下千佳紗, 田中 文, 日野上はるな, 白井洋彦:ペムプロリズマブ投与中に生じた皮膚筋炎の1例, 第470回日本皮膚科学会大阪地方会, 2018年12月, 大阪.
10. 東山眞里:QOLの向上をめざした乾癬治療～複雑化するビラミッドからの選択～, Muse Meeting～乾癬について学ぶ～, 2018年12月, 高知.
11. 東山眞里, 谷口真理子, 六車裕一:乾癬治療の進歩と臨床試験の役割, ニッセイ医学Update, 2019年1月, 大阪.
12. 東山眞里:QOLの向上のための乾癬治療—どう選択する外用から生物学的製剤まで, 三島エリア乾癬治療を考える会～ドボベツ軟膏発売5周年記念について学ぶ～, 2019年3月, 高槻.

研究会発表

1. 東山眞里:乾癬治療におけるイキセキズマブへの期待, PsA Expert Seminar in Tennouji, 2018年6月, 大阪.
2. 東山眞里:乾癬治療における生物学的製剤使用状況と医師・患者の満足度, ルミセフアドバイザリー会議, 2018年8月, 大阪.
3. 東山眞里:乾癬のトータルマネージメント当院におけるTNF α 製剤の棲み分け, 乾癬 Expert meeting in 宮崎, 2018年10月, 宮崎.
4. 東山眞里:乾癬性関節炎の早期診断のための他科連携の重要性, あわぎ乾癬 セミナー, 2018年10月, 大阪.
5. 東山眞里:大阪地区における乾癬治療, 長崎皮膚疾患バイオフォーラム, 2019年1月, 長崎.
6. 東山眞里:褥瘡やオムツかぶれなどの皮膚トラブルのケアと予防について, 西区在宅医療・介護連携のための多職種

連携研修会, 2019年2月, 大阪.

7. 東山眞里:Closing Remarks, Biological Symposium in Osaka, 2019年3月, 大阪.
8. 東山眞里:大阪府女医会学第2回春の勉強会, 痒みも含めたトータルマネージメントの重要性, 2018年4月, 大阪.

表1 外来診察スケジュール

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
診察室	甲斐		乾癬外来2 辻(真)		アレルギー外来 西本		溝口		西本	西本
	東山	検査 パッチ テスト 生検 等	辻(成)	乾癬外来 東山	東山	検査 光線 テスト 生検	乾癬外来2 高田	乾癬外来 東山/ 西本	アトピー外来 田中(久)	アトピー外来 田中(久)
	田中(久)		高田	乾癬外来2 田中(久)	高田		田中(久)		高田	高田
外来処置室	西本		乾癬外来 東山		局麻手術 辻(真)・ 田中(久)		乾癬(限定) 東山			

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
パッチテスト 皮内テスト 光線テスト 皮膚生検		○診								

○: 当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	26,570	26,005	25,726	23,831	21,976
入院	3,226	3,821	3,296	3,799	3,202

表4 2018.4～2019.3—入院患者の疾患(上位のみ)

疾患名	件数	平均在院日数
帯状疱疹[帯状ヘルペス]	98	9
蜂巣炎(蜂窩織炎)	52	15
乾せん(癬)	15	15
摂取物質による皮膚炎	13	13
丹毒	11	11
その他の紅斑性病態	9	18
慢性単純性苔せん(癬)および痒疹	6	19
有害作用、他に分類されないもの	5	5

スタッフ 部 長：福井辰成
副部長：湊のり子
医 長：金光俊行

1. 診療内容

当科は泌尿器疾患および男性生殖器疾患を対象に診療を行なった。

泌尿生殖器悪性腫瘍に対する外科的治療、抗がん化学療法、放射線治療、前立腺肥大症に対する外科的治療、薬物療法、過活動膀胱、神経因性膀胱に対する薬物療法、運動療法、生活指導、尿路結石に対する薬物療法、低侵襲手術などを行った。

近年は、人口の高齢化とともに前立腺癌患者が増えており、当科でも、前立腺癌の診断および治療に診療全体に占める割合が高くなっている。

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

泌尿器科外来1～2診で外来診療を行った。

2) 病棟体制

病床数は10～20、病棟担当医は、常勤医が主治医となって診療を行った。

3) 検査スケジュール（表2）

膀胱鏡検査：泌尿器科膀胱鏡検査室（月～金曜日）

尿流検査：泌尿器科検査室（月～金曜日）

膀胱内圧測定、尿道抵抗測定：泌尿器科検査室（火・木曜日）

逆行性尿路造影、尿道膀胱造影、排尿時膀胱造影（火曜日）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

外来患者数は延べ11,353人であった。

2) 入院診療実績（表3、4）

入院患者は延べ3,441人であった。

3) 治療実績

経直腸的前立腺生検術は92例に対して行った。前立腺癌に対し腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術は7例、2018年5月より導入されたロボット手術による前立腺全摘除術は15例に行った。去勢抵抗性前立腺癌に対しては2014年より認可されたエンザルタミドやアピラテロンを使用することで治療の幅を広げ良好な治療成績を納め、また患者数も着実に増加している。また去勢抵抗性前立腺癌骨転移に対し塩化ラジウム（Ra-223）を用いた治療を行った。

膀胱癌に対する外科的治療は、経尿道的電気切除

術79例、尿路変向1例（自排尿型代用膀胱形成術0例・回腸導管造設術1例）に対して行った。膀胱癌の治療あるいは膀胱内再発予防として、再発しやすい癌に対してBCG膀胱内注入療法を施行した。膀胱固有筋層に浸潤する膀胱癌に対しては、再発した場合致命的となる実験的な膀胱温存療法ではなく、標準的治療である根治的膀胱全摘除術を行い、尿路変向としてQOLの良い自排尿式代用膀胱形成術を多く行うようにしている。

前立腺肥大症に対する外科的治療として、経尿道的な前立腺切除術（経尿道的核出術を含む）を13例、行った。特に腫大が高度な場合には、バイポーラ電気メスを用いた経尿道的核出術（TUEB）を主に行い、さらに高度な場合は恥骨後式前立腺被膜下摘除術を行うが本年度は6例であった。

腹腔鏡下手術は腎、副腎、腎盂尿管疾患、その他18例に行った。根治的腎全摘除術7例、腎部分切除術0例、副腎摘除術1例、腎尿管全摘除術9例、後腹膜リンパ節生検1例である。手術時間はやや延長するが、開腹手術に比べて術後の鎮痛剤の投与量が著しく減量でき、患者さんのQOLが良好で、術後の回復期間が短く、在院日数も短縮できる。

尿路結石（腎結石、尿管結石）に対して体外衝撃波碎石術（ESWL）を72例に行っている。経尿道的膀胱碎石術を3例に、経尿道的尿管碎石術を30例に行い全例に対しレーザーを用いて碎石を行った。

4. 認定医・専門医など

日本泌尿器科学会専門医	3名（福井、湊、金光）
日本泌尿器科学会指導医	3名（福井、湊、金光）
日本がん治療認定医機構認定医	2名（福井、金光）
日本医師会認定産業医	2名（福井、金光）

5. 業績

学会発表

1. 福井辰成：「ダヴィンチ」を用いた前立腺癌手術の治療，第110回ニッセイ医学セミナーUpdate, 2018年12月，大阪。

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
福井	福井	黒田	回診	交代	手術	湊	湊	藤田 (昌)※	福井
湊	特殊 検査	金光	特殊 検査			福井	特殊 検査	金光	手術

※2・4週は福本

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
膀胱内圧測定 尿流検査 前立腺エコー 逆行性腎盂造影		○ 診		○ 診				○ 診		○ 診

○：当院診察が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	12,114	11,518	11,007	11,422	11,353
入院	3,751	3,462	3,467	3,481	3,441

表4 2018.4～2019.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
前立腺の悪性新生物	84	9
膀胱の悪性新生物	72	14
腎結石および尿管結石	50	5
閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	32	4
前立腺肥大（症）	29	9
疾病および病態の疑いに対する 医学的観察および評価	23	2
尿管の悪性新生物	14	14
腎盂を除く腎の悪性新生物	10	9
急性腎盂腎炎	7	5
前立腺の炎症性疾患	7	8
精巣（睾丸）水腫および精液瘤	7	6
腎尿路の良性新生物	5	6

眼 科

スタッフ 部長代行：谷井啓一
副 部 長：辻川 睦（7月～）
副 医 長：馬場圭太

1. 診療内容

当科は日本眼科学会の研修指定病院で、大阪大学眼科学教室と連携し、白内障・緑内障・角結膜疾患・糖尿病網膜症を中心に、地域の基幹病院としての立場から眼科疾患全般に対応できるよう努めている。

2016年度は、大阪大学眼科教室からの非常勤医師による外来診療のみであったが、2017年8月に谷井が赴任し、常勤医体制を再開した。

最新の設備を用いた質の高い医療の提供と、患者さんに満足していただける説明・啓蒙を診療指針に掲げている。また、病診連携を積極的に進めており、患者さんの眼科かかりつけ医との連絡を密に取っており、かかりつけ医よりの紹介→当科での手術等の急性期治療→かかりつけ医への逆紹介という基本方針で診療を行っている。

ほとんどの科を網羅する日生病院の一診療科として、全身状態のよくない症例や、眼科単科では対応困難な症例の眼科治療も他科と連携しながら行っており、さらにニッセイ予防医学センターとも協力し、眼底検診による疾患の早期発見・予防に努めている。また、眼科疾患の難病認定申請に関する検査および臨床調査個人票の発行や、身体障害者手帳申請に関する検査および診断書・意見書の発行、視覚障害者スポーツに関するサポートも行っている。

2. 診療体制

- 1) 外来診療スケジュール（表1）
- 2) 検査スケジュール（表2）

3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表3）
- 2) 入院診療実績（表3、4）

4. 認定医・専門医など

日本眼科学会専門医 2名（谷井、辻川）
日本網膜硝子体学会・眼科PDT研究会
光線力学療法認定医 1名（谷井）
視覚障害者用補装具適合判定医師 1名（谷井）
ICD 1名（谷井）
臨床研修指導医 1名（谷井）
日本医師会認定産業医 1名（谷井）
日本体育協会認定スポーツドクター 1名（谷井）
日本障がい者スポーツ協会認定障がい者スポーツ医 1名（谷井）

5. 業績

研究会発表

1. 谷井啓一：甲状腺眼症が眼圧に与える影響，第7回大阪西部病診連携の会，2018年6月，大阪。
2. 馬場圭太：内視鏡を併用した前眼部手術の可能性，第25回大阪眼科手術の会，2019年2月，大阪。
3. 馬場圭太：緑内障インプラントチューブ閉塞に対して内視鏡下手術が有用であった例，第246回O.C.C.，2019年3月，大阪。

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
谷井		馬場		谷井		辻川		谷井	
	手術		特殊検査		手術		特殊検査		特殊検査
辻川		辻川		馬場		駒井		馬場	

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
光凝固 YAG 蛍光造影 硝子体注射 ボトックス				○				○		○

○：当院診療が必要

表3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	13,766	14,122	8,146	8,217	10,452
入院	1,513	1,213	0	231※	769

※2017.8～眼科常勤医体制の再開

表4 2018.4～2019.3入院患者の疾患

疾患名	件数	平均在院日数
白内障	360	2
水晶体のその他の障害	1	2
硝子体の障害	1	3
視神経炎	1	4

スタッフ 主任部長：藤田信哉
副部長：小泉敏三、細野研二
医員：藤田裕人

1. 診療内容

急性炎症疾患（咽喉頭炎、扁桃炎、中耳炎など）、慢性疾患（副鼻腔炎、めまい、難聴など）、頭頸部腫瘍に対する集学的治療（手術、放射線治療、抗がん剤治療）を行い、最近では耳科領域の手術では、従来からの慢性中耳炎に対する鼓室形成術に加え、メニエル病に対する内リンパ嚢開放術にも取り組んでいる。また、難治性疾患である好酸球性副鼻腔炎についても手術療法を中心に積極的に取り組んでいる。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

一般診療：月～金曜日am

（火：手術日のため初診のみ）

専門診療：補聴器外来（第1・3・5木pm、金pm：細野）
めまい外来（水pm：藤田）

各医師の専門性も重視し、初診の段階から疾患群に応じて、より適した医師が診療担当する方針としている。

2) 病棟体制

病床数10（9階病棟）を基本に入院診療を行った。外来診療担当医が、引き続き入院診療も主治医として診療を行っている。重症例については、複数の医師で、または上級医の指導の下、治療を行っている。

3) 検査スケジュール

- ・めまい・平衡機能検査：月から金曜日午後
- ・ABR検査：適宜
- ・補聴器適合検査：木・金曜日午後（補聴器外来）
- ・超音波検査、鼻咽頭内視鏡検査：外来診療の一貫で施行
- ・嚥下造影検査：放射線科との調整で適宜施行

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表3）

一般診療が減少している中で、急性炎症疾患、めまい診療、頭頸部腫瘍（口腔癌、咽喉頭癌、甲状腺癌など）診療、補聴器相談、などの対応が増えた結果、外来診療に要する時間は増加傾向である。積極的に診療所からの紹介患者の受入、また逆紹介も行うことで、地域医療支援の観点からも西区基幹病院としての役割を果たしていると思われる。

2) 入院診療実績（表3、4）

手術例を主に、急性炎症疾患（扁桃炎、急性喉頭蓋炎など）、鼻出血、めまい、急性感音難聴、顔面麻痺、頭頸部腫瘍の放射線治療や抗がん剤治療などを行った。

3) 検査実績

めまい検査
頸部超音波検査
鼻咽頭内視鏡検査
嚥下造影検査

4. 認定医・専門医など

日本耳鼻咽喉科学会専門医 3名（藤田、小泉、細野）
日耳鼻認定補聴器相談医 3名（藤田、小泉、細野）
補聴器適合検査認定医 1名（藤田）
頭頸部がん暫定指導医 1名（細野）
日本東洋医学会漢方認定医 1名（細野）
身体障害者福祉法指定医 3名（藤田、小泉、細野）
（聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく機能障害）

5. 業績

論文・著書

- 藤田信哉, 成尾一彦, 山中敏彰, 北原 紘: 地域医療支援病院耳鼻咽喉科における小児めまいの臨床統計, 小児耳鼻咽喉科, 39:297-302, 2018.
- 伊藤妙子, 乾 洋史, 塩崎智之, 藤田信哉, 和田佳郎, 山中敏彰, 北原 紘: 当院めまいセンターにおけるメニエル病内リンパ水腫陽性率の検討, Equilibrium Res, 77:158-164, 2018.
- 伊藤妙子, 乾 洋史, 藤田信哉, 和田佳郎, 山中敏彰, 北原 紘: 当科における内リンパ水腫推定検査の陽性率に関する検討, 耳鼻咽喉科ニューロサイエンス, 32:22-24, 2018.
- 伊藤妙子1, 塩崎智之1, 和田佳郎1, 藤田信哉1, 2, 山中敏彰1, 北原 紘1: 理学療法士によるめまい平衡リハビリテーション—まほろば式—, Equilibrium Res, 77:549-556, 2018.
- 藤田信哉: ENG記録の実態とその問題点, 第48回日本めまい平衡医学会平衡機能検査技術講習会テキスト, :109-114, 2018.

学会発表

- 山中敏彰, 大山寛毅, 伊藤妙子, 松村八千代, 山下哲範, 岡本英之, 藤田信哉, 北原 紘: 前庭障害代償不全に対するめまい平衡リハビリテーション療法の効果と限界, 第80回耳鼻咽喉科臨床学会総会, 2018年6月, 横浜.
- 藤田信哉, 松村八千代, 山中敏彰, 岡本英之, 北原 紘: 当科における急性低音障害型感音難聴のメニエル病移行例について, 第119回日本耳鼻咽喉科学会総会, 2018年6月, 横浜.

- 3. 小泉敏三, 細野研二, 藤田信哉, 北原 紘:咀嚼で眼振が誘発されるCosten症候群の1例, 第28回日本耳科学会総会, 2018年10月, 大阪.
- 4. 藤田信哉, 小泉敏三, 山中敏彰, 北原 紘:心因性めまいの前庭障害評価におけるラバー負荷検査の有用性, 第28回日本耳科学会総会, 2018年10月, 大阪.
- 5. 松村八千代, 山中敏彰, 村井孝行, 大山寛毅, 伊藤妙子, 藤田信哉, 北原 紘:高齢期のめまい・平衡障害症例におけるフレイルの検討, 第77回日本めまい平衡医学会, 2018年11月, 山口.
- 6. 藤田信哉, 松村八千代, 山中敏彰, 岡本英之, 北原 紘:当科における急性低音障害型感音難聴の再発例, メニエール病移行例について, 第77回日本めまい平衡医学会, 2018年11月, 山口.

研究会発表

- 1. 藤田信哉:ENG記録の実際とその問題点, 第48回平衡機能検査技術講習会, 2018年7月, 橿原.
- 2. 藤田信哉:柴苓湯の長期効果とメニエール病に対する臨床研究について, 奈良県耳鼻咽喉科医会日耳鼻奈良県地方部会, 2018年10月, 奈良.

表 1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
宮下		小泉		小泉		宮下		小泉	
細野	手術		手術	藤田 (裕)		細野	細野 (補聴器 外来 予約)	細野	細野 (補聴器 外来 予約)
藤田 (信)		藤田 (信)		藤田 (信) (めまい 予約)	赤羽 (予約)	赤羽 (予約)	藤田 (裕)		

※ 1・3・5 週

表 2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
聴力検査 平衡機能検査 味覚検査	○ 診		○ 診		○ 診		○ 診		○ 診	
聴性脳幹反応		○ 診		○ 診		○ 診		○ 診		○ 診

○：当院診察が必要

表 3 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	13,417	13,327	11,618	10,579	11,159
入院	5,533	4,603	4,436	2,278	1,860

表 4 2018.4～2019.3ー入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
扁桃およびアデノイドの慢性疾患	39	6
前庭機能障害	32	5
慢性副鼻腔炎	20	7
睡眠障害	15	3
声帯および喉頭の疾患、他に分類されないもの	11	5
扁桃周囲膿瘍	10	5
中咽頭の悪性新生物	9	37
甲状腺の悪性新生物	9	10
急性扁桃炎	9	5
非化膿性中耳炎	8	4
化膿性および詳細不明の中耳炎	8	5
多部位および部位不明の急性上気道感染症	7	4
その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	6	3
顔面神経障害	6	11
唾液腺疾患	5	6

形成再建外科

スタッフ 部長代行：藤原敏宏
副 医 長：大島 遥

1. 診療内容

形成再建外科では体表の外傷や腫瘍、変形、異常を取り扱っている。また治らない傷や目立つ傷あと、眼瞼下垂、がんの切除およびその修復（頭頸部再建や乳房再建など）の治療も行う。疾患の根治のみでなく、整容性に配慮した治療を心がけている。

外傷については全身を対象に対応しており、特に露出部である顔面や四肢を多く治療している。擦過創、挫滅創、裂創、剥脱創、咬創、熱傷、凍傷など幅広い外傷に対応している。顔面骨折も変形や機能障害の程度に応じて手術をしている。皮膚、皮下腫瘍については理学所見を中心にエコー、CT、MRIなどの画像検査を組み合わせ、複合的に病態を診断し、皮膚科と合同カンファレンスを行い、治療計画を立てている。また、切除した腫瘍については同カンファレンスにて病理診断の検討会を行っている。眼瞼疾患については眼瞼下垂を中心に、睫毛内反症や眼瞼外反、兎眼などの治療を行っている。余剰皮膚切除や挙筋前転術、筋膜や骨膜弁による吊上げ術など幅広く対応している。顔面神経においては静的再建やボトックスによる痙攣の治療を主に行っている。乳房再建では人工物や自家組織（広背筋皮弁、腹直筋皮弁、腹部穿通枝皮弁など）を用いた再建方法の中から患者に合った治療方法を選択している。褥瘡については皮膚科と合同で治療を行っており、入院患者の褥瘡治療は形成外科及び皮膚科、多職種を含めた褥瘡対策チームで対応している。糖尿病性足壊疽や重症虚血肢などの難治性創傷は他科と連携の上治療を行っている。この他にも副耳、耳瘻孔、多合指（趾）症、ケロイド、腋臭症、ワキ多汗症、陥入爪の治療も行っている。

2. 診療体制

1) 外来診療スケジュール（表1）

外来診療は原則1診体制。初診、再診共に1診体制で対応している。月、火曜日は大島が担当。水、金は藤原が担当。乳房再建、頭頸部再建は藤原が担当している。また緊急の外傷も随時引き受けて対応している。

2) 病棟体制

病棟は藤原、大島がそれぞれ主治医を担当。また他科との共観患者についてもそれぞれが共観医として担当している。

3) 手術スケジュール

主には月曜日午後、金曜日午後に局所麻酔の手術を行い、木曜日午前に全身麻酔の手術を行っている。必要に応じて月曜日午前、金曜日午前にも手術を行っている。頭頸部再建は火曜日に、乳房再建は木曜日に行っている。手術は全て中央手術室で行っているが、外傷や緊急性のある小手術に対しては外来処置室にて対応している。

3. 診療実績

- 1) 外来診療実績（表2）
- 2) 入院診療実績（表2）
- 3) 手術実績（表3）

4. 認定医・専門医など

日本形成外科学会専門医 2名（藤原・大島）

日本創傷外科学会専門医 1名（藤原）

日本形成外科学会認定皮膚腫瘍外科指導専門医 1名（藤原）

乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師 1名（藤原）

5. 業績

学会発表

1. 藤原敏宏, 大島 遥, 西本 聡, 垣淵正男: テープ療法のテープ誤飲による食道狭窄増悪の1例, 第61回日本形成外科学会総会, 2018年4月, 福岡.

研究会発表

1. 藤原敏宏: 眼瞼下垂のお話し まぶたが下がって物が見えにくありませんか?, 西区老人福祉センターでの講演, 2018年9月, 大阪.
2. 藤原敏宏: 糖尿病と創傷治療, 江之子島糖尿病病診連携セミナー, 2018年10月, 大阪.

表1 外来診療スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
大島		大島		藤原				藤原	

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2017年度	2018年度
外来	2,742	2,911
入院	1,097	1,083

※2017.4～ 形成再建外科を新設

表3 2018.4～2019.3入院患者の疾患（上位のみ）

疾患名	件数	平均在院日数
皮膚のその他の悪性新生物	21	8
眼瞼のその他の障害	20	4
良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む）	17	4
皮膚のその他の良性新生物	10	2
その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	6	4
頭蓋骨および顔面骨の骨折	6	4
結合組織およびその他の軟部組織のその他の良性新生物	5	5
皮膚および皮下組織の毛包のう〈囊〉胞	5	4

放射線診断・IVR科

スタッフ 部長：前田宗宏
副部長：小林美登利、牧 大介
兼 任：内藤博昭（特任顧問）

1. 診療活動

各種画像診断（CT、MRI、単純X線、マンモグラフィ、消化管造影、排泄性尿路造影、血管造影など）、各種IVR（肝細胞癌に対する塞栓・動注、消化管出血や産科出血などの止血、B-RTO、胆道穿刺・ドレナージ、膿瘍穿刺・ドレナージ、ラジオ波焼灼術、生検など）、核医学診断（骨、脳血流、心筋、甲状腺、副腎、換気・血流、腎など）を行っています。新病院への移転を契機に2018年5月からPET/CT検査を開始しました。

4名の放射線診断専門医（常勤）が、大阪大学ならびに大阪市立大学の専門医（非常勤）の支援を得て、質の高い画像診断とIVRを実践しています。

2. 臨床実績（2018年4月1日から2019年3月31日）

- 画像診断CT 14,021例、MRI 6,529例、単純X線 2,9320例、マンモグラフィ 1,385例、消化管造影（DICを含む）28例
- 血管系IVR 46例（動注・塞栓術（肝癌）21例、止血術（消化管）3例、気管支動脈塞栓術3例、子宮動脈塞栓術3例、副腎静脈サンプリング9例、透析シャント血管拡張術7例）
- 非血管系IVR 61例（経皮的生検（肺・縦隔・肝・後腹膜）19例、経皮的膿瘍ドレナージ（腹腔内・後腹膜・腸腰筋・肝）25例、経皮経肝的胆道穿刺・吸引・ドレナージ15例）、内臓神経ブロック1例、RFA（肝癌）1例
- RI検査 γカメラ 864例、PET/CT 311例

3. 認定医・専門医など

日本医学放射線学会放射線診断専門医 4名
（前田、小林、牧、内藤）
日本IVR学会専門医 1名（前田）

表1 外来診療スケジュール

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
IVR		前田 牧						前田 牧		前田 牧

※放射線診断は毎日実施

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
単純撮影	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹	★ 紹
CT(単・造)	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予
MRI(単・造)	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予
骨塩定量	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予
乳房撮影	● 紹・予		● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予		● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予	● 紹・予

●：紹介状・予約が必要 ★：紹介状のみにて検査可

表3 年度別外来延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
放射線診断・IVR科	3,922	4,586	4,244	1,268*	1,249
(放射線治療科)	—	—	—	2,208*	1,952

※2017.4～ 放射線科から放射線診断科(2018.4から放射線診断・IVR科)に改組、放射線治療科新設

放 射 線 治 療 科

スタッフ 部長代行：丸岡真太郎

1. 診療内容

2017年4月より「放射線治療科」を新設し、診療を開始した。

がん治療の三本柱の一つである放射線により各種がんに対する放射線治療を行っており、根治目的の放射線治療だけでなく、がんによる各種症状を和らげるための緩和的照射も行っている。2018年5月より新リニアック装置TrueBeamに機器更新を行い、体幹部定位照射をはじめとした高精度放射線治療を行っている。

主な対象疾患は下記の通り

頭頸部腫瘍、消化器腫瘍（食道癌、膵臓癌、肝臓癌等）、泌尿器科腫瘍（前立腺癌、膀胱癌等）、婦人科腫瘍（子宮頸癌、卵巣癌等）などの悪性腫瘍に対する放射線治療、頭蓋内腫瘍、肺腫瘍、肝腫瘍に対する定位放射線治療ケロイド等の良性疾患に対する放射線治療

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

3. 診療実績

部位別治療件数

・総計：156件

造血器・リンパ	16件
婦人科	17件
頭頸部	8件
乳腺	35件
消化器	22件
泌尿器	14件
肺縦隔	41件
その他	3件

4. 認定医・専門医など

日本医学放射線学会放射線科専門医 1名（丸岡）

日本医学放射線学会放射線治療専門医 1名（丸岡）

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
丸岡	丸岡		丸岡	丸岡	丸岡	丸岡	丸岡	丸岡	内田

表2 検査スケジュール

検査項目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
リニアック		○ 診			○ 診 (10:30-)	○ 診			○ 診 (10:30-)	○ 診

○：当院診察が必要

表3 年度別外来延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
放射線診断・IVR科	3,922	4,586	4,244	1,268*	1,249
放射線治療科	—	—	—	2,208*	1,952

※2017.4～ 放射線科から放射線診断科（2018.4から放射線診断・IVR科）に改組、放射線治療科新設

スタッフ 部 長：花田留美
副 部 長：玉井 裕、藤原優子
医 長：鈴木史子
常勤嘱託：三上麻紀子（6月～）

1. 診療内容

診療内容としては、主に手術麻酔管理、ペインクリニック外来、緩和医療をおこなっている。

1) 手術麻酔管理

手術時の麻酔だけでなく、術前評価、手術麻酔、術後診察を一連として麻酔管理としている。

予定手術においては、外来受診可能な状態の患者さんのみ術前診察を麻酔科外来で週5日行っている。術前診察で、患者さんの全身状態の評価を行い、最も適した麻酔法を選択する。全身麻酔はもちろん脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・ブロック等も行い、重症患者の場合局所麻酔でも全身管理に携わることもある。麻酔法およびその合併症について患者さんに十分に説明し、理解していただき、信頼関係を確立するためにも術前診察は非常に重要であり、時間をかけている。

緊急手術では、適宜術前診察を行うが、新病院移転後は当日緊急手術においては、迅速に効率よく手術まで行えるように手順を整理した。

できるだけベストな状態で手術に臨めるように他部門とも連携している。まず、術前問題点を早期に把握するため麻酔科管理症例については、2017年より全例入院センターにてスクリーニングを兼ねて麻酔科術前問診票を記入いただき、術前問題点があれば各科に連絡し、早期に手術認定看護師の介入、術前禁煙指導、呼吸器内科での治療や呼吸器リハビリ、術前体重コントロールのための栄養指導、薬剤部への入院前の内服薬の把握などを依頼し、麻酔科での術前診察が行われるまでに問題点が少しでも改善され、周術期合併症のリスク軽減がなされるようなシステムを構築している。術後疼痛管理も積極的に行っており、PCA（Patient Controlled Analgesia）装置を用いて鎮痛薬を持続投与の上、疼痛時に患者さんがボタンを押して鎮痛薬を追加投与する方法を使用している。

2) ペインクリニック外来

週3日開設し、他科、他院からの紹介患者を主に診察している。急性痛のみならず、当院で癌治療中の患者の疼痛管理にも積極的に取り組んでいる。

3) 緩和医療

2008年2月より緩和ケアチームが発足し、入院中は依頼患者に主治医と連携しながら直接介入で対応し、主に身体症状の軽減に携わっている。チー

ムでの回診とカンファランスは、週に1回月曜日に行い、薬剤部、認定看護師、ソーシャルワーカー、放射線治療医、臨床心理士と常に連携しよりよい症状緩和を目指している。

4) その他

当院のプログラムでは初期研修中の1年目の1～2ヵ月は麻酔科を研修する。初期研修中に到達すべき経験目標としての基本的手技のうち、気道確保、静脈ルート確保、腰椎穿刺、気管挿管の技術に関しては、当科にて確実に身につけさせるように指導している。また、将来どの診療科に進んでも役に立つように緩和医療にも積極的に参加してもらい、基本的な医療用麻薬の使い方やその他の症状緩和への対応などができるように、そして研修医の行動目標としての「医療人として必要な基本姿勢や態度」を身につけてもらえるように指導することを心がけている。

また、2018年度は、地域に貢献できるように救急救命士の挿管実習も2名受け入れた。患者さんのご理解のもと、快くご協力いただき、無事に規定症例数の実習を終了することができた。

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

2) 病棟体制

麻酔科は手術室業務が主なため病棟体制はとっていないが、手術室での麻酔業務の合間に、緩和ケアチーム介入患者の疼痛などの身体症状管理を緩和ケア認定看護師と連携して行っている。

3. 診療実績

2018年度は移転により手術室が5室から7室に増加して、総手術件数3,467例、うち麻酔科管理手術件数2,068例となった。そのうち予定症例は1,965例 緊急症例は103例であった。（2017年度は、総手術件数 2,771例、麻酔科管理手術件数 1,849例でそのうち予定手術1,765例、緊急手術84例）前年度より緊急症例とも増加した。2016年4月より整形外科の脊椎専門開設に伴う腹臥位手術や呼吸器外科の分離肺換気などの特殊な麻酔症例数の割合も増加し、2017年には形成再建外科、2018年度はさらに脳神経外科、心臓血管外科が加わり、手術内容も複雑化している。また、患者さんの高齢化、重症化もさらに進んできている。

ペインクリニック外来では、2018年度より大阪大学から月曜日にペインクリニック専門医を招聘し、新病院移転後は、手術室での外来透視ブロックも再開された。超音波ガイド下ブロックなども積極的におこなえるようになった。

1) 外来診療実績 (表2)

2) 入院診療実績 (表2)

麻酔業務の傍ら緩和ケアチームの診療に従事している。

4. 専門医・指導医など

日本麻酔科学会指導医・専門医 2人(花田、藤原)

日本麻酔科学会専門医 2人(玉井、鈴木)

麻酔科標榜医 5人(花田、玉井、藤原、鈴木、三上)

日本ペインクリニック学会専門医 2人(花田、嘱託医:植松)

5. 業績

論文・著書

1. Hanada R, Yokomichi N, Kato C, Miki K, Oyama S, Morita T, Kawahara R: Efficacy and safety of reinfusion of concentrated ascitic fluid for malignant ascites: a concept-proof study, Supportive Care in Cancer, 2018(26):1489-1497, 2018.

研究会発表

1. 花田留美: より安心な手術のために～糖尿病医から手術医へ、そして麻酔科医が求められること～, 糖尿病総合医療懇話会, 2018年7月, 大阪.
2. 花田留美: 長期外来フォロー中の患者の症状変化に対して対応が遅れた1例, 疼痛勉強会, 2019年3月, 大阪.

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
戸崎 (術前)	戸崎 (術前)	玉井 (ペイン)	玉井 (術前)	玉井 (術前)	玉井 (術前)	藤原 (優) (術前)	藤原 (優) (術前)	花田 (ペイン)	花田 (術前)
植松 (ペイン)		三上 (術前)	三上 (術前)	戸崎 (術前) ※①	戸崎 (術前) ※①			三上 (術前) ※②	三上 (術前) ※②

※① 1・3週のみ ※② 2・4週は藤原(優)

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	5,342	4,393	4,849	5,268	4,410
入院	241	0	38	50	60

表3 2018.4～2019.3 ブロック実績

ブロック名	件数
超音波ガイド下ブロック	158
透視下神経ブロック	28
高周波熱凝固	7
その他外来ブロック	131

リハビリテーション科

スタッフ 部長：平林伸治

1. 診療内容

2017年4月よりリハビリテーション科はリハビリテーション医療を専門に開始した。リハビリテーション練習を提供する疾患は以下のようである。外来診察にて最初にリハビリテーションの目標やゴールを説明する。

- 1) 急性期疾患で入院された方の回復を促進する。
- 2) 慢性疾患の急性増悪で入院された方の在宅生活につなげる。
- 3) 回復期・維持期の方は、在宅で行うリハビリテーションが中心のため当院で行うことは指導や、リハビリテーションができていないかの確認である。実際の練習指導は在宅チームや介護保険によるチームに連携して繋いでいる。

リハビリテーションの目的やゴールは障害全部が元通りに戻ることではなく、地域や在宅で適応して生活できるように調整していくことであり、そのために相談や援助を行う診療科である。

リハビリテーション医の診療はリハビリテーション依頼のあった初診患者さんと現在実施中の患者さんの問題解決や障害の強い患者さんを再診したりリハビリテーションカンファレンスを実施したりして良い結果が出せるようにリハビリテーション室で回診・診療している。

ジストニアや運動器領域の筋痙縮にボツリヌス毒素やバクロフェンを使用した治療やリハビリテーション指導を行っている。

2. 診療体制

外来診察スケジュール、月曜から金曜の午前中に実施。

3. 診療実績

毎日リハビリテーション室や病棟・病室にてリハ提供している人数は1ヵ月ごとに算出した平均は116人(96~129)で年間延べ人数28,541人である。初診後に新規リハ開始した患者は1日8.1人(6.4~9.3)である。

病院は阿波座から江之子島に引っ越しの大事業が4月、5月にあり、その時期に人数の変動はあるが、事故なくリハビリテーション再開できた。

2018年 月別に集計したリハビリテーション提供した1日患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
提供人数	108	96	113	123	122	120	112	118	117	120	129	117

2018年 月別に集計した新規開始患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新患者数	128	149	174	174	173	152	169	153	176	174	155	174

4. 認定医・専門医

日本リハビリテーション医学会 専門医、指導医 (平林)
 日本義肢装具学会 専門医 (平林)
 日本超音波医学会 専門医、指導医 (平林)
 日本整形外科学会 専門医 (平林)
 日本職業災害学会社会医学系 専門医、指導医 (平林)

5. 業績

論文・著書

1. 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 中内千暁, 西田幸弘, 平林伸治: 乳癌の脊髄髄内転移による両下肢不全麻痺を呈した患者の運動機能の回復, 日生病院医学雑誌, 46:50-54, 2018.
2. 濱田茉莉奈, 村田郁子, 夏海隆至, 中川正己, 岡元進一, 平林伸治: 喉頭がん術後の縦隔気管孔作成に対してリハビリテーションが有効だった1例, 日本職災医誌, 66:298-302, 2018.
3. 福井信佳, 谷合義旦, 永井栄一, 夏海隆至, 松下卓也, 川村 慶, 西野誠一, 松本成将, 平林伸治: 骨格構造型能動上腕義手の製作と使用経験, 日本義肢装具会誌, 35:69-73, 2019.

学会発表

1. 平林伸治: 70才代の肩腱板断裂の超音波診断, 日本超音波医学会第91回学術集会, 2018年6月, 神戸.
2. 渡辺温子, 山添直子, 小瀬戸昌博, 平井幸雄, 毛利年一, 平林伸治: 整形外科の手術前DVTスクリーニング検査で診断した膝窩部嚢腫の破裂した1例, 日本超音波医学会第91回学術集会, 2018年6月, 神戸.
3. 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 中内千暁, 西田幸弘, 平林伸治: 乳癌の脊髄髄内転移による両下肢不全麻痺を呈した患者の運動機能の回復, 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2018年7月, 福岡.
4. 泉本亮二, 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 高橋和孝, 平林伸治: 90歳以上の高齢者における大腿直筋の厚さと歩行について, 第30回日本整形外科超音波学会, 2018年7月, 山形.
5. 根来政徳, 箕岡尚利, 西村真人, 岡元進一, 田中彰博, 夏海隆至, 平林伸治: 人工股関節置換術後の患者の運動耐容能の経時的変化, 第23回日本心臓リハビリテーション学会, 2018年7月, 横浜.
6. 佐原啓太, 毛利年一, 平井幸雄, 行方雅人, 高橋和孝, 平林伸治, 渡辺温子, 山添直子: 両側にベーカー嚢腫を有していた症例で1側が破裂後の経過, 日本超音波医学会第45回関西地方会, 2018年10月, 神戸.
7. 佐原啓太, 平林伸治, 山添直子: 手関節分に生じたガングリオンが破裂した1例, 日本超音波医学会第45回関西地方会, 2018年10月, 神戸.
8. 平林伸治, 竹中 聡, 小島秀人: 指尖部に発生した血管脂肪腫の1例, 日本超音波医学会第45回関西地方会, 2018年10月, 神戸.

9. 安達幸恵, 白川 桂, 泉本亮二, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 岸 正司, 平林伸治:『救急搬送され横紋筋融解症と診断された症例のリハビリテーション』, 第66回日本職業・災害医学会学術大会, 2018年10月, 和歌山.
10. 福井信佳, 平林伸治, 中川正己, 村田郁子, 濱田茉莉奈, 夏海隆至:装飾用義手の調査に関する予備研究, 第66回日本職業・災害医学会学術大会, 2018年10月, 和歌山.
11. 白川 桂, 安達幸恵, 泉本亮二, 岸本 大, 廣田将史, 田中 孝, 藤岡栄悟, 井手康裕, 阪本拓也, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治, 村上輝明, 生田武蔵, 岸 正司:早期治療によりADLが自立したWernicke脳症患者の身体機能の回復経過について, 第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2018年11月, 仙台.
12. 佐原啓太, 毛利年一, 平林伸治:疼痛を主訴にした脊髄転移性腫瘍の3例, 第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会, 2019年3月, 大阪.
13. 阪本拓也, 安達幸恵, 泉本亮二, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治:在宅で転倒して搬送された症例のリハビリテーションの必要性, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.
14. 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治, 角南ちえ子, 古久保有希子, 出口睦子, 倉本訓子, 住谷 哲, 笠山宗正:2型糖尿病患者に対する週末3日間教育入院における個別運動指導とその意義について, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.

表 1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
平林		平林		平林		平林		平林	

表 2 年度別外来・入院延べ患者数

	2017年度	2018年度
外来	3,459	3,819
入院	0	0

※2017.4 リハビリテーション科 新設

スタッフ 部長代行：城光寺 龍

1. 診療内容

組織診断・細胞診断・病理解剖が当科の主な業務である。

日本病理学会認定登録病院、日本臨床細胞学会認定病院を取得している。病理学的診断を正確に行うために、臨床各科との密な情報交換を行い、臨床医が正確な診断と最適な治療法の選択ができるようにしている。またCPCを開催し、臨床医だけでなく研修医の教育・研修の質の向上にも取り組んでいる。

診断および検査精度の向上を図るために、日本臨床細胞学会及び日本臨床衛生検査技師会の外部精度管理に参加、更に免疫組織学的および遺伝子検査手法を積極的に取り入れて、病理学的診断を正確に行うように努めている。

診療体制としては、病理診断管理加算Ⅰの算定を行なっているほか、病理部門システム（松波ガラスPathwindow）にて、標本作製過程へのバーコード導入により検体取り違い防止のための機構を導入しているほか、デジタル画像の報告書への添付も行っている。

新規診療内容としては、液状化細胞診（Thinprep）を非婦人科以外の材料へ広げ、標本作製の標準化および省力化を行っている。

一部医療機関との間で検査（免疫染色）の受託を行っている。

また診療上必要と思われる検査に関しても順次導入を行っている。

2. 診療体制

部長代行：城光寺 龍

（病理専門医、細胞診専門医、臨床研修指導医）

非常勤医師：2名（大阪大学、大阪警察病院より）

臨床検査技師（中央検査部兼任）：5名（細胞検査士3名）

事務職員（中央検査部兼任）：1名

3. 診療実績

検査実績（表1）

組織診断：5,050件

細胞診断：6,953件

術中迅速診断：134件

病理解剖：5件（内科系5件、剖検率2.6%）

表1 検査実績

	組織診件数	細胞診件数 (うち予防医学センター)	術中迅速	剖検
2014年	3,986	10,245 (2,929)	90	14
2015年	4,067	10,795 (3,490)	127	16
2016年	4,128	8,584 (1,746)	111	14
2017年	4,634	6,509 (0)	93	12
2018年	5,050	6,953 (0)	134	5

2018年度はCPCの開催は6回行われ、内容は下記の如くであった。

第288回 4月13日：出血性胃潰瘍（血液内科）

第289回 8月31日：胆管癌、脳梗塞（神経内科）

第290回 11月5日：肺腺癌（総合内科）

第291回 11月27日：骨髓異形成症候群（血液内科）

第292回 1月29日：前立腺癌、肺結核（総合内科）

第293回 3月26日：肺膿瘍（総合内科）

4. 業績

論文・著書

- 八木洋輔, 有坂好史, 田中俊雄, 北田隆起, 河田奈都子, 村本理, 湯川雅彦, 中村秀次, 田村慶朗, 立花 功, 城光寺 龍, 増田充弘: EUS-FNAが有用であった結核性リンパ節炎の1例. 日生病院医学雑誌, 46:21-25, 2018.
- 児玉貴之, 二宮隆介, 田村慶朗, 宇都佳彦, 枝廣龍哉, 古結敦士, 大畔健太, 住谷 哲, 小瀬戸昌博, 立花 功, 笠山宗正, 佐藤文三, 前田 元, 城光寺 龍: 低容量ピルの休薬期に発症した月経随伴性気胸の1例. 日生病院医学雑誌, 46:30-35, 2018.

学会発表

- 清水 宏, 田中英智, 譚春鳳, 谷 卓, 小池亮子, 江川 功, 川上 学, 城光寺 龍, 出塚次郎, 小柳清光, 高橋 均, 柿田明美: Galactosialidosis: clinicopathological features of four autopsied patients, 59回日本神経学会学術大会, 2018年5月, 札幌.
- 城光寺 龍, 池田純一, 森井英一: Chronic expanding hematomaに発生したEpithelioid angiosarcomaの1例, 第107回日本病理学会総会, 2018年6月, 札幌.
- Shimizu H, Tanaka H, Tani T, Koike R, Egawa I, Jokoji R, Idezuka J, Oyanagi K, Takahashi H, Kakita A: Galactosialidosis: clinicopathological features of four autopsied patients, 19th International Congress of Neuropathology, 2018年9月, 東京.

研究会発表

- 三毛麻子, 城光寺 龍, 細井文子, 沈嬌, 橋本奈美子: 子宮頸部腫瘍の1例, 第34回大阪病理研究会, 2018年10月, 大阪.

救急診療センター／救急診療科

スタッフ センター長：岸 正司

副センター長：中川 厚（総合内科）、毛利年一（整形外科）

副 医 長：山村 武、生田武蔵

専 攻 医：山本久留実（～6月）、加藤更紗（7～9月）、佐藤 恵（10～11月）、
新宮昂史（12～1月）、飛田哲志（2～3月）

〈兼任〉

宇都佳彦（総合内科）、佐藤智彦（神経内科（脳神経内科））、生島裕文（消化器外科）、

田村和義（脳神経外科）、行方雅人（整形外科）、田中篤志（小児科）

専攻医：長谷川仁美（循環器内科）、魚田晃史、村上輝明（以上総合内科）、佐原啓太（整形外科）、
高田洋子（皮膚科）

久留明子、新部里美、牧田佐和子、河合洋子、飯田志帆、森 エミ、千嶋しおり、

西田朋子、岩崎由希子（以上看護部）

足立充司（薬剤部）、玉川雄一（中央臨床検査部）、長澤浩造（中央放射線部）、

出口暁子（栄養管理室）

重谷政憲（総務人事G）、宮本浩樹（診療情報管理室）

〈初期研修医1年目〉

石田哲朗、城野美里、田中雅樹、田村友里、藤吉恵津子、松尾 遥、高橋知里

1. 診療内容

救急外来初診患者の診察に加え、救急車にて来院された患者の初期対応を行い、必要に応じて各専門分野診療科や他院への紹介を行う。内科専攻医および、初期研修医のプライマリケア、救急全般に対する診療能力の向上を目指した研修プログラムの一環となっている。

2. 診療体制

1) 外来診察スケジュール（表1）

3. 診療実績

1) 外来診療実績（表2）

2) 入院診療実績（表2）

4. 認定医・専門医など

日本救急医学会指導医 1名（岸）
日本救急医学会救急科専門医 2名（岸、生田）
日本循環器学会専門医 1名（中川）
日本心血管インターベンション治療学会専門医 1名（中川）
日本内科学会認定指導医 1名（中川）
日本内科学会認定内科医 2名（中川、生田）
日本整形外科学会専門医 1名（毛利）
日本整形外科学会認定リウマチ医 1名（毛利）

5. 業績

論文・著書

- 久保飛鳥、廣瀬智也、小川新史、山田知輝、中江晴彦、岸 正司、山吉 滋：初療時胸部CT画像検査における気管支壁厚を用いた気道熱傷の重症度予測の有効性の検討、日集中医誌、25:179-184, 2018.
- 草野孝文、岸 正司、伊原郁夫、木野 稔、馬場武彦、松岡哲也、行岡正雄：大阪府の高齢者の救急医療の実態に関するアンケート調査-中間報告-、大阪救急、98:4-8, 2018.
- 岸 正司、伊原郁夫、草野孝文、木野 稔、馬場武彦、松岡哲也、行岡正雄：大阪府の外国人観光客への救急医療の実態に関するアンケート調査、大阪救急、98:9-14, 2018.

- 池原実華子、廣瀬智也、鄧 傑之、西浦高弥、小川新史、山田知輝、中江晴彦、岸 正司、山吉 滋：急性肝障害、腎不全、高CPK血症、高ナトリウム血症を合併した高温で酸性の工業薬品による広範囲化学熱傷の1例、熱傷、44(5):260-265, 2018.

学会発表

- 安達幸恵、白川 桂、泉本亮二、麦田盛徳、片岡宏一郎、岸 正司、生田武蔵、村上輝明、平林真治：救急搬送された横紋筋融解症と診断された症例のリハビリテーション、第66回日本職業・災害医学会学術集会、2018年10月、和歌山.
- 岸 正司、伊原郁夫、草野孝文、木野 稔、馬場武彦、松岡哲也、行岡正雄：大阪府の外国人観光者の救急医療の実態についてのアンケート調査、第42回大阪府医師会医学会総会、2018年11月、大阪.
- 草野孝文、伊原郁夫、岸 正司、木野 稔、馬場武彦、松岡哲也、行岡正雄：大阪府の高齢者救急医療の実態についてのアンケート調査-中間報告-、第42回大阪府医師会医学会総会、2018年11月、大阪.

研究会発表

- 山村 武、生田武蔵、加藤更紗、高島大幸、城野美里、松尾 遥、岸 正司：診断に難渋した上腸間膜動脈解離の一例、第11回あわぎクリニカルカンファレンス、2018年11月、大阪.

表1 外来診察スケジュール

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
生田	生田	村上	山村	生田	生田	山村	山村	山村	生田
岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田	岸/ 飛田

表2 年度別外来・入院延べ患者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
外来	4,139	4,106	6,182	3,339	3,371
入院	2,331	3,756	3,939	4,597	5,830

がん治療センター

スタッフ センター長：川上 学

部 長：谷口史朗（予防医学センター）

花田留美、玉井 裕、鈴木史子、藤原優子（以上麻酔・緩和医療科）、田中敏雄（消化器内科）、

立花 功、甲原雄平、二宮隆介（以上総合内科）、高橋励（神経科・精神科）、

水野 均（消化器外科）、前田 元（呼吸器外科）、西田幸弘（乳腺外科）、

橋本奈美子（産婦人科）、福井辰成（泌尿器科）、小泉敏三（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、

前田宗宏（放射線診断・IVR科）、丸岡真太郎（放射線治療科）、

小山佐知子、大島千春、國友実加、里井景子、水越 梓、村上弘子、佐藤由加、阪井理恵（以上看護部）、

宮 麻紀子（薬剤部）、浅野正宏（中央臨床検査部）、新谷泰正（中央放射線部）、

田中 孝（リハビリテーション室）、本家裕子（あったかサポートセンター）、丸山加奈（神経科・精神科）、

出口暁子（栄養管理室）、上村慶子（予防医学センター）、岩本愛佑美（医事サービス部）

1. 診療内容

「大阪府がん診療拠点病院」として、引き続き各領域で内容の充実に取り組んだ。

【主たる業務】

- 1) がんに関する集学的治療の充実
- 2) 緩和ケアチームの運営、緩和ケアに関する教育研修
- 3) がん治療に関する相談対応、情報提供
- 4) がん登録の推進

【具体的内容】

1) 集学的治療

- ①多診療科・多職種が参加するキャンサー・ボードを月1回の頻度で開催した。当番診療科（表参照）の経験症例を中心に、それ以外の診療科における症例や緩和ケアチームが介入した症例に関する診断・治療方針の検討を行った。また、免疫チェックポイント阻害剤使用後に発生する免疫関連副作用などに関して情報共有を行った。

②レジメン登録

化学療法運営委員会と連携し、レジメンの審査を行い、化学療法の安全確実な実施体制を構築した。

2) 緩和ケア

- ①緩和ケアチームによる介入、週1回の回診とカンファレンスを開催した。緩和ケアチーム依頼件数は164件であった。
- ②緩和医療の啓発と研修会の開催
2019年3月「薬理作用からみたオピオイド製剤の使いわけ」
- ③がん対策推進基本計画に定められているPEACEに基づく「緩和ケア研修会」については、日本生命病院では開催しなかったが、他施設で開催された研修会への参加を推進し、2名が参加した。

3) 相談支援

- ①がん患者指導管理料イの算定
がんの診断を受けた患者に対して、PEACE研修会

を受講した医師と有資格看護師（がん性疼痛看護認定看護師・乳がん看護認定看護師・がん化学療法認定看護師）とが共同して指導した場合に算定できるものであるが、198件に対して行った。

②がん患者指導管理料ロの算定

がん患者の心理的不安を軽減するための指導を73件に対して行った。

③がん患者指導管理料ハの算定

抗悪性腫瘍の投薬又は注射の必要性などについての説明を71件に対して行った。

④がん相談

がん治療に関する相談1,286件受けた。

⑤がんサロン（あったか茶論）の企画・運営

10月より月1回の定期開催として運営を開始した。院内スタッフおよび院外講師を招いたミニ講座の企画および茶話会による交流の場の提供を行った。

4) がん登録

がん登録を行い、大阪府がん登録事業に参加した。

表

開催月	当番診療科	参加人数
2018年		
4月	病院移転のため開催なし	
5月	泌尿器科	27名
6月	麻酔・緩和医療科	25名
7月	消化器内科	27名
8月	呼吸器外科	29名
9月	消化器外科	33名
10月	放射線診断・IVR科	25名
11月	血液・化学療法内科	32名
12月	総合内科	46名
2019年		
1月	産婦人科	39名
2月	乳腺外科	24名
3月	コ・メディカル	38名

女 性 骨 盤 底 セ ン タ ー

スタッフ センター長：船渡孝郎（～6月）、橋本奈美子（7月～）

尾崎公章、吉見佳奈、高山敬範、八田幸治、矢野悠子、尾上昌世（～7月）、沈嬌（以上産婦人科）、
山下晋也（消化器外科）、福井辰成、湊のり子（以上泌尿器科）、

横田ひろみ、吉村恵利子（以上看護師）、鍋本美穂（助産師）、

古久保有希子（薬剤部）、倉本訓子（中央臨床検査部）、山田純子（中央放射線部）、

藤岡栄悟、安達幸恵（以上リハビリテーション室）、出口暁子（栄養管理室）、津野百合香（医事サービス部）

1. 診療活動

今般日本の高齢化はますます増加傾向にあり、女性の平均寿命は87歳と先進諸国の中でも上位に位置している。それに伴い様々な疾患も増加しつつある。婦人科疾患領域では骨盤内臓器脱がその最たる疾患で、軽症まで含めると50歳以上の女性の約半数が罹患すると言われ、米国では女性の11%が手術を受けている。

骨盤内臓器脱は直接的死因にはならないが、QOL（生活の質）をひどく低下させる疾患である。罹患の特徴として、婦人科または泌尿器科のどちらを受診するかを迷い、治療が遅れるという現状がある。また、腹圧性尿失禁も、比較的侵襲の低い手術によって著明に改善するものの、受診をためらう女性が多いとされている。

当センターは、これらの疾患を治療しより良い社会生活を再び過ごすことができるよう、サポートするために設立された。

1) 治療部門

<外科的治療>

- ・骨盤内臓器脱（膀胱瘤・子宮脱・直腸瘤・小腸瘤・肛門脱）：腹腔鏡下仙骨陰固定術（LSC手術）、TVM手術、腔式子宮全摘術、マッコール術（腔式または腹腔鏡下）、腔壁形成術、会陰形成術、マンチェスター術、ル・フォー腔閉鎖術 等
- ・腹圧性尿失禁：中部尿道スリング手術（TOT手術、TVT手術）

●TVM手術について

現在、日本ではTVMが適性かつ安全に施行されるために「骨盤臓器脱に対する経腔メッシュ手術施行に関する指針」が定められており、その指針に沿った治療を行っている。

●LSC手術について

2016年度診療報酬改定により、4月よりLSC手術が保険診療可能となった。当院は2013年5月に全国で2番目にLSCの先進医療を取得し、現在は保険診療で手術を行っている。

【2017年度 入院手術件数】

TVM	57件
LSC	11件
VT、腔壁形成などNTR	15件
腔閉鎖	11件
その他	11件
TOT	5件
合計	110件

<保存的治療>

- ・リハビリ指導（骨盤底筋体操）
- ・栄養指導（肥満等食事指導）
- ・切迫性尿失禁、過活動性膀胱（OAB）に対する薬物治療
- ・産褥尿漏れ（助産師外来）
- ・ペッサリー修復・指導

【2017年度 栄養指導件数】

合計80件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	4	2	9	9	11	6
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	6	8	9	7	3	6

【2017年度 リハビリ：骨盤底筋運動指導件数】 合計109件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	7	6	9	16	3	8
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	12	8	12	9	10	9

2) 広報（サービス）部門

総合受付、予防医学センターでのパンフレット配布

糖 尿 病 ・ 内 分 泌 セ ン タ ー

スタッフ センター長代行：住谷 哲

中川 厚（循環器内科）、宇都佳彦、魚田晃史（以上総合内科）、宇津 貴、光本憲祐（以上腎臓内科）、
生田武蔵（救急診療センター）、福井辰成（泌尿器科）、大島 遥（形成再建外科）、
細野研二（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、
角南ちえ子、高山由美子、和田仁美、村越颯希、山田智恵、伊藤清美、石井泉美（以上看護部）、
古久保有希子（薬剤部）、倉本訓子（中央臨床検査部）、麦田盛穂（リハビリテーション室）、
出口暁子（栄養管理室）、徳山由佳（予防医学センター）、中尾信一（総合企画部）、
木下奈美（医事サービス部）

1. 診療内容

2014年度より引き続き院内の各診療科医師および各部署のスタッフからなる糖尿病・内分泌センターのもとで活動を継続している。

2. 診療体制

糖尿病・内分泌センターでは、糖尿病患者および過食・運動不足などの生活習慣が関与する肥満・脂質異常症・高尿酸血症・高血圧症などの患者を中心に多職種スタッフによる診療を行っている。患者の日常の代謝動態や生活習慣上の問題点を把握し、疾病の進行や合併症の発症・進行を抑制することを目的としている。

1) 外来診療スケジュール

毎週月～木曜日の4日間、糖尿病看護認定看護師や管理栄養士を含む糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフが中心となり、病態の評価および指導を行った。

2) 病棟体制

入院中の糖尿病患者を対象に、総合内科・看護部・栄養管理室・リハビリテーション室・中央臨床検査部・薬剤部の協力を得て、糖尿病に関する集団指導（糖尿病ふれあい教室）を週4日実施した。またDMT（Diabetes Management Team）回診を毎週水曜午後に行った。

3. 診療実績

1) 外来診療実績

①オーダーメイド糖尿病診療

30分枠の完全予約制で、患者の安静時代謝量・摂取エネルギー量・運動エネルギー量・身体能力を測定・評価し、患者毎の病態と生活習慣に応じた個別の栄養指導・運動指導・生活習慣指導を実施した。これらの指導は患者の病態や治療効果を考慮し複数回実施している。2018年度に当センターを受診した患者数は延べ1,890名（2017年度は1,507名）であった。

②糖尿病合併症の管理

糖尿病足病変のハイリスク患者を対象として糖尿

病神経障害の評価と診断、足ケア、潰瘍・壊疽防止のための指導を実施した（糖尿病合併症管理）。2018年度における実施件数は99件（2017年度は98件）であった。

また、糖尿病腎症患者を対象に、医師・看護師・管理栄養士による透析予防のための指導も実施した（糖尿病透析予防指導管理）。2018年度における実施件数は389件（2017年度は312件）であった。

2) 入院患者の診療

①糖尿病集団指導

〈糖尿病ふれあい教室講師〉

宇都佳彦、魚田晃史、加藤更紗（総合内科）、角南ちえ子、高山由美子（看護部）、野村浩英、古久保有希子（薬剤部）、片岡宏一郎、廣田将史、安達幸恵（リハビリテーション室）、水口洋一、倉本訓子、玉川雄一、渡辺温子、中辻果林、（中央臨床検査部）、出口暁子、松村寿美、坂本彩弥（栄養管理室）

2018年度における糖尿病ふれあい教室の参加患者数は延べ244名（2017年度は660名）であった。

3) 活動

①日本生命病院糖尿病フェアの開催

糖尿病の発症と進行抑止のために有益な情報提供を行うため、世界糖尿病デーにあわせて糖尿病に関する正しい理解のための啓発活動を実施した。当センターのスタッフを中心に、血糖測定、HbA1c測定、頸動脈エコー、医療相談などを実施した。

〈日時〉2018年11月16日（金）11：30～13：30

〈場所〉日本生命病院1F あったかふれあいホール

〈内容〉

- ・血糖測定・HbA1c測定
- ・筋肉量・握力測定
- ・血管年齢測定
- ・栄養相談
- ・服薬相談
- ・医師相談 など

②公開セミナーの開催

患者および一般市民を対象に公開セミナーを開催した。

『2018年度第1回ニッセイ市民健康セミナー』
〈日時〉2018年7月14日（土）14：00～16：00
〈場所〉日本生命病院1F あったかふれあいホール
〈内容〉

第1部

講演1：

「今日からできる！『5分間らくらく体操』で
元気に長生き！」

（リハビリテーション室 廣田将史）

講演2：

「糖尿病とがんの気になる関係」

（院長 笠山宗正）

第2部

「新病院開院記念落語会」

（桂文喬・桂喬美）

『日本生命病院 糖尿病ランチ&セミナー』
〈日時〉2019年1月25日（金）12：00～14：00
〈場所〉日本生命病院1F あったかふれあいホール
〈内容〉

第1部

バランス弁当の試食会

「バランス洋食弁当を試食してみよう」

第2部

講演1

「動脈硬化について」

（予防医学センター 徳山由佳）

講演2

「糖尿病の最近の話題」

（糖尿病・内分泌センター長代行 住谷哲）

講演3

「在宅療養と宅配食」

（株式会社ファンデリー）

4. 業績

論文・著書

1. 住谷 哲：そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験
第1回 EBMと糖尿病治療, プラクティス, 35:342-345, 2018.
2. 住谷 哲：そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験
第2回 UKPDS33, プラクティス, 35:465-468, 2018.
3. 住谷 哲：そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験
第3回 UKPDS34, プラクティス, 35:586-589, 2018.
4. 住谷 哲：そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験
第4回 Steno-2, プラクティス, 35:714-717, 2018.
5. 住谷 哲：そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験
第5回 PROactive, プラクティス, 36:106-110, 2019.
6. 住谷 哲：そこが知りたかった 糖尿病の大規模臨床試験
第6回 ACCORD, プラクティス, 36:238-241, 2019.

消化器内視鏡センター

スタッフ センター長：湯川雅彦

副センター長：有坂好史

村本 理、田中敏雄、萩原恭平、河田奈都子、北田隆起（以上消化器内科）、

宇都佳彦（総合内科）、中村秀次、大山摩佐子（以上予防医学センター）、

水野 均、生島裕文、永井健一、山下晋也（以上消化器外科）、

芳賀宣子、榎本知奈美（以上看護部）、

足立充司（薬剤部）、浅野正宏（中央臨床検査部）、加藤千尋（臨床工学部）、

榎原知士（収益管理G）

1. 診療内容

消化器内視鏡センターは、日本生命病院内視鏡室、ニッセイ予防医学センター内視鏡室、消化器内科、消化器外科を有機的に連携することにより消化器内視鏡関連業務の質の向上を目指している。消化器内科、消化器外科の連携により消化器癌の早期発見、早期治療をめざしている。また胆膵の専門家集団の参加により、全国最先端レベルのERCP、EUSを施行している。予防医学センターでの人間ドック、企業健診で要検査となられた方を対象に、日生病院での検査、加療を行っている。また、安全、安心な苦痛の少ない内視鏡検査を心がけ、内視鏡検査のトレーニングを希望する医師を指導している。地域医療連携室経由で、上部内視鏡検査を直接予約いただける便宜をはかり、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本胆道学会指導施設の役割を果たしていく。

a. 検査・治療部門

・上部消化管内視鏡

通常内視鏡検査

内視鏡的粘膜切除術（EMR）

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）

内視鏡的胃瘻造設術（PEG）

超音波内視鏡（EUS）

・胆道系内視鏡

内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）

内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）

内視鏡的採石・碎石術

内視鏡的ステント挿入術（ENBD・ERBD tube）

超音波内視鏡（EUS）

管腔内超音波検査法（IDUS）

・下部消化管内視鏡

軸保持短縮挿入法・診断・治療

超音波内視鏡（EUS）

上部胃内視鏡検査：3,140件

下部内視鏡検査：1,583件（人間ドック込み）

予防医学センター内視鏡室 上部内視鏡検査：5,483件

b. 学術部門

研修医・コメディカル対象：カンファレンス

内視鏡室の通年での研修医への開放

c. 広報（サービス）部門

地域医療連携室経由での内視鏡業務開放

血 液 浄 化 セ ン タ ー

スタッフ センター長：宇津 貴

副センター長：福井辰成

吉川秀人(循環器内科)、光本憲祐(腎臓内科)、新谷 隆(心臓血管外科)、

湊のり子(泌尿器科)、金光俊行(泌尿器科)、新宮昂史(腎臓内科)

河村理香、高山由美子、田村千穂、賀戸ひとみ、源 真子、古藪由希子(以上看護部)、

池田久雄(薬剤部)、加藤千尋(臨床工学室)、出口暁子(栄養管理室)、萩原佑気(医事サービス部)

1. 診療内容

腎臓内科・泌尿器科の医師スタッフ、看護部、ME部門、薬剤部、栄養管理部などの他職種が共同して診療を行うことを特徴としている。これまで、入院患者の血液透析を中心とした診療を行ってきたが、2018年の新病院移転に伴い外来透析を開始した。新病院移転後は透析ベット3床から20床へ増床したため、他施設での外来透析患者の入院対応など幅広く対応している。

なお、2018年4月から心臓血管外科医師も当センターのメンバーに加わり、ブラッドアクセスの造設・再検を積極的に行っている。

2. 診療実績

透析導入患者 26名

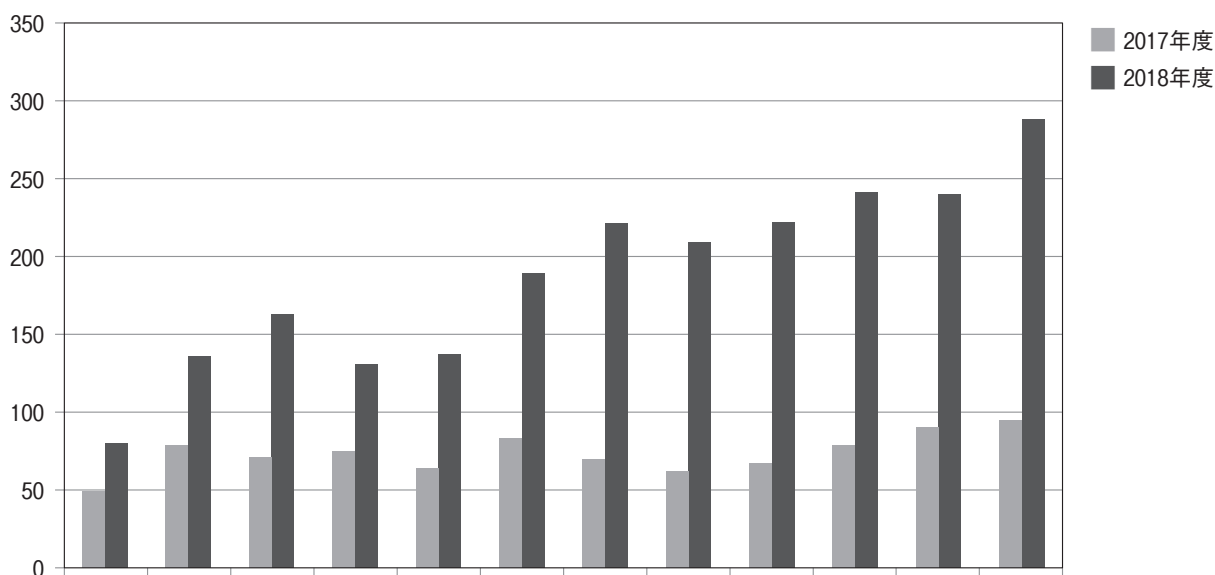
内シャント手術件数 28件

シャントPTA件数 14件

3. 専門医・指導医など

日本透析医学会専門医・指導医 1名(宇津)

図1 2018年度 月別血液透析延べ件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間累計
2017年度	49	79	71	75	64	83	70	62	67	79	90	95	884
2018年度	80	136	163	131	137	189	221	209	222	241	240	288	2,257

スタッフ センター長：笠山 宗正（院長）

顧問：森 悦郎

仁科拓也、佐藤智彦（以上神経内科（脳神経内科））、

高橋 励、青木保典、鈴木由貴（7月～）、木藤友実子（以上神経科・精神科）、

田村和義（脳神経外科）、酒井亜紀子、大和由紀子、森山綾乃、宮田綾佳（以上看護部）、

阪本昂平（総務人事G）

1. 診療内容

新病院の新築・移転に際してはその基本構想に「高齢社会を支える診療機能の強化」「健康寿命延伸に向けた予防医療・先制医療の推進」を掲げ、認知症に係る診断・治療の強化を重点課題とした。この目的のために2017年4月に認知症疾患医療センター準備室（室長：森悦朗顧問）を新設し、具体的な検討と準備を進めてきた。

そして2018年4月に、認知症の予防・早期診断・治療を中心に脳機能障害をきたし得る疾患について幅広く診療する観点から、名称を「脳機能センター」とし、神経内科（2018年11月より脳神経内科に名称変更）、神経科・精神科、脳神経外科の各診療科と看護部を中心としたチームによる体制を整備し診療を開始した。

脳機能センターでは、種々の認知症性疾患や軽度認知障害（認知症前駆状態）、さまざまな原因による記憶障害、言語障害、高次脳機能障害に対する診療・セカンドオピニオン・コンサルテーションを実施してきた。治療法のみならず介護法にも原因疾患の診断と病態の把握が大きく関わるため、専門医による診察、詳細な神経心理評価、先進的な画像検査などを用いることにより原因疾患を診断することが重要である。認知症性疾患に対する治験から介護法や社会資源の利用についての指導までを含め、病態に合わせた治療を実施した。

2. 診療体制

外来診療では、脳神経内科および神経科・精神科の両診療科で、対象疾患の診療を行ってきた。特に、毎週月曜日午前と火曜日午後には「物忘れ外来」の、木曜日午後には「脳機能障害外来」の専門外来を実施した。

認知症性疾患の診療においては、脳神経内科医、神経・精神科医、脳神経外科医が連携し診療を行った。3.0テスラMRI、脳血流SPECT、DATスキャン、MIBG心筋シンチグラムなどの高度医療器を用いた画像診断を行うとともに、公認心理師および言語聴覚士による認知機能評価、認知症看護認定看護師による看護を実施した。正常圧水頭症が疑われた患者については入院により精密検査を行い、適応となる患者に対しては脳神経外科でシャント手術を施行した。

3. 診療実績

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、

パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、前頭側頭型認知症、原発性進行性失語症、特発性正常圧水頭症、脳血管障害や外傷性脳損傷などに伴う高次脳機能障害などの診療を中心に行ってきた。入院および外来患者数を含む診療実績は脳神経内科および神経科・精神科の項に記す。

また、1ヵ月に1～2回、脳機能センターの全体カンファレンスを実施し、診断・治療困難な症例についての検討、診療技術の向上のための勉強会および情報共有を行った。

また、レビー小体型認知症を対象とした新規薬剤の臨床治験に参加した（継続中）。

4. 認定医・専門医など

日本神経学会専門医	2名（森、仁科）
日本神経学会指導医	2名（森、仁科）
日本認知症学会専門医	1名（森）
日本認知症学会指導医	1名（森）
日本脳卒中学会専門医	2名（森、田村）
日本脳神経外科学会専門医	1名（田村）
日本精神神経学会専門医	2名（高橋、鈴木）
日本精神神経学会指導医	2名（高橋、鈴木）

5. 業績

論文・著書

1. Watanabe H, Matsuda M, Ota S, Baba T, Iizuka O, Mori E: Sentence composition ability in two patients with non-fluent/agrammatic variant primary progressive aphasia. *Psychogeriatrics*, 18:231-234, 2018.
2. Ohmichi T, Kondo M, Itsukage M, Koizumi H, Matsushima S, Kuriyama N, Ishii K, Mori E, Yamada K, Mizuno T, Tokuda T: Usefulness of the convexity apparent hyperperfusion sign in 123I-iodoamphetamine brain perfusion SPECT for the diagnosis of idiopathic normal pressure hydrocephalus. *J Neurosurg*, 130:398-405, 2018.
3. Mugikura S, Kikuchi H, Fujimura M, Mori E, Takahashi S, Takase K: Subcallosal and Heubner artery infarcts following surgical repair of an anterior communicating artery aneurysm: a causal relationship with postoperative amnesia and long-term outcome. *Jpn J Radiol*, 36:81-89, 2018.
4. Watanabe H, Nishio Y, Mamiya Y, Narita W, Iizuka O, Baba T, Takeda A, Shimomura T, Mori E: Negative mood invites psychotic false perception in dementia. *PLoS One*, 13:e0197968, 2018.
5. Nakajima M, Miyajima M, Ogino I, Akiba C, Kawamura

- K, Kurosawa M, Kuriyama N, Watanabe Y, Fukushima W, Mori E, Kato T, Sugano H, Karagiozov K, Arai H: Shunt Intervention for Possible Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus Improves Patient Outcomes: A Nationwide Hospital-Based Survey in Japan. *Front Neurol*, 9:421, 2018.
 6. Nishio Y, Yokoi K, Hirayama K, Ishioka T, Hosokai Y, Gang M, Uchiyama M, Baba T, Suzuki K, Takeda A, Mori E: Defining visual illusions in Parkinson's disease: Kinetopsia and object misidentification illusions. *Parkinsonism Relat Disord* 55:111-116, 2018.
 7. Komatsu J, Samuraki M, Nakajima K, Arai H, Arai H, Arai T, Asada T, Fujishiro H, Hanyu H, Iizuka O, Iseki E, Kashihara K, Kosaka K, Maruno H, Mizukami K, Mizuno Y, Mori E, Nakamura H, Nakano S, Nakashima K, Nishio Y, Orimo S, Takahashi A, Taki J, Tokuda T, Urakami K, Utsumi K, Wada K, Washimi Y, Yamashina S, Yamasaki J, Yoshita M, Yamada M: (123)I-MIBG myocardial scintigraphy for the diagnosis of DLB: a multicentre 3-year follow-up study. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*, 89:1167-1173, 2018.
 8. 森 啓, 嶋田裕之, 東海林幹夫, 池内健, 鈴木一詩, 千田道雄, 石井賢二, 松田博史, 岩田 敦, 井原涼子, 岩坪 威, 武藤香織, 中澤栄輔, 関島良樹, 森 悦朗, 池田 学, 池田将樹, 川勝忍, 中西亜紀, 橋本 衛, 布村明彦, 松原悦朗, 福井 充, 白戸朋代, 平井香織, 坂本昌子, 藤井比佐子, 石井一成, 西郷和真: アルツハイマー病の先進医療とRegistry: DIAN-J研究登録事業. *日本臨床*, 76suppl1 実施診療のための最新認知症学検査・治療・予防・支援: 258-265, 2018.
 9. 村井俊哉, 森 悦朗, 西川 隆, 上田敬太: 精神科医のための神経心理学的基礎知識. *精神科臨床Legato*, 4: 48-55, 2018.
 10. 森 悦朗: iNPHとDLBの早期診断と治療 老年期認知症研究会誌, 22: 75-78, 2018.
 11. 成田 渉, 森 悦朗: 疾患別評価と画像診断: 正常圧水頭症. *MEDICAL REHABILITATION*, 232: 135-144, 2018.
 12. 川畑秀明, 森 悦朗【編】: 情動学シリーズ: 情動と言語・芸術—認知・表現の脳内メカニズム. 紀伊國屋書店, 2018.
- ### 学会発表
1. Mori E: Idiopathic normal pressure hydrocephalus and Alzheimer's disease: differential diagnosis and co-occurrence. *Kuopio Alzheimer Symposium*, クオピオ, 2018年6月.
 2. 森 悦朗: シンポジウム3 レビー小体型認知症の診断と治療の進歩. レビー小体型認知症の診断と治療のポイント. 第33回老年精神医学会, 郡山, 2018年6月.
 3. Mori E: Cognitive/Behavioral Impairment and Neuroimaging in Parkinson's Disease. *Movement Disorder Society Asia Summer School*, 大阪, 2018年8月.
 4. 森 悦朗: 特別講演 神経心理学の役割. 第42回日本神経心理学学会, 山形, 2019年9月.
 5. 森 悦朗: 特別講演 幻視の神経基盤. 第23回神経精神医学会, 松江, 2018年10月.
 6. 森 悦朗: 教育講演 認知症の画像診断. 第112回日本神経学会近畿地方会, 吹田, 2018年12月.
- ### 研究会発表
1. 田村和義: 最近の脳神経外科学の進歩. 第105回ニッセイ医学セミナーUpdate, 大阪, 2018年7月.
 2. 田村和義: 認知症の診断と治療. 第11回あわぎクリニカルカンファレンス, 大阪, 2018年11月.
 3. 高橋 励: 認知症の早期発見・早期治療. 西部医療圏多職種連携カンファレンス, 大阪, 2018年11月.
 4. 鈴木由貴: 日本生命病院脳機能センターの実際. 西区認知症と高齢者支援地域連携事業多職種交流会, 大阪, 2018年11月.

臨床研修部

スタッフ 部長：立花 功（副院長、内科統括、総合内科部長）
部長代理：岸 正司（救急診療センター長）、中川 厚（循環器内科担当部長）
医師：宇都佳彦（総合内科）、生島裕文（消化器外科）、八田幸治（産婦人科）
初期研修医：2年目 井口智詠、木村優香、高島大幸、高森啓成、三毛麻子
1年目 石田哲朗、城野美里、田中雅樹、田村友里、藤吉恵津子、
松尾 遥、高橋知里
事務 務：阪本昂平（総務人事G）

1. 活動内容

新研修制度の開始に伴い、2005年度臨床研修部が創設された。各年度当院単独型（日本生命病院研修プログラム）での定員5名に加え、大阪大学、神戸大学からの1年目たすきがけ研修医が当院で研修を行う。ローテーションの変更など、個々の研修医の要望に柔軟に対応している。2018年度より、2年目研修医に日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）の基本的臨床能力評価試験を受験してもらい、研修医の臨床能力評価と研修プログラムの評価・改善に役立てることとした。

2. 実績

1) マッチング試験（2018年8月18日）

男性20名 女性12名、計32名が受験し、前年度より4名少なかった。

小論文テーマ「超高齢化日本は、今後どのような医療を世界に示すべきか」

募集定員5名マッチし、出身大学は大阪大学2名、神戸大学1名、金沢大学1名、福井大学1名であった。

2) JAMEP基本的臨床能力評価試験受検

（2019年1月22日）

2年次研修医5名

3) 病院見学学生

男性59名、女性72名、計131名。

4) 病院説明会への参加

eレジフェア（2018年6月17日 ATCホール）

ブース訪問学生：6年生：1名、5年生：43名、
4年生：37名11、計81名

レジナビ Fair（2018年7月1日 インテックス大阪）

ブース訪問学生：6年生：6名、5年生：64名、
4年生：20名、計90名

近畿厚生局主催近畿地区臨床研修病院説明会

（2019年3月2日 大阪国際会議場）

ブース訪問学生：5年生19名

大阪大学内科系関連病院内科部門合同説明会

（2019年3月16日 大阪大学医学部講義棟）

ブース訪問学生：19名

スタッフ 室長：川上 学
内野高裕（中央臨床検査部）

1. 診療内容

輸血管理室では、病院内で行われる輸血業務の全般を行い、管理している。業務は、厚生労働省が策定した「輸血療法の実施に関する指針」（改訂版）及び「血液製剤の使用指針」（改訂版）に基づいて行っている。

2. 診療体制

1) 輸血の管理体制

①担当技師

認定輸血検査技師である内野が担当技師として輸血検査業務の指導を行っている。時間外・休日は、検査技師が24時間体制で輸血検査を行っているが、必要に応じて担当技師がバックアップをしている。

②責任医師

川上が責任医師として、輸血副作用や輸血業務に関するコンサルテーションに応じている。

③輸血療法委員会

院内の各職種（医師、看護師、薬剤師、検査技師、医事担当）からなる委員会を2ヵ月に1回開催し、血液の使用状況調査、輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握などを含め、輸血業務の効率化・安全性向上のための対策などについて検討している。

3. 診療実績

1) 血液製剤の使用状況

①赤血球液（RBC）	2,600単位
自己血	102単位
②新鮮凍結血漿（FFP）	442単位
③血漿交換療法におけるFFP	0 単位
④アルブミン	1,812.8単位
濃厚血小板	9,950単位

* FFPおよびアルブミンの使用量は、適正とされる基準

$$\text{FFP/RBC比} = (② - ③ / 2) / ① = 0.16 < 0.54$$

$$\text{アルブミン/RBC比} = ④ / ① = 0.67 < 2$$

を満たしていた。

2) 血液製剤の廃棄状況

RBC 70単位、FFP 24単位、PC 0 単位

3) 2018年度における変更点

①時間外での手術室依頼分の血液製剤の搬送

管理師長の采配で当直管理師長か病棟看護師のいずれかが搬送することとした。

②「輸血用緊急検血」検査の廃止

新病院移転後は、病棟における朝の通常採血検体の結果が8時30分までに報告されるようになったことに伴い、本検査の必要がなくなったため。

③血小板輸血の際の前投薬

前投薬としてヒドロコルチゾン製剤100mgの静脈内投与を推奨することとした。

④輸血療法マニュアルの改訂

上記の①～③を含め、2018年5月の新病院への移転に伴う変更点を反映するべく、2018年12月に改訂を行った。

4. その他

輸血教育講演会（年1回）

2019年2月8日（金）に、「輸血副作用・感染症と最近の輸血に関する情報」と題して、大阪府赤十字血液センター 所長 谷 慶彦先生による輸血療法講演会を開催した。参加者は74名であった。

化 学 療 法 室

スタッフ 室 長：川上学

看護師：大畠千春（がん化学療法看護認定看護師）、國友実加、里井景子（以上看護部）

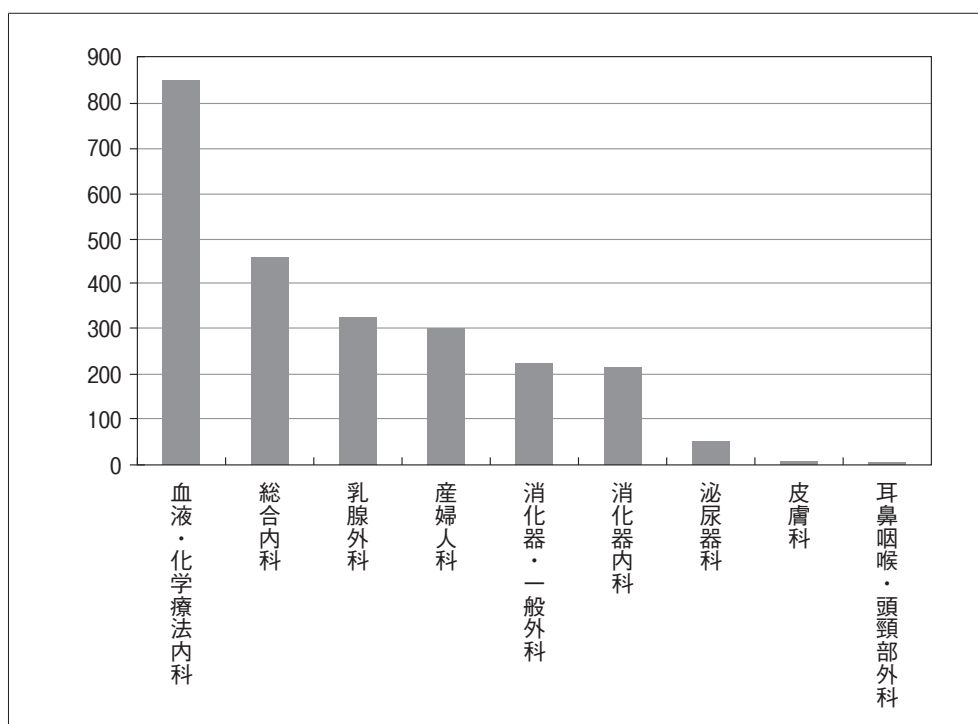
1. 診療内容

外来通院での抗がん剤治療、関節リウマチなどの膠原病や乾癬などの自己免疫疾患に対する生物学的製剤投与などの専用治療室として運用、外来化学療法加算を算定している。特に、消化器外科、乳腺外科、産婦人科の症例は、がん化学療法看護認定看護師が化学療法開始前にカウンセリングを主体とする面談を行い、患者及び家族の治療に関する疑問や不安の軽減に努めている。また、入院から外来移行時にオリエンテーションを行い、滞りない外来治療への移行をサポートしている。治療中は、患者及び家族に副作用のセルフモニタリングを指導し、自宅で起こった副作用の対処は随時電話相談を受けながら、速やかに対応できる体制を整えている。

2. 診療実績

化学療法室利用者件数は、総数2,663件（前年度比－279）で、その内化学療法加算の算定（点滴抗がん剤の投与）件数は2,438件（前年度比＋337）で、診療科別の内訳は図1の通りであった。尚、総合内科、消化器内科、皮膚科の集計には、各々関節リウマチ、クローン病、乾癬に対する生物学的製剤の投与が含まれている。

図1 2018年度 診療科別化学療法加算算定件数



リハビリテーション室

スタッフ リハビリテーション科専門医（リハビリテーション室長）：平林伸治

理学療法士：片岡宏一郎、麦田盛穂、廣田将史、田中 孝、藤岡栄悟、白川 桂、

安達幸恵、岸本 大、泉本亮二、井手康裕

作業療法士：阪本拓也

言語聴覚士：四釜淳子、渡部宏幸

1. 診療内容

各診療科からのリハビリテーション（以下リハ）依頼に対し、身体機能の向上を目標に理学療法士と作業療法士、言語聴覚士が連携し合いながら最良のリハ医療を提供してきた。

リハの内容は、急性期の運動器疾患・脳血管疾患・呼吸器疾患・悪性疾患・循環器疾患の患者などを中心に実施し、それぞれの疾患に対応した個別のプログラムを実践してきた。運動器リハは関節の変性や炎症疾患、体幹・上・下肢の外傷や骨折、熱傷瘢痕による関節拘縮、高齢者の方の運動器不安定症などの患者が対象となり、2018年度は8,410件の実績があった。脳血管疾患等リハは脳梗塞、脳出血、ギランバレー症候群等、多発性硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患（筋萎縮性側索硬化症）、末梢神経障害、皮膚筋炎、多発性筋炎などの患者が対象となり、5,823件の実績があった（前年度より17%増）。呼吸器リハは肺炎、無気肺、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、全身麻酔手術をする患者の手術前後の呼吸機能訓練を要する患者が対象となり、2,381件の実績があった。がんリハは消化器疾患、呼吸器疾患、血液疾患、乳がんなどの患者に対し治療により生じた疼痛、筋力低下、障害等に対して二次的障害を予防し、運動機能の低下や生活機能の低下予防・改善を目的とする患者が対象となり、4,616件の実績があった（前年度より13%増）。心大血管疾患リハは、心筋梗塞、心不全、不安定狭心症、閉塞性動脈硬化症、ペースメーカー植え込み術などの患者に対し、運動耐容能の向上や運動習慣の習得を目標とする患者が対象となり、3,283件の実績があった（前年度より10%増）。廃用症候群リハは、外科の開胸開腹手術、泌尿器科手術、婦人科手術後などの廃用予防、嚥下障害、脱水症、皮膚疾患、胆のう炎などの患者が対象となり、3,951件の実績があった（前年度より13%増）。

総合計件数は28,464件で、前年度より11%増加した。

早期リハを継続して行うために、連休を中心に休日にもリハを実施し、早期離床を促した。

地域連携としては、退院後の生活について不安を抱いている入院患者に対して退院前に自宅を訪問してきた。手すりなどの環境整備を確認したり、自助具の活用方法について指導を行った。退院後の生活においてADLなどの支障が出てきた場合は訪問看護ステーションを通じて訪問リハを実施し、在宅でのADL指導や運動方法を説明しQOLの向上に努めた。

地域への情報発信として運動領域における講演を院内外で行った。

予防領域においては、ウィークエンド糖尿病・メタボ精査入院などにおいて個々の患者に対する運動機能評価を行い、その結果をもとにオーダーメイドの運動指導を行った。

チーム医療においては、リハカンファレンスの定期的な開催や循環器内科部長回診・乳腺外科部長回診・整形外科

科部長回診・NST回診・RST回診や、糖尿病回診などに同行するとともに、緩和ケアカンファレンスなどへの参加を行い、ADLを阻害している現象の把握や原因の追求を行った。また、糖尿病ふれあい教室での運動指導、女性骨盤底センターからの紹介に対する骨盤底筋体操の指導など、他職種との連携を図りながらリハの専門性を発揮した。言語聴覚士による言語機能訓練や摂食嚥下機能療法を実施し、口腔機能の改善や食糧提案に向けて取り組んだ。

リハの質向上においては、院内での勉強会はさることながら院外での講習会や研修会にも自主的に参加し、最新の情報を収集しその内容をスタッフ間で共有した。さらに心臓リハ指導士（1名）、呼吸療法認定士（2名）、糖尿病療養指導士（1名）、がんのリハビリテーション研修会修了者（13名）などの資格を有するとともに、関連学会である日本リハビリテーション医学会、日本心臓リハビリテーション学会、呼吸ケアリハビリテーション学会、ペインクリニック学会などに所属し、最良の医療が臨床の中で活かせるよう努めた。学術活動においては、病院の特性を生かした症例を対象にデータを集め、リハ医療を向上させるために関連学会にて発表を行った。

リハ教育分野においては、リハ関連学科の大学や専門学校から実習生を積極的に受け入れ、教育しやすい環境を整備した。

2. 施設基準

- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

3. 業績

論文・著書

1. 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 中内千曉, 西田幸弘, 平林伸治: 乳癌の脊髄髄内転移による両下肢不全麻痺を呈した患者の運動機能の回復, 日生病院医学雑誌, 46:50-55, 2018.

学会発表

1. 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 中内千曉, 西田幸弘, 平林伸治: 乳癌の脊髄髄内転移による両下肢不全麻痺を呈した患者の運動機能の回復, 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2018年7月, 福岡.
2. 泉本亮二, 安達幸恵, 白川 桂, 片岡宏一郎, 高橋和孝, 平林伸治: 90歳以上の高齢者における大腿直筋の厚さと歩行について, 第30回日本整形外科超音波学会, 2018年7月, 山形.
3. 安達幸恵, 白川 桂, 泉本亮二, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 岸 正司, 平林伸治: 『救急搬送され横紋筋融解症と診断された症例のリハビリテーション』, 第66回日本職業・災害医学会学術大会, 2018年10月, 和歌山.
4. 白川 桂: 要介護認定のない入院患者におけるサルコペニアの割合, 第5回日本予防理学療法学術大会, 2018年10月, 北九州.

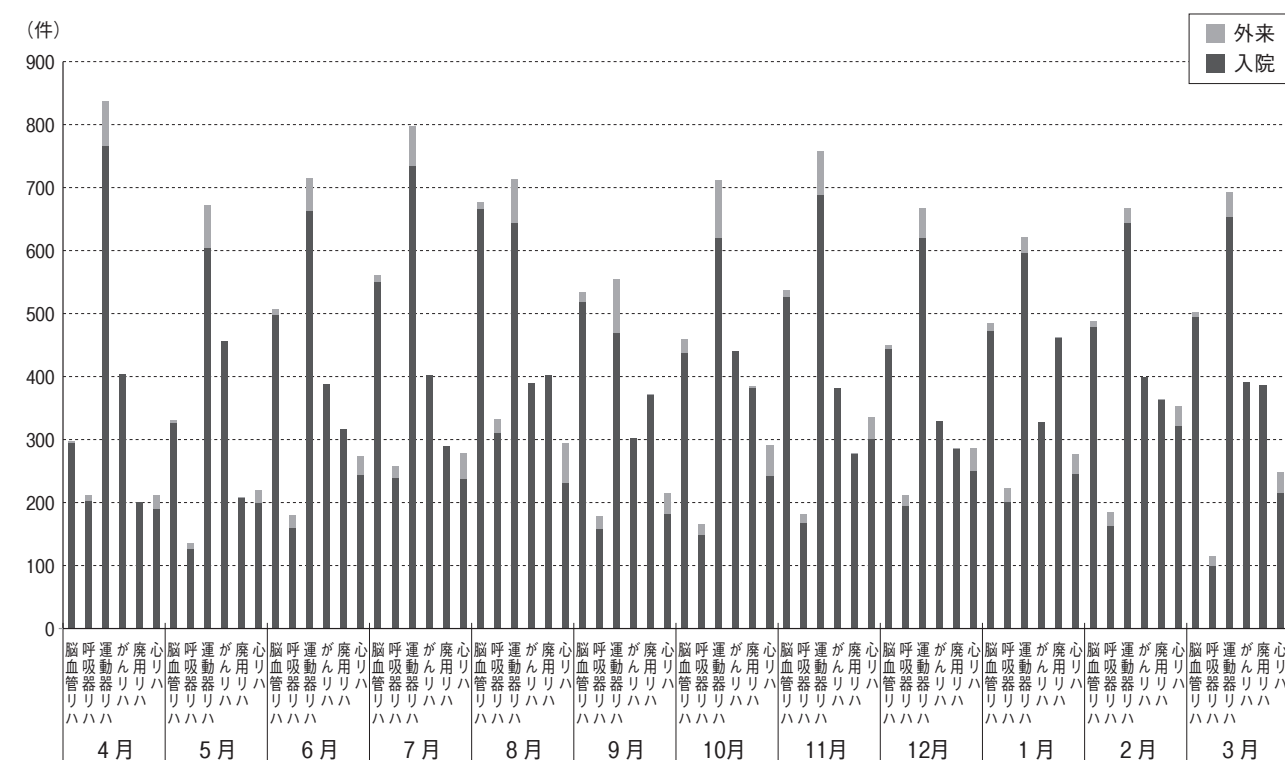
5. 白川 桂, 安達幸恵, 泉本亮二, 岸本 大, 廣田将史, 田中 孝, 藤岡栄悟, 井手康裕, 阪本拓也, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治, 村上輝明, 生田武蔵, 岸 正司:早期治療によりADLが自立したWernicke脳症患者の身体機能の回復経過について, 第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2018年11月, 仙台.
6. 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治, 角南ちえ子, 古久保有希子, 出口睦子, 倉本訓子, 住谷 哲, 笠山宗正:2型糖尿病患者に対する週末3日間教育入院における個別運動指導とその意義について, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.

7. 阪本拓也, 安達幸恵, 泉本亮二, 麦田盛穂, 片岡宏一郎, 平林伸治:在宅で転倒して搬送された症例のリハビリテーションの必要性, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.

研究会発表

1. 麦田盛穂:週末3日間を利用した糖尿病精査/教育入院～早期診療への理学療法士の関わり～, 第12回大阪ベイサイド糖尿病ケアセミナー, 2019年3月, 大阪.
2. 白川 桂, 福庭加奈:大阪市西区いきいき百歳体操体験会, 大阪市西区保健福祉センター, 2019年3月, 大阪.

図1 2018年度 月別脳血管リハ・呼吸器リハ・運動器リハ・がんリハ・廃用リハ・心リハ件数



	4月						5月						6月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	295	204	766	404	201	190	326	126	605	457	207	199	498	161	664	388	316	244
外来	2	8	71	0	0	22	4	9	68	0	1	20	8	19	51	0	0	30

	7月						8月						9月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	551	240	735	402	289	237	666	311	645	390	402	232	519	159	470	303	371	182
外来	10	18	62	0	0	41	10	21	69	0	0	62	14	20	85	0	1	32

	10月						11月						12月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	437	149	621	440	382	243	527	169	689	382	278	301	444	195	620	330	285	251
外来	22	17	91	0	3	49	10	13	69	0	1	34	5	17	47	0	1	35

	1月						2月						3月					
	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ	脳血管リハ	呼吸器リハ	運動器リハ	がんリハ	廃用リハ	心リハ
入院	473	202	597	328	461	246	480	163	645	400	363	323	495	100	654	392	387	216
外来	12	22	24	0	1	31	8	22	23	0	1	30	7	16	39	0	0	33

中央手術管理部

スタッフ 部長：前田 元（特任副院長、呼吸器外科）
部長代理：水野 均（消化器外科）、花田留美（麻酔・緩和医療科）
医師：小関萬里（特任顧問、外科統括）、西田幸弘（乳腺外科）、新谷 隆（心臓血管外科）、
橋本奈美子（産婦人科）、田村和義（脳神経外科）、毛利年一（整形外科）、
東山眞里（副院長、皮膚科）、金光俊行（泌尿器科）、谷井啓一（眼科）、
小泉敏三（耳鼻咽喉・頭頸部外科）、藤原敏宏（形成再建外科）
看護師：木下園子、二井千里、湯川恵理
医療技能職：野村浩英（薬剤部）、三木和美（臨床工学室）
事務：三井田誠一（事務局）、寺野純一（情報システムG）、田中大輔（施設用度G）

1. 概要

中央手術管理部は手術室の効率的な運営等を目的として、2015年4月に中央管理部門の一つとして新設され、現在に至っている。2016年1月に呼吸器外科が新設され、また、2017年4月には形成再建外科が皮膚科から独立した。8月からは眼科手術も再開された。これらの結果により2018年度の手術件数は3,467例で、このうち全身麻酔症例数は1,846例と増加した。（前年度は手術件数2,771例、全身麻酔件数1,680例）

2. 診療内容

〈主たる業務〉

- 1) 医療機器、手術材料、薬剤並びに手術枡等、手術室全般の適切な運営管理
- 2) 安全で質が高くかつ効率的な手術室運営の企画実施
- 3) 新病院に向けた手術室の方向性の検討

3. 診療実績

- 1) 毎月第2週月曜日に「中央手術管理部定例会」を開催し、効率的な運営のために各診療科の実績や要望に応じて手術枡の変更を随時行っている。また、手術室で発生したインシデントの共有を行うことにより、更に安全な手術室運営を目指してい

る。その他、各診療科の担当者により新規購入物品のプレゼンテーションを行うことにより、手術室内にある物品に対して共通の認識を持つための取り組みを行い、コスト削減、効率的な運用を行っている。

- 2) 2015年度より情報システムGとの協働で「手術申込状況共有システム」を電子カルテ上で構築し、いつでも誰でもが手術申込状況を確認することができるになっている。学会等で手術が入らない場合には手術枡の放出を行い、他の診療科が利用することによって効率的な運用を行っている。予定手術枡に対する占有率は、麻酔科関与ありのもので83～95%（平均89.4%）であった。
- 3) 2018年4月に新築移転・開院し、手術室は現状の5室から7室に増え、新しい診療科として脳神経外科と心臓血管外科が加わった。これに伴い手術枡の見直しを行うとともに、スタッフの増員や医療機器の更新・追加購入等を行った。

また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた前立腺癌、子宮体癌、子宮筋腫の手術を開始すると同時に、臨床工学技士と協働し「ロボット支援手術の緊急対応に関するマニュアル」の作成を行った。

スタッフ 部長：小瀬戸昌博
特任顧問：内藤博昭
医療技能部長兼技師長：浅野正宏

1. 組織体制 常勤全27名（2019年3月末時点）

中央臨床検査部は、5月1日の新病院移設に伴い、組織体制を以下に変更した。

検体検査Ⅰの構成に変更なく、検体検査Ⅱを病理検査と微生物検査に分け、予防医学センター検査室が中央臨床検査部に融合された。

- ◇検体検査室 常勤7名【生化学、免疫、血液、止血凝固、尿一般、（輸血）】
- ◇微生物検査室 常勤4名
- ◇病理検査室 常勤4名
- ◇生理検査室 常勤6名【超音波、循環器、肺機能、脳波、筋電図、耳鼻咽喉科関連】
- ◇予防医学センター検査室 常勤5名

2. 検査実績

新病院移設に伴い検体検査関連では、以下のシステムを導入し、安定した運用を構築した。

- ◇採血室：採血・採尿・生理検査受付システムと採血アシストシステム（テクノメディカ）により、待ち時間の見える化、採血管払い出しと確認の効率化により、効果的で円滑な採血ができるようになった。
- ◇検体検査室：採血管自動分注・搬送・収納システム（アイディエス）
生化学自動測定器ラボスペクト008α（日立）
免疫自動測定器アリニティi（アボットジャパン）
免疫自動測定器ルミパルスL2400（フジレビオ）
- ◇検体検査全体に関わる医療法の一部改正の施行（2018年12月1日）に合わせ、質の高い検査結果を得るための精度管理、標準化と記録の保存を検証しながら、再構築している。なお、日本医師会、大阪府医師会、日本臨床衛生検査技師会等の精度管理調査へ永年参加を継続し、第三者評価を推進している。
- ◇内分泌検査、腫瘍マーカー検査、他のバイオマーカー検査を外部検査ラボへの委託から内製化し、リアルタイム測定することで診療価値を高めている。
- ◇微生物検査では院内感染チームと連携を強化すべく、質量分析計導入によってもたらされた時間と人員増により連休時の日直体制を導入した。これにより検査工程の見直しが図られ、標準化ができた、検査結果の報告を1日早めることができた。

◇輸血検査は輸血療法委員会と連携しながら、血液製剤管理から輸血業務までを迅速、かつ安全に行う輸血管理体制を敷いている。

◇病理検査の詳細は、病理診断科の項を参照されたい。

◇生理検査室と予防医学センター検査室でスタッフの相互連携を図り、心電図、超音波検査、さらには人間ドックの検体検査などの集約化を一部変更し、検査件数増加と人の効率化、さらには人材育成を進めている。

◇中央臨床検査部では、新しい人材を受け入れ世代交代を図りながら、日本生命病院に、さらには地域社会における利用者価値について、利用される全ての方にその成果を還元させるべく新たに前へ進み出した。

3. 業績

論文・著書

1. Kuramoto N, Wakahara T, Tamagawa Y, Uchino T, Koseto M, Kawakami M, Otsuki M, Aoki Y, Ishibashi M, Kasayama S, Sumitani S, Koga M: A case of monoclonal gammopathy of undetermined significance with abnormal low levels of plasma glycosylated albumin by M protein, Clinica Chimica Acta, 487:337-340, 2018.
2. 松谷憲一, 太田瑞希, 小西美香, 藤田育子, 水口洋一, 小瀬戸昌博: 質量分析装置を用いた菌種同定精度についての検討, 日生病院医学雑誌, 46:15-20, 2018.
3. 倉本訓子, 水口洋一, 宇都佳彦, 大畔健太, 魚田晃史, 小瀬戸昌博, 中川雅史, 浅野彰彦, 仁科拓也, 立花 功, 笠山宗正, 宮崎彩子, 古賀正史, 住谷 哲: HbA1cの偽高値を契機に診断し得た異常ヘモグロビン症(Hb Andrew-Minneapolis)の1例, 日生病院医学雑誌, 46:41-45, 2018.

学会発表

1. 玉川雄一, 倉本訓子, 福田志穂美, 若原達哉, 内野高裕, 天野精子, 水口洋一, 小瀬戸昌博, 角南ちえ子, 立花 功, 笠山宗正, 住谷 哲: FGMにおける血糖変動指標に関連する因子の検討, 第61回日本糖尿病学会年次学術集会, 2018年5月, 東京.
2. 渡辺温子, 山添直子, 小瀬戸昌博, 平井幸雄, 毛利年一, 平林伸治: 整形外科の手術前DVTスクリーニング検査で診断した膝窩部嚢腫の破裂した一例, 日本超音波医学会第91回学術集会, 2018年6月, 神戸.
3. 小瀬戸昌博: アウトブレイクを思わせるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の院内検出を経験して, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.
4. 大野典子, 池田久雄, 平田貴宏, 小西美香, 松谷憲一, 木下幹朗, 村上輝明, 佐藤智彦, 浅野彰彦, 赤木幹弘, 小瀬戸昌博: アンチバイオグラム・抗菌薬使用ガイドライン作成前後の抗菌薬使用量と微生物検査の比較, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.

部門	領域	項目名	2017年度	2018年度
検体検査	生化学	血糖	93,721	95,738
		HbA1c	56,101	59,658
		総蛋白	92,625	96,563
		電解質	93,818	97,629
		APTT	10,961	11,739
		血液ガス(動・静・臍帯)	3,991	5,024
	血液学	血算	121,833	127,567
		骨髓検査	227	221
	一般(尿)	尿定性	51,449	56,753
	便潜血	ヒトヘモグロビン	29,961	56,753
	免疫学	アデノウィルス	679	656
		RSウィルス	173	176
		インフルエンザウィルス	1,700	1,180
		StreptA	730	669
		CEA	11,110	12,401
		CA19-9	5,480	6,386
		シフラ	728	1,557
		ProGRP	1,194	1,338
		PSA	6,296	6,566
		TSH	13,634	15,178
		インスリン	6,451	6,462
		HBsAg	13,922	15,396
		HCVAb	13,412	14,568
	輸血学	血液型	5,340	6,296
		交差適合試験	1,073	1,163
微生物検査	一般細菌培養	呼吸器	2,220	2,372
		消化器	744	968
		泌尿器・生殖器	1,948	2,390
		血液・穿刺液	3,746	4,159
		その他	1,359	1,684
生理検査	超音波	心臓	3,550	3,923
		頸動脈	1,110	1,093
		四肢血管	956	1,369
		経食道心臓	17	14
		腹部	4,919	5,073
		腎動脈	101	197
		脾精密	136	80
		腹部造影	26	24
		表在	719	718
	心電図	安静	11,195	12,090
		CVR-R(自律神経R-R間隔)	192	180
		マスター運動負荷試験	341	277
		トレッドミル運動負荷試験	206	126
	肺機能	一般	4,321	4,909
		呼気中一酸化窒素濃度(NO)	2,030	1,978
		精密	67	52
	他の循環器・呼吸器系生理	24時間ホルター心電図	275	257
		24時間自動連続血圧	68	35
		簡易睡眠時無呼吸(SAS)	87	92
		ABI・TBI(足関節上腕血圧比・足趾上腕血圧比)	1,394	1,332
		SPP/TCPO2(皮膚還流圧測定/経皮酸素分圧測定)	—	54
		CPX(心肺運動負荷試験)	8	13
		アデノシン負荷心筋シンチ	138	118
	神経系生理	神経伝導	234	234
		脳波	274	299
	耳鼻科系生理	平衡機能検査(VOG、重心動揺、VEMP)	206	346
		聴力検査(純音、語音、ティンパノ、OAE)	1212	1,747
		神経検査(ABR、味覚、ENoG)	21	25

※病理検査数、細胞診検査数は病理診断科を、輸血製剤使用数は輸血管理室を参照のこと。

中 央 放 射 線 部

スタッフ 部 長：前田宗宏（放射線診断・IVR科部長）

担当部長：在津裕明（技師長）

長澤浩造、森本光雄、川畑孝司、新谷泰正、村川靖弘、藤丸泰一、山田純子、
中濃智絵、北埜希望、芝 瑞貴、谷川鮎美、白石奈菜、芝 理賀、勘田雅浩、
矢野勝之、安藤 真、奥 昂祐

1. 診療内容

質の高い検査・治療の提供にスタッフ全員で取り組んでいる。また、24時間検査体制にも対応し、緊急検査の充実に取り組んでいる。

2. 診療体制（機器）

CT 2台（320列・320列）
MRI 2台（3.0T・1.5T）
PET/CT 1台
RI 1台
リニアック 1台
治療計画用CT 1台（16列）
一般撮影 2台
X線TV 2台
乳房撮影 1台
骨塩定量 1台
アンギオ 2台
結石破碎 1台
外科用イメージ 3台
ポータブル 2台

4. その他

1) 取得資格

第1種放射線取扱主任者	1名
健診マンモグラフィ認定技師	6名
放射線治療専門放射線技師	2名
放射線治療品質管理士	1名
胃がんX線検診技術部門B資格	1名
放射線管理士	2名
放射線機器管理士	2名
X線CT認定技師	3名
臨床実習指導教員	1名
診療放射線技師実習施設指導者	11名

3. 診療実績（2018年度 検査件数）

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
CT	937	1,032	1,070	1,274	1,286	1,046	1,289	1,245	1,136	1,291	1,143	1,237	13,986
MRI	439	351	522	674	658	537	613	611	508	547	510	551	6,521
RI	47	66	57	86	80	79	86	76	69	69	83	79	877
PET/CT		28	31	22	28	25	27	24	21	26	30	49	311
単純X線	2,200	2,427	2,515	2,602	2,500	2,149	2,594	2,487	2,332	2,564	2,340	2,610	29,320
MMG	103	131	131	124	125	111	151	135	111	106	109	124	1,461
リニアック(新患)	6	16	13	14	5	11	19	14	9	16	17	14	154

スタッフ 栄養管理室長：宇津 貴（腎臓内科部長兼任）

副 部 長：出口暁子

非常勤スタッフ：松村寿美、坂本彩弥（12月より常勤に勤務変更）

*栄養サポートチーム（NST）：水野 均、大野典子、小山佐知子、田中敬子、四釜淳子、千原亜紀子、出口暁子

1. 診療内容

糖尿病、腎臓病、心臓病、脂質異常症など食事療法を必要とする患者に対する個別食指導及び集団食事指導を実施している。

また、入院患者には、栄養管理計画書を作成し、栄養管理によって疾患の治療に貢献できるように努めている。栄養サポートチーム（NST）を通して、必要な患者に対して低栄養の改善、食事内容の見直し、栄養補給法についてのアドバイスを行っている。

2. 診療体制

1) 指導スケジュール（表1）

栄養指導室で入院個別食事指導および外来個別食事指導を、糖尿病・内分泌センターと同診察室で外来個別食事指導と集団食事指導を実施している。

2) 病棟体制（表2）

病棟を担当制として、受け持ち病棟の対象患者を中心に食事指導を行った。

3. 診療実績

各診療科への食事指導依頼を行い件数増加に繋がった。

1) 外来個別食事指導の実績（表3）

糖尿病・内分泌センターでの指導件数を含む外来個別食事指導件数は、前年度に比して約27件/月増加した。

2) 入院個別食事指導の実績（表3）

入院個別食事指導件数は、前年度に比して約10件/月増加した。

3) 集団食事指導の実績（表3）

糖尿病教育入院などの患者を対象に実施した。前年度に比してやや減少した。

4) 診療科別個別指導の実績（表4）

前年度に比して腎臓内科、総合内科、循環器内科、消化器外科の指導依頼が増加した。

5) 入院食事提供の実績（表5）

特別食の依頼は前年度より増加した。

6) NST活動実績（ラウンド回数：43回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人	16	11	11	9	18	12	10	27	17	25	21	15	192

・主治医のほか病棟、医療スタッフからの依頼があり対応した。

・NST勉強会：2019年1月30日

「最新の経腸栄養食について」

講師：ネスレ日本 香川増美先生

参加者：12名

7) 新しい取り組み

癌化学療法治療者のQOL改善のために、昼食・夕食において特別選択食の導入とともに、7月より低菌食の導入を行なった。（患者向け冊子の作成）

*がん化学療法患者向け特別選択食の件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
食	127	264	382	382	380	284	281	167	172	151	144	76	2,810

8) 患者を対象とした活動

糖尿病・内分泌センター及び糖尿病患者会（錦会）と共同で実施した。

2018年6月11日

2018年度第1回ニッセイ市民健康セミナー
（糖尿病腎症と透析治療について）

2018年11月13日 日生病院糖尿病フェアー

「栄養相談とカードバイキング」

2018年11月21日 癌サロン

「化学療法の時の食事」

2019年1月25日糖尿病ランチ&セミナー

24名参加（バランス弁当～洋食～）

2019年3月18日 日本生命健康講座

「糖尿病から透析にならないやめに

～明日からできる食塩制限のコツ～」

*院外敷地内阿波座食堂とのコラボ事業

昼食メニュー「バランス定食」監修

（献立内容、献立・栄養バランス、栄養価計算を含む）

9) イベント食の提供とメッセージカードの新設

・暦行事食に加え、食育イベント食を新規に提供した。

・季節に合わせて、食生活に関するメッセージを記したカードを、月3回配布した。

4. その他

1) 所属学会

日本病態栄養学会 1名

日本静脈経腸栄養学会 1名

日本褥瘡学会 1名

日本栄養改善学会 1名

日本栄養士会 1名

2) 取得資格

日本糖尿病療養指導士 1名

介護支援専門員 1名

調理師 1名

5. 業績

研究会発表

1. 坂本彩弥:糖尿病患者対象料理教室 調理指導「おいしく食べて菌活しよう」ー洋食編ー, 大阪府糖尿病協会顧問栄養士会, 2018年10月, 大阪.
2. 出口暁子:講師「自分らしく在宅療養を継続するためにー病気と栄養管理ー」おいしく食べよう②ー塩分調整・調理実習ー, 西区在宅医療・介護連携研修会, 2018年12月, 大阪.
3. 出口暁子:「あわぎ大食堂 バランスランチ定食」献立・栄養価計算・バランスチェック, 監修:日本生命病、あわぎ大

食堂コラボ事業, 2018年5月～毎月1回月, 大阪.

4. 出口暁子:「美味しいバランスランチとプチセミナー」ーシニア世代の健康管理についてー, 四條畷市ウォーキングの会「元氣なわて21 2月定例会, 2019年2月, 大阪.
5. 出口暁子:明日からできる食塩制限のコツ, 日本生命病院健康講座, 2019年3月, 大阪.
6. 出口暁子:癌・化学療法中の免疫力低下レベルに合わせた無菌食・低菌食の提供の試み, 第23回大阪府栄養士会研究発表会, 2019年3月, 大阪.

表1 個別食事指導スケジュール

	月	火	水	木	金
診察室	松村	出口	松村 坂本	坂本	出口 松村
病棟	坂本	松村	坂本 松村	出口	松村 出口
糖尿病・内分泌 センター	出口	坂本	出口	松村	坂本

表2 担当病棟

病棟	4階ICU	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階
担当	出口	出口	出口	松村	松村	坂本	坂本	松村	坂本

表3 個別・集団栄養指導実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	前年度累計	平均
外来個別	87	85	82	86	99	83	84	76	95	80	73	92	1,022	85	1,065	89
DMセンター 外来個別	91	96	108	106	122	91	112	89	103	89	90	98	1,195 0	100	1,050 0	88
DM透析予防	23	33	26	21	25	26	28	32	37	43	40	56	390	33	315	26
入院個別	76	62	101	111	108	74	89	96	86	92	100	95	1,090	91	1,277	106
集団	5	4	7	6	5	8	4	5	4	4	3	9	64	5	130	11
合計	282	280	324	330	359	282	317	298	325	308	306	350	3,761	314	3,837	320

疾患別個別栄養指導件数（集団指導含まず）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	前年度累計	平均
胃腸病	11	7	11	9	21	11	12	12	13	10	10	10	137	11	137	11
肝臓病	6	1	6	4	8	6	6	7	7	5	3	4	63	5	81	7
糖尿病	173	173	202	188	200	165	174	167	195	184	184	205	2,210	184	2,153	179
腎臓病	18	27	21	23	27	18	22	31	22	26	29	31	295	25	234	20
高血・心臓・高脂	62	62	70	87	86	66	92	71	81	73	72	80	902	75	980	82
肥満症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
術後食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾臓食	7	5	7	10	11	6	7	3	2	6	4	9	77	6	107	9
その他	0	1	0	3	1	2	0	2	1	0	1	2	13	1	15	1
計	277	276	317	324	354	274	313	293	321	304	303	341	3,697	307	3,707	309

表 4 診療科別個別栄養指導実績 (DMセンター・集団含まず)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均
循環器内科	21	24	33	36	34	16	39	31	28	36	27	27	352	29
消化器内科	26	12	17	16	33	20	20	19	13	16	18	17	227	19
総合内科	45	34	57	57	47	38	40	45	51	42	44	45	545	45
血液内科	2	1	3	1	2	2	2	3	4	1	2	3	26	2
腎臓内科	9	16	12	15	18	9	14	15	17	24	19	21	189	16
神経内科	7	2	5	6	3	3	2	3	2	6	3	3	45	4
消化器外科	10	9	11	9	14	8	10	8	7	5	8	9	108	9
整形外科	2	3	2	4	2	4	4	1	5	3	3	2	35	3
精神科	0	2	2	1	0	2	1	0	1	0	0	2	11	1
皮膚科	9	7	7	4	7	6	8	5	6	4	4	7	74	6
泌尿器科	5	5	1	5	5	10	0	7	2	1	3	6	50	4
産婦人科	23	27	25	33	36	27	23	22	33	21	23	32	325	27
乳腺外科	2	3	0	1	0	2	2	2	1	1	3	4	21	2
小児科	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	1	1	7	1
耳鼻咽喉科	0	0	2	6	2	6	2	7	3	2	1	6	37	3
呼吸器外科	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8	1
形成外科	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	4	0
救急診療科	0	1	2	2	2	2	1	2	3	4	11	1	31	3
その他	1	1	3	0	2	0	1	0	2	4	2	0	16	1
合計	163	147	183	197	207	157	172	172	181	172	173	187	2,111	176

表 5 患者給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
常食	6,636	5,840	7,743	8,481	8,921	8,287	7,782	8,644	8,790	8,397	9,741	9,067	98,329	89,500
軟菜食	4,345	3,665	4,211	4,428	4,489	3,842	3,536	3,532	3,840	4,287	4,058	4,102	48,335	53,548
特食	7,939	8,017	9,255	9,694	9,159	9,021	9,395	8,866	8,557	9,165	8,906	90,520	188,494	143,048
合計	18,923	17,522	21,209	22,603	22,569	21,150	20,713	21,042	21,187	21,849	22,705	103,689	335,161	286,096
調乳本数	2,002	1,302	1,670	2,309	2,600	2,827	2,360	2,316	3,254	3,633	3,059	2,867	30,199	20,348
特食加算率	42	46	44	43	41	44	45	42	40	42	39	41		

スタッフ 薬剤部長：野村浩英
 副 部 長：足立充司
 専門主任：池田久雄 主任：古久保有希子
 薬 剤 師：平田貴宏、宮 麻紀子、六車裕一、千原亜紀子、辻 亜紀、森岡浩子、
 内藤 睦、小寺由香、藤井克至（2月～）、宮原阿友美（3月～）
 パート薬剤師：辻 俊美、中野静香
 事 務 員：岩城淳子

1. 業務内容

本年度は、新病院移転において、医薬品に関する運用について、薬剤師や看護師など多職種チームのもとに策定し、安全でかつ確実な移送など実施した。新病院の新しい環境でも医薬品の適正な在庫管理、法令を遵守した保管管理のもと調剤、病棟業務を通して、医薬品の安定供給、適正使用、チーム医療へ参画に取り組んできた。

新病院では病棟専任薬剤師を7名から8名に増やし各病棟に1名の担当者の配置を確保した。手術決定時の入院前薬確認業務で、手術決定後、入院前に術前休業必要薬を確認することで、手術を安全に行えるように支援した。医薬品安全管理について、職員への医薬品安全管理の講演や、医師を含む多職種をメンバーとした医薬品安全管理ワーキングによる院内ラウンドの実施、疑義照会の一元管理可能なデータベース化による可視化を行い、問題点の把握と共有、改善ができる取組みを継続した。注射薬の安全管理、過誤防止、業務効率化に対して、新たに注射薬自動払出システムを導入・運用を開始した。また最適使用推進ガイドラインの遵守確認、DIニュースの定期的な発行、糖尿病、ICT、NST、緩和ケア、褥瘡対策などのチーム医療への参画により医薬品の適正使用を図った。

後発医薬品使用体制加算1算定要件85%の使用率を目標とし、占率は90%以上の高い水準を確保した。

癌化学療法レジメンの登録と円滑な運用を行った。新規申請35レジメンの承認審査並びに登録を行うと共に、オーダ内容の確認・承認、抗癌剤の調製から、被曝・拡散防止など、安全で安心な薬物療法の更なる向上に努めている。

製剤は院内特殊製剤の調製、供給に取り組んでいる。申請のあった特殊製剤について倫理委員会に諮り使用についての安全性を確認している。製造物責任法に対応するため、日本病院薬剤師会より公示された指標に従って院内製剤の倫理上の検討も行った。新規市販された製品の購入にも積極的に関わり、製剤業務量の軽減・効率化が図られた。

薬品管理上、採用薬品、削除薬品の審議を薬事管理委員会に諮り、採用品目数は前年度並で推移している。

2018年度の薬品購入金額は、新規抗がん剤、モノクローナル抗体製剤などの高額薬剤を背景に、対前年比

で114%、17,900万円の増加となった。引き続き、高額薬剤の適応拡大に伴う使用増について注視していく。

医療外業務として薬学部学生1期2～4名の病院実務実習の受け入れ体制を継続した。

今後も、医薬品情報の有用・適時な活動強化を図り、安心で安全な薬物療法が実践できるよう、業務の効率化を図るとともに、薬物療法への関与をより深化できる組織体制の構築と、常に「患者さんのために何ができるか」を考えて行動できる人材育成を行う。

2. 業務体制

1) 人員配置 2019年3月時点

人員：薬剤師16名（パート2名を含む）、事務員1名
 配置：調剤・製剤業務7名、薬剤管理指導業務8名
 DI（薬品情報室）1名
 臨床研究管理室（事務局）1名
 薬品管理 事務員1名

2) 病棟体制

新病院より専任薬剤師8名とし新たに担当1名を配置。

病棟業務実施加算体制を継続。

手術予定患者の入院前持参薬の確認、薬剤管理指導（服薬指導）、保険診療に定められた病棟業務を実施し、適正かつ、安心・安全な薬物療法に努めた。

3. 活動内容

1) 日常業務

外来処方箋枚数	189枚/日（外来注射処方を含む）
入院処方箋枚数	202枚/日
入院注射処方箋枚数	714枚/日
服薬指導件数	735件/月（薬剤管理指導業務）
病棟業務実施加算	1,588件/月
抗癌剤調製件数	309件/月

2) 院内学術活動（講演）

医療安全講演会・医薬品の安全管理講習会

3) 院内広報活動

医薬品情報（安全性情報）	12通
DSU（医薬品安全対策情報）	12通
新規採用薬情報	4通
お薬ニュース	1通

4. 認定薬剤師など

日本医療薬学会認定薬剤師	3 名
がん薬物療法認定薬剤師	2 名
感染制御認定薬剤師	1 名
抗菌化学療法認定薬剤師	1 名
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1 名
日本糖尿病療養指導士	4 名
日本緩和医療薬学会麻薬教育認定薬剤師	1 名
認定実務実習指導薬剤師	4 名

(2019年3月31日現在)

5. 業績

学会発表

- 内藤 睦, 小寺由香, 中野静香, 辻俊美, 足立充司, 野村浩英: 院外処方箋疑義照会簡素化プロトコール導入における業務評価について, 第28回日本医療薬学会年会, 2018年11月, 神戸.

研究会発表

- 池田久雄: 環境ラウンド&消毒薬の適正使用 UP to DATE-あなたの施設は大丈夫ですか?-, 第13回大阪感染制御薬剤師講習会, 2019年3月, 大阪.

薬剤関係件数

摘 要			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計	
処方箋	外来	枚数	枚数	3,214	3,541	3,711	4,400	4,246	3,491	3,929	3,986	4,032	4,241	3,712	4,091	46,594	41,206
			件数	4,258	4,777	5,059	5,724	5,817	4,758	5,331	5,412	5,450	5,798	4,880	5,650	62,914	55,689
		1日当り	枚数	161	169	177	210	185	184	179	190	212	202	195	205	2,266	2,011
			件数	213	227	241	273	253	250	242	258	287	276	257	283	3,059	2,717
	入院	総数	枚数	5,516	5,201	6,160	6,689	6,573	5,643	6,209	6,272	6,162	6,177	6,471	6,427	73,500	71,401
			件数	10,271	10,186	12,654	12,654	12,091	10,225	11,409	11,166	11,570	11,494	11,796	11,791	137,307	137,521
		1日当り	枚数	184	168	205	216	219	188	200	209	199	199	231	207	2,426	2,355
			件数	342	329	422	408	390	341	368	372	373	371	421	380	4,518	4,523
注射	入院	総数	枚数	17,384	17,631	20,374	23,062	25,073	20,163	21,765	22,026	21,964	24,336	22,637	23,402	259,817	260,860
		1日当り	枚数	579	569	679	744	809	672	726	734	709	785	808	755	8,569	8,609

摘 要		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
薬剤管理指導業務算定		533	652	773	796	828	733	780	757	705	760	773	727	8,817	7,762
抗癌剤混合調剤件数 (外来化学療法)		164	206	186	184	228	172	216	210	174	191	173	201	2,305	1,970
(入院化学療法)		110	120	139	117	129	106	97	99	96	133	137	119	1,402	1,133
TPN調製件数		27	35	28	6	47	15	11	38	23	14	7	36	287	135

摘 要			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
麻薬処方箋	外来	内 用	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		外 用	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	12
		注 射	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	5
	入院	内 用	111	99	61	54	39	60	99	47	46	53	89	65	823	841
		外 用	11	20	11	9	26	18	29	40	32	31	15	13	255	249
		注 射	327	299	438	464	419	335	392	416	359	328	333	377	4,487	4,123

製剤室

摘 要		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
製 剤	件数	28	29	35	36	42	41	39	34	40	26	22	39	411	1,238
無菌製剤	件数	8	11	12	10	15	18	15	14	12	12	11	13	151	1,270

[薬剤部]

臨床工学室

スタッフ 室 長：前田 元（特任副院長、呼吸器外科部長）

主 任：加藤千尋、三木和美、田中恵介

岡崎浩也、宮崎理恵、田口貴大、吉岡佑太、北濱知美

1. 診療内容

臨床工学室は、2017年4月より中央臨床検査部から独立し新設された。現在8名の臨床工学技士が様々な臨床業務に関わり、医師・看護師や各種医療技術者と共に治療に携わっている。

2. 診療体制

1) 臨床業務

主に下記臨床業務に関わっている。

①手術室

手術支援ロボット業務、心臓ペースメーカーの植込み・電池交換、血管内治療の清潔介助、術中自己血回収

②血管造影室

心臓カテーテル検査・治療、経皮的カテーテル心筋焼灼術

③集中治療室

緊急血液浄化（血液透析、持続血液濾過透析法）、補助循環業務（IABP・PCPS）

④血液浄化センター

血液透析、オンラインHDF、顆粒球除去療法、血漿交換療法、末梢血幹細胞採取、顆粒球採取

⑤その他

腹水濾過濃縮、院内各部署の人工呼吸器や経鼻

高流量酸素療法（NHF）使用時の対応、RST（呼吸サポートチーム）のメンバーとしてカンファレンス・ラウンドの参加

2) 医療機器の保守・修理・点検業務

外来・病棟や手術室・集中治療室などで使用する院内の様々な医療機器の保守・修理・点検を行い、医療機器がいつも清潔で安全に使用できるよう管理運用している。

3. 認定資格

透析技術認定士	5名
心血管インターベンション技師	3名
3学会呼吸療法認定士	3名
臨床ME専門認定士	1名
第1種消化器内視鏡技師	1名

臨床研究管理室

スタッフ 室長：東山真里

CRC（臨床研究コーディネーター）：谷口真理子（看護師）

水越由佳子（看護師）

村崎由紀子（臨床検査技師）

事務局：宮 麻紀子（薬剤師）～9月、六車裕一（薬剤師）8月～

1. 活動内容

臨床研究管理室では、治験審査委員会・倫理委員会の事務局として治験、臨床研究、製造販売後調査の窓口業務を行っており、各診療科へ治験受託可能な疾患を調査し治験依頼者（製薬会社）への打診を行いながら案件を受託している。治験受託時に、治験依頼者との調整が円滑に運べるよう病院HPには施設情報チェックリストを公開している。日常業務では、治験受託時から治験終了まで、安全で質の高い治験・臨床研究が提供できるよう被験者対応、治験依頼者対応、治験責任医師・分担医師への対応を行っている。また、院内各部署との調整を工夫・改善しながら治験が滞りなく推進出来るよう行っている。

臨床研究管理室会議を1回/月開催し、運営等について協議している。

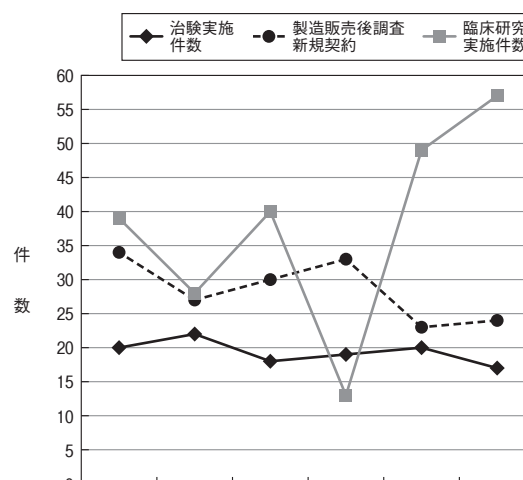
治験標準業務手順書、事務局マニュアル、CRC業務マニュアル、外部CRC対応マニュアルの改訂も行っている。

2018度は、新人CRA（clinical research associate）15名の施設実習も受託した。

2. 活動実績

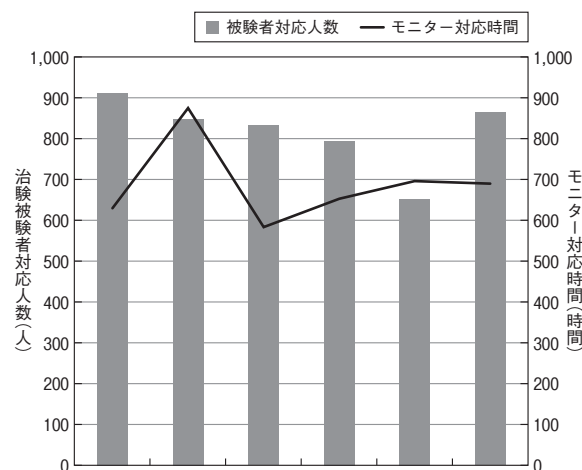
- 1) 治験審査委員会（IRB） 12回開催
倫理委員会 12回開催
- 2) 年間治験実施件数 17件（前年度からの継続実施11件、2018年度新規受託6件）
- 3) 製造販売後調査 新規契約24件
- 4) 臨床研究 実施件数57件
- 5) 新人CRA施設実習（1日目：7名、2日目：8名）
年間治験実施件数は17件と、前年度と比べ3件減少したが2013年からの5年間をみると多少増減はあるもののほぼ横ばいであり、安定した治験受託を続けている。臨床研究実施件数は前年と比べ57件と大幅に増加した（図1）。2018年2月臨床研究法が施行され、主に介入研究では、CRCの関与が必要とされており支援している。そのため、被験者対応人数が前年と比べ212名増加した（図2）。2018年度の院内研修は、院内Updateにて、治験責任医師・事務局・CRCの立場から各役割についての研修を行った。

【図1（治験・臨床研究等実施状況）】



年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
治験実施件数	20	22	18	19	20	17
製造販売後調査 新規契約	34	27	30	33	23	24
臨床研究実施件数	39	28	40	13	49	57

【図2（治験被験者対応人数・モニター対応時間）】



年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
被験者対応人数	911	848	832	794	652	864
モニター対応時間	629.5	874.75	583.25	652.75	699.5	689.75

3. 認定

日本臨床薬理学会認定CRC 1名

スタッフ 室 長：前田 元（特任副院長、呼吸器外科部長）
副室長：中西三季（医療安全管理者、副看護部長）
室 員：近石克也（医事サービス部長）

1. 概要

新病院の移転に伴い、医療安全管理マニュアルの施設名称や部署の変更など、新病院に適應するように改定した。

インシデント・アクシデントレポート及びオカレンスレポートについての分析・情報共有は週単位で行い、医療安全ミーティングで報告した。前年度に引き続き、多職種によるワーキング活動を行った。今年度より、医療安全管理体制 地域連携加算Ⅰを開始した。

2. 活動内容

1) 医療安全管理マニュアルの見直し

新病院への移転に伴い、施設名称や部署の変更など、内容が新病院に適應するように一部改定した。

2) 医療安全管理者の育成

看護部安全対策委員会では、毎月、事例検討を行った。看護管理者のリスクのとらえ方や医療安全管理に対する意識が高まった。

3) 医療安全管理体制 地域連携加算Ⅰ

I－Ⅰ連携 大阪みなと中央病院（相互ラウンド）

2019年1月18日（金）訪問

2019年2月8日（金）受け入れ

I－Ⅱ連携 大野記念病院

2018年12月20日（木）訪問

訪問にて当院で参考にする事として①死亡患者全例報告書を作成し、管理者へ報告する仕組みの構築、②採血時の合併症に関し、採血室にリスク説明書を掲示すること、があった。①については2019年5月から開始、②は2019年3月に作成、採血室待合に掲示した。

医療安全管理委員会では、下部組織として2017年度から、医療安全全般ワーキング、医薬品ワーキング、医療機器ワーキング、転倒転落ワーキングという4つの実働的な多職種ワーキンググループを設置、活動した。医薬品ワーキングでは、定期的なラウンドを行い、疑義照会の内容、件数を報告し情報の共有化を図った。転倒転落ワーキングでは、毎月病棟のラウンドを行い、転倒リスクの高い患者のベッドサイドへ多職種で行き、療養環境の確認、薬剤やりハビリについての共有、看護計画の見直し等を行った。毎週1回、医療安全ミーティングを実施した。ミーティングのメンバーは前田委員長、野村薬剤部長、近石部長、中

西医療安全管理者で、週単位でのインシデント・アクシデントレポートの分析、事例の検討を行った。さらに、2017年度11月より合併症の報告促進を目指して導入したオカレンス報告は2018年度1年間で8診療科から20件の報告があった。それらについても、ミーティングで情報共有、検討を行った。

3. 医療安全研修

【第1回】 2018年9月13日（木）17：30～18：30

テーマ：「患者満足を生む患者アプローチ」

講 師：岐阜大学医学教育開発センター

センター長・教授 藤崎和彦先生

273名参加（医師64名、研修医9名、看護師103名、コメディカル55名、事務職42名）

【第2回】 2019年1月24日（木）17：30～18：30

1. 「2018年5月～12月のレポート報告」について

講師：中西三季 医療安全管理者

2. 「有害事象の報告制度と医薬品安全管理WGラウンド報告」

講師：足立充司 医薬品WG 薬剤部副部長

3. 「医療機器に関すること（人工呼吸器、AEDなど）」

講師：高山理恵 臨床工学室

4. 「医療安全全般ワーキング活動報告～医師指示の標準化～」

講師：川上 学 医療安全全般WG

血液化学療法内科部長

5. 「転倒転落ワーキング活動報告～転倒転落防止策の現状～」

講師：毛利年一 転倒転落WG 整形外科部長

参加者248名（医師49名、研修医8名、看護師101名、コメディカル53名、事務37名）未受講者向けにDVDによる追加研修を実施した。

インシデント・アクシデント報告の推移
（2016年度～2018年度）

	薬 剤	転 倒 ・ 転 落	輸 血	治 療 ・ 処 置	ド レ ン ・ チ ュー ブ	検 査	医 療 機 器	療 養 上 の 世 話	そ の 他	合 計
2016年度	457	306	15	233	85	153	64	69	211	1,593
2017年度	356	333	7	163	72	125	38	42	130	1,266
2018年度	419	345	9	116	81	120	43	21	152	1,306

スタッフ 室 長：小瀬戸昌博（インфекションコントロールドクター）
 薬 剤 師：池田久雄（抗菌化学療法認定薬剤師、感染制御認定薬剤師）
 検査技師：小西美香（感染制御認定臨床微生物検査技師、認定臨床微生物検査技師）
 看 護 師：大野典子（感染症看護専門看護師）

1. 活動内容

感染対策室では病院の理念に基づき最良の医療サービス、安全な医療の提供を目標に、日々感染症の予防につとめ、感染が発生した場合でも拡大を防止するよう活動している。また、適切な抗菌薬使用など感染症の診断治療の支援にも取り組んでいる。

本年度は、日本生命病院に備え準備したマニュアルの評価、感染対策システムの導入など、新病院で感染対策が滞ることがないように、新病院にふさわしい感染対策と、感染症診療をめざし活動を行った。

また2015年度から継続している薬剤耐性菌アクションプランにおける抗菌薬適正使用支援を引き続き行った。

具体的活動は週1回のICTカンファレンスに加え、ASTカンファレンスとして、感染症診療時の抗菌薬や微生物検査に関する情報提供を行った。ICTラウンドでは感染リンクナースと連携し標準予防策や感染発生時の感染経路別予防策の実施状況の確認を行った。社会的活動としては大阪市で検討を始めた感染対策地域連携支援システム構築に向けその幹事病院としての役割を担うこととなった。

2. 活動体制

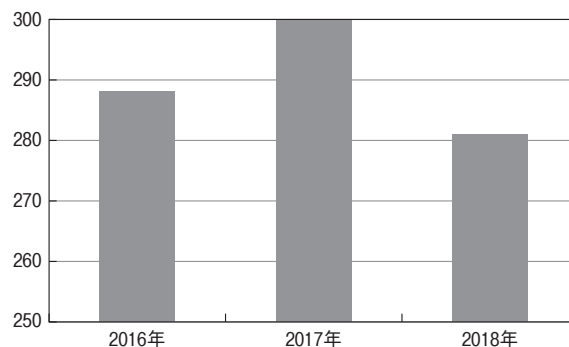
感染対策室には専従者が在籍するため、常時感染症診療や感染防止に関する相談を受け、医師、薬剤師、微生物検査技師、事務職員などから構成するICTメンバーに連携し速やかに支援できる体制をとっている。また、看護部が組織する感染リンクナースは患者の最も近くで感染のリスクを評価し、異常時は感染対策室へ報告し速やかに支援が開始できる体制をとっている。

ICTや感染リンクナースでは対応が困難と判断した場合は、院内感染対策委員会の臨時開催や、特定の部門に限定した問題であれば当該部門を含めた拡大院内感染対策委員会を開催するなど組織として早急に対応できるような体制をとっている。

3. 活動実績

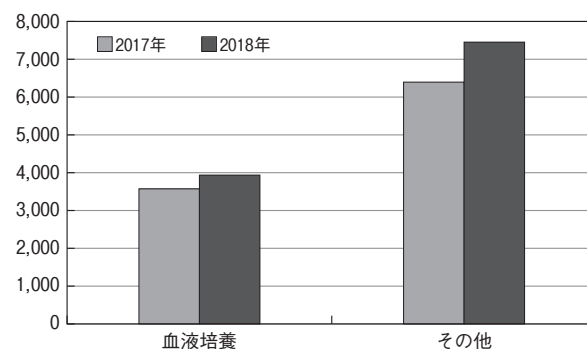
【感染症診療の支援】

ICTの介入件数は281件（平均23件/月）であった介入内容は届け出抗菌薬の長期使用、治療における抗菌薬の選択と効果判定、感染対策に関すること等であった。



（図1）ICT介入件数

感染症診療において重要な使用となる微生物検査血液培養検査は3,945検体（対前年度10.5%増）、血液培養以外は7,470検体（対前年度16.4%増）であった。これらのことから、介入件数が減少したのは微生物検査が適切に行われ、抗菌薬が適切に行われたことが考えられる。



（図2）微生物検査検体数

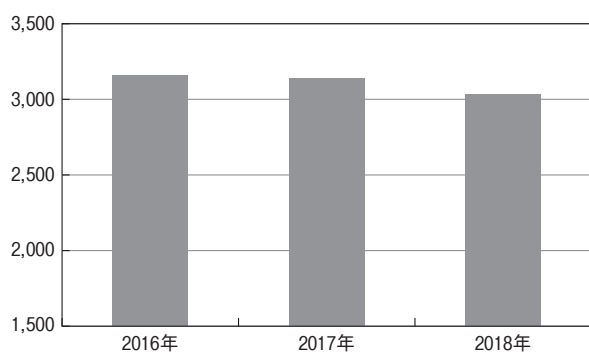
【感染予防と発生時の対応】

2018年度、地域では季節性インフルエンザが流行したが当院では患者-患者間の感染を疑う事例は確認されずアウトブレイクを防ぐことができた。

【標準予防策徹底への取り組み】

手指衛生徹底への取り組みとして、感染リンクナースと協同し各部署へ手指衛生材料の使用実績を情報提供した（図3）。しかし、納入量は2年連続して前年度を下回る結果となった。

衛生の徹底は今後も継続して啓発を行っていきたい。



(図3) 擦式手指消毒剤年間購入量

【地域連携施設における取り組み】

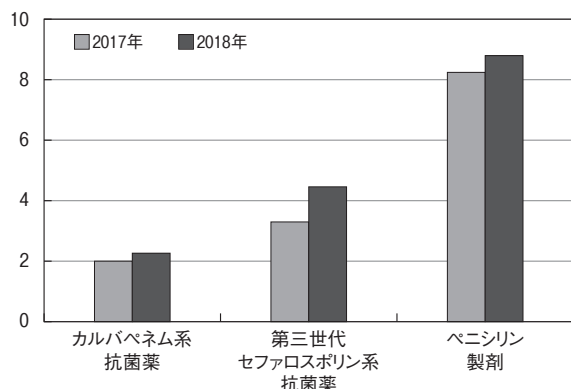
感染対策加算Ⅱ取得の病院とは地域連携合同カンファレンスを開催(4回/年)開催し、感染対策加算Ⅰ取得の病院とは相互ラウンド1回/年を行った。合同カンファレンスでは地域の情報共有が行え、相互ラウンドでは他者評価による感染対策を再確認するよい機会になると評価を受けている。

【耐性菌検出抑制に対する取り組み】

MRSAをはじめとする薬剤耐性菌の検出状況の把握と各部署への情報提供を行うとともに、抗菌薬使用状況の把握を行った。

抗菌薬の使用量は100床/1日あたりカルバペネム系抗菌薬は2.27g(2017年度1.98g)に増加、第三世代セファロsporin系抗菌薬の使用量は4.45g(2017年度3.30g)に増加、ペニシリン製剤は8.81g(2017年度8.22g)とほぼ変化はなかった。厚生労働省がAMRアクションプランの成果目標とするフルオロキノロン系抗菌薬は0.33g(2017年度0.45g)に減少した。

今年度はABPC/SBT、CFPMの供給停止が発生し深刻な問題となった。この問題は今後も継続するであろうことが予測されるが、感染対策室では、アンチバイオグラムの整備、代替薬品の検討などを日常的に行い、制限のある中でも医師が適切な抗菌薬投与が行えるよう支援を続けることが課題と考えている(図4)。



(図4) 100床/日あたり抗菌薬使用量

【職員教育】

1. 抗菌薬適正使用についての必要な豆知識～注射用抗菌薬と内服抗菌薬～水谷哲(大阪警察病院感染管理センター) 2018年10月
2. 事例から学ぶ針刺し・切創、血液・体液曝露の脅威(日本環境感染学会教育委員会・職業感染制御研究会作成), 注射手技の実習(安全防止器具を用いた演習)
3. ICT/ASTからの報告、医療における耐性菌感染症の現状と問題点、館田一博(東邦大学医学部微生物・感染症学講座, 動物用抗菌剤研究会・四学会合同セミナー One Healthから見た耐性菌の現状と課題講演動画より)

4. 業績

論文・著書

1. 秋原志穂, 大野典子: 全国の小児病棟における感染性胃腸炎の実態調査. 北海道科学大学紀要, 第45号, 67-74, 2018.

学会発表

1. 池田久雄: 環境ラウンド&消毒薬の適正使用UP to DATE, 第13回大阪感染制御薬剤師研究会講習会, 2019年3月, 大阪.
2. 小瀬戸昌博, 大野典子, 津田侑子, 中村寛海, 小西美香, 平田貴宏, 池田久雄, 木下幹朗, 村上輝明, 佐藤智彦, 赤木幹弘, 浅野彰彦, 笠山宗正: アウトブレイクを思わせるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の院内検出を経験して, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年2月, 大阪.
3. 大野典子, 池田久雄, 平田貴宏, 小西美香, 松谷憲一, 木下幹朗, 村上輝明, 佐藤智彦, 浅野彰彦, 赤木幹弘, 小瀬戸昌博: アンチバイオグラム・抗菌薬使用ガイドライン作成前後の抗菌薬使用量と微生物検査の比較, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年2月, 大阪.
4. 大野典子: 地域包括ケアシステムと感染対策, ニッセイ医学セミナーUpdate, 2018年9月, 大阪.

研究会発表

1. 大野典子: そろそろインフルエンザ マスクと手洗いどちらが有効, 日本生命病院市民健康セミナー, 2018年10月, 大阪.

あ っ た か サ ポ ー ト セ ン タ ー

スタッフ センター長：東山眞里（副院長）

部長：近石克也 担当部長：澤田康夫 副部長：本家裕子

(1) 地域医療サービスグループ

看護師：瓜本恵美子

事務員：西岡千幸、岡部由利、森本洋子、高名礼子、中野侑子、渡辺喜代美、岩切綾子、
飯田 香、清藤真由美、山本 勇

(2) 入退院支援センター

センター長：前川明子（副看護部長） 看護師：川瀬俊子、湯阪久美子、中村美智子（5月～）

事務員：小谷五月、上村亜友子、幸得明美（9月～）

(3) 医療福祉相談グループ（入退院支援センター兼務）

医療ソーシャルワーカー：本家裕子（社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員）、

（Medical Social Worker：MSW） 松栄優子（社会福祉士・介護支援専門員）、

福庭加奈（社会福祉士・精神保健福祉士）、

清水美紗（社会福祉士・介護支援専門員）

※患者さんサポートスタッフ：松本満康、松元真紀、圓田久美子（～1月）、浜田麗美（12月～）

1. 地域医療サービスグループの活動内容

1) 医療連携

- 地域の医療機関からの診療・検査予約
- あったかサポートセンター経由の紹介患者受付
- 紹介患者の受診結果報告
- かかりつけ医紹介（歯科含む）
- 病診連携フォーラム・懇話会等の開催、開催協力（p.131参照）
- 登録医、緊急時入院受入医療機関、在宅患者緊急時入院希望の登録・契約手続き
- 開放型病院登録医の共同診療時の対応
- 人間ドック、健診後受診患者および企業健診後受診患者の診療・検査予約、受付
- 病院紹介冊子の作成

j. 地域医療NETWORK開設

k. セカンドオピニオン

2) サービス広報

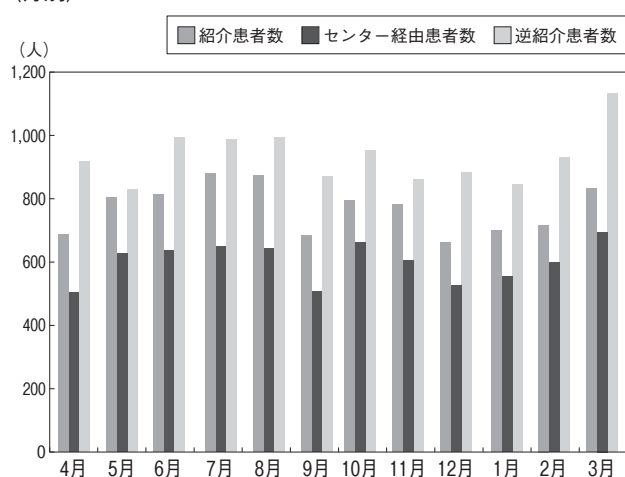
- 医療機関向け診療案内の発行
- 登録医への診療日程案内・情報提供
- 患者向け広報誌「あったかサポートセンター通信 Saisei Rimin」の発行
- 市民健康セミナー等の開催、開催協力（p.133参照）
- 地域医療機関等の情報収集・調査
- 患者の声、意見収集等をふまえた患者サービス体制管理
- 院内イベント企画・開催、開催協力
- 図書・情報コーナーの管理
- ボランティアの受付・調整

■ 2018.4～2019.3 診療科別紹介数、あったかサポートセンター経由患者数
（年間）

科 別	紹介患者数* (救急搬入患者含む)	センター 経由患者数	逆紹介 患者数
循環器内科	321	300	786
消化器内科	725	604	863
総合内科	1,049	739	1,141
血液・化学療法内科	221	193	269
神経内科	183	171	228
腎臓内科	116	117	434
消化器外科	91	84	306
呼吸器外科	34	34	54
乳腺外科	135	123	218
心臓血管外科	78	80	112
脳神経外科	52	48	57
産婦人科	1,890	1,433	2,120
小児科	291	151	222
精神科	175	216	236
整形外科	388	287	661
皮膚科	576	450	683
泌尿器科	265	173	378
眼科	64	47	199
耳鼻咽喉・頭頸部外科	780	452	542
形成再建外科	166	87	198
放射線診断科	1,063	1,240	1,129
放射線治療科	3	4	18
麻酔・緩和医療科	17	24	17
救急診療センター	525	94	324
リハビリテーション科		5	
検査診断科	17	49	17
合計	9,225	7,205	11,212

※紹介患者数は初診算定数。

（月別）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介患者数	687	803	813	880	873	684	795	783	663	699	717	831
センター経由患者数	503	626	636	650	642	506	662	606	526	554	599	695
逆紹介患者数	919	829	993	988	994	870	953	862	884	846	930	1,131

2. 入退院支援センターの活動内容

2016年より入退院支援センターを開設し、3年目となる。入退院支援センターは、入院決定時から各職種が連携して安心して入院生活が送れるよう支援すること、入院時から退院後の生活をふまえた退院支援を実践し、より質の高い医療サービスを提供することを目的としている。

1) 業務内容

a. 医事部門・入院受付

①入院申し込み・入院当日の入院手続き・病室の希望の把握

②無料低額診療事業等の紹介

b. 看護師

①病棟師長：入院時間調整

②外来看護師：患者基礎情報の収集・術前オリエンテーション・クリニカルパスの説明・退院支援スクリーニング

③退院支援専従看護師：退院調整

c. 薬剤師

①術前内服確認、医師指示による休薬指導

d. MSW

①退院調整

②ソーシャルワーク業務

2) 活動実績

2018年4月30日に新病院に移転後、時間内の入院患者数は増加し、月平均558.7件（昨年度498.3件）と前年より12%上回った。また、要退院支援抽出数も昨年度を大きく

く上回り、月平均55.7件（昨年度42.2件）であった。外来看護師によるオリエンテーションは、月平均183.8件（昨年度139.4件）、薬剤師による術前服薬確認は月平均123.3件（昨年81.9件）となり、全てにおいて昨年度を上回った。

入退院支援加算算定件数は、退院支援専従看護師・MSWを中心に継続的に活動実施し、センター看護師、病棟看護師間の連携も密にとった結果、入退院支援加算1は、月平均123件（昨年度122件）の数値につながった。また、入院時支援加算は、7月から算定開始したが、9カ月の月平均は、32.3件となった。

3. 医療福祉相談グループの活動内容

1) 相談援助

a. 相談援助総件数

2018年度は、総数9,885件（1日平均44.1件、月平均823.8件）の相談を受けた。年々増加の一途を辿っていた件数の減少は、退院調整看護師の増員による業務分担が奏効したためと推察される。

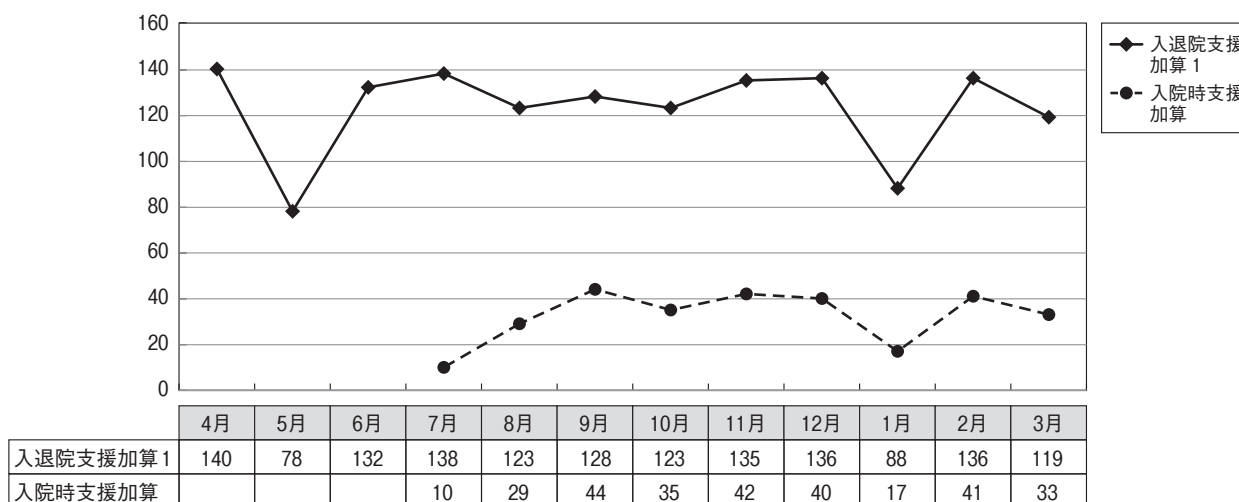
b. 新規相談

2018年度の新規相談は3,116件（昨年3,160件）であった。紹介経路別にみると、看護師（557件）、医師（470件）およびその他の職員を含め、院内スタッフからの支援依頼が35.4%（昨年は35.8%）を占め、本人（787件）と家族（614件）からの相談が45.0%（昨年は47.7%）であった。

■入退院支援センターの活動実績

月	時間内 入院実数 (8:30~17:00)	センター看護師			薬剤師	外来看護師
		予定分	予定外 (緊急)	要退院支援 抽出数	術前服薬確認	術前オリエン テーション
4月	445	283	130	63	83	123
5月	560	355	149	80	108	193
6月	605	403	169	62	115	182
7月	588	337	186	52	107	191
8月	613	350	195	48	125	220
9月	519	315	149	42	112	169
10月	616	411	184	81	150	211
11月	561	389	165	61	138	205
12月	519	340	161	59	124	155
1月	574	371	178	65	128	177
2月	546	375	161	53	108	170
3月	558	361	192	2	182	210
平均	558.7	357.5	168.3	55.7	123.3	183.8

2018年度 入退院支援加算実績



c. 相談援助内容

相談内容は、退院への援助（在宅へ向けての療養環境整備の援助および転院・施設入所先の選定援助）が34.5%と最も多く、次いで無料・低額診療に関する相談援助（29.6%）、介護保険、身体障害者手帳、特定疾患、精神保健等の諸制度に関する説明や申請援助（15.1%）、受診・受療に関する問題調整（9.8%）となった。

2) 地域活動

- a. 近隣施設（医療機関、介護老人保健施設等）への訪問等による連携の促進
- b. 西区地域支援調整チーム高齢者支援専門部会および西区障がい者・高齢者虐待防止専門部会へ参画による地域の高齢者施策等への貢献
- c. 西区在宅医療・介護連携推進会議等へ参画し、地域の在宅医療の普及と医療・介護連携を推進
- d. 日生ケアプランセンターにて介護支援専門員（ケアマネジャー）を兼務し、在宅生活を支援

- e. 大阪市子ども虐待医療支援検討会、大阪府児童虐待防止医療ネットワーク事業連絡会にて各関係機関との連携を深め、児童虐待対応向上に尽力
- f. がん相談支援センターの一員として、「がんサロン」の開設と運営に参画
- g. 脳卒中地域連携パスに参画し、円滑な地域医療連携を促進

5. 業績

学会発表

1. 本家裕子, 松栄優子, 福庭加奈, 清水美紗: 病院移転による病床機能変更・病棟再編成に伴う退院支援体制の再構築およびMSWのあり方の考察, 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会, 2019年3月, 大阪.

研究会発表

1. 本家裕子: 退院支援③「退院前カンファレンス～誰のため? 何のため?～」, 西区在宅医療・介護連携研修会, 2019年3月, 大阪.
2. 福庭加奈: 大阪市西区いきいき100歳体操体験会, 大阪市西区保健福祉センター, 2019年3月, 大阪.

■ 医療福祉相談グループ

〈相談取り扱い件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	前年度累計
循環器内科	42	29	57	49	114	64	53	39	19	23	33	35	557	1,066
消化器内科	35	37	36	49	60	45	68	43	46	40	53	53	565	583
総合内科	139	112	141	204	203	129	153	104	119	95	122	114	1,635	1,946
血液・化学療法内科	75	86	72	49	93	82	76	65	39	72	45	64	818	949
脳神経内科	73	42	38	76	85	90	88	118	79	98	110	88	985	920
腎臓内科	41	52	26	15	33	14	28	32	28	15	24	34	342	553
消化器外科	26	20	26	37	45	13	30	18	21	25	20	15	296	269
呼吸器外科	2	4	2	14	3	0	2	1	6	6	1	3	44	19
乳腺外科	19	24	8	14	23	10	9	28	11	11	13	19	189	259
心臓血管外科	0	0	0	0	5	3	6	0	6	3	10	0	33	7
脳神経外科			3	24	9	17	12	13	13	16	24	14	145	
婦人科	38	29	19	41	42	38	30	47	33	37	44	48	446	559
小児科	8	33	14	16	10	33	45	63	34	23	30	26	335	392
神経科	20	24	42	24	66	33	37	69	49	35	42	42	483	381
整形外科	80	79	110	146	106	64	65	84	113	110	31	36	1,024	1,287
皮膚科	22	18	21	38	28	14	39	22	29	15	8	16	270	312
泌尿器科	6	13	11	26	20	13	22	11	13	4	7	6	152	240
眼科	1	10	6	12	14	8	8	5	4	6	5	3	82	53
耳鼻咽喉・頭頸部外科	15	20	19	16	6	8	6	41	21	7	17	12	188	213
形成外科	4	2	1	3	8	12	18	3	10	4	5	5	75	31
放射線診断科	3	1	2	0	2	1	0	2	2	2	0	0	15	17
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
麻酔科	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	1	6	13	20
リハ科	1	0	0	0	0	6	1	5	0	0	0	0	13	7
救急診療科	73	31	42	47	49	33	58	49	54	92	51	31	610	729
その他	40	21	47	54	64	38	39	85	66	43	44	29	570	727
合計	763	687	743	954	1,091	768	894	949	815	782	740	699	9,885	11,540

〈新規ケース紹介経路〉

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他
本人	34	16	1	39	18	1	69	16	0	69	16	0	107	21	0	40	14	1	53	17	0	65	16	0
家族	32	14	0	23	13	0	45	15	0	45	15	0	52	20	0	26	9	2	45	14	0	55	13	1
医師	22	15	0	15	26	0	16	24	0	16	24	0	17	25	0	22	14	0	17	30	0	17	18	0
看護師	4	52	0	4	37	0	8	42	0	8	42	0	6	51	0	10	27	0	6	40	0	4	40	0
その他院内職員	3	5	0	5	3	0	4	3	0	4	3	0	4	5	0	5	2	0	4	5	0	1	3	0
保健福祉関係機関	6	1	0	5	5	0	2	13	0	2	13	0	2	9	1	1	8	0	5	10	1	11	8	1
医療機関	3	2	0	14	1	0	4	2	0	4	2	0	7	4	0	1	4	0	10	4	1	6	3	0
福祉施設	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
介護保険施設・事業所	6	12	0	10	4	0	12	6	0	12	6	0	9	8	0	9	7	0	20	8	0	13	12	0
その他	0	1	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
小計	110	118	1	115	109	3	161	123	0	161	123	0	209	143	1	115	85	4	161	128	2	173	113	2
総合計	229			227			284			284			353			204			291			288		

	12月			1月			2月			3月			累計			前年度累計		
	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他	外来	入院	他
本人	42	8	2	26	10	1	43	15	1	37	11	0	603	177	7	611	193	20
家族	44	11	0	24	9	0	33	19	0	25	14	0	438	170	6	448	220	14
医師	18	11	0	21	24	0	33	21	0	18	14	0	227	243	0	211	225	1
看護師	5	47	0	9	32	0	7	36	0	8	27	0	76	481	0	113	486	1
その他院内職員	2	0	0	3	3	0	2	3	0	3	2	0	37	38	0	52	43	0
保健福祉関係機関	5	18	1	7	13	0	5	22	1	3	30	0	52	146	6	42	113	4
医療機関	5	0	1	9	6	0	7	2	1	12	3	0	87	32	4	80	25	7
福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	5	1	0
介護保険施設・事業所	8	13	0	16	14	1	17	9	1	15	8	2	146	109	7	120	74	2
その他	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	8	8	4	20	23	6
小計	129	110	5	115	111	2	148	127	4	122	110	2	1,678	1,404	34	1,702	1,403	55
総合計	244			228			279			234			3,116			3,160		

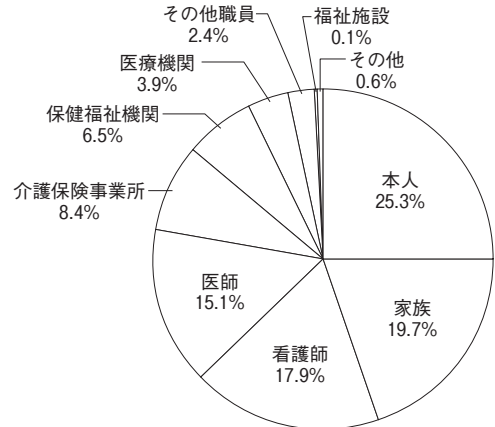
〈相談援助総件数（延べ数）〉

	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度
循環器内科	557	1,066	1,206	1,072	740	917
消化器内科	565	583	748	739	924	715
総合内科	1,635	1,946	2,221	1,926	1,741	1,951
血液・化学療法内科	818	949	760	656	663	606
脳神経内科	985	920	996	881	1,039	665
腎臓内科 ^{※3}	342	553	145			
消化器外科	296	269	399	262	364	286
呼吸器外科 ^{※2}	44	19	14	1		
乳腺外科	189	259	174	118	41	118
心臓血管外科 ^{※4}	33	7				
脳神経外科 ^{※5}	145					
産婦人科	446	559	366	264	213	260
小児科	335	392	369	399	318	553
神経科・精神科	483	381	378	435	683	666
整形外科	1,024	1,287	989	1,036	978	934
皮膚科	270	312	283	215	182	229
泌尿器科	152	240	305	275	296	515
眼科	82	53	43	89	58	40
耳鼻咽喉・頭頸部外科	188	213	250	239	355	299
形成外科 ^{※4}	75	31				
放射線診療科	15	17	21	10	10	12
放射線治療科 ^{※4}	0	1				
麻酔・緩和医療科	13	20	20	1	3	8
リハビリテーション科 ^{※4}	13	7				
救急診療科	610	729	501	649	277	134
不明・その他	570	727	628	605	557	453
合計	9,885	11,540	10,816	9,872	9,442	9,361

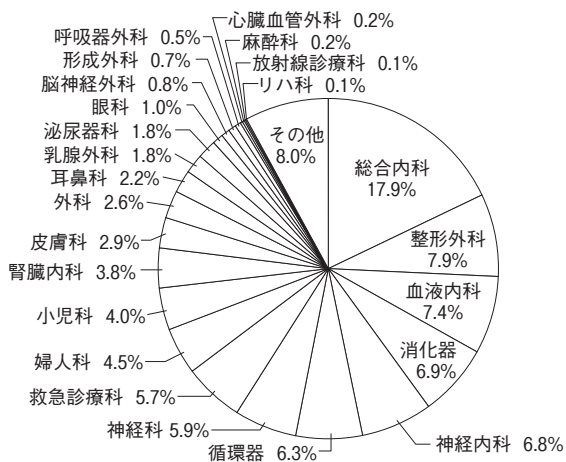
※2010年度～2012年度の神経内科は循環器内科に含む

※2. 2015年1月～ ※3. 2016年7月～ ※4. 2017年4月～ ※5. 2018年6月～

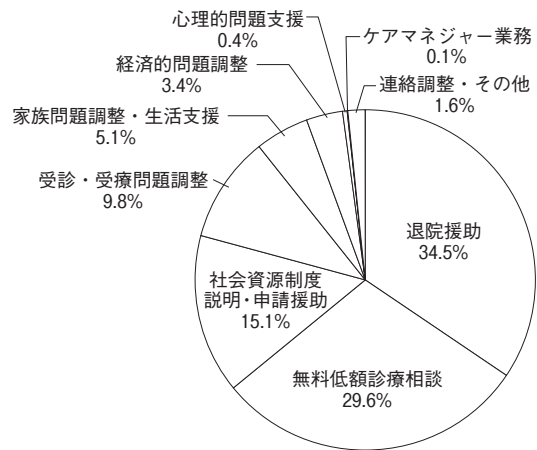
〈新規相談（紹介経路別）〉



〈新規相談（診療科別）〉



〈相談援助内容〉



登録医一覧(438名)

[敬称略](2019.3.31現在)

西 区	(医)天野医院	天野 良男
	(医)治生会 石村クリニック	石村 順治
	いとう消化器クリニック	伊藤 裕之
	いぬい小児科	乾 一郎
	近江眼科クリニック	近江 源次郎
	大谷クリニック	大谷 遷
	勝瀬クリニック	勝瀬 健
	耳鼻咽喉科 岸本医院	岸本 勝
	北川医院	北川 久能
	九間クリニック	九間 祥一
	河野外科	河野 実
	佐々木内科クリニック	佐々木 敏作
	下條内科クリニック	下條 信雄
	杉本眼科	杉本 英之
	坪井眼科	坪井 俊児
	ながお医院	永尾 尚子
	(医)敬詢会 永田医院	永田 昌敬
	(医)丹生医院	丹生 純一
	(医)長谷川耳鼻咽喉科	長谷川 進
	新町クリニック	濱田 和哉
	平山眼科クリニック	平山 優子
	(医)フジイ内科クリニック	藤井 繁樹
	阿波座診療所	藤井 省治
	藤田外科・胃腸科	藤田 宗行
	(医)弘清会 四ツ橋診療所	安井 潔
	(医)弘清会 四ツ橋診療所	安井 浩一
	(医)弘清会 四ツ橋診療所	安井 博規
	やまもとクリニック	山本 忍
	京町堀整形外科	牧野 正
	さかざきこどもクリニック	坂崎 弘美
	健クリニック	三木 基子
	木下皮フ科クリニック	木下 香里
	なかむら皮フ科	中村 敏明
	藤野歯科医院	藤野 明
	ほりかわ泌尿器科	堀川 直樹
	(医)三慧会 IVFなんばクリニック	森本 義晴
	奥町内科	奥町 富久丸
	かおるレディースクリニック	岡本 薫
	島野医院	島野 直人
	松浦内科クリニック	松浦 良和
	はらだこどもクリニック	原田 由利香
	渋谷内科クリニック	渋谷 孝裕
	藤本クリニック	藤本 聡
	くらし皮フ科クリニック	倉知 貴志郎
	医療法人天方会 AMA Clinic	天方 義人
	西長堀医院	則武 正三
	王内科胃腸科クリニック	王 康義
	(医)天野医院	天野 祥子
	(医)名山会 上杉医院	上杉 雄二
	(医)優昌会 本城整形外科	本城 昌
	ISクリニック	糸原 房宣
	みやざきクリニック	宮崎 裕子
	(医)佐々医院	佐々 成太郎
	(医)佐々医院	佐々 仁美
	大阪きづがわ医療福祉生活協同組合医療生協ながほり通り診療所	蒲生 健
	耳鼻咽喉科 さとうクリニック	佐藤 一雄

西 区	整形外科 おうクリニック	王 正道
	福中クリニック	福中 道男
	上嶋内科消化器科クリニック	上嶋 弾
	えのもとクリニック	榎本 準
	すぎた内科クリニック	杉田 潔
	(医)丹生医院	丹生 真理子
	四ツ橋 腎泌尿器科 こじまクリニック	児島 康行
	慶生会クリニック大阪	矢田 智恵
	曲渕ペインクリニック	曲渕 達雄
	ふじわら整形外科	藤原 桂樹
港 区	坂井医院	坂井 貴子
	九条サクラ診療所	吉田 賢哉
	じっしょう内科	實正 哲
	後藤こころのクリニック	後藤 康人
	北堀江奏でレディースクリニック	寺田 裕之
	めぐみ耳鼻咽喉科・アレルギー科	巽 恵美子
	生野内科クリニック	生野 善康
	大沢診療所	大澤 理
	大塚医院	大塚 頴宏
	香山医院	香山 仁志
港 区	(医)誠昌会整形外科くにしげクリニック	國重 昌彦
	塩見医院	塩見 啓二
	(医)鈴木医院	鈴木 稔也
	(医)龍神堂会 龍神堂医院	谷内 幹弘
	土田クリニック	土田 茂
	(医)三愛会 中山整形外科	中山 明
	(医)天斗会 中山医院	中山 富雄
	(医)前田診療所	前田 勉
	やながクリニック	彌永 邦彦
	(医)大和医院	大和 直久
港 区	(医)聖愛会山村耳鼻咽喉科	山村 聖眞
	古林内科	古林 芳範
	宮岡クリニック	宮岡 哲郎
	(医)西診療所	西 紀
	いはら内科	井原 義二
	笹尾医院	出雲谷 剛
	金谷内科医院	金谷 英夫
	北代診療所	北代 勇夫
	北代診療所	北代 修司
	松浦診療所	新井 孝和
港 区	(医)緑龍会 内藤医院	内藤 龍彦
	北村医院	北村 雅哉
	坂元内科クリニック	坂元 一夫
	(医)ほのぼの会にいつクリニック	新津 建樹
	(医)頼医院	頼 明信
	義元診療所	義元 徳祥
	(医)喜馬外科	喜馬 秀樹
	野洲クリニック	野洲 武司
	(医)小嶋整形外科	小嶋 博司
	島崎診療所	島崎 久美子
港 区	(医)大奈会 やすだ耳鼻咽喉科	安田 大作
	(医)堀井耳鼻咽喉科	堀井 睦
	谷内医院	石井 登志枝
	(医)信愛会大和診療所	大和 宗久
	西山眼科	西山 和夫
	みなと生協診療所	倉澤 高志
	金田クリニック	金田 眞一
	太田整形外科クリニック	太田 信彦

港 区	大阪医院	大阪 正視
	やぎクリニック	八木 隆
	賀来医院	賀来 清高
	喜多クリニック 弁天町クリニック	喜多 紀人
	しらはま内科クリニック	白浜 健太郎
	岸医院	岸 良治
	溝口内科	溝口 理映子
	山田医院	山田 卓
	徳寿会 金山記念クリニック	津久井 優
	しん眼科クリニック	秦 尚修
	社会福祉法人秀生会ザイオン診療所	中山 洋子
	(医)尚信会 整形外科 河村医院	河村 禎人
	医療法人社団悠久会 辻クリニック朝潮橋分院	辻 孝教
	(医)隆明会 やぎ眼科クリニック	八木 明恵
	大塚医院	大塚 欣敏
	澤田内科クリニック	澤田 光孝
	かもめクリニック	木下 啓太
	かもめクリニック	石本 英之
	かもめクリニック	中濱 瑛太郎
	歓義堂 小林医院	小林 紀男
	医療法人誠昌会 えさきクリニック(名称変更)	江崙 秀和
大 正 区	(医)光風会 江口医院	江口 隆
	石村整形外科	石村 俊信
	柿原医院	柿原 幸司
	(医)邦明会 榎原クリニック	榎原 秀一
	小正医院	小正 尚裕
	寒川医院	寒川 通洋
	(医)健人会 弘田医院	弘田 俊行
	藤吉医院	藤吉 庸雅
	(医)松原皮膚科医院	松原 爲明
	荘田診療所	荘田 静
	荘田診療所	荘田 容志
	(医)得伊会中山診療所	中山 秀雄
	横山医院	横山 正博
	にしもと耳鼻咽喉科	西幹 二郎
	西平診療所	西平 守也
	西平診療所	西平 香代
	北新会 藤原耳鼻咽喉科医院	藤原 隆行
	(医)良仁会 西村外科	西村 良彦
	船井医院	船井 俊彦
	加納レディースクリニック	加納 英男
	金城外科脳神経外科	金城 康夫
	五味クリニック	五味 正裕
	(医)明友会 安井整形外科クリニック	安井 明
	本山耳鼻咽喉科	本山 壮一
	(医)田辺耳鼻咽喉科医院	田邊 修一
	一ノ名医院	一ノ名 正
	(医)久志会 黒川眼科	志水 一夫
	ひらいけ内科	平池 豊
	足立医院	足立 俊之
	本山診療所	本山 忠
	(医)秀盛会 さくらクリニック	小松 重幸
	中川耳鼻咽喉科クリニック	中川 浩伸
	山北内科クリニック	山北 哲也
	山北内科クリニック	山北 直子
	中村医院	中村 義弥
	しまもとクリニック	島本 敬三
	しまもとクリニック	島本 里絵

大 正 区	(医)北村診療所	北村 彰英
	ほんしょう内科クリニック	本庄 尚謙
	アダチ眼科医院	郡 千栄
	大正ファミリークリニック	瓦林 佳子
	マツオ整形外科	松尾 澄治
	大阪きづがわ医療福祉生活協同組合 たいしょう生協診療所	鈴木 昇平
	よしむら整形外科	吉村 弘治
	山北整形外科	山北 真也
	大正すずらんクリニック	瓦林 令奈
	医療法人 西平診療所	西平 守和
此 花 区	(医)奥見診療所	奥見 敏彦
	栗栖医院	栗栖 孝臣
	(医)小山医院	小山 貴子
	(医)小山医院	小山 高澄
	(医)木本会 鈴木産婦人科	鈴木 勲
	(医)板東医院	板東 博志
	松井クリニック	松井 清明
	(医)徹生会 村上内科	村上 毅
	栗栖クリニック	栗栖 孝一
	谷本医院	谷本 尚穂
	はやしだ診療所	林田 嘉彦
	(医)森内科	森 滋喜
	大庭眼科医院	大庭 省三
	牧野レディースクリニック	牧野 滋
	柳本産婦人科医院	柳本 時廣
	(医)良純会朝日橋胃腸科内科小児科診療所	木下 隆弘
	こじまクリニック	小島 研太郎
浪 速 区	井上医院	井上 宏之
	竹中医院	竹中 秀裕
	(医)徳田クリニック	徳田 修
	(医)徳田クリニック	徳田 好勇
	橋村医院	橋村 直隆
	(医)檜山診療所	桧山 寛市
	本田クリニック	本田 秀明
	(医)薫鳳会 落合耳鼻咽喉科	落合 薫
	(医)菱川クリニック	菱川 秀夫
	沢井眼科	澤井 貞子
	佐久間医院	佐久間 靖博
	かねだクリニック	金田 高次
	小池クリニック	小池 洋志
	有田医院	有田 繁広
	木田内科消化器科クリニック	木田 徹
	えびす診療所	久保田 泰弘
	耳鼻咽喉科中村クリニック	中村 泰久
	桜川よしえクリニック	金子 良恵
	(医)泰仁会 やまぐちクリニック	山口 貴也
	おおの耳鼻咽喉科	大野 聡史
	(医)入野医院	入野 宏昭
	笹岡医院	笹岡 英明
	(医)理秀会 なんば南藤吉医院	藤吉 理夫
	川田医院	川田 信哉
	なんば山田クリニック	山田 郁子
福 島 区	(医)岡藤会 岡藤クリニック	岡藤 龍正
	(医)溜香会 あーべいんクリニック	池田 秀博
	中村クリニック	山本 昌弘
	(医)孝尽会 透析クリニック大正橋	杉浦 清史
	江頭医院	江頭 明盛
福 島 区	クダラ医院	百済 尊彦

福 島 区	猿渡レディスクリニック	猿渡 善治
	田仲循環器科・内科医院	田仲 輝光
	林クリニック	林 為仁
	松下医院	松下 正幸
	森山眼科	森山 穂積
	ちもりメディカルクリニック	千森 弘子
	よこいクリニック	横井 秀保
	あおやま医院	青山 晃子
	福島アイクリニック	桑山 泰明
	泌尿器科 やまなかクリニック	山中 幹基
	愛クリニック	上地 正雄
	(医)桜峰会本場診療所	八尾 宜明
	野田診療所	小濱 譲次
	(医)成基会 相坂クリニック	相坂 章爾
	中村クリニック	中村 幸生
	まさこレディースクリニック	霞 雅子
	くまだ内科・小児科クリニック	木畑 正彦
	中島小児科診療院	中島 滋郎
	医療法人臨研会 今川クリニック	福本 素由己
西 淀 川 区	高岡診療所	高岡 均
	辻診療所	辻 勝弘
	北野クリニック	北野 英基
	大和田診療所	藤原 久義
	いせき整形外科	井石 聡
	(医)福田診療所	福田 弥一郎
	じくはら医院	竺原 俊光
住 之 江 区	東口クリニック	東口 等
	岡村クリニック	岡村 弘光
	中島クリニック	中島 静一
	長谷川内科	長谷川 精一
	長谷川内科	長谷川 浩司
	はなのまちファミリークリニック	杉本 匡弘
	医療法人 桑江クリニック	桑江 秀樹
中 央 区 (東)	(財)洪庵記念会産婦人科くりにつくおがた	緒方 高志
	かただクリニック	堅田 明浩
	ながかわ 中之島クリニック	中川 晶
	(医)西川婦人科内科クリニック	西川 吉伸
	岩間クリニック	岩間 令道
	大阪婦人子供既製服健保組合 健康管理室	間島 行春
	船場森野クリニック	森野 高晴
	うづら医院	卯津羅 祥子
	(財)大阪府結核予防会 相談診療所	増田 國次
	大林組大阪診療所	森島 豊彦
	日本生命健康管理所	石神 真人
	(医)政明会 春次医院	春次 智三郎
	塩野義製薬本社診療所	秋岡 壽
	柴田耳鼻咽喉科	柴田 重太郎
	トミタクリニック	富田 忠宏
	(医)ラ・ウォール本町クリニック	瀧野 敏子
	(医)アクア アクアメディカルクリニック	石黒 伸
	しもむら本町レディースクリニック	下村 陽祐
	(医)紀映会 レディースクリニック北浜	奥 裕嗣
	(医)高折医院	高折 和男
	たがや内科	多賀谷 昌史
	本町 林クリニック	林 宏明
	こうむら女性クリニック	甲村 弘子
	山口あきこクリニック	山口 晶子
	大織診療所	藤原 大美

中 央 区 (東)	前久保クリニック	前久保 邦明
	森ノ宮胃腸内視鏡ふじたクリニック	藤田 実
	浅田診療所	浅田 洋造
	ウィメンズクリニック本町	藤野 祐司
	小川眼科	小川 憲治
	よどやばしメディカルクリニック	田中 基幹
	なかじまちあき内科クリニック	中嶋 千晶
	(医)今川医院	今川 得之亮
	岩佐クリニック	岩佐 厚
	イワサキ眼科医院	岩崎 直樹
中 央 区 (南)	大島内科医院	大島 久明
	大須賀内科	大須賀 康文
	小島クリニック	小島 昭重
	川崎皮膚科医院	川崎 紀彦
	さとう皮フ科クリニック	佐藤 誠紀
	さとう皮フ科クリニック	瀧北 知子
	(医)田中小児科医院	田中 祥介
	寺内クリニック	寺内 陽
	廣田整形外科皮膚科内科クリニック	廣田 龍二
	益田クリニック	益田 元子
	(医)岩佐診療所	岩佐 真人
	(医)福丸耳鼻咽喉科	福丸 昌宏
	松澤呼吸器クリニック	松澤 邦明
	みつもとレディースクリニック	光本 隆吉
	ふじたクリニック	藤田 富雄
	(医)松本内科クリニック	松本 淳
	すとうレディースクリニック	周藤 雄二
	(医)聖和会 早川クリニック	早川 謙一
	(医)聖和会 早川クリニック	早川 潤
	(医)大生會 さくま診療所	佐久間 航
	(医)大生會 さくま診療所	佐久間 知子
	安田クリニック	安田 光隆
	春木レディースクリニック	春木 篤
	寺内クリニック	寺内 勇
	河合皮フ科医院	河合 公子
	(医)東迎会 東迎クリニック	東迎 高意
	谷口レディースクリニック	谷口 幸一
	きむ医療連携クリニック	金 永進
旭 区	心斎橋いぬい皮フ科	乾 重樹
	(医)山田医院	山田 洋
	なんばくろとびハートクリニック	黒飛 俊哉
	うつのみやクリニック	宇都宮 健弘
	梅崎クリニック	梅崎 圭吾
	医療法人清水会 森小路清水会クリニック	左古 昌臈
阿 倍 野 区	(医)湖崎会 湖崎眼科	湖崎 亮
	(医)柏蔭会 柏原医院	柏原 紀美
	レディースクリニックさわだ	澤田 益臣
	れいこ眼科クリニック	杉本 麗子
生 野 区	岸田内科	岸田 泰弘
	(医)協同診療所	稲次 征人
	医療法人祐星会桃クリニック	後藤 克子
北 区	鈴木クリニック	鈴木 隆男
	(医)湖崎会 湖崎眼科アクテイ大阪分院	湖崎 亮
	(医)ケイズ会 茶屋町レディースクリニック	出田 和久
	南森町レディースクリニック	平井 光三
	小西統合医療内科	小西 康弘
	北中レディースクリニック	北中 孝司
	(医)裕弘会 堂山レディースクリニック	本間 裕朗

北 区	志村ウィメンズクリニック	志村 研太郎
	(医)三慧会 HORACグランフロント大阪クリニック	森本 義晴
	(医)聖授会フェスティバルタワークリニック	八木 美佐子
	天神橋ゆかこレディースクリニック	頼 裕佳子
	(医)豊仁会 荻野レディースクリニック	荻野 瑠美
	本出診療所	本出 肇
	田中内科	田中 裕也
	(有)阪神労働衛生コンサルタント 堂島サテライトオフィス	廣部 一彦
	江川メンタルクリニック	江川 功
	天満SORAクリニック	森田 哲史
	中之島フェスティバルタワー・さくらクリニック	苗村 敏
	ふくだあやレディースクリニック	福田 綾
住吉区	桂診療所	桂 勇人
城東区	(医)金井産婦人科	金井 万里子
	医療法人よつば会 クローバークリニック	荒木 良守
天王寺区	おおつかレディースクリニック	大塚 志郎
	夕陽丘 佐藤クリニック	佐藤 利彦
	ちかえレディースクリニック	田所 千加枝
	上本町ヒロミレディースクリニック	橋本 弘美
	おおさき内科クリニック	大崎 匡
	(医)池田クリニック	池田 光慶
	小出内科神経科	小出 泰道
	東産婦人科 眼科	東 芳賢
	宮原レディースクリニック	宮原 義良
	遠藤クリニック	遠藤 友一郎
	(医)瑞穂会 ともの木クリニック	三浦 一浩
西成区	腎・泌尿器科安本クリニック	安本 亮二
	(医)純和会 竹本診療所	八木 純
	イワタ医院	岩田 以津子
	医療法人ばばやクリニック	馬場谷 勝廣
東住吉区	山口クリニック	山口 時雄
	山田医院	山田 和彦
	にしかわクリニック	西河 潤
東成区	古武診療所	古武 敏彦
	大谷透内科	大谷 透
	山崎診療所	連 美知子
	(医)いながきレディースクリニック	稲垣 実
	中山医院	津久井 幾奴子
	中山医院	津久井 伸一
東淀川区	タツミ医院	巽 壽一
平野区	元林産婦人科内科	元林 和彦
	日野レディースクリニック	日野 晃治
都島区	祐クリニック	道清 勉
淀川区	(医)医誠会 新大阪医誠会クリニック	横田 甚
	希咲クリニック	山分ネルソン祥興
	かわばたレディースクリニック	河端 良一
	なかにしキッズクリニック	中西 康詞

大阪府内

池田市	やまだクリニック	山田 祥晴
	松崎産婦人科クリニック	松崎 昇
茨木市	大河内医院	大河内 寿一
	秋岡・西代医院	秋岡 壽
	(医)中尾内科クリニック	中尾 誠
	マキレディースクリニック	田中 善章
狭山市	たかはしクリニック	高橋 徹
柏原市	益弘産婦人科クリニック	益弘 和雄
岸和田市	(医)仁睦会 岡森医院	岡森 仁昭
堺市	小野クリニック	小野 晃範
	典子エンジェルクリニック	船越 典子
	清水レディースクリニック	清水 千賀子
	きららファミリークリニック	吉良 俊彦
吹田市	たてかわ内科クリニック	立川 豊吏
大東市	松下診療所	松下 和広
高槻市	なかにし産婦人科クリニック	中西 一吉
豊中市	(医)横野クリニック	横野 淑子
	(医)上宮医院	上宮 正直
	(医)直原ウィメンズクリニック	直原 廣明
	ふなこし呼吸器内科	船越 俊幹
寝屋川市	森田医院	森田 真也
東大阪市	(医)由仁会 岡本眼科	岡本 仁史
	(医)近藤医院	近藤 和秀
	永井医院	山崎 章子
	田路医院	田路 秀明
	西岡ファミリークリニック	西岡 宏彰
	医療法人三慧会 IVF大阪クリニック	福田 愛作
	西岡医院	西岡 良泰
	森産婦人科	森 政雄
	(医)弘和会 いわさきクリニック	岩崎 弘登
堺市	数尾診療所	数尾 展
	(医)平成会 平松産婦人科クリニック	平松 恵三
松原市	(医)光仁幸会 西本産婦人科	西本 関男
八尾市	きくちレディースクリニック	菊池 知之
	萩原クリニック	萩原 正久
	なかじまレディースクリニック	中嶋 康雄

大阪府外

奈良県	(医)久産婦人科・内科	久 靖男
	宇山内科クリニック	宇山 宏和
	(医)久産婦人科・内科	久 裕
兵庫県	田中泌尿器科医院	田中 雅登
	(医)社団 ふかみレディースクリニック	深見 和之
	黒田医院	黒田 昌男
	玉田クリニック	玉田 大介
	玉田クリニック	北村 哲宏
	風川医院	安田 雄紀

ニッセイ訪問看護ステーション

スタッフ 副看護部長：水上洋子（訪問看護ステーション管理者兼ケアプランセンター管理者）
（保健師・介護支援専門員）

常勤看護師：丸山洋子（介護支援専門員有資格）、酒井希代子（リンパ浮腫療法士）、
吉井好夏、渡部美沙

非常勤看護師：山内祐子、小森奈緒子、永田悦子、笹内 舞、久間田久美子、巽 陽子、
青木絵里子、小島加津代（介護支援専門員有資格）、濱田康美、
田 弓子（保健師・介護支援専門員有資格）

訪問リハビリ：片岡宏一郎、麦田盛穂、廣田将司、田中 孝、藤岡栄悟、白川 桂、安達幸恵、
井手康裕、泉本亮二（リハビリテーション室兼務・理学療法士）

1. 活動報告

2018年4月30日に日本生命病院の移転・改築を期に「ニッセイ訪問看護ステーション」と名称を変更し、事業所も病院の1階に移設した。地域医療支援病院併設の訪問看護ステーションとして、「予防から治療、在宅まで一貫した総合的な医療サービス」を提供するとともに、地域住民の暮らしを繋ぐ役割を担う医療者として、地域の行政、他機関、多職種と連携を図りながら、住民に寄り添う医療体制を整備し、地域から必要とされる看護が提供できるよう効率的で質の高い訪問看護を提供し、地域の人々の健康維持に努めた。

小児から高齢者まで、すべての年齢層を対象とし、医療依存度の高い利用者や、がん・非がんの終末期、認知症、精神疾患など重度化・多様化・複雑化する医療ニーズに対応するために、訪問看護師と訪問リハビリテーションが協働して自立機能の維持とQOLの向上に配慮した在宅療養の継続に努めた。

月平均利用者数は158名、月平均訪問回数は1,057件（リハビリテーション20件）であった。介護保険利用者は月平均98名（介護予防15名介護83名）、病状の悪化等により、特別指示書が発行された件数は月平均2件、医療保険利用者は月平均60名であった（図1・2）。

日本生命病院を主体としつつ、西区を中心とした西部医療圏において多くの医療機関や居宅介護支援事業

所と連携を図っている。指示書は日本生命病院を含め72医療機関、109名の医師から発行を受けている。（月平均：日本生命病院74名、他医療機関84名）

利用者の居住地は西区が最も多く、次いで港区、大正区の順であった（図3）。

日本生命病院との連携強化においては、あったかさポートセンターとの協働による切れ目のない医療・看護の提供に努めるとともに、救急体制充実による安全な在宅療養環境の整備及び在宅後方支援病院としての入院病床の確保などを行い、済生会全体として地域の在宅医療の推進に努めた。

また、安心して在宅療養が継続できるよう緊急時及び24時間体制を充実させ、急変時の対応や看取りを含めた在宅療養ができるよう、医療機関及び在宅療養診療所との連携を進め、在宅での看取り件数は14件/年であった。なお、介護保険利用者では、53%、医療保険利用者の48%が、24時間訪問看護と連絡が取れる契約をしている。

2. 訪問体制

1) 営業日及び営業時間

月曜日～金曜日：午前9時～午後4時（但し、国民の祝日、年末年始は除く）

また状況に応じては、主治医の指示に基づき、営

図1 保険種別割合
(n=158)

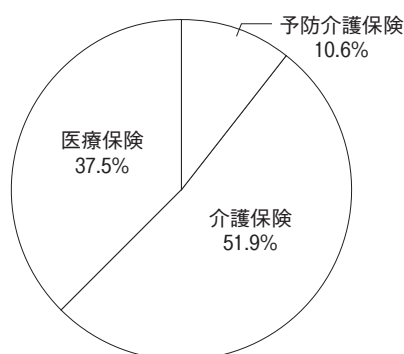


図2 要介護別利用者数
(n=83)

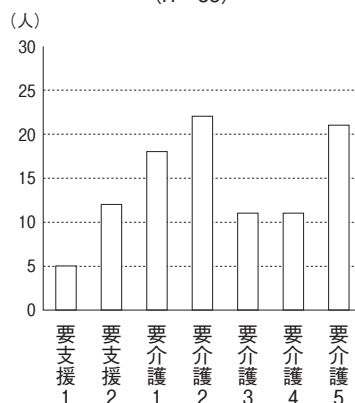
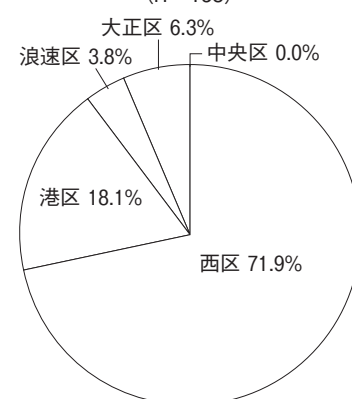


図3 利用者の居住地別割合
(n=158)



業日・時間以外も対応している。

希望者には電話等により24時間常時電話連絡が可能な体制を整備し、事業所の電話以外に法人契約の携帯電話2台で対応している。

2) 通常の実施地域

大阪市西区、浪速区、港区、大正区、中央区、福島区、此花区

概ね事業所より、半径3km圏内

3. 教育・相談活動

地域包括ケアシステムの構築に向け、教育機能、住民啓発、多職種連携機能に尽力した。

1) 教育機能

- ①看護学生の実習受け入れ：森ノ宮医療大学、大阪福祉専門学校、大阪医専
- ②日本生命病院看護部退院支援研修：講義及び訪問

看護ステーション実習

- ③大阪府訪問看護ステーション協会教育ステーション活動への協力

2) 住民啓発

- ①「認知症講演会」(西区認知症高齢者等高齢者支援地域連携事業)で相談事業実施

3) 多職種連携

- ①西区在宅医療連絡部会、西区在宅医療・介護連携相談支援事業、認知症等高齢者支援地域連携事業連絡会、認知症初期集中支援事業に参画し地域の高齢者施策へ貢献
- ②西区医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター等9団体の共催を得て、「認知症」と「看取り」をテーマにシンポジウムを2回開催した。(大阪府訪問看護ステーション協会推進ネットワーク補助金事業)

ニッセイケアプランセンター

スタッフ 管 理 者：水上洋子（保健師、介護支援専門員）（ニッセイ訪問看護ステーション管理者兼任）
常勤スタッフ：本家裕子（社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員）
（あったかサポートセンター医療福祉相談グループ副部長）
松栄優子（社会福祉士、介護支援専門員）
（あったかサポートセンター医療福祉相談グループ）

地域医療支援病院併設の居宅介護支援事業所として、医療ニーズの高い利用者への医療と介護と福祉の連携強化ができるよう地域の医療機関や介護サービス提供機関との連携を図り、「自立支援」と「尊厳の保持」を尊重し、要介護状態の悪化の予防と維持改善を図るケアプランの立案を行っている。

1. 活動状況

①がん末期や長期入院患者の在宅復帰や医療依存度の高いケースを引き続き担当し、ケアプラン契約者は月平均1名でケアプラン立案件数は月平均1件であった。

新規の相談に対し、対応困難な場合には、医療依存度及び在宅での生活状況に応じ、公平・中立性の高い適切な居宅介護支援事業所を選択し紹介した。

②入院から在宅療養へ円滑に移行できるよう、退院指導への関与や、「生活」を見据えた援助ができるよう病院看護師への退院支援の継続的な研修会を開催した。

③2ヵ月に1回の西区の居宅介護支援事業所連絡会への参加や、地域ケア会議、認知症高齢者の多職種連絡会への出席により、地域・施設内での情報の共有を図った。

看護部

スタッフ 看護部長：高鳥郁子
副看護部長：中西三季、前川明子
看護部調査役：町田恵子
7階病棟看護師長：阿部恭子
8階病棟看護師長：神谷香里
9階病棟看護師長：鈴木八枝子
10階病棟看護師長：島津庸子
集中治療室看護師長：木下園子
外来看護師長：久留明子
教育担当看護師長：田畑文子

11階病棟看護師長：岩本真澄
12階病棟看護師長：川端千里
13階病棟看護師長：酒井亜紀子
14階病棟看護師長：賀戸ひとみ
手術室看護師長：木下園子（併任）
救急外来看護師長：久留明子（併任）

1. 看護部の理念

（公財）日本生命済生会の基本理念『済生利民』に従い、一人ひとりの状態と立場と気持ちに沿った看護を提供します。

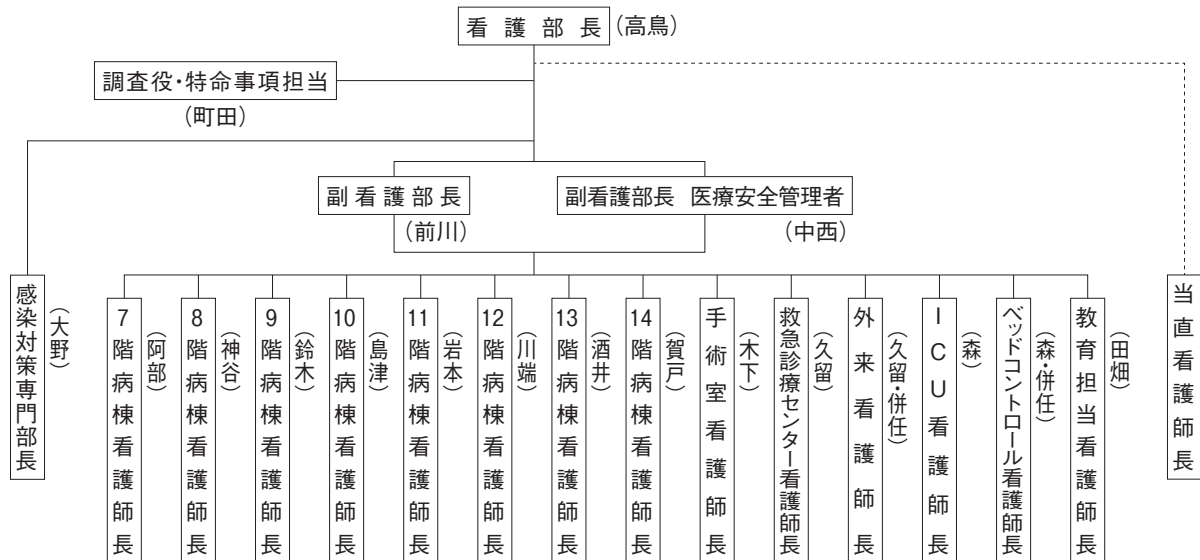
2. 看護部基本方針

- 1) 患者さんの生命の尊厳と人権を尊重し、心のこもった看護を提供します。
- 2) 患者さんの生活環境を整え、安全で確実な看護を

提供します。

- 3) 患者さんの視点に立って業務改善や効率化をはかり、個々の職務満足度を高めるよう努めます。
- 4) 専門職としての自己研さんに努め看護職の責務を果たします。
- 5) 地域医療に貢献する急性期病院としての役割を担い、地域住民から信頼される看護サービスの向上を目指します。

3. 看護部組織図



4. 2018年度看護部目標

2018年度は、4つの目標を掲げ、看護部委員会、看護師長会、次席師長会が中心となって活動した。目標及び計画立案にあたっては、前年度の活動の振り返りとともに、病院・看護部を取り巻く環境の変化等を考慮しSWOTクロス分析を用いて課題を抽出した。特に新病院のスタートとなる今年度は、各看護単位が連携、協働し新病院の運営に一致団結できることを意識して目標を立案した。また、個々の目標の達成基準、責任者（委員会）を明確にし、計画立案、中間報告、期末報告を通して達成状況を共有し、目標達成に向けて取り組んだ。

2018年度看護部目標

1. 診療機能の拡大に対応し、病院経営に参画する
 - 1) 看護の技術で算定できる診療報酬項目の明確

化と取得漏れ防止対策を周知徹底する

- 2) ルールに則った効率的なベッドコントロールを行う
- 3) 入院前から安心して治療を受けることができるよう、入退院支援の充実を図る
2. 医療チームメンバーから信頼される質の高い看護実践力を育成する
 - 1) カンファレンスの充実を図り、個別性のある看護過程を展開できるよう環境を整備する
 - 2) 院内認定制度の活用と拡大、リーダー看護師、中間管理者の実践力育成のため体制を整備する
 - 3) エビデンスに基づいたOJTを推進し、看護の質向上を図る
3. 各看護単位が連携・協働し、効率の良いチーム活動を推進する

- 1) 共通する看護業務マニュアルを作成し、看護業務の見える化を図る
- 2) DiNQLデータを活用し、医療安全体制を強化する
- 3) 外来、病棟の連携を促進し、相互に助け合う風土を醸成する
4. 日本生命病院の一員として、チーム医療を推進し患者満足の上昇を図る
 - 1) 多職種との連携を強化しチーム医療を推進する
 - 2) 患者ケアの充実及びOJTを促進し、患者満足、職員満足の上昇を図る
 - 3) 看護のやりがいを感じ生き生き働き続ける職場環境をつくる

5. 看護部の概要

施設基準：急性期一般入院料 1 7 : 1
 看護体制：二交代制（夜勤時間15時間）
 看護方式：固定チームナーシング
 継続受け持ち制（ペアナース制）

6. 看護職員数（2018年3月1日現在）

看護師：307名 助産師：15名
 看護助手：24名

7. 研修参加状況

- 1) 院内研修（別表）
- 2) 院外研修（別表）
- 3) 学会発表 5題

8. 看護学生実習受け入れ

- ・大阪保健福祉専門学校（3年課程）
 - 5月～7月（母性看護学） 10名
 - 5月～1月（成人看護学） 4名
- ・大阪府病院協会看護専門学校（3年課程）
 - 2月～3月（母性看護学） 9名
- ・甲南女子大学（4年課程）
 - 9月～12月（母性看護学） 70名
 - （成人看護学） 47名
 - 49名

- 6月～9月（助産学） 2名
- ・森之宮医療大学（4年課程）
 - 10月～2月（母性看護学） 15名
- ・関西医療大学（4年課程）
 - 10月～11月（母性看護学） 10名
- ・四條畷学園大学
 - 1月～2月（母性看護学） 5名
 - 8名
 - 1月～2月（成人看護学） 9名

9. 看護体験受入れ

- ・大阪府看護協会主催ふれあい看護体験 高校生 6名

10. 看護フェア

- 6月13日 約50名
- ・身体測定、アロマ・マッサージ、専門・認定看護師による看護相談、ミニレクチャー（BLS、認知症の方への関わり方）

11. 日本生命病院地域連携看護セミナー

今年度より、地域医療支援病院としてより一層の「地域との共生」を目指し、昨年度まで開催していた「日生看護研究会」を「日本生命病院地域連携看護セミナー」とあらため、地域の看護職者とともに学び研鑽できる場として専門・認定看護師を中心に企画した。

目的：地域における医療・介護の質向上のため看護が果たす役割を認識し、地域の看護者と情報を共有しともに研鑽する

対象：地域連携病院、近隣の訪問看護ステーション・介護支援センターなどの看護・介護職者、当院看護職員

- 第1回 10/25「在宅における疼痛マネジメントとケア」
がん性疼痛看護CN 小山佐知子 参加85名(院外41名)
- 第2回 1/31「糖尿病患者の食生活を支えるコツ」
糖尿病看護CN 角南ちえ子 参加51名(院外29名)
- 第3回 3/19「がん患者を支える家族へのかかわり」
乳がん看護CN 水越 梓 参加69名(院外2名)

12. 病棟状況

部署	定床	2018年度 平均患者数	病床稼働率	平均在院日数	2019年度看護師 配置数(3/1現在)	勤務人員(3月平均勤務人数)			平均夜勤回数
						深	日	準	
7階	41	31.6	77.2%	6.4	24(1)	3.5	8.8	3.4	4.6
8階	44	32.1	72.9%	8.5	23	3.2	7.8	3.2	4.6
9階	43	33.7	78.3%	14.7	25	3.2	8.0	3.2	4.6
10階	42	32.9	78.3%	9.2	22(1)	3.2	7.2	3.2	4.6
11階	43	34.5	80.3%	16.0	23	3.2	7.7	3.2	4.6
12階	44	36.2	82.3%	20.3	22(1)	3.1	8.4	3.1	5.1
13階	43	34.1	79.3%	14.4	23(1)	3.2	7.8	3.2	4.6
14階	42	32.5	77.3%	11.3	22(2)	3.2	8.1	3.2	4.5
ICU	8	2.1	26.6%	12.3	11(2)	2.0	3.7	2.0	5.2
外来 救急診療センター					35(21)				
手術					19(3)				
管理					10(1)				
計	350	269.7	77.1%	11.2	259(33)				

() パート

13. 専門・認定看護師活動

1) 感染症看護専門看護師 大野典子

2018年度は新病院に移転し、感染対策の見直し整備に重点を置いた。専門看護師、感染担当看護師として相談226件、教育・指導187件、調整472件(延べ数)、に介入し活動を行った。具体的な活動内容として、感染対策マニュアルの改訂や新病院移転後のマニュアルなどの妥当性の評価、感染対策システム導入後の定着に向けた取り組みを行った。

また、昨年度立ち上げた臨床倫理チームはカンファレンスの開催は1回にとどまったが、カンファレンスを開催するまでにはいたらない倫理調整事例が27件あった。

【院内活動】

- ①ICTリンクナースの会委員長
- ②広報委員会委員長
- ③研修講師 新人研修 感染管理
- ④看護研究指導
- ⑤感染対策委員会、安全衛生委員会、栄養給食委員会 (NST)、倫理委員会 (臨床倫理コンサルテーションチーム)、治験委員会

【院外活動】

- ①全国の小児病棟における感染性胃腸炎の実態調査, 秋原志穂 大野典子, 北海道科学大学紀要、2018年 第45号, 67-74
- ②厚生労働省行政推進調査事業補助金 (エイズ対策政策研究事業) HIV感染症及びその合併症の課題を克服する事業 (研究協力者) HIVサポーターリーダー養成講習 講師
- ③大阪教育センター附属高校 HIV/AIDS予防教育講師
- ④大阪市立東中学校 性感染症予防 講師
- ⑤大阪府看護協会短期研修 感染管理の基礎知識 講師
- ⑥大阪府看護協会短期研修 組織で取り組む感染管理 講師
- ⑦大阪医専 専攻授業 (感染症看護) 講師
- ⑧大阪府立大学大学院看護学研究科 感染看護学演習講師
- ⑨学会発表 アンチバイオグラム・抗菌薬適正使用ガイドライン作成前後の抗菌薬使用量と微生物検査の比較、第12回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会 (2019年3月, 大阪)
- ⑩学会参加 第34回日本環境感染学会総会 (2019年2月, 神戸) 第5回日本CNS看護学会 (2018年6月, 東京) 日本臨床倫理学会第6回年次大会 (2019年3月, 東京)

2) がん性疼痛看護認定看護師 小山佐知子

がんの告知の際に同席し患者、家族を支援する体制を構築。がん患者指導管理料1算定は3人の認

定看護師で200件、がん患者指導管理料2算定は73件であった。がん看護相談 (電話もしくは面談) 件数は66件であった。

緩和ケアチーム介入患者数は、164件。非がん患者は10件であった。がん患者の介入依頼時期は診断から治療前が9件、治療中57件、治療終了後が88件であった。

【院内活動】

- ①緩和ケアリンクナースの会
- ②院内研修講師 新人研修:「がん看護」

【院外活動】

- ①大阪府看護協会「がん症状緩和」講師
- ②四條畷学園大学:「症状緩和にむけた看護: 痛みのケア」講師
- ③症例発表 乳がん地域連携「がんの痛み緩和の実例」(2018年11月) 緩和地域連携:「痛みのある患者の生活を支えるケア」(2018年12月)
- ④学会参加 第23回日本緩和医療学会学術大会 (2018. 6, 神戸) 第33回日本がん看護学会学術大会 (2019. 2, 福岡)

3) 糖尿病看護認定看護師 角南ちえ子

糖尿病・内分泌センターにおいて外来患者療養支援、入院患者の末梢神経機能検査、フットケア指導などを行っている。また、主観病棟において、フットケア指導が行えるよう連携を図った。糖尿病・内分泌センター全体での実績は、総指導患者数1,890名で、指導加算該当は在宅療養指導337件、糖尿病合併症管理99件、糖尿病透析予防指導管理389件であった。また糖尿病・メタボ精査入院は24件実施した。

【院内活動】

- ①役割/委員会活動: 糖尿病・内分泌センター運営委員会、糖尿病チーム回診、糖尿病・内分泌センター勉強会、医薬品の安全管理ワーキンググループ
- ②研修講師: 新人研修:「インスリン療法」

【院外活動】

- ①症例発表 小野薬品工業 ライフセミナー:「4年間のウィークエンド糖尿病・メタボ精査入院を振り返る-看護師の視点から-」(2018. 9, 大阪)
- ②学会発表 第12回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (2019. 3, 大阪)「週末3日間の糖尿病教育/精査入院の試み」
- ③学会参加 第61回日本糖尿病学会年次学術集会 (2018. 5, 東京) 第23回日本糖尿病教育・看護学会年次学術集会 (2018. 9, 茨城) 第55回日本糖尿病学会近畿地方会 (2018. 11, 大阪)

4) 救急看護認定看護師 牧田佐和子

救急診療センターに所属し、救急来院した患者を迅速に病態把握して診察・処置・検査の介助を行い苦痛の緩和に努めている。また救急診療センターに来院する事は非日常であるため、患者や家族の精神的なケアも同時に行っている。病院内で起こった急変時には現場に駆けつけて、急変時処置・ケアがスムーズに行えるように病棟看護師と共に対応している。呼吸ケアチーム（RST）の一員として早期抜管が出来るように集中治療室看護師と協同してケアを行っている。

【院内活動】

- ①役割/委員会活動：当直・救急・集中治療室検討委員会、防災管理委員会、ACLS委員会、救急リンクナース、RSTチーム：人工呼吸器装着した患者に対し装着後4日以内にチームラウンドを行う
- ②研修講師
 - ・新人研修：「フィジカルアセスメント」
「急変時対応」
 - ・2年目研修：「ISBARCについて」
「気管挿管介助」
 - ・各病棟に月に1回のシミュレーション教育

【院外活動】

- ①看護協会主催：「短期研修BLS」
BLSインストラクター
- ②学会参加
第21回臨床救急医学会（2018.6, 名古屋）

5) 皮膚・排泄ケア認定看護師 田中敬子

褥瘡ハイリスク患者ケア加算取得に向けてリスクアセスメントの実施・褥瘡予防治療計画書の作成手順、カンファレンス・回診方法などシステムの構築を行い、3/25～仮稼働させた。褥瘡推定発生率は1.58%と昨年度より0.7%増加し、中でも医療関連機器圧迫創傷の発生が目立った。そのため医療関連機器圧迫創傷やスキンケアの予防と管理を追加し褥瘡対策マニュアルを改訂した。ストーマケアにおいては、当院でのストーマ造設術件数は13件、ストーマ外来は述べ153件あり、サイトマーキングとセルフケア獲得に向けた指導を行った。

【院内活動】

- ①役割/委員会活動：褥瘡対策委員会、褥瘡リンクナースの会、NSTラウンド
- ②研修講師
新人研修：「スキンケアの基礎 褥瘡の基礎知識と予防法」

【院外活動】

- ①（株）大黒ヘルスケアサービス主催、（社）日本オストミー協会共催「第5回ストーマケアセミナー」のインストラクター（2018年6月）
- ②学会参加
第20回日本褥瘡学会学術集会（2018.9, 横浜）

6) 手術看護認定看護師 二井千里

手術室にて手術を受ける患者に対し、手術外回り看護、器械だし看護を実践している。また、ハイリスク患者や不安の強い患者に対し、術前から看護介入し、周術期を通して看護を提供している。2018年度は術前看護外来38件、術前禁煙指導4件、術前栄養指導3件実施した。また脳神経外科新設にあたり、5月に「はじめてみよう脳神経外科看護」を企画・開催した。

【院内活動】

- ①委員会活動：現任教育委員会、入退院支援リンクナース会

【院外活動】

- ①日本手術看護学会近畿地区セミナー「地震対策」講師（2018.9）

7) 乳がん看護認定看護師 水越 梓

病棟看護師として勤務し、その中で入院中の乳がん患者の必要としているケアの実践・セルフケア支援を行っている。また、レディース病棟の乳がん看護の基礎知識やケア方法の習得と向上に向けてスタッフへの指導を行った。がん化学療法導入目的の乳がん、婦人科入院患者に対して脱毛ケアへのサポート支援に取り組んだ。

【院外活動】

- ①With you関西実行委員（2018年9月）
- ②学会参加
第26回日本乳癌学会学術集会（2018.5, 京都）
第33回日本がん看護学会学術集会（2019.2, 福岡）

8) がん化学療法看護認定看護師 大島千春

化学療法室で勤務し、がん化学療法を受ける患者の症状マネジメントやセルフケア支援を実践している。2018年度実績は、外来化学療法加算2,438件、加算なしを含めた総延べ件数2,663件の化学療法を行い、安全な投与管理に努めた。診断時の病名告知や治療方針変更の場面では、告知に同席しがん患者の精神的支援と意思決定支援を行った。がん患者指導管理料は、主に薬剤説明を担当し、106件/年実施した。またMSWと協働し患者サロンの定期開催を開始した。

【院内活動】

- ①役割/委員会活動：化学療法運営委員会、緩和ケアリンクナースの会：月1回
- ②研修講師：新人研修「がん化学療法と曝露対策」

【院外活動】

- ①With you関西2018あなたとプレストケアを考える会 ファシリテーター（2018.9）
- ②中外製薬セミナー講師「消化器癌のチーム医療」講師（2018.9）
- ③2018年11月 エーザイ乳癌地域連携講師
- ④学会参加
第16回日本臨床腫瘍学会学術集会（2018.7, 神戸）
第33回日本がん看護学会学術集会（2019.2, 福岡）

14. 看護部委員会活動

1) 現任教育委員会委員会 田畑文子

<2018年度目標>

- ①効果的なOJTを促進するために、その方策を検討・実施する。
- ②クリニカルラダーの各レベルに到達するための学習を支援する。
- ③院内認定の拡大のための計画と実施

<活動内容>

①院内研修

「経年別・役割別研修」として10コース（新人、2年目、3年目、4年目、5年目、臨地実習指導者、プリセプター、管理者、中途採用者、看護助手）、企画運営した。また、OJTを促進するために、研修実施後、研修結果を看護師長会や次席師長会で報告した。

②院外研修

看護協会や各学会等主催の専門性の高い研修や学会の紹介・諸手続き支援を通し、院外研修や関連学会への参加を促進した。

- ③クリニカルラダー、ラダー3の認定評価を施し、27名を認定した。IVナース レベルⅡの認定を実施し、31名を認定した。

2) 看護部経営改善委員会 森 エミ

<2018年度目標>

- ①重症度、医療・看護必要度の制度管理を行い、適正な評価が行えるようにする。
- ②指導料などの診療報酬の取り漏れを防ぐ。

<活動内容>

- ①2018年の必要度の改訂点を7月～8月に4回の院内研修を開催した。医師・薬剤師などの他部門も含め369名の参加があった。2018年度の重症度、医療・看護必要度は30%以上を維持する事ができた。
- ②診療報酬に関しては、看護師がかかわるものについて説明し、現場での取り漏れがないよう、また入退院支援加算など病棟の看護師が行うべきことは各部署のリンクナースを通じ伝達した。指導料・管理料などの診療報酬に計上された内容・件数をスタッフに周知し、カンファレンスなどの記録もれも防ぐようにした。新たに「呼吸器ケア加算」「人工肛門・人工膀胱造設術前加算処置」なども件数を計上した。昨年度と比較すると「摂食機能療法」737件「認知症ケア加算」4,361件「入退院支援加算」1,399件「緩和ケア診療加算」1,480件などと大幅に上回っており、指導管理料に対するスタッフの意識が高まった。

3) 看護記録委員会 神谷香里

<2018年度目標>

- ①状況に即した看護計画の立案ができる

②看護記録の適正化

<活動内容>

- ①看護基準に基づいた看護基準計画の修正、追加を実施した。带状疱疹（播種を除く）とめまいの2事例が追加された。次年度にも更に追加すべき計画があり、基準手順委員会と連携し継続して行く必要がある。状況に即した看護計画となるよう、看護計画の監査の実施を継続して進めてきた。看護計画の監査率は平均67.6%（前年比17.3%増）であった。監査が定着してきたと評価できるが、病棟によりばらつきがあるため差をなくしていく必要がある。
- ②新人に対して3回、3年目に対し1回看護過程の研修を実施した。入院1週間を越える症例に対し中間サマリー記載を促した。入院時からの看護の振り返り、退院に向けての看護につながるものが周知できてきたのでサマリー作成件数は増加傾向であった。今後も働きかけの継続が必要である。毎月の委員会で1例ずつテンプレートの記録について振り返りを行い、急変時や転倒時に書くべき事が適切に書けているか検討を行った。記録を共有し各部署に持ち帰ることでテンプレートの記録内容にも変化が見られるようになった。

4) 広報委員会 阿部恭子

<2018年度目標>

- ①日本生命病院のホームページを病棟毎にアップデートし更新する。
- ②看護フェア、夏休み子供医療体験などの行事を関連部署と協力し、企画運営評価する。

<活動内容>

- ①当院の看護部のホームページを認定・専門看護師と共に更新することは行えず、次年度への課題となった。
- ②6月13日に新病院移転後初めての看護フェアがあったかふれあいホールにて開催した。新病院の各部署の写真撮影をし、ポスター作成を行い掲示、各部署の特徴をアピールした。病院見学会・就職説明会に用いるパワーポイントを見直した。「当院を選んだ理由」「実際に働いてよかった点」について、2017年4月以降に就職した看護師63名を対象にアンケートを実施。結果を資料に反映させた。地域連携看護セミナーの会場準備や、地域の医療機関への広告郵送などに、今後、広報委員が専門・認定看護師と共に関わることを決定した。

15. 業績

論文・著書

- 1. 秋原志穂, 大野典子: 全国の小児病棟における感染性胃腸炎の実態調査, 北海道科学大学研究紀要, 45:67-74, 2018.

学会発表

1. 大野典子：地域包括ケアシステムと感染対策，第107回ニッセイ医学セミナーUpdate，2018年9月，大阪。
2. 金原瑞希，山川めぐみ佐伯翔子，有村真裕美，佐々木理恵，阿部恭子：助産師が外国人妊産褥婦との関わりで感じた困難とその対処，第59回日本母性衛生学会総会・学術集会，2018年10月，新潟。
3. 角南ちえ子，麦田盛穂，古久保有希子，出口暁子，倉本訓子，笠山宗正，住谷 哲：週末3日間の糖尿病教育/精査入院の試み，第12回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会，2019年3月，大阪。
4. 下山優子，大路瑞穂，木下園子：意識下で手術を受ける認知症高齢者へのエキスパートナースの関わり方と捉え方，第12回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会，2019年3月，大阪。
5. 下田里奈，北原早知江，越智茜，木下亜里：熟練看護師の持続点滴治療中の乳幼児のケアとその意図，第12回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会，2019年3月，大阪。
6. 木下亜里，越智茜，北原早知江，下田里奈：持続点滴を要する乳幼児の熟練看護師のケアとその意図，第12回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会，2019年3月，大阪。
7. 大野典子，池田久雄，平田貴宏，小西美香，松谷憲一，木下幹朗，村上輝明，佐藤智彦，浅野彰彦，赤木幹弘，小瀬戸昌博：アンチバイオグラム・抗菌薬使用ガイドライン作成前後の抗菌薬使用量と微生物検査の比較，第12回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会，2019年3月，大阪。

2018年度 看護部継続教育実績（院内）

研修会名	年月	内容	参加者数
新人研修	2018年 4 月	看護部理念・目標、看護部の組織、看護職の責任と役割、職業倫理、看護サービス	29人
	2018年 4 月	社会・地域に求められる当院の役割と機能	29人
	2018年 4 月	個人情報保護	29人
	2018年 4 月	看護部教育体制について	29人
	2018年 4 月	接遇・身だしなみ	29人
	2018年 4 月	報告・連絡・相談	29人
	2018年 4 月	院内感染対策指針・標準予防策	29人
	2018年 4 月	防犯・防災について	29人
	2018年 4 月	医療安全管理体制と安全管理の技術	29人
	2018年 4 月	看護記録	29人
	2018年 4 月	チーム医療とコミュニケーション	29人
	2018年 4 月	医療ガス	29人
	2018年 4 月	移動・移送・移乗・体位変換	29人
	2018年 4 月	静脈血採血	29人
	2018年 4 月	安全な薬剤管理	29人
	2018年 4 月	注射	29人
	2018年 4 月	標準予防策	29人
	2018年 5 月	フィジカルアセスメントの基礎	29人
	2018年 5 月	インスリン療法と看護	29人
	2018年 5 月	酸素療法、吸引、吸入	29人
	2018年 6 月	導尿・膀胱留置カテーテル	29人

研修会名	年月	内容	参加者数
新人研修	2018年 6 月	輸液ポンプ・シリンジポンプ	28人
	2018年 6 月	KYT	28人
	2018年 6 月	心電図の見方・アラーム対応	28人
	2018年 7 月	褥瘡のリスクアセスメントと褥瘡対策の基礎	27人
	2018年 7 月	重症度、医療・看護必要度	27人
	2018年 8 月	急変も怖くない・BLSを学ぼう	27人
	2018年 8 月	救急薬品について学ぼう	27人
	2018年 9 月	恐れずに多重課題に取り組もう！	27人
	2018年 9 月	メンタルヘルスとストレスコーピング	27人
	2018年 9 月	ベッドサイドの看護倫理	27人
	2018年 9 月	6 ヶ月振り返り研修	27人
	2018年10月	看護診断 情報収集から問題抽出	28人
	2018年10月	輸血時の看護	28人
	2018年11月	基礎から学ぶ人工呼吸器管理・人工呼吸器装着中の看護	27人
	2018年12月	麻薬の種類・用法の理解と主作用・副作用・管理	25人
2 年目研修	2018年12月	がん看護	25人
	2018年12月	がん化学療法と看護	25人
	2019年 1 月	1 年の振り返り	26人
	2018年 6 月	メンバーシップを学ぼう	19人
	2018年 7 月	実践でいかす看護診断	19人
	2018年 9 月	フィジカルアセスメント/ISBARC	19人
	2018年10月	急変を防ごう！急変時の対応を学ぼう！	19人
	2019年 2 月	看護過程事例検討	19人
3 年目研修	2018年 6 月	自分の役割の中で果たすべきリーダーシップとは	18人
	2018年 7 月	継続看護	18人
	2018年 9 月	個別性のある排泄ケアを学ぶ	18人
	2018年10月	事例を用いた看護診断の理解	18人
	2018年12月	ディベートをやってみよう	18人
	2019年 2 月	看護過程事例検討	18人
	2018年 8 月	アサーションで看護業務を円滑に	17人
	2018年11月	看護過程事例検討	13人
4 年目研修	2018年11月	看護過程事例検討	4人
5 年目研修	2018年11月	看護過程事例検討	4人
臨地実習指導者研修	2018年 7 月	臨地実習の原理と実際	9人
臨地実習指導者研修	2018年 8 月	現代の看護学生の気質とコミュニケーション。事例を通しての効果的な指導	9人
臨地実習指導者研修	2018年12月	看護学生との関わりを通しての学び	9人

2018年度 看護部継続教育実施状況（院外）

研修会名	年月	内容	参加者
大阪府看護協会短期研修	2018年6月	認知症高齢者の理解と看護実践	千嶋しおり 河村理香
大阪府看護協会短期研修	2018年7月	新生児の蘇生法	山下智美 金原瑞希
大阪府看護協会短期研修	2018年8月	みんなで取り組む業務改善 ポジティブマネジメントでチームの強みを活かす	大和由紀子
大阪府看護協会短期研修	2018年8月	救急・集中治療領域におけるクリティカルケア	近明日美 青地美香
大阪府看護協会短期研修	2018年9月	新入看護職員定着等のための交流会	新人全員
大阪府看護協会短期研修	2018年9月	医療安全対策委員会研修 つながろう 高めよう 医療安全	中西三季
大阪府看護協会短期研修	2018年9月	災害看護における初期医療支援活動	河村理香
大阪府看護協会短期研修	2018年9月	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	下山優子 小谷口早苗
大阪府看護協会短期研修	2018年9月	新人看護職員研修責任者研修	田畑文子
大阪府看護協会短期研修	2018年10月	高齢者の「食」を考える～肺炎を予防するための知識と実際	東 景子
大阪府看護協会短期研修	2018年10月	災害看護における初期医療支援活動	東 景子
大阪府看護協会短期研修	2018年10月	2018年度医療安全管理者養成研修	島津庸子 川端千里
大阪府看護協会短期研修	2018年11月	施設における教育計画の考え方	桂 千尋 青地美香
大阪府看護協会短期研修	2018年11月	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	柱本明子 篠部 郁
大阪府看護協会短期研修	2018年12月	体験して学ぶ人工呼吸器装着患者の看護	鈴木あかね
大阪府看護協会短期研修	2018年12月	実践に活かす小児救急	北原早千江 柱本明子
大阪府看護協会短期研修	2019年1月	医療・看護場面で使う英会話①	大畠千春 大谷仁美 鈴木八重子
大阪府看護協会短期研修	2019年1月	第3回災害支援ナース対象研修	湯峯里恵
大阪府看護協会短期研修	2019年2月	大人の発達障害	木下園子
大阪府看護協会短期研修	2019年3月	セカンドレベルサードレベルフォローアップ研修	木下園子

看護部 長期及びその他の研修

主催	日程	研修名	参加者
大阪国際がんセンター	9月14日 10月12日 11月9日 12月14日	看護師に対する緩和ケア研修会	金藤奈緒子
日本経営協会	9月28日	看護部門のための人材育成ビジョンに基づく効果的な研修構築の手法	田畑文子
西支部研修	9月12日	大規模地震への備え	鈴木八重子 溝辺由美
一般社団法人病院協会	11月2日 9日 12日 15日	2018年度看護職員実務者研修 循環器病総合コース	上村優子
甲南女子大学	11月23日	看護職者の成長を支援する講座 第1講	田畑文子 阿部恭子
宝塚大学 シャトル研修	12月8日	アサーティブ・トレーニング	藤原亜衣 佐竹みどり
医療情報システム研修会	2月2日	看護業務を支援する情報システム「ICTによる看護師の働き方改革」	阿部恭子 酒井亜紀子 森 エミ 島津庸子 久留明子 賀戸ひとみ 前川明子
大阪府看護部会長	2月4日	法律家から見た今後の終末期医療の考え方	高島郁子 鈴木八重子

ニッセイ予防医学センター

スタッフ センター長：中村秀次

副センター長：湯川雅彦（消化器内視鏡センター長）、大山摩佐子

担当部長：住谷 哲（糖尿病・内分泌センター長）

常勤医師：藤岡滋典（特任顧問）、泉 由紀子、河面 聡、眞弓周子、永田彩織、
佐藤文三（特別顧問）

1. 2018年度の概要

2018年4月30日に新築開院した日本生命病院に移転し、病院の3階に旧施設の約1.5倍の広さの1フロアの健診センターとして再出発した。4～5月は移転に伴い人間ドック予約数を制限したが、6月からは本格稼働となり、人間ドック受診者総数は14,437名に達し、対前年度1,143名増と引き続き大きな伸びを示した（表1）。定期健診受診者も38,250名と前年度より2,069名増と大幅に増加した。健診受診後のフォロー強化に取り組み、1ヵ月後フォロー体制を確立するとともに、3ヵ月フォローのデータベース化を継続し、データの蓄積を行っている。また、治療・精検の必要症例に対して、人間ドック受診当日に日本生命病院への紹介予約を積極的に行うとともに、夕刻診療へも積極的に誘導し、日本生命病院全診療科への紹介数は1,403名であった。

健診の質および快適な受診環境の維持・向上を目指して、専門医師による診察、内視鏡検査、読影、診断、およびダブルチェック体制を維持し、看護師による専門的なケア、保健師による指導、放射線技師、生理検査技師による専門的検査を行うようにしている。また新築移転に伴い人間ドックの午前3診体制を平日毎日実施するとともに、協会けんぽを対象とした午後健診を週3日実施した。更に、繁忙期の人間ドック運営体制を強化し、土曜日2診運営を6、7月に月1回実施し、需要増に対応した。胃カメラの旺盛なニーズに対して、新病院での内視鏡センター内での胃カメラ実施として1日3レーン体制とし、検査枠を28名まで拡大するとともに、鎮静下内視鏡・経鼻内視鏡増にも対応した。当センターの特徴である女性に優しい健診施設としての特色をより充実させるため女性医師による婦人科健診を平日毎日実施するとともに、レディースデイを月2回、2診体制としている。また、ハッピーマンデーの休日ドックを年2回、1月と9月に1診体制で実施した。メンタルヘルスサポート事業では、ストレスチェック義務化の3年目として、産業医受託企業を中心に35社、1万名弱のストレスチェックを実施し、そのうち4社で集団分析を実施し報告した。精神科医師、臨床心理士によるコンサルテーションも実施し、メンタルサポート体制をより充実させ、産業医も含めてストレスチェックの実績は着実に積みあがっている。また、主要な産業医受託企業に対して人間ドック、健診結果を分析した「健康経営サポート情報」への提供も継続した。一方、受診者アンケートを毎日実施し、結果を毎週検討して、受診者の声を積極的に反映させるようにして、接遇の改善と待ち時間の短縮な

ど受診当日の運営体制の改良を随時行い、CSの向上に常に努めている。受診者のリピート率の向上を目指しており、2018年度は人間ドック全体で75.8%であった。

社会福祉事業として、児童福祉施設を中心として17施設、入所者約1,464名を対象として無料低額健診を継続実施した。また、8月に母子家庭に対する公募方式による無料乳がん検診を引き続き実施し、25名の方が受診された。

学会活動として人間ドック学会に1題発表した。更に、各医師が専門領域の学会（消化器病学会、肝臓学会、糖尿病学会）で発表した。

2018年度人間ドック受診者の解析結果を以下に示す。人間ドック受診者の要治療率、要精密検査率は総計で11.5%、53.4%であり、昨年度とほぼ同率であった。年代別、性別の要治療（D1）率、要精密検査（D2）率を表2に示す。要治療率は今年度も男性より女性で2%高く、40歳未満では7.6%であるが、40歳以上では12%以上となるも、50歳代では10%弱と低下した。40～50歳代の女性では要治療率が最高の14%を示した。要精密検査率では男性では40歳以下では42%であったが、年齢とともに増加し、50歳以上では50%を超え、60歳以上で62%に達した。女性では要精密検査率は40歳未満でもほぼ50%を示し、やはり年齢とともに上昇するも、60歳以上では男性より低値となり61%であった。要治療（治療中を含む）、要精密検査項目の男女別の上位5項目を表3に示す。要治療では、男性はTop5すべてが今年度も生活習慣病であり、1～3位は昨年と同じで、1位は高血圧で22%、2位は高コレステロール血症で17%、3位は高中性脂肪14.5%で、昨年よりやや増加した。今年度4位は糖尿病10%で、高尿酸血症と入れ替わった。一方、女性でも、1～4位は昨年と全く同じで、高コレステロール血症、高血圧、高中性脂肪であり、4位の血液疾患は主として貧血であった。5位が糖尿病から眼科疾患に入れ替わった。高尿酸血症は男性で10%で5位に入ったが、女性では少なかった。飲酒の影響と思われる。要精密検査では、眼科疾患が男性で1位21%、女性で2位17.2%で、昨年とほぼ同率であった。肝機能異常が男性では2位16.8%であった。女性では、潜血尿が大部分を占める腎尿路系が昨年より3%低下し16%で1位となり、婦人科疾患、乳腺疾患がやはり3位、5位を占めたが、女性特有の疾患の異常は18.4%となり、昨年より5%低下した。便潜血陽性は男女ともに4位となり7～10%であり、呼吸器疾患は男性では5%で5位に入った。

精度の高い健診に努め、悪性疾患の発見は、現在把

握できている範囲で26名（0.18％）であった。胃がん5例、腎がん4例、前立腺がん4例、大腸がん3例、肺がん3例、膵がん、胆のうがん、子宮がん、卵巣がん、乳がん、甲状腺がん、神経鞘腫、各1例であった。D1、D2判定者で健診精査内科および日本生命病院各診療科に紹介した人間ドック受診者の内訳を表4に示す。各専門診療科の協力により病院の受診者数は増加した。消化器内科、総合内科、眼科、産婦人科、乳腺外科、循環器内科が上位を占めた。院外も含めた再検率は35.9％と、昨年より5％上昇した。精密検査の確実な実施を含めたD1、D2フォロー体制を強化するため、1ヵ月後フォローの実施と3ヵ月フォローの複数回勧奨を定着させ、人間ドック診察説明時の対応も工夫し、要治療要精検者の病院受診率の向上に努めている。

表1 定期健康診断・人間ドック受診者数(運営会議資料抜粋)

	2018年度	対前年	備考
定期健康診断	38,250人	106%	
人間ドック (日帰り)	8,006人	108%	標準コースの 人間ドック
人間ドック (生活習慣病)	6,299人	109%	協会けんぽなどの 簡易ドック
専門ドック (脳・肺ドック)	132人	138%	
人間ドック 合計	14,441人	109%	

表2 日帰り人間ドック受診者の年齢別、性別の要治療項目と要精密検査項目の頻度

	要治療項目 (D1)					
	男		女		全体	
39歳以下	8.3%	31人	6.9%	30人	7.6%	61人
40～49歳	10.7%	120人	14.0%	186人	12.5%	306人
50～59歳	11.8%	179人	14.0%	190人	12.9%	369人
60歳以上	8.9%	95人	10.7%	90人	9.7%	185人
総計	10.4%	425人	12.5%	496人	11.5%	921人

	要精密検査項目 (D2)					
	男		女		全体	
39歳以下	42.0%	157人	49.2%	213人	45.8%	370人
40～49歳	46.1%	518人	50.9%	676人	48.7%	1,194人
50～59歳	53.6%	810人	54.5%	739人	54.0%	1,549人
60歳以上	61.9%	664人	61.0%	514人	61.5%	1,178人
総計	52.6%	2,149人	54.1%	2,142人	53.4%	4,291人

※健診システム（タック）より日帰り人間ドックコースのみ、判定D1（要治療）、D2（要精密検査）を抽出
 %は年齢別要治療・要精密検査数／年齢別全受診者数×100
 総計の%は性別総計数／全受診者数×100

2. 業績

学会発表

- 河面 聡、佐藤彩織、真弓周子、泉 由紀子、大山摩佐子、住谷 哲、藤岡滋典、佐藤文三、中村秀次：人間ドック経年受診者における生活習慣病関連項目の以上数の推移の検討、第59回人間ドック学会学術大会、2018年8月、新潟。
- 大山摩佐子：ヘリコバクター・ピロリ菌周辺の過去・現在・未来、第108回ニッセイ医学セミナーUpdate、2018年10月、大阪。

研究会発表

- 中村秀次：B型慢性肝炎治療の現況と今後-病診連携をふまえて-、第5回あわぎ肝疾患病診連携懇話会、2018年10月、大阪。
- 中村秀次：肝がん治療のこれまでもこれから～治療戦略の変革～、第1回TN消化器ミーティング、2019年1月、大阪。
- 中村秀次：C型肝炎治療の最新情報-透析患者の予後改善をふまえて-、透析患者のC型肝炎ウイルス肝炎対策を考える会、2019年2月、大阪。

表3 性別による要治療（治療中含）・要精密検査の上位5項目（日帰り人間ドック受診者）

男性 要治療項目 (D1)				男性 要精密検査項目 (D2)			
1	高血圧	22.1%	896人	1	眼科疾患	21.0%	838人
2	高コレステロール血症	17.1%	692人	2	肝機能疾患	16.8%	682人
3	高中性脂肪血症	14.5%	587人	3	腎・尿路疾患	9.5%	385人
4	糖尿病	10.1%	411人	4	肛門・大腸疾患	9.3%	365人
5	高尿酸	10.0%	406人	5	呼吸器疾患	5.3%	214人

女性 要治療項目 (D1)				女性 要精密検査項目 (D2)			
1	高コレステロール血症	16.6%	542人	1	腎・尿路疾患	16.0%	627人
2	高血圧	12.0%	392人	2	眼科疾患	17.2%	567人
3	高中性脂肪血症	11.1%	358人	3	婦人科疾患	12.8%	504人
4	血液疾患	6.0%	196人	4	肛門・大腸疾患	7.4%	291人
5	眼科疾患	4.8%	156人	5	乳房疾患	5.6%	221人

※各検査項目の数値・判定より抽出（センター医師による判断）
 要治療・要精密検査検査項目は治療中Eを含む
 %は各検査要治療受診者数／各検査受診者数×100 %は各検査要精密検査受診者数／各検査受診者数×100

表4 要治療・要精密検査判定者の日本生命病院への紹介（運営会議資料より抜粋）

総数	1,403人		
消化器内科	434人	乳腺外科	100人
内視鏡センター	9人	循環器内科	89人
総合内科	269人	健診精査内科	50人
眼科	266人	腎臓内科	36人
産婦人科	125人	泌尿器科	25人

表5 2018年度 人間ドック・協会けんぽリピート率

	前年リピート数	リピート率
人間ドック（日帰り）	5,439人	67.9%
協会けんぽ（生活習慣病）	5,269人	83.6%

※リピート率は前年リピート数／人間ドック（協会けんぽ）総受診者数×100

1. 日本医師会生涯教育講座カリキュラム

〈放射線診断・IVR科〉

月 日(曜日)	時 間	場 所	カリキュラムの内容	担当者氏名 (部署名)
11月1日(木)	14時00分～15時00分	会議室 2	心臓のCT (冠動脈検査を中心)	内藤博昭 (放射線診断・IVR科)
11月8日(木)	14時30分～15時30分	読影室 1	胸部単純X線とCT	前田宗宏 牧 大介 (放射線診断・IVR科)

2. 日本生命病院医学セミナーUpdate

開催月日	テ ー マ	講 師		参加人数
2018年6月8日	Minimally Invasive Surgery ～婦人科腫瘍最前線～	産婦人科 部長	橋本奈美子	73名
2018年7月6日	最近の脳神経外科学の進歩	脳神経外科 部長	田村和義	54名
2018年8月3日	下肢静脈瘤に対する治療方針と 手術療法について	心臓血管外科 部長代行	新谷 隆	90名
2018年9月7日	地域包括ケアシステムと感染対策	感染症看護専門看護師	大野典子	81名
2018年10月5日	ヘリコバクター・ピロリ菌周辺の 過去・現在・未来	予防医学センター 副センター長	大山摩佐子	88名
2018年11月2日	認知症の診断	脳神経内科 部長代行	仁科拓也	69名
2018年12月7日	「ダヴィンチ」を用いた前立腺癌手術的 治療 ～ロボット支援内視鏡手術～	泌尿器科 部長	福井辰成	75名
2019年1月11日	乾癬治療の進歩と臨床治験の役割	副院長兼皮膚科部長 日本臨床薬理学会認定CRC 臨床研究管理室事務局薬剤師	東山真里 谷口真理子 六車裕一	55名
2019年2月1日	知っておきたい移植医療 ～肺移植の適用について～	副院長兼総合内科部長	立花 功	36名
2019年3月8日	研修医でも出来る乳がん治療	乳腺外科 部長	西田幸弘	58名

3. 1年目研修医オリエンテーション

日 程	研修項目	講 師
4月2日	研修医の就業規則、入会書類説明、その他	総務人事G
	説示	笠山院長
	4月オリエンテーション説明	臨床研修部 立花副院長
	入会式・オリエンテーション	三好事務長、総務人事G
	研修プログラム説明	臨床研修部 立花副院長
	進発式及び懇親会	総合企画部・総務人事G
4月4日	院内感染対策指針など	看護部 大野専門部長・ 各部署感染リンクナース
	災害・防災について	施設管理担当者・前川副看護部長
4月5日	医療安全管理体制と安全管理の技術	看護部 町田調査役
	ローテーション決定、死亡診断書、その他	臨床研修部 立花副院長
	抗菌薬適正使用	中央臨床検査部 小瀬戸部長
4月6日	自己紹介	看護部 木村次席
	社会人基礎力・チーム医療とコミュニケーション	看護部 田畑師長
4月7日	医師会パーティー	大阪府医師会
4月10日	静脈血採血 簡易血糖測定	看護部 木村次席・田畑師長
4月11日	点滴静脈内注射 輸液ルート 等	看護部 木村次席・田畑師長
	相手の立場に立ったコミュニケーション	
	院長回診	笠山院長
	感染経路別予防策	看護部 大野専門部長
4月12日	電子カルテ基本操作	情報システム G
	カルテ記載、病歴管理、文献検索等	診療情報管理室 浅野部長・宮本課長
4月16日	病診連携	あったかサポートセンター 澤田部長
	リハビリ依頼について	リハビリテーション科 片岡副技師長
4月17日	薬剤処方	薬剤部 古久保主任
4月18日	造影CT検査	放射線診断・IVR科 前田部長
	栄養指導	栄養管理室 出口副部長
4月19日	剖検、CPC	病理診断科 城光寺部長代行
	検血、生化学、輸血など	中央臨床検査部
	生理機能検査、心エコーの基礎	
	腹部超音波検査など	
	細菌検査、病理検査室	
4月20日	救急診療	救急診療科 岸部長
	時間外診療について	臨床研修部 中川部長
4月23日	レセプト、医療費など	医事サービス部 村上担当部長
	退院支援・医療福祉相談	あったかサポートセンター 本家副部長

4. 実習生等受け入れ

部門	学校名	期間	人数
総 合 内 科	大 阪 大 学	2018.6.4～2018.6.15	1 名
		2018.11.19～2018.11.22	1 名
		2019.2.25～2019.3.1	2 名
血液・化学療法内科		2018.7.2～2018.7.13	2 名
神経科・精神科		2018.10.29～2018.11.9	2 名
		2018.10.1～2018.10.4	3 名
皮 膚 科		2018.10.1～2018.10.1	2 名
血液・化学療法内科	兵 庫 医 科 大 学	2019.2.12～2019.2.22	1 名
		2019.3.11～2019.3.22	1 名
形成再建外科		2019.2.12～2019.2.22	1 名
		2019.2.25～2019.3.8	1 名
		2019.3.11～2019.3.22	1 名
脳神経内科(神経内科)	大 阪 医 科 大 学	2019.6.4～2019.6.29	2 名
神経科・精神科	武庫川女子大学	2018.10.2～2018.12.18	1 名
循環器内科	愛 知 医 科 大 学	2018.12.10～2019.1.18	1 名
消化器内科	神 戸 大 学 医 学 部	2019.1.28～2019.2.22	3 名
麻 酔 ・ 緩和医療科	大 阪 府 医 師 会 (救急救命士気管挿管実習)	2019.1.7～2019.3.4	2 名
リハビリテーション室	大 阪 リ ハ ビ リ テーション専門学校	2018.6.11～2018.8.3	1 名
	白 鳳 短 期 大 学	2019.1.15～2019.2.8	1 名
	大 阪 医 専	2018.6.4～2018.6.28	1 名
	藍 野 大 学	2018.9.3～2018.10.27	1 名
		2018.11.12～2018.12.8	1 名
	関 西 医 療 学 園 専 門 学 校	2019.2.25～2019.3.16	1 名
中 央 臨 床 検 査 部	大 阪 医 療 技 術 学 園 専 門 学 校	2018.4.3～2018.9.6	2 名
	森ノ宮医療大学	2018.10.1～2018.11.30	1 名
	関 西 医 療 大 学	2018.10.15～2018.12.14	2 名
栄養管理室	大手前栄養製菓学院専門学校	2018.8.20～2018.8.24	2 名
		2018.8.27～2018.8.31	2 名
	相 愛 大 学	2018.10.29～2018.11.9	2 名
		2018.11.12～2018.11.23	2 名
	大 手 前 大 学	2019.1.21～2019.2.1	2 名
	甲 子 園 大 学	2018.7.2～2018.7.13	2 名
		2018.7.17～2018.7.30	2 名
	羽 衣 国 際 大 学	2019.3.4～2019.3.15	2 名

部門	学校名	期間	人数
薬剤部	京都薬科大学	2018.8.6～2018.10.28	1名
		2018.11.5～2019.1.27	1名
	摂南大学	2018.8.6～2018.10.28	1名
	武庫川女子大学	2018.8.6～2018.10.28	1名
		2018.11.5～2019.1.27	1名
看護部	兵庫医科大学薬学部	2018.11.5～2019.1.27	1名
	神戸薬科大学	2018.11.5～2019.1.27	1名
	大阪府病院協会看護専門学校	2019.2.4～2019.3.13	14名
	森ノ宮医療大学	2018.10.15～2018.10.19	5名
		2018.12.17～2018.12.21	5名
		2019.2.18～2019.2.22	5名
	大阪保健福祉専門学校	2018.6.26～2018.7.12	5名
		2018.8.6～2018.8.21	5名
		2019.1.16～2019.1.31	4名
	甲南女子大学	2018.6.18～2018.7.27	2名
		2018.8.20～2018.9.28	2名
		2018.9.4～2018.12.20	49名
		2018.9.4～2018.12.21	47名
	四條畷学園	2019.1.8～2019.1.17	4名
		2019.1.22～2019.1.30	4名
		2019.1.29～2019.2.13	9名
	関西医療大学	2018.10.30～2018.11.21	10名
	神戸市看護大学	2018.11.8	1名

5. 講演会・研修会

【院内職員対象】

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
6月21日	認知症対応力研修 「認知症高齢者のその人らしさを支援した病院作り ～チームで取り組む認知症ケア～」 老人看護専門看護師 長瀬 亜岐	看護部	あったか ふれあい ホール
7月24日 他 3回	重症度、医療・看護必要度研修	看護部	あったか ふれあい ホール
7月27日	臨床倫理セミナー 「当院の臨床倫理カンファレンス事例から倫理的問題を考える」 大阪大学大学院 古結 敦士	倫理委員会	5階 大会議室
9月13日	医療安全研修 「患者満足を生む患者アプローチ ～させない！ つぐらない！モンスターペイシェント～」 岐阜大学医学教育開発センター 教授・センター長 藤崎 和彦	医療安全管理委員会	あったか ふれあい ホール
10月2日	院内感染対策委員会教育講演会 「抗菌薬適正使用についての必要な豆知識 ～注射用抗菌薬と内服抗菌薬～」 大阪警察病院 感染管理センター長 水谷 哲	感染対策委員会	あったか ふれあい ホール
10月12日	接遇研修会 「接遇マナースキルアップ研修 Part 3」 野口 好美	看護部 日新会 教育委員会 総務人事G	あったか ふれあい ホール
10月23日	人権研修会 「患者との協働で築く医療」 NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口 育子	教育委員会 総務人事G	あったか ふれあい ホール
11月22日	人事評価研修会 「人事評価について」 事務局長 金尾 文隆	教育委員会 総務人事G	あったか ふれあい ホール
11月28日 他 9回	院内感染対策委員会（ICT）第39回教育研修会 ①ビデオ研修：「事例から学ぶ針刺し・切創、 血液・体液曝露の脅威」 ②注射手技の実習：安全防止器具を用いた演習	感染対策委員会	あったか ふれあい ホール
12月27日	施設基準に係る職員向け研修会 ①保険診療に関する研修 ②総合評価加算に関する評価方法	医事サービス部 脳神経内科	あったか ふれあい ホール
12月11日	医療ガスの安全な取り扱い研修会 「病院医療ガス設備の基礎と災害対策について」 エア・ウォーター防災株式会社 「医療用ガスの取り扱い方」 株式会社 馬場酸素	医療ガス安全管理委員会	あったか ふれあい ホール
1月24日	医療安全研修 ①平成30年レポート報告 医療安全管理者 中西 三季 ②有害事象報告制度と医薬品安全管理ワーキング報告 薬剤部 副部長 足立 充司 ③急変時に使用する人工呼吸器・除細動器について 臨床工学室 高山 理恵 ④医療安全全般ワーキング活動報告～医師指示の標準化～ 血液・化学療法内科 部長 川上 学 ⑤転倒転落防止ワーキング活動報告 ～転倒転落防止策の現状～ 整形外科 部長 毛利 年一	医療安全管理委員会	あったか ふれあい ホール

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
1月27日	I 第38回 看護研究発表会 ①「免疫抑制剤内服中の患者への感染予防行動についての調査」 13階病棟 山田 あゆみ ②「循環器内科・腎臓内科の慢性疾患患者の服薬への意識調査」 14階病棟 伊藤 清美 ③「術後に発生した深部損傷褥瘡と疑われる褥瘡の発生要因の検討」 10階病棟 日高 結衣 ④「人工骨頭置換術、人工骨頭全置換術患者の日常生活への看護介入方法の検討」 12階病棟 関野 真由美 ⑤「がん化学療法に起因する脱毛を経験した壮年期患者が工夫したアピアランスケアの実際」 外来 大島 千春 ⑥「乾癬患者の継続治療の困難に対する思い」 11階病棟 合田 全司 ⑦「手術室看護師が関わる術後せん妄予防 ～術前看護外来から関わることで、患者と患者家族に与える影響について～」 手術室 二井 千里 ⑧「小児の点滴管理に対する視点の違いと意識の変化 ～熟練看護師の視点を共有して～」 8階病棟 上野 恵 ⑨「産後2週間健診における配慮と指導の工夫 ～育児経験のある助産師の対応を通して～」 7階病棟 和田 仁見 ⑩「血液がん患者のがんリハビリテーションにおける看護介入の効果」 9階病棟 乙幡 佳那 II 看護部委員会活動報告	看護部	あったかふれあいホール
1月28日 他 9回	院内感染対策委員会（ICT）第40回教育研修会 ① I C T ・ A S Tメンバーからの報告 ②ビデオ研修：「医療における耐性菌感染症の現状と問題点」 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博	感染対策委員会	あったかふれあいホール
2月8日	輸血療法講演会 「輸血副作用・感染症と最近の輸血に関する情報」 大阪府赤十字血液センター 所長 谷 慶彦	輸血療法委員会	あったかふれあいホール
2月27日	日本生命病院ベーシック実践医療セミナー 「認知症サポーター養成講座」 西区社会福祉協議会	看護部 訪問看護ステーション 教育委員会	あったかふれあいホール
2月28日	研修医発表会 1年目研修医症例報告会	臨床研修部	あったかふれあいホール
3月14日	研修医発表会 2年目研修医臨床研究発表会	臨床研修部	あったかふれあいホール

【医療関係者対象】

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
5月22日	感染防止対策病院連携合同カンファレンス（第1回） 大阪みなと中央病院、大阪掖済会病院、日本生命病院 ・大阪みなと中央病院のラウンド ・合同カンファレンス ・職種別分科会	感染対策委員会	大阪みなと中央病院 各部署
6月23日	西区在宅医療・介護連携のための多職種連携研修会 「病気と共に地域で生きる①～認知症～」 神経科・精神科 木藤 友実子 歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー 他	訪問看護ステーション	あったかふれあいホール
7月10日	感染防止対策病院連携合同カンファレンス（第2回） 大阪みなと中央病院、大阪掖済会病院、日本生命病院 ・日本生命病院のラウンド ・合同カンファレンス ・ICTメイト（感染管理システム）の紹介 ・職種別分科会	感染対策委員会	日本生命病院 各部署
7月22日	第19回 あわぎフォーラム 病診連携学術講演会 I 講演 ①「末梢動脈疾患に対するアプローチ、 血管外科医の立場から」 心臓血管外科 部長代行 新谷 隆 ②「健康寿命を延ばすためには～検尿のすすめ～」 腎臓内科 部長 宇津 貴 II 特別講演 「遺伝子治療の現状と展望」 大阪大学大学院医学系研究科長 遺伝子治療学 教授 木村 正	あったかサポートセンター	あったかふれあいホール
7月28日	第7回 あわぎ産婦人科 病診連携懇話会 I 講演 ①「女性異所性妊娠の最近の所見」 産婦人科 沈 嬌 ②「女性骨盤脱について」 産婦人科 八田 幸治 ③「腹腔鏡における子宮体がん」 産婦人科 副部長 尾崎 公章 II 特別講演 「出産における時代の変化」 久産婦人科 院長 久 靖男	産婦人科 あったかサポートセンター	あったかふれあいホール
10月2日	感染防止対策病院連携合同カンファレンス（第3回） 大阪みなと中央病院、大阪掖済会病院、日本生命病院 ・合同カンファレンス ・教育講演会 ・職種別分科会	感染対策委員会	日本生命病院
10月10日	日本生命病院脳機能センター 特別セミナー 「イップスって病気？」 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学 教授 望月 秀樹	脳機能センター あったかサポートセンター	あったかふれあいホール
10月13日	日本生命病院ICLSコース	ACLS委員会	あったかふれあいホール 他
10月25日	第1回日本生命病院地域連携看護セミナー 「在宅における疼痛マネジメントとケア」 がん性疼痛認定看護師 小山 佐知子	看護部	あったかふれあいホール
10月31日	「大阪市西部圏域 がん診療連携拠点病院」研修会 周術期等における口腔機能管理 大阪府歯科医師会 理事 小谷 泰子	がん治療センター	あったかふれあいホール

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
11月10日	第11回あわざクリニカルカンファレンス I クリニカルカンファレンス ①「呼吸困難・尿所見異常を呈した若年女性の治療経験について」 腎臓内科 部長 宇津 貴 ②「EUS-FNAの現況について」 消化器内科 萩巢 恭平 ③「意識障害と低ナトリウム血症を伴った下垂体腫瘍の症例について」 総合内科 魚田 晃史 ④「治療関連悪性リンパ腫について」 血液・化学療法内科 副部長 中江 吉希 ⑤「診断に苦慮した上腸間膜動脈乖離の症例について」 救急診療科 山村 武 ⑥「胃平滑筋腫に対し単孔式腹腔鏡下胃内手術を施行した症例について」 消化器外科 副部長 生島 裕文 II 講演 ①「冠動脈疾患における脂質異常症の管理について」 循環器内科 吉川 秀人 ②「認知症患者の診断と治療について」 脳神経外科 部長 田村 和義	腎臓内科 消化器内科 総合内科 血液・化学療法内科 救急診療科 消化器外科 循環器内科 脳神経外科 あったかサポートセンター	ホテル 日航大阪
11月10日	西区在宅医療・介護連携のための多職種連携研修会 「病気と共に地域で生きる②」 ～終末期：どこで最期を迎えるか～ 中村クリニック 院長 中村 幸生 四ツ橋診療所 安井 博規 住友病院退院調整看護師、介護老人保健施設看護師 歯科医師、訪問看護師、ケアマネジャー、保健師 他	訪問看護ステーション	あったか ふれあい ホール
12月2日	第4回日本生命病院JMECCコース 日本内科学会認定 内科救急・ICLS講習会	ACLS委員会	あったか ふれあい ホール
12月6日	感染対策委員会 野江病院・日本生命病院 ICT相互ラウンド ・日本生命病院ICTによる野江病院のラウンド	野江・日本生命病院 感染対策委員会	野江病院
12月13日	感染対策委員会 野江病院・日本生命病院 ICT相互ラウンド ・野江病院ICTによる日本生命病院のラウンド	野江・日本生命病院 感染対策委員会	日本生命病院
1月31日	第2回日本生命病院地域連携看護セミナー 「糖尿病患者の食生活を支えるコツ」 糖尿病看護認定看護師 角南 ちえ子	看護部	あったか ふれあい ホール
2月16日	第14回日本生命病院 産業医セミナー テーマ：「職場におけるメンタルヘルス対策」 I 講演 ①「当センターにおけるストレスチェックの現状」 予防医学センター 臨床心理士 谷 玲子 ②「ストレスチェックの新しい解析法」 神経科・精神科 部長 高橋 励 II 特別講演 「ストレスチェックの実際、実施と評価と事後措置」 あわの診療所 所長 栗野 菊雄	予防医学センター	あったか ふれあい ホール
2月19日	感染防止対策病院連携合同カンファレンス（4回） 大阪みなと中央病院、大阪掖済会病院、日本生命病院 ・合同カンファレンス ・各病院の手指消毒剤の使用状況 ・職種別分科会	院内感染対策委員会	日本生命病院
3月3日	第5回日本生命病院JMECCコース 日本内科学会認定 内科救急・ICLS講習会	ACLS委員会	あったか ふれあい ホール

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
3月19日	第3回日本生命病院地域連携看護セミナー 「がん患者を支える家族への関わり」 乳がん看護認定看護師 水越 梓	看護部	あったか ふれあい ホール
3月22日	日本生命病院 緩和ケア講演会 「薬理作用から見たオピオイド製剤の使い分け」 市立芦屋病院 薬剤部長 岡本 禎晃	がん治療センター 麻酔・緩和医療科	あったか ふれあい ホール

【一般・患者対象】

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
6月13日	ニッセイ看護フェア ・身体測定（身長、体重、血圧、体組成等） ・アロママッサージ ・認定・専門看護師による講演（ミニレクチャー） ・ポスター展示（病棟、外来、センター紹介等） ・AED体験	看護部	あったか ふれあい ホール
7月14日	平成30年度 第1回 ニッセイ市民健康セミナー Ⅰ セミナー ①「今日からできる5分間らくらく体操」 リハビリテーション室 廣田 将史 ②「糖尿病とがんの気になる関係」 糖尿病・内分泌センター長代行 住谷 哲 Ⅱ 落語会 「新病院開院記念落語会」 桂 文喬、桂 喬美	あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール
7月26日	あわぎ認知症フォーラム ①「地域で診る認知症治療」 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 池田 学 ②「治る認知症について」 高知大学医学部 神経精神科学講座 教授 数井 裕光	脳機能センター 脳神経外科 あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール
7月27日	ニッセイ夏休みこども医療体験2018 ・見学体験：看護部、臨床工学室、リハビリテーション室、 中央臨床検査部、薬剤部、中央放射線部、 事務管理部 ・実 習：内視鏡下手術、あかちゃん沐浴、AED、 松葉杖、調剤 等	事務管理部 あったかサポートセンター 福祉事業局	院内各部
10月17～18日 (花乃井中学校) 11月15～16日 (堀江中学校)	花乃井中学校及び堀江中学校からの職場体験学習 ・病院見学：栄養管理室、情報システム室、中央臨床検査 部、中央放射線部、防災センター ・実 習：薬剤部、診療情報管理室、 リハビリテーション室、臨床工学室	看護部 総務人事G 福祉事業局	院内各部
10月20日	平成30年度 第2回 日本生命病院市民健康セミナー ①「感染について」 感染対策室 専門部長 大野 典子 ②「臨床検査（採血や検尿、生理検査など）について」 中央臨床検査部 医療技能部長 浅野 正宏 ③頭痛、しびれ、ふらつきが生じたときは？」 脳神経外科 部長 田村 和義	あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール
11月3日	「自然にまなぶ！自然にあそぶ！ニッセイ健康キッズ」 Ⅰ 健康教室 ①「正しい手あらいで風邪をふせよう」 ②「新しい病院を見学しよう」 Ⅱ ネイチャークラフト 自然の素材を使ったおもちゃ作り Ⅲ 自然観察 おさんぽマップを用い、ニッセイ四季彩ガーデンの 草花を観察	(公財)ニッセイ緑の財団 総合企画部	あったか ふれあい ホール 外来 四季彩 ガーデン

日程	講演会・研修会	主催・関係課等	場所
11月12日	第18回 ニッセイいい皮膚の日 I ミニコンサート II 講演 ①「知っておきたい傷の対処法」 形成再建外科 部長 藤原 敏宏 ②「知っていますか？薬による皮膚障害」 皮膚科 田中 久仁子 ③「外用薬の上手な使い方」 看護師 III お肌についての医療・看護相談	皮膚科 形成再建外科 看護部 あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール
11月16日	日本生命病院糖尿病フェア I 医師によるミニレクチャー 腎臓内科 光本 憲祐 II 各種測定・相談 ・血糖値・HbA1c 測定 看護師 ・血管年齢測定 臨床検査技師 ・筋肉量・握力測定 理学療法士 ・栄養相談 管理栄養士 ・服薬相談 薬剤師 ・簡易医師相談 医師	糖尿病・内分泌センター あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール
1月25日	日本生命病院糖尿病ランチ&セミナー I 昼食会 「『バランス弁当～洋食～』を試食してみよう」 II 講演会 ①「動脈硬化について」 予防医学センター 徳山 由佳 ②「糖尿病の最近の話題」 糖尿病・内分泌センター長代行 糖尿病患者会「錦会」顧問医 住谷 哲	栄養管理室 糖尿病・内分泌センター	あったか ふれあい ホール
3月15日	日本生命病院よくわかる健康講座 「頭痛、しびれ、ふらつきが生じた時は？」 脳神経外科 部長 田村 和義	脳神経外科 あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール
3月18日	日本生命病院よくわかる健康講座 ～糖尿病から透析にならないために～ ①「糖尿病と腎臓病の深い関係」 腎臓内科 光本 憲祐 ②「明日からできる食塩制限のコツ」 栄養管理室 副部長 出口 暁子 ③「腎臓を守るために～これだけは気を付けよう～」 腎臓内科 部長 宇津 貴	腎臓内科 栄養管理室 あったかサポートセンター	あったか ふれあい ホール

6. 日本生命病院医学賞・医学奨励賞

日本生命病院医学賞

該当者なし

日本生命病院医学奨励賞

所属	氏名	受賞内容
総合内科	枝廣龍哉 (医師)	Non-Hyperinflated Lungs in Patients with COPD and Type2 Diabetes (2型糖尿病合併COPDでは肺過膨張を示さない)
産婦人科	沈 嬌 (医師)	A case of difficult to diagnose cystic adenomyoma treated with laparoscopic surgery (術前診断が困難であった嚢胞性腺筋症に対し腹腔鏡下手術を実施した1例)

7. 地域活動

事業等	出務場所	出務日	講師/出務医師	備考
急病診療所出務	西九条休日急病診療所	6月24日(日) 10:00~17:00	藤田真祐子	小児科担当
	西九条休日急病診療所	2月11日(月祝) 10:00~17:00	藤田真祐子	小児科担当
	中央急病診療所	11月28日(水)深夜 22:00~翌2:00	二宮隆介	内科担当
3ヵ月児健康診査	西区保健福祉センター	5・7・8・12月 第3水曜日 13:30~	池原千衣子	
		毎月第4水曜日 13:30~	池原千衣子	
3歳児健康診査 (耳鼻咽喉科)	西区保健福祉センター	10月3日(水) 13:45~	藤田信哉	
BCG接種	西区保健福祉センター	8・9・10・1・2・3月 第4金曜日 13:15~	藤田真祐子	問診担当
		6・7月第4金曜日 13:15~	赤木幹弘	
糖尿病性腎症の連携を 考える会 講演2「糖尿病性腎症重 症化予防を目指した血糖 降下薬の選択を考える」	セントレジスホテル 大阪	6月28日(木) 19:30~21:05	住谷 哲	
健康講座講演会 「眼瞼下垂のお話」	西区老人福祉センター	9月20日(木) 13:30~15:00	藤原敏宏	
大阪西地域産業保健 センター労働健康相談	西区民センター	10月18日(木) 17:30~19:30	高橋 励	産業医による小規模事業所の 労働健康相談
西区民まつり 「健康のつどい」	西区民センター	10月21日(日) 9:00~15:00	笠山宗正	医師会の健康相談コーナー等
講演会 「認知症を理解する」	西区民センター	3月9日(土) 13:30~15:30	木藤友実子	「認知症等高齢者支援地域連携 事業」の市民対象の講演会

8. ボランティアについて

ボランティア活動

4月	・ボランティア保険加入（年度更新）
5月	・「あったかサポートクラブ」に名称変更 ・ガーデンボランティア活動開始
9月	・ボタニカルアート教室開始 ・カルトナージュ教室開始
10月	・水墨画教室開始 ・健康診断
11月	・絵だより教室開始 ・インフルエンザ予防接種

地域に開かれた病院としてボランティアを一般市民から受け入れ、地域との信頼関係を強化し、より一層地域社会に貢献しました。

また、ボランティアは職員と協力し、患者さんが安心して治療を受けられるよう一人一人の患者さんにきめ細かいサービスを提供し、より良い療養環境を作り上げるよう努めました。

■ 概要

名 称 「あったかサポートクラブ」（2018年5月名称変更）

発 足 2001年（平成13年）

登録人数 案内ボランティア 28人（男性6人、女性22人）

工房ワークショップの講師 4人

活動内容

案内ボランティア

初再診手続きのサポート、車いす患者の介助、診察・検査等場所の案内

入院患者さんのサポート（買い物代行・お洗濯代行等）

図書ボランティア

外来図書コーナー、病棟図書コーナーの管理

ものづくりボランティア

患者さんや、図書の寄付者へのプレゼント作り

ガーデンボランティア

ニッセイ四季彩ガーデンの手入れ

工房ボランティア（ワークショップの講師）

・ボタニカルアート教室

・カルトナージュ教室

・水墨画教室

・絵だより教室

9. 広報関係（新聞、雑誌等）

(1) 新聞等

- ・2018年5月31日 読賣新聞朝刊「病院に保険相談窓口」
- ・2018年6月26日 日刊新聞朝刊「防げ糖尿病重症化」
- ・2018年7月3日 産経新聞朝刊「糖尿病予防IoT活用」
- ・2018年7月6日 ニッキン朝刊「糖尿病予防プログラム」
- ・2018年7月18日 日本経済新聞朝刊「糖尿病予防の実証実験」
- ・2018年7月25日 フジサンケイビジネスアイ
朝刊「ICTで糖尿病発症遠隔予防」

(2) 雑誌等

- ・2018年9月号 ドクターズアテンション（医療専門誌）
- ・2018年10月号 にっしー（大阪市西区タウン情報誌）

(3) 表彰

- ・第8回みどりのまちづくり賞ランドスケープデザイン部門
「大阪府知事賞」（最高賞）

(4) 監修（日本生命関連）

- ・子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」（病院のせんせいごっこ）
- ・がん読本（2019年度版）
- ・データブック（2019年度版）
- ・経営情報（コラム：カラダは語る）
2018年4月号 糖尿病（住谷哲）
2018年5月号 肝臓病（中村秀次）
2018年6月号 慢性腎臓病（宇津貴）
2018年7月号 閉塞性動脈硬化症（新谷隆）
2018年8月号 慢性膵炎（有坂好史）
2018年9月号 高血圧網膜症（谷井啓一）
2018年10月号 肺がん（前田元）
2018年11月号 眼瞼下垂（藤原敏宏）
2018年12月号 パーキンソン病（仁科拓也）
2019年1月号 脳出血（田村和義）
2019年2月号 膠原病（小瀬戸昌博）
2019年3月号 前立腺がん（福井辰成）



ドクターズアテンション（2018年9月号）



第8回みどりのまちづくり賞
「大阪府知事賞」



にっしー（2018年10月号）



がん読本（2019年度版）



子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」



経営情報（コラム：カラダは語る）

10. 院内行事

〈2018年〉

4月2日	・新入職員入会式
4月2日	・進発式
4月7日	・内覧記念式典
4月7日	・新病院内覧会（4月7・8日）
4月13日	・CPC（4月13日、8月31日、11月5・27日、1月29日、3月26日）
4月14日	・患者移送リハーサル
4月27日	・オフィシャルホームページリニューアル
4月30日	・新病院開院
5月1日	・外来診療開始
5月7日	・COOLBIZ（～9月30日）
5月7日	・監査法人トーマツによる会計監査（5月7～19日、12月12～14日、2月27日～3月1日）
5月22日	・感染防止対策病院連携合同カンファレンス（5月22日、7月10日、10月2日、2月19日）
6月1日	・定時理事会
6月1日	・病院移転・開設慰労会
6月2日	・江之子島エリア「まちびらきイベント（えのこじまグルグル）」
6月8日	・ニッセイ医学セミナー Update（～3月8日迄全10回）
6月13日	・ニッセイ看護フェア
6月19日	・日本生命病院地域医療支援運営委員会（6月19日、9月18日、12月18日、3月19日）
6月20日	・ダヴィンチによる手術開始
6月25日	・定時評議員会・臨時理事会
6月25日	・理事会・評議員会報告会
6月29日	・日生稲荷神社・日生白玉神社 神事（稲荷祭）
7月13日	・ニッセイあったか卓球教室
7月14日	・ニッセイ市民健康セミナー（7月14日、10月20日）
7月18日	・CS・ES進発
7月20日	・ニッセイあったか七夕コンサート
7月26日	・あわぎ認知症フォーラム
7月27日	・ニッセイ夏休みこども医療体験2018
7月27日	・倫理委員会講演会
7月28日	・あわぎ産婦人科病診連携懇話会
8月3日	・相愛大学音楽学部学生によるあったかふれあいコンサート
8月19日	・無料乳がん検診・健康診査
9月13日	・医療安全教育講演会（9月13日、1月24日）
9月17日	・休日診療（9月17日、1月14日）
9月22日	・あわぎフォーラム（特別講演：大阪大学大学院医学研究科長 金田安史教授）
9月22日	・開放型病院登録医総会
9月22日	・開放型病院運営委員会
10月2日	・院内感染対策教育講演会
10月10日	・脳機能センター特別セミナー
10月12日	・接遇研修会
10月13日	・日本生命病院ICLSコース
10月17日	・がん患者さん・ご家族のための「ニッセイあったか茶論」（～3月20日まで全6回）
10月17日	・花乃井中学校 職場体験学習（～10月18日）
10月19日	・下期進発式、日生医学賞・医学奨励賞表彰式、永年勤続表彰
10月23日	・人権研修会
10月25日	・消防署立入検査
10月25日	・日本生命病院地域連携看護セミナー（10月25日、1月31日、3月19日）
10月26日	・ニッセイあったか神無月コンサート
10月31日	・大阪市西部圏域 がん診療拠点病院研修会
10月31日	・みどりのまちづくり賞 大阪府知事賞授賞式
11月1日	・大阪市保健所立入検査

11月1日	・近畿大学文芸学部学生によるニッセイあったか舞踊公演「舞踊でみんなTUNAがろう」
11月3日	・自然にまなぶ！自然にあそぶ！ニッセイ健康キッズ！
11月10日	・あわざクリニカルカンファレンス
11月12日	・公益法人認定法第27条に基づく大阪府立入検査
11月12日	・ニッセイいい皮膚の日
11月14日	・篤志解剖者慰霊祭
11月15日	・堀江中学校 職場体験学習（～11月16日）
11月16日	・日本生命病院糖尿病フェア
11月20日	・日本生命済生会ボウリング大会（11月20・29日）
11月22日	・人事評価研修会
11月27日	・保険診療に関する講演会
11月28日	・院内感染症対策委員会教育研修会（11月28・29・30日、12月3・7・10・12・14・17日）
12月2日	・JMECC
12月4日	・消防・防災訓練
12月6日	・感染防止対策相互評価ラウンド（12月6・13日）
12月11日	・医療ガスの安全な取扱研修会
12月20日	・医療安全対策相互評価ラウンド（12月20日、1月18日、2月8日）
12月21日	・ニッセイあったかクリスマスコンサート

〈2019年〉

1月4日	・新年互礼会
1月25日	・社会福祉法第70条に基づく大阪市立入調査
1月25日	・糖尿病ランチ&セミナー
1月28日	・院内感染症対策委員会教育研修会（1月28・30日、2月1・4・7日）
1月30日	・NST勉強会
2月8日	・輸血療法講演会
2月9日	・看護部成果発表会
2月16日	・産業医セミナー
2月27日	・認知症サポーター養成講座
2月28日	・1年目研修医症例報告会
3月14日	・2年目研修医臨床研究発表会
3月15日	・日本生命病院よくわかる健康講座（3月15・18日）
3月19日	・定時・臨時理事会、臨時評議員会
3月22日	・緩和ケア講演会

糖尿病ふれあい教室 毎週／火・水曜日

助産師外来 毎週／月～金曜日

母乳育児外来 毎週／月～金曜日

マタニティービクス 毎週／火・木曜日

アフタービクス

ベビービクス

マタニティーヨガ

両親学級 毎週／土曜日

大阪乾癬患者友の会「梯の会」	学習会・定例総会勉強会	2回／年
	患者交流会	4回／年
	会報発行	4回／年
	幹事会	毎月

糖尿病患者友の会「錦会」	総会	1回／年
	患者懇談会	随時
	ランチセミナー	1回／年
	大阪DMウォークラリー	1回／年

公益財団法人 日本生命済生会
日 本 生 命 病 院 年 報
公第7巻（通算第18巻） 2019年12月発行

編 集 公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 年報WG
発 行 公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院
住 所 〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番54号
T E L (06) 644-33-446（代表）
U R L <https://www.nissay-hp.or.jp/>